北陸自動車道

安田土取場関係発掘調査報告書

円　山　遺　跡

２００３

新　潟　県　教　育　委　員　会

財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団

北陸自動車道

安田土取場関係発掘調査報告書

円山（まるやま）遺跡

2003

新潟県教育委員会

財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団

序

新潟県内の高速道路の整備が進められる中、平成９年には磐越自動車道が全線開通し、北陸自動車道と連結しました。これにより日本海側と太平洋側を結ぶ所要時間は大幅に短縮され、高速交通網がさらに広がりました。

本書は、北陸自動車道新潟亀田インターチェンジから新潟空港インターチェンジ間の盛土採取に伴って実施した、北蒲原郡安田町所在の円山遺跡の発掘調査報告書です。

調査の結果、後期旧石器時代、縄文時代、歴史時代の遺構・遺物が発見されました。旧石器時代では石器集中地点が検出され、ナイフ形石器・彫刻刀形石器・掻器・削器など、当時の人々が狩猟などに使った石器が大量に出土しました。縄文時代は少ないながらも遺構や土器・石器などの遺物が出土し、また歴史時代の遺構としては炭窯跡が検出されました。円山遺跡は小高い丘陵上の比較的狭い範囲にある遺跡のため、集落などは営まれなかったようですが、狩猟や木材の入手・加工など、生活を支える作業を行う場所として人々に利用されてきたことが明らかとなりました。

今回の調査成果が、旧石器時代、縄文時代をはじめとした考古学研究のための資料として広く活用されると共に、県民の方々が埋蔵文化財に対する理解と認識を深める契機となれば幸いです。

最後に、本調査を進めるにあたって多大な御協力と御援助を賜った地元の方々、並びに日本道路公団新潟建設局・同新潟工事事務所、安田町教育委員会に対して厚くお礼申し上げます。

平成15年3月

新潟県教育委員会

教育長　板屋越　麟一

例　　言

1　本報告書は、新潟県北蒲原郡安田町大字六野瀬字円山2102番地ほかに所在する円山遺跡の発掘調査記録である。発掘調査は、北陸自動車道建設のための土取工事に伴い、新潟県が日本道路公団から受託して実施した。

2　発掘調査は、新潟県教育委員会（以下、県教委と略す）が主体となり、平成7年度に実施した。なお、発掘調査については、県教委が財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団（以下、埋文事業団と略す）に調査を委託した。

3　整理及び報告書にかかる作業は、平成14年度に県教委から埋文事業団が受託して実施し、埋文事業団職員がこれにあたった。

4　出土遺物と調査・整理作業にかかる資料は、すべて県教委が保管・管理している。データの有無や閲覧希望は県教委に問い合わせ願いたい。

5　遺物の注記記号は円山遺跡を「円」として出土地点・層位を併記した。個別の取り上げ番号（遺物No.）がある遺物はこれも併記した。

6　本書で示す方位はすべて真北で、国家座標のX軸方向を表す。磁北は真北から西偏約7度である。

7　既成の図面を使用したものについては、それぞれにその出典を記した。

8　本書掲載の遺物番号は時代別・種類別の通し番号とし、文章及び実測図・写真図版の番号は一致している。

9　本文中の注は脚注とし、頁ごとに番号を付した。

10　引用・参考文献は著者及び発行年（西暦）を文中に［　］で示し、巻末に一括して掲載した。ただし第Ⅵ章　自然科学分析では節ごとに掲載した。

11　自然科学分野にかかる各種分析は、株式会社古環境研究所に委託し報告書を受領している。なお、本書には古環境研究所の了解を得て再編集した原稿を掲載している。

12　整理にあたって、富山県魚津市教育委員会麻柄一志氏に出土遺物を実見していただき、調整方法や編年観について御教示を賜った。

13　出土遺物の石材鑑定は、新潟大学複雑地域災害研究センター教授高濱信行氏にお願いし、その指導のもと一部を整理担当者が行った。

14　出土石材及び石材産地については、高橋春栄氏から御教示を賜った。第Ⅱ章地質本文と第5・6図は高橋氏の御教示及び原図にもとづいて執筆・作図した。

15　旧石器時代の一部と縄文時代の石器については、株式会社セピアスに実測（実測：廣田吉三郎氏）を委託した。

16　石器実測図は、写真から起こした。実測用写真の撮影・調整は株式会社セピアスに委託した。実測用写真は遺物写真図版にも使用した。

17　遺構図のトレース及び各種図版作成・編集に関しては、株式会社セピアスに委託してデジタル・トレースとDTPソフトによる編集を実施し、完成データを印刷業者へ入稿して印刷した。

18　本書の執筆・編集は、土橋由理子（埋文事業団主任調査員）が担当した。

19　本遺跡については、埋文事業団の刊行物［埋文事業団1995・1996］や［高橋1995］・［土橋2002］などに概要が報告されているが、これらの間に齟齬が生じた場合は本報告をもって正とする。

20　発掘調査から本書の作成に至るまで、下記の方々並びに機関から多大な御教示と御協力を賜った。記して厚くお礼申し上げる。（敬称略　五十音順）

阿部朝衛　　諫山えりか　　小野　昭　　勝山百合　　川口陽子　　北村忠昭　　佐藤雅一　　渋谷孝雄
白石典之　　菅沼　亘　　鈴木　暁　　須田良平　　高橋春栄　　高濱信行　　田中耕作　　立木宏明
鶴巻康志　　橋本博文　　細野高伯　　麻柄一志　　増子正三　　御堂島　正　　柳田俊雄　　山田晃弘
吉井雅勇　　米田　寛　　渡辺哲也

目　　次

第Ⅰ章　序　　説 …… 1

1　調査に至る経緯 …… 1

2　調査と整理作業 …… 4

A　一次調査 …… 4　　B　二次調査 …… 5

C　整理作業 …… 5

第Ⅱ章　遺跡の位置と環境 …… 8

1　歴史的環境 …… 8

2　地理的環境 …… 8

第Ⅲ章　調査の概要 …… 11

1　グリッドの設定 …… 11

2　層　　序 …… 11

3　地　　形 …… 12

第Ⅳ章　旧石器時代の調査 …… 13

1　遺　　構 …… 13

2　遺　　物 …… 14

A　分　　類 …… 14　　B　石器各説 …… 19

C　母岩別資料 …… 23　　D　接合資料 …… 25

E　フルイ選別資料 …… 26

第Ⅴ章　縄文時代の調査 …… 27

1　遺　　構 …… 27

A　概　　要 …… 27　　B　遺構各説 …… 27

2　遺　　物 …… 29

A　土　　器 …… 29　　B　石　　器 …… 31

第Ⅵ章　歴史時代の調査 …… 37

1　概　　要 …… 37

2　遺　　構 …… 37

第Ⅶ章　自然科学分析 …… 38

1　地層とテフラ …… 38

A　はじめに …… 38　　B　試料採取地点の層序 …… 38

C テフラ組成分析 …… 39
D 屈折率測定 …… 40
E テフラ検出分析 …… 40
F 小　　結 …… 41
2 放射性炭素年代測定 …… 41
A 試料と方法 …… 41
B 測定結果 …… 42
3 植物珪酸体分析 …… 42
A はじめに …… 42
B 試料と分析方法 …… 42
C 分析結果 …… 43
D 植物珪酸体分析から推定される植生・環境 …… 43
4 花粉分析 …… 47
A 試料と分析方法 …… 47
B 結　　果 …… 47
C 花粉分析から推定される植生の変遷 48
5 種実同定 …… 51
A 試料と分析方法 …… 51
B 結　　果 …… 51
C 考　　察 …… 51
第Ⅷ章 ま と め …… 53
1 旧石器時代 …… 53
2 縄文時代 …… 55
《要　約》 …… 56
《引用文献》 …… 57
《別　表》
1 旧石器時代石器組成表 …… 59
2 旧石器時代石器観察表 …… 62
3 旧石器時代石器属性表 …… 79
4 縄文時代石器観察表 …… 83

挿図目次

第１図　遺跡の位置 …… 2
第２図　安田土取場と遺跡の範囲 …… 3
第３図　一次調査トレンチ位置図 …… 4
第４図　周辺の遺跡 …… 9
第５図　周辺の地形 …… 10
第６図　周辺の石材産地 …… 10
第７図　グリッド設定図 …… 11
第８図　基本層序 …… 12
第９図　旧石器分類図（1） …… 15
第10図　旧石器分類図（2） …… 16
第11図　石器属性計測基準 …… 17
第12図　フルイ選別点数表 …… 26
第13図　土器重量分布図 …… 30
第14図　JB1模形石器長幅比 …… 34
第15図　JB1完形剥片長幅比 …… 34
第16図　縄文時代の石器分布図 …… 36
第17図　磨石類分布図 …… 36
第18図　磨石類長幅比 …… 36
第19図　炭窯の分類 …… 37
第20図　試料採取地点の柱状図 …… 39
第21図　12H2グリッドの火山ガラス比ダイヤグラム …… 40
第22図　植物珪酸体分析結果 …… 45
第23図　植物珪酸体の顕微鏡写真 …… 46
第24図　花粉組成図 …… 49
第25図　花粉遺体 …… 50
第26図　検出種実 …… 52

表目次

第１表　各母岩の特徴（旧石器） …… 24
第２表　各母岩のブロック別出土点数 …… 24
第３表　各母岩の出土点数と分類 …… 25
第４表　集石土坑・集石の構成礫（被熱・破損状況） …… 28
第５表　集石土坑・集石の構成礫（石材組成） … 28
第６表　土器観察表 …… 31
第７表　JB1層位別石器組成 …… 32
第８表　JB1出土石器集計表 …… 33
第９表　JB1母岩の特徴 …… 33
第10表　縄文時代の石器 …… 35
第11表　炭窯観察表 …… 37
第12表　火山ガラス比分析結果 …… 40
第13表　テフラ検出分析結果 …… 41
第14表　植物珪酸体分析結果 …… 44

図版目次

［図面図版］

図版１　遺構全体図
図版２　旧石器分布図１（石材別）
図版３　旧石器分布図２（分類別）
図版４　旧石器ブロック1a石器分布図
図版５　旧石器ブロック1b石器分布図
図版６　旧石器ブロック1c石器分布図
図版７　旧石器ブロック2石器分布図
図版８　旧石器ブロック3石器分布図
図版９　旧石器時代石器接合図
図版10　旧石器時代石器実測図１
図版11　旧石器時代石器実測図２
図版12　旧石器時代石器実測図３
図版13　旧石器時代石器実測図４
図版14　旧石器時代石器実測図５
図版15　旧石器時代石器実測図６
図版16　旧石器時代石器実測図７
図版17　旧石器時代石器実測図８
図版18　旧石器時代石器実測図９
図版19　旧石器時代石器実測図10
図版20　旧石器時代石器実測図11
図版21　旧石器時代石器実測図12
図版22　旧石器時代石器実測図13
図版23　旧石器時代石器実測図14
図版24　旧石器時代石器実測図15
図版25　旧石器時代石器実測図16
図版26　旧石器時代石器実測図17
図版27　旧石器時代石器実測図18
図版28　旧石器時代石器実測図19
図版29　旧石器時代石器実測図20
図版30　旧石器時代石器実測図21
図版31　旧石器時代石器実測図22
図版32　旧石器時代石器実測図23

図版33　旧石器時代石器実測図24
図版34　縄文・歴史時代遺構分割図1
図版35　縄文・歴史時代遺構分割図2
図版36　縄文・歴史時代遺構個別図1
図版37　縄文・歴史時代遺構個別図2
図版38　JB1石器分布図
図版39　歴史時代遺構個別図
図版40　縄文土器実測図
図版41　縄文時代石器実測図1
図版42　縄文時代石器実測図2
図版43　縄文時代石器実測図3
図版44　縄文時代石器実測図4
図版45　縄文時代石器実測図5
図版46　縄文時代石器実測図6
図版47　縄文時代石器実測図7
図版48　縄文時代石器実測図8

［写真図版］

図版49　遺跡遠景・調査区全景
図版50　遺跡全景・基本層序
図版51　旧石器ブロック（B1～3）全景
図版52　B1全景
図版53　B2全景
図版54　沢・JB1・集石（1）
図版55　集石（2）
図版56　集石（3）・SK28・SK9
図版57　SK14・SK6・SK5・SK2
図版58　SK25・SK23・SK29・SK20
図版59　SK10・SK4・SK7・SK16
図版60　SK19・SK24・SK12・SK15
図版61　旧石器時代石器1
図版62　旧石器時代石器2
図版63　旧石器時代石器3
図版64　旧石器時代石器4
図版65　旧石器時代石器5
図版66　縄文土器
図版67　縄文時代石器1
図版68　縄文時代石器2
図版69　縄文時代石器3

第Ⅰ章　序　　説

1　調査に至る経緯

北陸自動車道は総延長488kmに及ぶもので、新潟市を基点とし、日本海沿岸の富山・石川・福井の各県を経由し滋賀県米原町で名神高速道路に接続する一方、現在建設中の日本海東北自動車道にも連結する高速自動車道である。この路線は北陸各県の主要都市を連結し、さらに関西地方と東北地方を直結させるものであり、関連する地区はもとより、地域の開発促進に関わる重要な役割を担っている。

北陸自動車道のうち、新潟西インターチェンジから新潟亀田インターチェンジまでは平成6年に開通し、残る新潟亀田インターチェンジから新潟東インターチェンジ（仮称）間、約6.4kmの建設が、第11次施工区間として平成6年から本格的に開始された。平成5年9月、その建設盛土として北蒲原郡安田町大字六野瀬地内から土取りするため、日本道路公団（以下、公団と略す）は「日本道路公団の建設事業等工事施工に伴う埋蔵文化財包蔵地の取扱いに関する覚書」記3（1）に基づき、県教委に北陸自動車道建設に伴う安田土取場に関する埋蔵文化財分布調査を依頼してきた。県教委はこれを受け、同年10月埋文事業団に分布調査の実施を依頼した。

埋文事業団は、平成5年11月4・5日に安田町大字六野瀬地内の土取場対象地の分布調査を行い、同月その結果を県教委に報告した。現況が山林であったことから十分な報告内容とは言えず、一次調査が必要な地域の確定までには至らなかった。このため、再度分布調査を実施して一次調査範囲を確定する必要がある旨を伝達した。

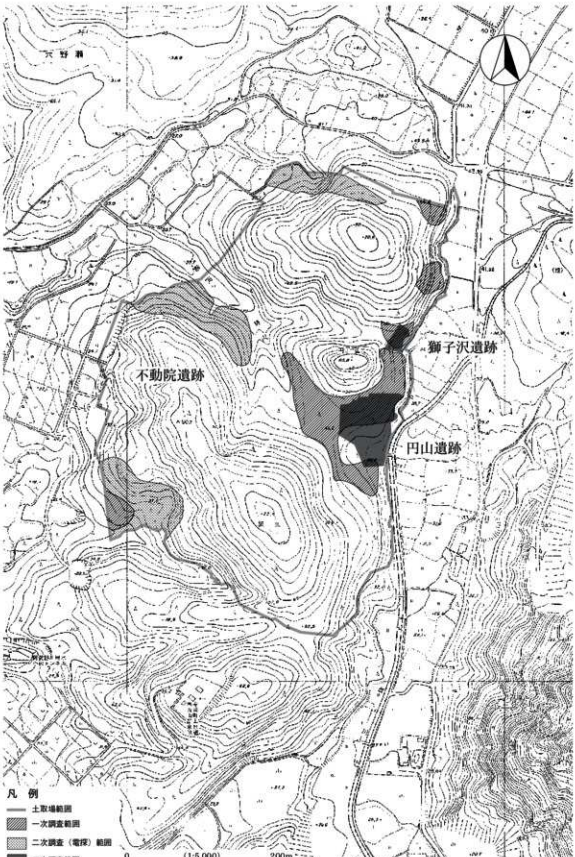
平成6年3月、県教委と公団との協議の結果、再度分布調査を実施することが決定し、同月県教委からの依頼を受けて埋文事業団が分布調査を実施した。前回の調査時に十分確認できなかった進入路にかかる地域と土取場本体部分の谷筋、及び斜面部の踏査に主眼をおいて行われた。この結果、一次調査が必要な範囲として、平坦部約21,800m^2、斜面部を含む谷筋22,700m^2、計約44,500m^{2}の面積を報告した。

平成6年9月、公団から平成6年度埋蔵文化財発掘調査の追加依頼が「安田土取場地内遺跡」として県教委に提出された。11月に公団・県教委・埋文事業団で協議した結果、11月から一次調査が実施できる旨を回答した。一次調査は平成6年11月21日～12月15日、平成7年3月13日～15日、平成7年9月18日～9月29日の3回行った。9月の調査は不動院遺跡を対象とした窯跡探査のための磁気探査である。以下、円山遺跡にかかる一次調査についてのみ記す。

平成6年11月28日から12月15日に安田町大字六野瀬字円山地内の一次調査を実施した結果、5か所のトレンチから遺構・遺物が検出されたため、その周辺5,840㎡について二次調査が必要であることが判明した。県教委はその旨を公団に伝えるとともに、新発見であるこの遺跡について「円山遺跡」とし、文化庁に遺跡発見通知を提出した。

公団と協議を重ねた結果、平成7年9月から円山遺跡の二次調査を実施することに決定し、県教委から委託を受けた埋文事業団がこの調査にあたった。

第１図　遺跡の位置
〔国土地理院「馬下」「新津」「村松」「出湯」平成２年発行原図〕



第２図　安田土取場と遺跡の範囲

〔安田町都市計画図（昭和57・平成４）原図〕

2　調査と整理作業

A　一次調査

1）調査体制

調査期間　平成6年11月28日～12月15日

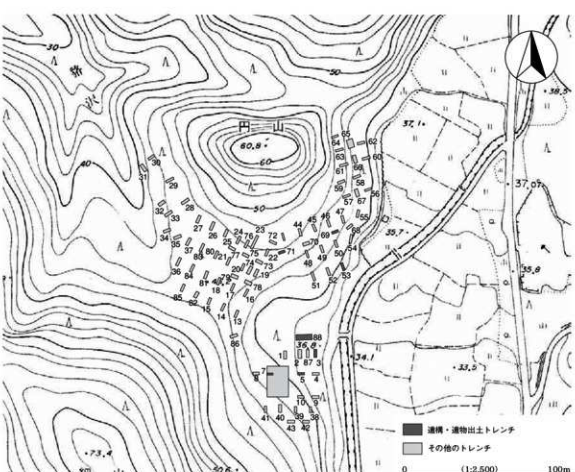
調査主体　新潟県教育委員会（教育長　本間栄三郎）

調　　査　財団法人　新潟県埋蔵文化財調査事業団

管　理	総　括	藍原　直木（事務局長）
	管　理	渡辺　耕吉（総務課長）
	庶　務	泉田　誠（総務課主事）
調　査	調査総括	茂田井信彦（調査課長）
	調査指導	藤巻　正信（調査課調査第一係長）
	調査担当	沢田　敦（調査課文化財調査員）
	調査職員	大川原英智（調査課主任調査員）

2）調査経過

一次調査は、対象地（12,200m²）の任意の位置にトレンチを設定し、バックホーを使用して徐々に掘下



第3図　一次調査トレンチ位置図

げたあと、人力により精査して遺構・遺物の有無を確認する方法で実施した。計88トレンチ（合計984m²）を調査した結果（第3図）、53・69・71トレンチから旧石器時代の石器15点、53トレンチから縄文土器片4点、縄文時代の石器1点、88トレンチから縄文土器と縄文時代の集石1基（集石土坑3）、3トレンチから縄文時代の石器3点、7トレンチから縄文土器1個体（図版40-14）を検出した。7トレンチでは土器の周辺を拡張して調査したが、ほかに遺構・遺物は検出されなかったため、ここに1個体の土器が廃棄あるいは遺棄されたものと推定された。これに基づき、53・69・71・88の周辺について二次調査が必要であると判断した。

B　二次調査

1）調査体制

調査期間　平成7年9月1日～12月12日

調査主体　新潟県教育委員会（教育長　平野清明）

調　　査　財団法人　新潟県埋蔵文化財調査事業団

管　　理	総　　括	藍原　直木（事務局長）
	管　　理	山上　利雄（総務課長）
	庶　　務	泉田　　誠（総務課主事）
調　　査	調査総括	亀井　　功（調査課長）
	調査指導	藤巻　正信（調査課調査第一係長）
	調査担当	高橋　保雄（調査課主任調査員）
	調査職員	菅井　良咲（調査課主任調査員）
		島田　昌幸（調査課文化財調査員）
		飯坂　盛泰（調査課文化財調査員）
		佐藤　　恒（調査課嘱託員）

2）調査経過

発掘調査は、隣接している獅子沢遺跡と並行して進めた。基本的に調査員5名、委託業者代理人1名・世話人2名、作業員約90名の編成で行った。9月1日から調査のための施設設置、器材搬入の諸準備を行い、9月8日までに円山遺跡の表土剥ぎを終了した。12日には作業員15名が獅子沢遺跡へ移り、10月3日まで調査を行った。

9月11日から円山遺跡の包含層掘削を開始し、下旬には14HのⅢ層から旧石器時代の石器が出土し始めた。遺物は基本的に1点ずつ出土地点を記録して取上げた。地点は、層位・レベル・平面位置を遺物取上げ台帳に記録した。平面位置は最寄りのグリッド杭を基点として、南へと東への距離を記した。遺物が集中する14G・H、15G・Hについては、測量業者に委託して出土位置平面図を作成した。

10月中に遺構精査と包含層掘削をほぼ終了し、11月4日には空撮を行った。11月11日には現地説明会を開催し、110名を超える見学者が訪れた。その後、記録作業と並行してトレンチ調査を実施し、現在の発掘限界面下から遺物が出土しないことを確認して12月12日に調査を終了した。

C　整理作業

1）整理体制

遺物の水洗・注記や遺構図面の整理などの基礎作業は、発掘調査年度内に終了した。報告書に関わる本

格的な整理作業は、埋文事業団が県教委から受託して平成14年度に県立埋蔵文化財センターにおいて行った。体制は、以下の通りである。

整理主体　新潟県教育委員会（教育長　板屋越麟一）

整　　理　財団法人　新潟県埋蔵文化財調査事業団

管　理	総　括	黒井　幸一（事務局長）
	管　理	長谷川司郎（総務課長）
	庶　務	高野　正司（総務課主任）
整　理	整理総括	岡本　郁栄（調査課長）
	整理指導	北村　亮（調査課整理担当課長代理）
	整理担当	土橋由理子（調査課主任調査員）
	作　業	間　栄子　和泉　裕子　小山　たか子　田口　和子　室塚　真弓　柳谷　栄子（以上、嘱託員）

2）整理経過

遺物番号

平成14年度の整理作業は、遺物番号を付すことから開始した。遺物の大半は調査段階で遺物番号が付され、出土地点を計測し取上げられていた。遺物番号には、調査段階で把握した3か所の旧石器ブロック（B1～3）と縄文時代石器集中区（JB1）ごとに付された通し番号のほか、大グリッドごとの通し番号があった。これらの番号については、1つの番号に複数の遺物が存在することがあり、その場合は枝番号を付して区別した。

このほかに、出土地点が記録されていない取上げ番号の無い遺物があった。これらの遺物については、整理段階で以下の方法で番号を付した。① 調査終了後の基礎整理で「ブロック出土の石器」として分類されていたものについては、ブロック通し番号の末尾に続く番号、すなわち「B1－324」「B2－193」から番号を付した。② ブロック出土の石器に分類されていなかった遺物については、出土した大グリッドをもとに、各大グリッドの末尾に続く番号から番号を付した。旧石器ブロックのふるい作業で検出された遺物のうち、砕片以外のものについてもこの方法で番号を付した。③ JB1Ⅱ層のふるい作業で検出された遺物は、「JB1－フルイ1」から通し番号を付した。

注　　記

台帳作成で新たに付した番号を遺物に注記した。既に番号がついていた遺物についても、枝番号がついたものは加筆した。枝番号は「遺物No.－枝No.」というようにハイフンのあとに加えた。なお、基礎整理段階の注記でブロックの略号が「1B」あるいは「B1」というように2通りあったが、新たに注記するものについてはグリッドの呼称と区別するため「B1」の方に統一した。ただし、既に注記されていたものについては訂正していない。

遺物台帳作成

遺物番号を付す作業と並行して遺物台帳を作成し、遺物台帳には出土地点・グリッドを記入した。出土地点は遺物取上げ台帳があるものはその数値をもとに記入し、業者が出土位置図を作成した遺物についてはその図面から数値を測定し記入した。出土位置から出土グリッドをおこすと、遺物に注記されているグリッド（とくに小グリッド）にいくつか誤りがあることが判明した。しかし、誤りのある注記すべてを直す時間的余裕がなかったため、注記と遺物台帳の出土位置に齟齬があった場合は、遺物台帳を正とすることで整理を進めた。

石器実測作業

旧石器時代の石器　　一部の石器については旧来の方法で作図したが、大部分は実大の写真（実測台帳）にマイラーベースを被せ、写真を下図として鉛筆トレースする方法で作図した。もとになる実測台帳は株式会社セビアスに撮影・調整・出力を委託した。

縄文時代の石器　　株式会社セビアスに委託した。実測図の作図は旧石器時代の石器と同様に写真をもとに行ったが、パソコンに画像を取込み、画面上で画像をトレースする方法で作図している。

遺物写真

石器写真の大半は実測に用いた写真を使用し、土器と一部の石器は調査職員がデジタルカメラ（ニコンD100）で撮影した。

版下作成・印刷製本

版下作成から印刷製本にかかる作業については、デジタル化に適応して従前の手法を転換し、トレースの一部と版構成作業を株式会社セビアスに委託するとともに、印刷業者の作業を印刷・製本に限定した。委託した業務は遺構図面などのコンピュータトレースと従来印刷業者が行っていた版構成作業一般であり、埋文事業団は本文・図版のレイアウトを含む編集作業を行い、以下の資料を支給した。

本　文・挿　図：テキスト形式・Microsoft社Excel形式のデータ、貼り込み版下

遺構図面図版：原図コピー・レイアウト図案・文字データ・Microsoft社Excel形式のデータ（ドットマップ）

遺物図面図版：個々のトレース図（縄文時代の石器は除く）・レイアウト図案・拓影・文字データなど

遺構写真図版：遺構写真のCD－R・レイアウト図案

遺物写真図版：土器と一部の石器の写真・レイアウト図案

第Ⅱ章　遺跡の位置と環境

1　歴史的環境

遺跡周辺の歴史的環境については、既刊の報告書『萩野遺跡・官林遺跡』［亀井ほか1994］・『獅子沢遺跡』［菅井ほか1996］・『上ノ平遺跡Ａ地点』［沢田ほか1994］・『上ノ平遺跡Ｃ地点』［沢田1996］などに詳述されているので、本書では当遺跡と同時代の旧石器時代、縄文時代の遺跡を中心に概観する。

旧石器時代

円山遺跡に隣接する獅子沢遺跡では、珪質頁岩製の掻器・石刃・石核各１点が発掘調査により出土している。同じく安田町上野林Ｊ遺跡では、安田町教育委員会による発掘調査が行われ、姶良Tn火山灰降灰以前の石器群と考えられる台形様石器・石核・剥片などが出土した［田中・増子ほか1994］。横峰Ｄ遺跡・中道遺跡では細石刃核が採集されている［南部郷教育委員会連絡協議会1975・新潟県1983・菅沼1991］。三川村上ノ平遺跡・吉ケ沢遺跡では杉久保型ナイフ形石器と神山型彫刻刀形石器を組成とする石器群や尖頭器と両面加工石器を組成とする石器群が検出された［沢田1994・1996］。隣接する五泉市薬師堂遺跡ではナイフ形石器・彫刻刀形石器などが採集されている［菅沼1992］。

縄文時代

円山遺跡の縄文時代の主体となる前期中葉から末葉にかけての遺跡はあまり多くないが、弥生時代初期の再葬墓で著名な安田町六野瀬遺跡で前期末葉の土器片が採集されている［増子1989］。

中期では安田町ツベタ遺跡・萩野遺跡・官林遺跡・横峰Ｂ遺跡・新割遺跡・野中遺跡などがある。ツベタ遺跡はツベタ川左岸の扇状地上に位置し、土石流を間層として中期と後期の包含層がある。過去数回の調査により、中期では馬高式及び大木8b式の土器が出土している［中川1966、中川ほか1970、関ほか1972、川上1983］。横峰Ｂ遺跡では住居址15基・土坑４基が検出されている［川上ほか1981］。

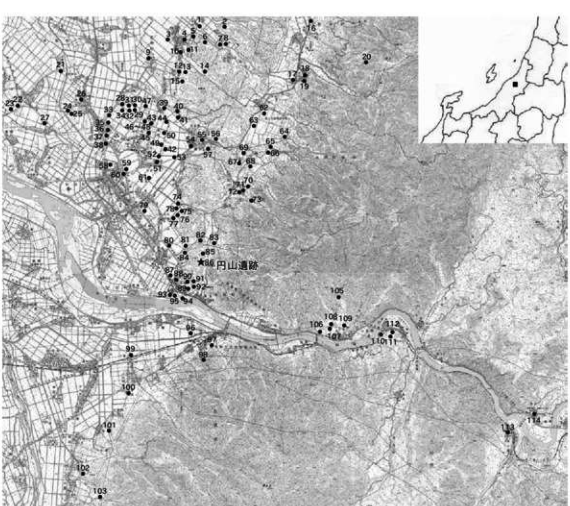
後期から晩期では、六野瀬遺跡・横峰Ａ遺跡・ツベタ遺跡・藤堂遺跡・中道遺跡・獅子沢遺跡などがある。藤堂遺跡では1971・1973年に発掘調査が行われ、後期後葉の竪穴住居跡が４基発見された［本間1974］。1979年に発掘された中道遺跡の集落跡［川上ほか1980］とともに大集落を形成していたと思われる。横峰Ａ遺跡では縄文時代後期～弥生時代後期に断続的に営まれたと考えられ、縄文時代晩期の住居跡が検出されている［川上ほか1981］。

2　地理的環境

地　　形（第５図）

円山遺跡のある新潟県東部は、標高800～1,000mの山地と阿賀野川沿いの段丘地形、五頭山地西麓の笹神丘陵などからなる。五頭山地と笹神丘陵との間には村杉低地帯が存在する。村杉低地帯には、五頭山地からの土石流により形成された扇状地が発達する［鈴木1986］。

笹神丘陵は、中新世～鮮新世初頭と中期更新世の新発田一小出構造線の活動によって五頭山地から分離した丘陵で［高浜・野崎1981］、起伏量100m以下の丘陵地（Ⅱ）に分類される。笹神丘陵は五頭山地か



No.	遺　跡	時期（遺物）
1	上小出中	縄　文
2	金クリ沢	製鉄跡
3	鶴　渕	室　町
4	大　室	縄　文
5	下里Ａ	甘石器
6	下里Ｂ	縄　文
7	川端Ａ	縄　文
8	川端Ｂ	縄文後期
9	大平堀下	縄文中期
10	山王田	平　安
11	王ケ峯	縄文前期
12	貝　塚	縄　文
13	十二神	
14	風吹沢	縄文中期
15	貝塚平	縄文中期
16	赤浜荒塚	縄　文
17	村　杉	縄文中期～
18	柴郎平Ａ	
19	柴郎平Ｂ	
20	神　沢	
21	上ノ山	縄文中期・平安
22	新明野	室　町
23	内山工	室　町
24	花　田	平　安
25	家浦Ａ	平　安
26	家浦Ｂ	室　町
27	成田屋敷	
28	家　浦	室　町
29	横峯Ａ	縄文晩期
30	横峯Ｂ	縄文中期
31	横峯Ｃ	縄文中・後期
32	横峯Ｄ	甘石器
33	小山崎	縄文後期
34	行　塚	縄文中期
35	中　道	縄文中・後期
36	藤　堂	縄文中・後期
37	物見山	弥生中期
38	山ノ下	縄文中・後期
39	二本松	縄　文
40	手城山	縄　文
41	下城山	平　安
	製鉄跡	
42	上野林Ａ	縄　文
43	上野林Ｂ	縄　文
44	上野林Ｃ	縄　文
45	上野林Ｄ	縄　文
46	上野林Ｅ	縄　文
47	上野林Ｆ	縄　文
48	上野林Ｊ	甘石器
49	上野林Ｈ	縄　文
50	上野林Ｇ	縄　文
51	岩野Ａ	平　安
52	岩野Ｂ	縄文中期
53	下竜田	室　町
54	家　前	縄　文
55	家　添	縄　文
56	石仏野	先土器
57	竜田中山	縄　文
58	後　野	
59	宮ノ越	鎌倉・平安
60	門　前	室　町
61	雲雀田	古　墳
62	大　平	甘石器
63	大日ヶ原Ⅰ	
64	大日ヶ原Ⅱ	縄文中期
65	後　田	室　町
66	日影平	縄　文
67	中　山	縄文中期
68	ツベタ	縄文中・後期
69	ツベタⅡ	平　安
70	古ヶ沢平	縄　文
71	丸　山	縄　文
72	原田新屋	縄　文
73	中寒下	縄　文
74	蔵敷林	縄　文
75	五輪敷沢	平　安
	窯　跡	
76	用水林	縄　文
77	山下Ａ	弥生中期
78	山下Ｂ	平　安
79	八百苅	平　安
80	北　畷	室　町
81	新　田	縄文中期・平安
82	恵正寺	縄文中期
83	野　中	縄文中・後期
84	和船館	製鉄跡
85	獅子沢	縄　文
86	円　山	甘石器・縄文前～後期
87	荻　野	縄文中期
88	宮　林	縄　文
89	赤坂山	縄　文
90	赤坂山Ｂ	縄　文
91	赤坂山	中　世
92	赤坂山中世窯　跡	
93	六野瀬	縄文前期～平安
94	渡場赤坂Ａ	縄　文
95	渡場赤坂Ｂ	縄文中期
96	馬下越場	縄文後期
97	馬　下	縄　文
98	竹　林	縄　文
99	小家山	縄文中期
100	切　畑	縄文前期
101	輪	縄文中期
102	薬師平	縄文中期
103	大　蔵	縄文中・後期
104	殿屋敷	縄文中期
105	大　平	石　斧
106	堂　田	縄文中・後期
107	中ノ繁沢	縄　文
108	繁　沢	縄　文
109	上　城	縄文後期
110	中　神	縄　文
111	吉ヶ沢	甘石器・縄文草創～早期
112	上ノ平	甘石器・縄文草創～中期・中世
113	五十鳥	縄文中期
114	西岩谷	縄文後期・平安
115	新　山	縄　文
116	前　田	縄　文

第４図　周辺の遺跡

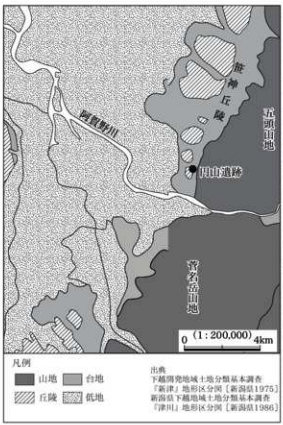
ら流出する河川により11の単位に分断されており［鈴木前掲］、円山遺跡はこの最南端の丘陵上に存在する。この最南端の丘陵は4か所に標高60～73mの高まりがあり、遺跡は北側から2つ目と3つ目の高まりに挟まれた、標高37～50mの南東向き緩斜面に位置する。調査範囲内には丘陵を開析する沢が流れている。

円山遺跡のある斜面と反対側の丘陵南西側斜面には、旧河道が南北に走り、これに伴う段丘面（Gt.Ⅲ面）が存在する［鈴木前掲］。この段丘面は、三川村上ノ平・吉ヶ沢遺跡がのる段丘面に比定される。

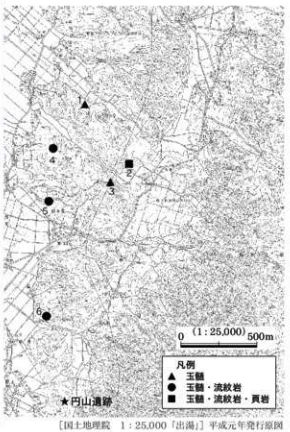
地　　質（第6図）

円山遺跡南側にある標高73mの高まりの頂部には、大小の花崗岩礫を多量に含み、これを花崗砂岩が埋める不淘汰な礫層が分布する。また、遺跡東側の扇状地や段丘部分にも花崗岩の大礫が含まれる［津田ほか1986］。遺跡に搬入された花崗岩の多くはここから運ばれたものと推定される。

安田町や笹神村では広範囲に玉髄の原石が採集されており、多くはないが節理で割れて石核状や剥片状になって礫層に含まれる玉髄も確認されている。遺跡北側にも玉髄・流紋岩・頁岩の産出する場所が点在する。このうち遺跡から約4km離れた笹神村大室（第6図2）、水原町飛地（第6図3）では、遺跡から出土した白色の玉髄やJB1で多用されていた鉄石英に類似する石が産出する。大室では2～20cm程度の大きさの玉髄が多く、色調は表面が白色で中心部が薄い飴色、あるいは表面が薄い飴色の縞模様で中心部が白色などである。水原町飛地の玉髄は節理が多く、節理から割れて剥片に近い状態のものもみられる。大きさは1cm程度の剥片状から20cm位までである。なお、遺跡で多用されていた良質の珪質頁岩の産地は、遺跡近くでは見つかっていない[注]。



第5図　周辺の地形



［国土地理院　1:25,000「出湯」］平成元年発行原図

第6図　周辺の石材産地

注）石材産地と産出する石材については高橋春栄氏からご教示を賜った。

第Ⅲ章　調査の概要

1　グリッドの設定

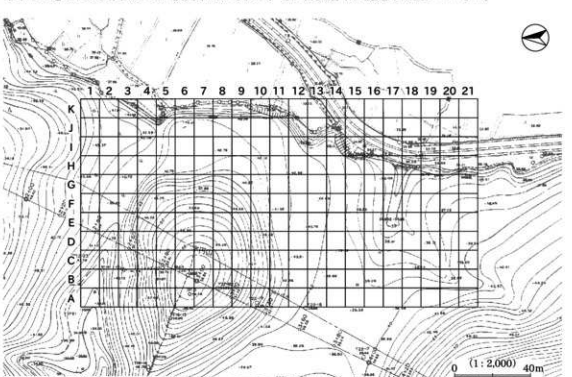
グリッドは隣接する獅子沢遺跡と連続して設定した（第7図）。国土座標に合わせて組んだ10mの方眼を大グリッドとし、北から南へ1、2、3･･･、西から東へA、B、C･･･と表わした。大グリッド名はその組み合わせで「11F」などと呼称とした。大グリッドを示す杭は北西隅に打設した。大グリッドを2m角の方眼に25分割したものを小グリッドとした。小グリッド名は西から東、北から南に向かって1から25までの番号を付し、「11F1」のように大グリッドと組み合わせて呼称した。

2　層　　序

現地表面から発掘限界面までは約50cmの堆積であり、層位は上位から以下のように分層される。

Ⅰ層が現表土、Ⅱ層が縄文時代の遺物包含層、Ⅲ～Ⅳ層上部が旧石器時代の遺物包含層、Ⅴ層上部が発掘限界面である。なお、縄文時代の遺物はⅠ･Ⅱ層、旧石器時代の遺物はⅠ･Ⅱ･Ⅳ層中～Ⅴ層からも少量出土しているが、根株・霜・遺物の流れなどの自然現象により上下したものと推定している。また、Ⅰ～Ⅴ層上部が風成層、Ⅴ層下部以下は水成層と推定される（第8図・図版50）。

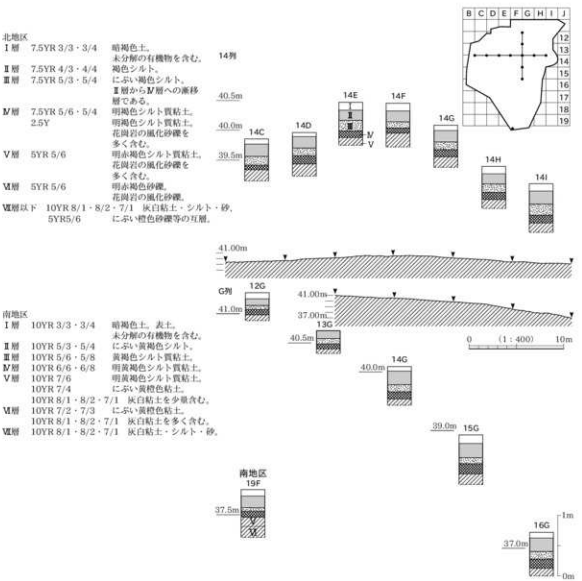
火山灰分析の結果（第Ⅶ章1）、Ⅱ～Ⅳ層にかけて浅間草津黄色軽石（As-YPk、約1.3～1.4万年前）に由来すると思われる火山ガラスが検出されたものの、その降灰層準の認定には至っていない。



第7図　グリッド設定図

3 地　形

遺跡の立地する場所は南向きの緩斜面であり、西側と北側は比高約15～30mの丘で、東から南側は村杉低地帯と呼ばれる断層で区切られている。調査範囲内には丘陵を解析する沢が西から東へ流れており、遺跡を2分している（図版1・37・54）。この沢より北側から旧石器時代の遺物の大半が出土した。おそらく旧石器時代からこの沢は存在しており、水はけの良い高所に遺跡が残されたと考えられる。



第8図　基本層序

第Ⅳ章　旧石器時代の調査

1　遺　　構

円山遺跡では礫群・土坑などは検出されず、旧石器時代の石器集中地点（以下、ブロック）3か所が検出され、ブロック1～3と呼称した。ブロック1は3つに細分される。なお、本書でいうブロックとは、あくまで視覚的な石器のまとまりであることを断っておく。

ブロックの設定及び名称は発掘調査時のものを基本としているが、整理段階でⅢ・Ⅳ層の石器分布をもとにブロックの範囲を再検討した。この結果、ブロック1とされていた範囲を1a～1cの3つのブロックに細分した。ブロック2は発掘調査段階より北側へ縮小し、ブロック3は南へ拡大した。

ブロック2とブロック1は南北に約10m離れるが、いずれも珪質頁岩製の石器を主体とする石器群であり、母岩の共有関係が認められる。ブロック3はブロック1・2とそれぞれ約20m離れる。白色の玉髄を主体とする石器群で、ブロック1・2とは様相が異なる。それぞれのブロック間にも散漫に石器が分布しており、とくにブロック3とブロック1の間には白色の玉髄製石器が多く分布する。

石器の出土層位はⅠ～Ⅴ層であるが、中心となるのはⅢ～Ⅳ層にかけてであり、ブロックにより出土層位が明確に分かれるということはない。なお、縄文土器の分布の中心がブロック1・2の範囲と重なるので旧石器とした石器の中に縄文時代の石器が混入している可能性もある。

ブロック1a（図版4・51・52）

14Hを中心とする南北13m、東西17mの範囲に964点の石器が分布する。東側は崖に面しており、北東にブロック1c、南にブロック1bが隣接する。石器は珪質頁岩製が多く、重量で73％を占める。ブロックの中心付近にナイフ形石器・彫刻刀形石器・掻器・削器などの石器が密集する。ブロック内での折れ以外の接合資料は5組あるが、いずれも連続的な剥離を行ったものではなく、調整剥離的なものである。

ブロック1b（図版5・51・52）

15G・15H・16G・16Hにかけて南北12m、東西14mの範囲に石器501点が分布する。東側は崖に面しており、北側にブロック1aが隣接する。石器は珪質頁岩製が多く、重量で64％を占める。石器の密集度はブロック1aに比べると希薄であり、ナイフ形石器が少なく、掻器の割合が高い。ブロック内での折れ以外の接合資料は2組あるが、いずれも連続的な剥離を行ったものではなく、調整剥離的なものである。

ブロック1c（図版6・51・52）

14Iを中心に南北7m、東西9mの範囲に、石器41点が分布する。東側は崖に面しており、西側はブロック1aに接する。石器は東側に多く分布する。石器は珪質頁岩製が多く、重量で71％を占める。ブロック内での折れ以外の接合資料はないが、ブロック1aとの間に1組接合資料がある。

ブロック2（図版7・53）

11G・11H・12G・12Hにかけて南北15m、東西17mの範囲に、石器1,258点が分布する。南東に緩やかに下る斜面にあるため、ブロック1aとの間に流れた石器もあると推定される。石器は珪質頁岩製が多く、重量で94％を占める。ブロック内での折れ以外の接合資料は石核と剥片の接合が1組、両極

剥離にかかわる資料が2組ある。

ブロック3（図版8・51）

14D・14Eを中心に南北14m、東西19mの範囲に石器60点が分布する。遺物密度はきわめて低い。Ⅰ～Ⅴ層に遺物が分布しており、Ⅲ層が最も多い。石器は白色の玉髄製が多く、重量で53％を占める。ブロック1・2で多数を占めていた珪質頁岩は29％にすぎない。台形様石器を組成する。ブロック内での接合資料はないが、同一母岩の剥片・石核があることから、剥片剥離が行われていた場所であると推定される。

ブロック3については、周囲の石器分布と比較して際立つ集中が見られないため設定に躊躇した。しかし、白色の玉髄を多用する点や石器組成でブロック1・2とは異なること、Ⅲ・Ⅳ層で石器が比較的安定していることから、あえてブロックを設定した。

2 遺　物

石器はⅠ～Ⅴ層で出土したが、旧石器のブロック1・2と縄文土器の出土範囲が重なるので、ここで扱う石器には縄文時代の石器が含まれている可能性がある。ただし、縄文時代の剥片石器には珪質頁岩は多用されていないので、混入があったとしても少数であると推定されるが、礫・礫片については上下移動が少なかったと考えられ、Ⅱ層以上から出土したものは縄文時代に属する可能性が高い（別表1③）。

A 分　類

石器は以下のように分類した。

台形様石器

小形の剥片の縁辺を刃部として、一部に刃潰し状の二次加工が施された石器。

ナイフ形石器

剥片または石刃の一部に刃潰し状の二次加工が施され、形が整えられた石器。二次加工が施されずに残った素材縁辺を刃部と認定する。ナイフ形石器はさらにⅠ～Ⅶ類に細分した。

Ⅰ類：基部に二次加工が施されたもので、素材の打面を残すもの。さらに基部の主要剥離面に二次加工が認められるものをⅠa類、認められないものをⅠb類とする。

Ⅱ類：基部に二次加工が施されたもので、素材の打面を残さないもの。さらに基部の主要剥離面に二次加工が認められるものをⅡa類、認められないものをⅡb類とする。

Ⅲ類：先端部のみに二次加工が施されたもの。

Ⅳ類：一側縁の全部あるいは大部分とその反対側の基部に二次加工が施され、いわゆる二側縁加工のナイフ形石器となるもの。

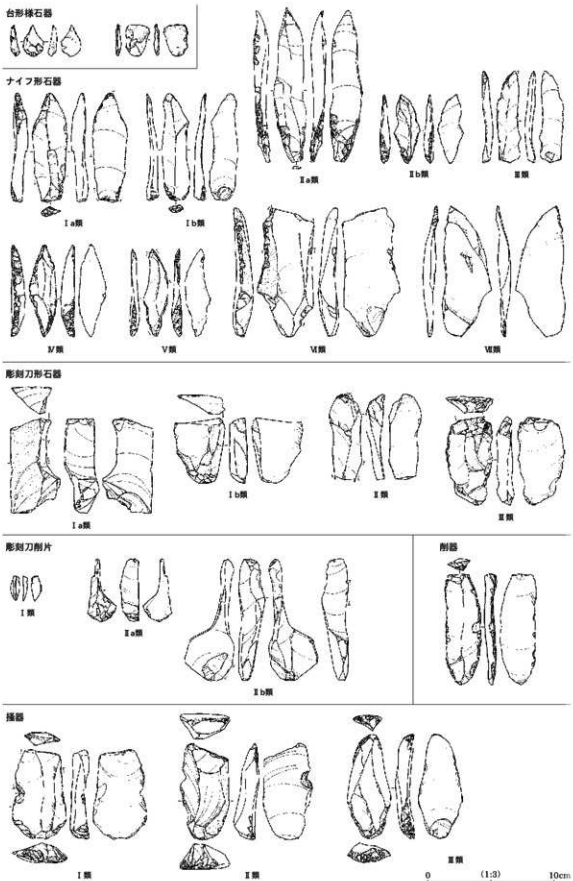
Ⅴ類：素材の打面側が先端になるようにし、先端と基部を二次加工によって作出するもの。

Ⅵ類：基部を両側縁から挟るような二次加工を施して茎部を作り出すもの。

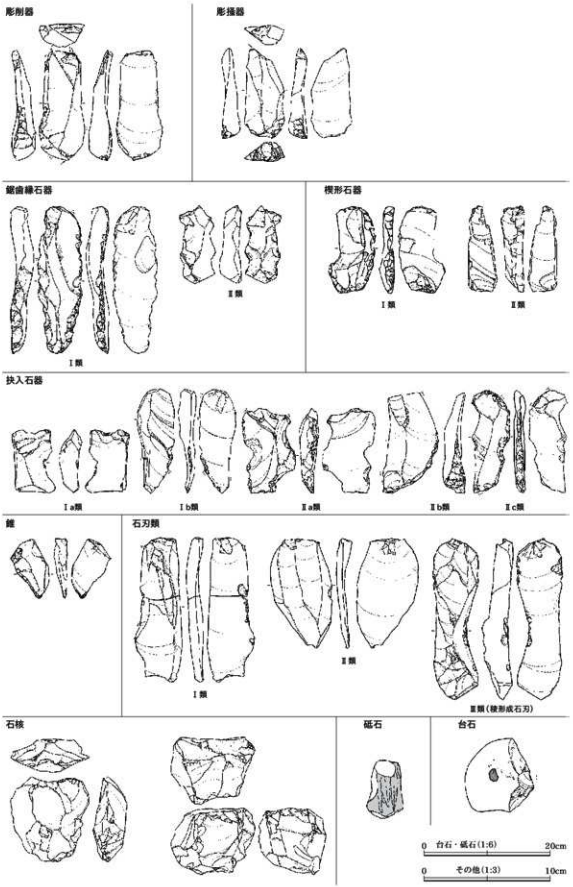
Ⅶ類：横長の剥片を素材として先端と基部に二次加工を施すもの。

彫刻刀形石器

石刃または剥片の縁辺に沿ってこれを取り込むような1枚の二次加工剥離面を樋状剥離とし、これが認められた石器を彫刻刀形石器とする。この樋状剥離を彫刻刀面、その打面を彫刻刀打面と呼ぶ。彫刻刀面

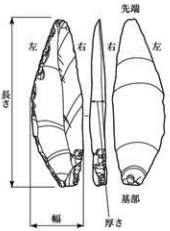

台形様石器
ナイフ形石器
Ⅰa類
Ⅰb類
Ⅱa類
Ⅱb類
Ⅲ類
Ⅳ類
Ⅴ類
Ⅵ類
Ⅶ類
彫刻刀形石器
Ⅰa類
Ⅰb類
Ⅱ類
Ⅲ類
彫刻刀削片
Ⅰ類
Ⅱa類
Ⅱb類
削器
掻器
Ⅰ類
Ⅱ類
Ⅲ類
0
(1:3)
10cm

第９図　旧石器分類図（1）

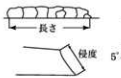


第10図　旧石器分類図（2）

ナイフ形石器



二次加工
方向　R：鋭上を打面とする背面への加工
　　D：主要剥離面を打面とした背面への加工
　　V：背面を打面とした主要剥離面への加工
　　DV,VD：両面への二次加工の順序



打面
有：素材打面を残す
無：素材打面を取り去る
欠：欠損

ナイフ形石器折れ
方向V：主要剥離面からの折れ
　　D：背面からの折れ
末端H：ヒンジ状にめくれた末端
打点、折れ面の打点の有無

石刃類

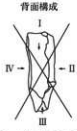
打面形状

打点位置

打点径

不明：打点不明瞭
不計：計測不能

打面の種類
調　整：調整打面、打点のある複数の剥離面で構成される
単　剥：単剥離面打面、1枚の剥離面で構成される
複　剥：複剥離面打面、打点のない複数の剥離面で構成される
自然面：自然面打面、打面の全部が自然面
節理面：節理面打面、打面の全部が節理面



○：該当する背面あり
×：該当する背面なし

頭部調整
○：頭部調整あり
×：頭部調整なし

バルブ形状

剥離角

二次加工ある石刃・微細剥離ある剥片
二次加工部位
部位　左：左側縁
　　右：右側縁
　　末端：「－」は左右側縁がV字状に接するため末端縁がない
略号　D：背面への加工
　　V：腹面への加工
　　D、V：背面、腹面への加工が離れた場所にある
　　D・V：背面、腹面への加工が同じ場所、あるいは一連の場所にある
　　m：二次加工はないが、微細剥離はある（二次加工ある石刃のみ適用）
　　×：加工なし
　　欠：欠損

末端形状　F：羽毛状剥離
　　H：蝶番剥離
　　S：階段状剥離
　　O：ウートラパッセ
折れ面　V：主要剥離面からの折れ
　　D：背面からの折れ

第11図　石器属性計測基準

が素材の縁辺でなく背面に作出された場合、素材の縁辺が取り込まれないので厳密には樋状剥離とすることはできないが、彫刻刀打面の作出が認められた場合はこれも彫刻刀面とした。彫刻刀形石器は3類に細分した。

Ⅰ類：折断面を打面として、彫刻刀面を作出するもの。彫刻刀面作出に際し、打面調整を行うものをⅠａ類、行わないものをⅠｂ類とする。

Ⅱ類：素材末端に打面調整を行い、彫刻刀面を作出するもの。

Ⅲ類：素材打面側の表裏面に二次加工を施して打面とし、彫刻刀面を作出するもの。

彫刻刀削片

剥離面の観察から樋状剥離によって生じたと判断された剥片類を彫刻刀削片とする。2類に細分した。

Ⅰ類：末端がフェザーエンドの石刃・剥片。

Ⅱ類：末端が「し」字状を呈し、打面と相対する側縁を取り込んでいるもの。掻器刃部を取り込んでいるものをⅡａ類、素材打面を取り込んでいるものをⅡｂ類、素材末端を取り込んでいるものをⅡｃ類と細分した。

削　器

石刃または剥片の側縁に、連続する剥離により刃部が作出された石器。

掻　器

石刃または剥片の端部に連続する急斜度の剥離で、弧状の分厚い刃部が作出された石器。刃部の位置で3類に細分した。

Ⅰ類：素材の末端に刃部を作出するもの。

Ⅱ類：素材の打面側に刃部を作出するもの。

Ⅲ類：素材の両端に刃部を作出するもの。円形掻器も含む。

彫削器・彫掻器

掻器または削器に相当する刃部を持つ石器に彫刻刀面があり、両者の切り合い関係が不明な石器。

鋸歯縁石器

石刃または剥片の縁辺に鋸歯縁状に連続する抉入部が作出された石器。2類に細分した。

Ⅰ類：素材の形状を大きく変えず、縁辺部のみの加工にとどまるもの。

Ⅱ類：素材の形状を大きく変えるもの。石核の可能性もある。

抉入石器

石刃または剥片の縁辺に不連続な抉入部を作出した石器。2類に細分した。

Ⅰ類：1つの抉入部が1枚の剥離面を主体として作出されるもの。調整の形状から、石核状を呈するものをⅠａ類、素材縁辺に抉入部のみ作出するものをⅠｂ類として細分した。

Ⅱ類：1つの抉入部が複数枚の剥離面で作出されるもの。調整の形状から、石核状を呈するものをⅡａ類、素材縁辺に抉入部のみ作出するものをⅡｂ類、抉入部が削器刃部と複合するものをⅡｃ類として細分した。Ⅱｂ類には彫刻形石器未成品と推定されるものもある。

楔形石器

両極剥離によって生じる、相対する剥離痕をもつ石器。2類に細分した。

Ⅰ類：打点となる部分が二次加工によって調整されているもの。

Ⅱ類：打点となる部分に顕著な二次加工が施されないもの。

錐

石刃または剥片の１端に両側縁からの剥離で尖った刃部を作り出した石器。

石　　刃

長さが幅のほぼ２倍以上で、両側縁と背面の稜線が平行する剥片を石刃とする。背面構成によってⅠ～Ⅲ類に分類した。

Ⅰ類：背面が全て主要剥離面と同じ方向の剥離面によって構成されるもの。

Ⅱ類：背面が主要剥離面と同じ方向及び逆方向の剥離面によって構成されるもの。

Ⅲ類：背面に主要剥離面と直交する方向の剥離面を含むもの。

なお、背面に打点の残る横方向の剥離面や、打点を残さないものの連続した横方向の剥離が認められ、これを石刃技法の稜形成による剥離面と判断できる場合は、この石刃を稜形成石刃とした。

剥片・砕片

折断面、破損面などを除く最終剥離面がポジティヴな石器で、石刃及び彫刻刀削片を除いたものを剥片・砕片とした。両者の区別は1cm角以上を剥片、以下を砕片として便宜的に区別した。砕片の中には最終剥離面が不明なほど微細なものが存在する。

二次加工ある石刃（剥片）・微細剥離ある石刃（剥片）

石刃（剥片）の一部に不規則な二次加工が加えられた石器を二次加工ある石刃（剥片）あるいは微細剥離ある石刃（剥片）とする。両者の区別は剥離侵度2mm以上を二次加工、以下を微細剥離として便宜的に区別した。

石　　核

石刃あるいは剥片を作出した石塊。厚手の剥片を素材としているものもあり、とくに台形様石器の素材剥片を剥離していたと推定される白色の玉髄製に多い。

砥　　石

砥面を持つ石器。

台　　石

剥離作業時に作業台として使用したと推定される礫。

B　石器各説

出土石器の各説はブロック出土石器、ブロック外出土石器の順に行う。出土石器の石器組成は別表１①、石材組成は別表１②で示したとおりである。各説で用いる石器部位などの名称の基準は、第11図のとおりである。観察表はフルイ選別資料のうち砕片を除く遺物全点を掲載した。遺物属性表はナイフ形石器、石刃類について掲載した。観察表、属性表の計測基準は第11図のとおりである。本文観察表の遺物番号は発掘調査の遺物取り上げの際につけたもの、あるいは整理作業の際に追加してつけたものである（第Ⅰ章2C２）参照）。

1）ブロック1a出土石器（図版10～23・61～63・65）

964点の石器が出土した。石器組成は別表１④、石材組成は別表１⑤に示す。

ナイフ形石器（1～6・9・11～15　実測図番号、以下同じ）　15点出土したが２点１組が接合するので、14点となる。14点の内訳はⅠａ類２点（2・15）、Ⅰｂ類５点（1・3～5・13）、Ⅱｂ類１点（6）、Ⅴ類２

点（11・12）、Ⅵ類1点（14）、不明3点（9）である。13は先端が両側縁から調整されており錐の可能性もあるが、先端に顕著な摩耗は認められない。

錐（16）　1点出土した。刃部末端に磨耗が認められる。

彫刻刀形石器（17～19・21・22・27）　7点出土し、Ⅰa類2点（19・21）、Ⅰb類5点（17・18・22・27）に分類される。18は節理による折面を彫刻刀打面にしている。22には彫刻刀打面作出の剥片23が接合する。27は大形の剥片を折断して、折面を彫刻刀打面にしている。

削　器（34・36・37・39・41・42・44～46）　13点出土したがブロック内で6点3組、ブロック外と2点2組の接合があるため11点となる。このうち42と46では破損後の刃部再生が認められる。

掻　器（48～50・52～54・56・57～63）　18点出土したが4点2組が接合するので、16点となる。Ⅰ類12点（48・50・52～54・56・57～60・63）、Ⅱ類1点（49）、Ⅲ類2点（61・62）、不明1点に分類される。61上側の刃部は素材の石核底面を利用している。

彫 削 器（64）　1点出土した。両端に彫刻刀打面を持つ。

彫 掻 器（65）　1点出土した。1端に掻器刃部、反対側に彫刻刀打面を持つ。

鋸歯縁石器　Ⅰ類が1点出土した（B1-33、以下写真のみ掲載のものは遺物No.を記す）。

抉入石器（72～74）　13点出土したが2点1組が接合するので、12点となる。Ⅰa類4点（72～74・B1-262）、Ⅰb類2点（B1-22）、Ⅱb類6点（B1-283・346）に分類される。

楔形石器（78～80・82・84）　12点出土したが2点1組が接合するので、11点となる。Ⅰ類9点（78～80・84・14H-108・B1-29・B1-300+B1-100）、Ⅱ類1点（82）、破損しているがⅠ類と推定されるもの1点に分類される。

石 刃 類（86～89・93・94）　二次加工ある石刃14点（86～88・94）、微細剥離ある石刃37点（89）、石刃12点（93）が出土した。二次加工ある石刃は2点1組が接合し、13点となる。微細剥離ある石刃は3組6点が接合し、34点となる。

剥 片 類（23・28・29・76・91・92）　二次加工ある剥片13点（28・29・76）、微細剥離ある剥片30点（91・92）、剥片86点（23・85）が出土した。91は彫刻刀形石器の可能性もある。

石　核（95）　4点出土した（95・B1-240）。95は打面転位を頻繁に行いながら小形の剥片を剥離している。打面への頭部調整は比較的丁寧に行われている。

砥　石（96）　1点出土した。目の粗い砂岩の表面に幅約5mm、断面V字状の溝状砥面を持つ。

台　石（97）　1点出土した。偏平な円礫の表裏に幅約1mmの線状の窪みが密集する。凹痕を切る形で右側に打ち欠きがある。両極剥離の台石と推定されるが、礫器として使用された可能性もある。

2）ブロック1b出土石器（図版10～23・61～63・65）

501点の石器が出土した。石器組成は別表1④、石材組成は別表1⑤に示す。

ナイフ形石器（8・10）　2点出土し、Ⅱb類（8）、不明（10）各1点に分類される。

彫刻刀形石器（20・31）　2点出土し、Ⅰb類（31）、Ⅱ類（20）各1点に分類される。

削　器（32・33・35・37・38・43）　7点出土し、37はブロック1a出土石器と折れ面で接合する。

掻　器（47・50・51・55）　11点出土したが2点1組が接合するので、10点となる。Ⅰ類3点（50・51）、Ⅲ類2点（47・55）、不明5点に分類される。

鋸歯縁石器（66・69）　2点出土し、Ⅰ類（69）・Ⅱ類（66）に分類される。

抉入石器（71）　4点出土し、Ⅰb類1点（B1-222）、Ⅱb類3点（71・B1-198）に分類される。

楔形石器（77・81）　3点出土し、Ⅰ類2点（77・16G-28）、Ⅱ類1点（81）に分類される。

石 刃 類（90）　二次加工ある石刃4点、微細剥離ある石刃9点（90）、石刃4点が出土した。微細剥離ある石刃は2点1組が接合し、8点となる。石刃は2点1組が接合し、3点となる。

剥 片 類（30・67・68）　二次加工ある剥片3点、微細剥離ある剥片16点（30・67）、剥片43点（68）が出土した。

石　核　フォルンフェルス製の石核1点が出土した。

3）ブロック1c出土石器（図版10～23・61～63・65）

41点の石器が出土した。石器組成は別表1④、石材組成は別表1⑤に示す。

ナイフ形石器（7）　2点出土し、Ⅳ類（7）、不明各1点に分類される。7は基部右側背面への調整が腹面側と稜上から行われている。

彫刻刀形石器　Ⅰb類1点が出土した（14I-70）。

削　器（40）　2点出土した。

掻　器　1点出土したが、分類は不明である。

鋸歯縁石器　Ⅰ類1点が出土した（14I-21）。

抉入石器（70）　3点出土し、Ⅰa類（70）、Ⅰb類、Ⅱb類（14I-104）各1点に分類される。

石 刃 類　二次加工ある石刃1点、微細剥離ある石刃4点、石刃2点が出土した。

石　核　珪質頁岩製1点が出土した。

剥 片 類（83）　微細剥離ある剥片4点（83）、剥片17点が出土した。

4）ブロック2出土石器（図版24～29・64・65）

1,258点の石器が出土した。石器組成は別表1④、石材組成は別表1⑥に示す。

ナイフ形石器（98～109）　15点出土した。Ⅰb類5点（98～101・109）、Ⅱa類3点（102～104）、Ⅱb類2点（105・106）、Ⅲ類2点（107・108）、不明3点である。

彫刻刀形石器（110・111）　2点出土し、Ⅰb類（110）、Ⅱ類（111）各1点に分類される。

削　器（112～115）　10点出土した。B2-11はブロック外B2-127と接合するが、折れ面に剥離が認められる。

掻　器（116～122）　10点出土し、Ⅰ類6点（117～120）、Ⅲ類4点（116・121・122）に分類される。

彫 削 器　1点出土した（B2-112）。右側腹面に削器刃部を作出、折面を彫刻刀打面にしている。

鋸歯縁石器（123）　Ⅰ類2点が出土した（123・B2-127）。

抉入石器（124～127）　4点出土した。Ⅰb類2点（126・127）、Ⅱa類1点（124）、Ⅱc類1点（125）に分類される。

楔形石器（128・130・132～134）　12点出土したが2点1組が接合し、11点となる。Ⅰ類5点（128・130・132・133・B2-25+B2-30）、Ⅱ類4点（134・12G-44）、破損しているがⅠ類と推定されるもの2点に分類される。

石 刃 類（129・135・137）　二次加工ある石刃7点（135）、微細剥離ある石刃20点（137）、石刃

7点（129）が出土した。二次加工ある石刃は2点1組が接合し、6点となる。微細剥離ある石刃は2点1組が接合し、19点となる。135の背面・折面には黒色付着物が認められる。

剥 片 類（136・138）　二次加工ある剥片6点、微細剥離ある剥片22点（136・138）、剥片94点が出土した。136は背面右側の剥離面が彫刻刀面の可能性もあるが、微細剥離のため主要剥離面との切り合い関係が不明である。138はブロック1の微細剥離ある剥片（92）と同一母岩に属する。

石　核（139・140）　3点出土した。珪質頁岩製2点（139・140）、玉髄1点である。139は両設打面の石刃石核である。

5）ブロック3出土石器（図版29・30・65）

60点の石器が出土した。石器組成は別表1④、石材組成は別表1⑥に示す。

台形様石器（142・143）　2点出土した。142・143は両面がポジ面の剥片を素材とする。142は打面側と右側縁を折断し調整を加えている。143は基部左側と左側縁に調整が施されている。左側縁は背面稜上からも調整が行われている。

彫刻刀形石器（145・147）　2点出土し、Ⅰa類（145）、Ⅲ類（147）各1点に分類される。

鋸歯縁石器（144）　Ⅱ類1点が出土した。

楔形石器（146）　2点出土し、Ⅰ類（146）、Ⅱ類各1点（14E-12）に分類される。

石 刃 類（148・149）　微細剥離ある石刃3点、石刃3点（148・149）が出土した。

剥 片 類　二次加工ある剥片2点、微細剥離ある剥片5点、剥片34点が出土した。

石　核（150～153）　石核5点が出土した。全て白色の玉髄製である。150～153は厚手の剥片を素材としている。151・153は裏面、152は表面に素材の主要剥離面が残る。152にはパンチ痕が残る。

6）ブロック外出土石器（図版31～33・65）

911点の石器が出土した。石器組成は別表1④、石材組成は別表1⑦に示す。

台形様石器（154～156）　3点出土した。いずれも両面ポジ面の剥片を素材とする。154は左裏面に二次加工が施されている。156は右裏面に二次加工が施される。左表面にみられる剥離は素材剥離前のものである。155は左側縁を折断後、調整が施されている。右側縁には素材の打面が残存する。裏面左半分を占める剥離は、素材剥離時にできたものである。

ナイフ形石器（157・158・159）　2点出土した。Ⅳ類（159）、Ⅴ類（157）、Ⅶ類（158）各1点に分類される。157は一次調査出土石器である。基部と先端部に調整が施されており削器の可能性もあるが、急斜度の剥離がナイフ形石器の刃潰し加工と共通する。

彫刻刀形石器（160・162）　2点出土し、Ⅰa類（162）、Ⅰb類（160）各1点に分類される。

削　器（42）　1点出土した。ブロックⅠa出土石器と接合する。

掻　器（163・164）　13点出土し、Ⅰ類8点（163・164）、不明5点に分類される。

抉入石器　Ⅱb類1点が出土した。

楔形石器（166）　3点出土し、Ⅰ類1点（11I-3）、Ⅱ類2点（166・13F-1）に分類される。

石 刃 類（165）　二次加工ある石刃6点（165）、微細剥離ある石刃5点、石刃6点が出土した。

剥 片 類　二次加工ある剥片11点、微細剥離ある剥片22点、剥片107点が出土した。

石　核（170～175）　15点出土したがチャート製の2点は接合する。珪質頁岩製6点（173～175・

14F-7・17D-20①)、白色の玉髄製4点（170・171)、鉄石英製2点（172)、流紋岩製1点がある。170・171はブロック3の石核にみるような素材剥片の腹面は認められない。170は打面転位を頻繁に行うが、171は打面を固定している。173・174は厚手の剥片を素材に、折れ面を打面として剥離を行っている。172は両極打法で剥離作業を行っている。175は珪質頁岩の礫に粗い剥離を加えている。

礫　石（176）　1点出土した。幅5～10mm程度の筋状砥面が2面に認められる。

C　母岩別資料

円山遺跡の使用石器石材は珪質頁岩と白色の玉髄に大別される。調査では3か所のブロックが識別されたが、ブロック間の接合資料はなく、接合資料から各ブロックの同時性を検討することはできなかった。このため、母岩の共有関係からブロックの同時性を検討することにした。

1）母岩の識別と分類

母岩の識別は、石材の色調・模様・粒度・光沢・質感などを手がかりに肉眼観察で行った。接合資料の中には、同一母岩にもかかわらず風化の進行の度合いで全く異なる色調・質感を呈するものもあるので、今回行った識別には多少の誤差が存在する可能性があることを断っておく。

出土石器のうち334点、138母岩の母岩識別が可能であった。接合状況により各母岩をA～E類及び単独母岩に分類した。

A類：母岩内に石核と剥片などの接合資料があるもの。

B類：母岩内に石刃（剥片）と石刃（剥片）の接合があるもの。

C類：母岩内に調整剥離にかかわる接合資料があるもの。

D類：母岩内に折れによる接合資料があるもの。

E類：接合資料はないが、同一母岩と識別できるもの。

F類：単独資料のうち、新しい欠損面（ガジリ）で接合するもの。

単　：単独資料。

各母岩の説明は、A～E類について一覧表に示した（第1～3表)。なお、F類は母岩No.91～95、「単」はA～F類以外である。各母岩に属する石器については、巻末の石器観察表に母岩No.を記した。

分類の結果、A類1個体、B類2個体、C類10個体、D類24個体、E類53個体、F類5個体、単独43個体となった。素材の剥離作業を示すA・B類が少なく、調整剥離を示すC類も多くない。これに対して単独母岩が48個体と多く、このうち15点はナイフ形石器などのトゥール、12点は二次加工あるいは微細剥離ある石刃・剥片である。

以上のことから、円山遺跡では原石を持ち込んでの連続的な剥離作業や石器製作作業があまり行われず、トゥールなどの持ち込みが多かったと推定される。

2）ブロック間での共有関係

母岩別資料A～C類の出土状況を図版9に、ブロック別出土点数を第2表に示した。ブロック1a～1c間では14母岩に共有関係が認められた。ブロック1・2間では4母岩、ブロック2・3間では1母岩の共有関係が認められた。ブロック1・3間の共有関係は認められなかった。このことからブロック1・2については同時性を認めることができよう。ブロック2・3間については1母岩、各ブロックに1点ずつ

母岩No.	岩石名	色調	粒度	光沢	特徴	自然面の特徴
1	珪質頁岩	灰色	粗	なし	明褐灰色の網	
2	珪質頁岩	灰白色	中	なし	にぶい橙色の墨流し	
3	珪質頁岩	灰白色	細	なし	灰色の縞	
4	珪質頁岩	明褐灰色	中	弱	黄灰色の斑点	
5	珪質頁岩	灰オリーブ色	粗	なし		
6	珪質頁岩	灰白色	細	中	黄灰色の斑点	
7	珪質頁岩	灰白色～明褐灰色	中	なし		
8	安山岩	灰色	粗	なし		
9	珪質頁岩	褐灰色・黄灰色	細	なし	褐灰色・黄灰色のまじり	
10	珪質頁岩	黒色	細	中	褐灰色の墨流し，淡黄色の小斑点多い	
11	珪質頁岩	灰白色	中	なし		
12	珪質頁岩	灰白色	中	弱	黒色の小斑点	
13	珪質頁岩	白色～灰白色	細	なし		
14	珪質頁岩	褐灰色	中	弱	白色の縞	浅黄橙色で小凹凸
15	珪質頁岩	褐灰色	中	中		
16	珪質頁岩	褐灰色	中	弱	にぶい赤褐色の網	
17	珪質頁岩	褐灰色・明灰褐色	中	弱	白色・黒色の小斑点	灰色で平滑
18	珪質頁岩	淡黄色	中	なし		
19	珪質頁岩	灰色	細	なし	白色の虫喰い	にぶい橙色で小凹凸
20	珪質頁岩	灰白色	細	なし	赤灰色の小斑点多い	にぶい黄橙色で凹凸
21	珪質頁岩	灰白色	細	弱	白色の網目	
22	珪質頁岩	灰白色	粗	なし	褐灰色の小斑点	浅黄色，小凹凸
23	珪質頁岩	灰白色	中	なし	黒色の小斑点	
24	珪質頁岩	灰白色	中	なし	にぶい橙色の網目	橙色で細かい凹凸あり
25	珪質頁岩	灰白色	中	なし	褐灰色に縁どられた白色虫喰い	
26	珪質頁岩	灰白色	細	なし	黒色の小斑点	
27	珪質頁岩	灰白色	細	なし	黒色の小斑点と縞	
28	珪質頁岩	灰白色	細	なし	黒色の小斑点	
29	珪質頁岩	灰白色	中	弱	赤灰色の墨流し，黒色の小斑点	明褐色で平滑
30	珪質頁岩	灰白色	中	弱	黒色の小斑点	
31	珪質頁岩	灰白色	中	なし	褐灰色の縞，白色の斑点	灰白色で平滑
32	流紋岩	灰白色	粗	なし	褐灰色の細い縞	淡黄色で平滑
33	珪質頁岩	灰白色	細	弱	白色の虫喰い	にぶい橙色で平滑
34	珪質頁岩	灰白色～明褐灰色	中	なし		橙色で平滑
35	粘板岩	灰色	細	なし		
36	流紋岩	にぶい黄褐色	粗	なし	灰色の虫喰い	
37	チャート	暗青灰色	細	なし		
38	流紋岩	灰白色・淡黄色	粗	なし	灰白色・淡黄色の細い波状の縞	
39	玉髄	白（赤灰色～にぶい赤褐色）	中	なし	白色の斑点	淡黄色で小凹凸
40	玉髄	白（白色）	細	なし	淡黄色の挟在物	
41	玉髄	（白）灰赤色	細	弱	白色の縞，にぶい褐色の斑点	
42	玉髄	白（灰白色）	細	なし	灰黄褐色の細い縞，白色の斑点	浅黄橙色で小凹凸
43	玉髄	白（灰白色）	中	なし	灰色の網，淡黄色の挟在物	
44	玉髄	白（灰白色）	細	なし		
45	玉髄	白（灰白色）	細	なし	白色の斑点	明黄褐色
46	玉髄	白（灰白明褐灰色）	細	なし	灰白色の大小の斑点	明褐色
47	玉髄	白（灰白色～白色）	細	なし	白色の小斑点	
48	流紋岩	明緑灰色	粗	なし		
49	玉髄	赤灰色	細	強	灰白色の網目	
50	珪質頁岩	浅黄色	粗	なし	白虫喰い	浅黄色で平ら，ザラつく
51	珪質頁岩	暗赤褐色	細	中	白色・黒色の小斑点	
52	珪質頁岩	褐灰色	中	なし	明褐灰色の帯	浅黄色で平滑
53	珪質頁岩	褐灰色	細	なし	灰褐色の墨流し	
54	珪質頁岩	褐灰色	細	なし	灰褐色の墨流し	黄褐色で平滑
55	珪質頁岩	褐灰色	細	なし	黒褐色の斑点	
56	玉髄	褐灰色	細	強	灰白色の網目	
57	珪質頁岩	褐灰色～にぶい橙色	中	弱	白色の斑点	
58	珪質頁岩	黒褐色	細	強	白色の小斑点	灰白色で凹凸
59	珪質頁岩	白色	細	中	灰色の墨流し	
60	珪質頁岩	白色	中	なし	にぶい橙色の網目，黒色の小斑点	
61	珪質頁岩	白色	中	なし	明褐灰色の網	
62	珪質頁岩	にぶい褐色	細	弱	灰色の小斑点	橙色で平滑
63	珪質頁岩	にぶい褐色	細	弱	灰色の墨流し	淡黄色で平滑
64	珪質頁岩	にぶい褐色・褐灰色・灰白色	細	中	にぶい橙色・褐灰色・灰白色の縞，白色の斑点	
65	珪質頁岩	灰赤色	細	中	明褐灰色の縞	橙色で平滑
66	珪質頁岩	灰赤色・明赤灰色	細	なし	灰赤色・明赤灰色の縞	
67	凝灰岩	灰色	粗	なし	暗赤色の墨流し	
68	珪質頁岩	灰褐色	細	中	白色・黒色の小斑点	黄褐色で凹凸
69	珪質頁岩	灰褐色	細	なし	黒色の縞	にぶい赤褐色で平滑
70	珪質頁岩	灰白色	細	なし		浅黄橙色で小凹凸
71	珪質頁岩	灰白色	細	なし	白色の網目	浅黄橙色で平滑
72	玉髄	白（灰白色）	中	なし	白色の墨流し，明黄褐色の挟在物	
73	玉髄	白（灰白色）	中	なし	白色の縞	
74	珪質頁岩	灰白色	細	強	灰赤色網，黒色の小斑点	
75	珪質頁岩	灰白色	細	弱	明褐灰色の網目	
76	珪質頁岩	灰白色	細	弱	にぶい赤褐色の網目	
77	珪質頁岩	灰白色	中	なし	灰赤色の斑点	
78	珪質頁岩	灰白色	細	中	褐灰色の網，斑点	白色で平滑
79	珪質頁岩	灰白色	細	中	明褐灰色に縁どられた白虫喰い	
80	珪質頁岩	灰白色	中	なし	白虫喰い	
81	珪質頁岩	灰白色	中	なし	浅黄橙色の縞	灰白色・淡黄色で平滑
82	珪質頁岩	灰白色	細	なし	灰色の縞	灰白色で平滑
83	玉髄	灰白色	細	中	にぶい黄橙色・白色の斑点	
84	珪質頁岩？	灰白色	粗	なし	灰オリーブ色の縞	
85	珪質頁岩	灰白色	中	なし	黒色の小斑点	
86	珪質頁岩	灰白色・橙色	細	強	灰白色・橙色のまじり	
87	珪質頁岩	明赤灰色	細	なし	灰白色の斑点	灰白色で平滑
88	珪質頁岩	明褐灰色	中	なし	全体に橙色がかる	
89	ﾌｫﾙﾝﾌｪﾙｽ	褐灰色	粗	なし	灰色の縞，小孔多い	
90	珪質頁岩	灰白色・にぶい橙色	粗	なし	灰白色・にぶい橙色のまだら	
148	玉髄	白（明赤灰色）	細	なし	白色の斑点	白色

第1表　各母岩の特徴（旧石器）

母岩No.	1a	1b	1c	2	3	外	合計
1				2		1	3
2	2						2
3	2					1	3
4		3					3
5						7	7
6	1			1			2
7	2						2
8		2					2
9				2			2
10	3	2		4		2	11
11				2			2
12	2						2
13	1		1				2
14	2						2
15				4			4
16		2					2
17	1	1					2
18	2	1					3
19	2						2
20				3			3
21				2			2
22	2						2
23	2						2
24	2					1	3
25	1	2					3
26	1					1	2
27	2					1	3
28	2						2
29	2	2					4
30	3	1	1				5
31	2						2
32						4	4
33	1	1					2
34				2			2
36			3				3
37						3	3
38						2	2
39					2		2
40						2	2
41						2	2
42					11	3	14
43					4	3	7
44						4	4
45						4	4
46					3	13	16
47						2	2
48			2				2
49					2		2
50				3			3
51				2			2
52				3			3
53	1	1					2
54						3	3
55	3			1			4
56					1	2	3
57	2						2
58	1			1			2
59	2						2
60				2			2
61				2			2
62					1	1	2
63	1		1				2
64	2			2			4
65				2			2
66	2						2
67				2			2
68				2			2
69				2			2
70	2						2
71	2						2
72					4	1	5
73					2	3	5
74				3			3
75				2		1	3
76				1		1	2
77				2			2
78						2	2
79	2						2
80	1		1				2
81		2					2
82	2						2
83					6	1	7
84		1	1				2
85	2						2
86				1	1	3	5
87	12	1					13
88				2			2
89	1	1					2
90	3						3
148						2	2
外	22	8	3	7	2	8	50
計	103	31	13	64	39	84	334

第2表　各母岩のブロック別出土点数

母岩No	母岩形態	台形様石器	ナイフ形石器	彫刻刀形石器	彫掻器	削片	削器	掻器	抉入石器	鋸歯縁石器	楔形石器	二次加工ある石刃	微細剥離ある石刃	石刃	二次加工ある剥片	微細剥離ある剥片	剥片	砕片	石核	合計
1	A																2		1	3
2	C									1						1				2
3	C							1						1	1					3
4	C								1						1	1				3
5	B												1			5		1		7
6	E														2					2
7	B										1		1							2
8	C							1								1				2
9	C									1		1								2
10	C		1		2		1	1				2	1		1	2				11
11	C									1			1							2
12	C			1												1				2
13	C									1					1					2
14	D						2													2
15	D			1							1	2								4
16	D						2													2
17	D					2														2
18	D						3													2
19	D											2								2
20	D									2						1				3
21	D										2									2
22	D		2																	2
23	D					2														2
24	D					3														3
25	D										1		2							3
26	D					2														2
27	D						1	2												3
28	D											2								2
29	D		1			2	1													4
30	D			1				1						2	1					5
31	D										1				1					2
32	D															4				4
33	D										2									2
34	D					1			1											2
36	D															3				3
37	D															1		2		3
38	D															2				2
39	E			1										1						2
40	E	1														1				2
41	E	1														1				2
42	E														1	9		4		14
43	E	1														6				7
44	E												1			3				4
45	E														1	3				4
46	E										1	1		3		8		3		16
47	E														2					2
48	E												1				1			2
49	E									1						1				2
50	E												1			2				3
51	E		1				1													2
52	E					1		2												3
53	E														2					2
54	E						1				1					1				3
55	E										1	2				1				4
56	E									1				1	1					3
57	E											1						1		2
58	E						1					1								2
59	E		1									1								2
60	E											2								2
61	E					2														2
62	E															1		1		2
63	E							1				1								2
64	E									3					1					4
65	E						1								1					2
66	E						1						1							2
67	E															2				2
68	E						1						1							2
69	E									1						1				2
70	E							1												2
71	E										1	1								2
72	E													1	2	2				5
73	E	1											1	1		2				5
74	E														2	1				3
75	E														2	1				3
76	E												1	1						2
77	E						1							1						2
78	E			1											1					2
79	E							1				1								2
80	E							1				1								2
81	E			1		1														2
82	E													1		1				2
83	E				1							1		1	2	2				7
84	E							1							1					2
85	E															2				2
86	E											1			2	1		1		5
87	E											1	1	2	3	6				13
88	E						1					1								2
89	E															2				2
90	E											2				1				3
148	C			1		1														2
外	F-単		4	2	1		2	2	1		3	2	7	1		5	16		4	50
計		4	11	9	1	4	18	20	14	2	15	14	34	15	16	37	101	1	18	334

形態 A：石核と剥片などの接合　B：石刃（剥片）と石刃（剥片）の接合　C：調整剥離
　　D：折れ　E：接合なし

第3表　各母岩の出土点数と分類

という最低限の共有関係であるので、ここから同時性を積極的に評価するのは早計かもしれない。

D　接合資料

接合資料は折れ面による接合を除き、14例がある（図版9）。

母岩1　B2-6+B2-18（140・141）石核と剥片の接合である。剥片（141）は打面が礫面である。石核（140）の作業面A・B面の打面調整剥片として剥離されている。

母岩2　B1-63+B1-107（84・85）両極石器（84）と剥片（85）の接合資料である。85は両極打撃により剥離したと推定される。

母岩3　B1-260+B1-272+53Tr-2（74～76）抉入石器（74）、二次加工ある剥片（76）、微細剥離ある剥片（75）の接合資料である。76は74の腹面を打面として剥離されたあと、右側縁に二次加工が施されている。75は74左側縁が背面側から折れたときにできた剥片の一部である。折れ面に微細剥離が認められる。

母岩4　B1-133+B1-226+16G-32（66～68）鋸歯縁石器（66）、微細剥離ある剥片（67）、剥片（68）の接合資料である。66の背面から67が剥離されたあと、打点を左に移動し腹面から68が剥離されている。その後、打点を右に移動しながら腹面側への剥離が行われている。

母岩5　17D-24+17D-22（168・169）　剥片同士の接合資料である。169の背面構成から、打面転位は行わず、ある程度連続して同大の剥片を剥離していたと推定される。同一

母岩中に同様の接合資料（17D-16+17D-23）が存在する。

母岩7　B1-78+B1-182（93・94）　二次加工ある石刃（94）と石刃（93）の接合資料である。93、94の順に剥離されている。93の剥離にあたり頭部調整は行われていないが、94の剥離に際しては頭部調整が行われている。

母岩8　B1-198+B1-207　挟入石器（B1-198）と剥片（B1-207）の接合資料である。挟入石器の素材剥片が剥離される前の打面調整的な剥離の接合例である。

母岩9　B2-149+11H-11（130・131）　楔形石器（130）と微細剥離ある石刃（131）の接合資料である。両端を折断した石刃を素材として、打点となる部分に調整を施した後に両極剥離を行っている。130右側縁の刃部は下3分の1ほどが背面側からの力で欠損しているが、両極剥離はこの欠損の後に行われている。

母岩10　B1-232+B1-295（25・26）　スポール同士の接合である。25の剥離後、26の剥離前にもう1段階小形のスポールが左側面から剥離されている。

母岩11　B2-33②+B2-158（128・129）　楔形石器（128）と小形の石刃（129）の接合資料である。128は素材となった剥片の両端に調整が施され、そこを打面として129を剥離している。

母岩12　B1-102+B1-187（22・23）　彫刻刀形石器（22）と剥片（23）の接合資料である。23は彫刻刀打面作出のための打面調整剥片である。23の剥離後、彫刻刀削片が剥離され彫刻刀形石器（22）となる。22には彫刻刀面と同じ打面から剥離された剥離痕が複数存在し、石核の可能性もある。

母岩13　B1-190+14I-55（82・83）　楔形石器（82）と微細剥離ある剥片（83）の接合資料である。82・83はもともと1点の石刃であるが、両極剥離により上下2点に分割されている。

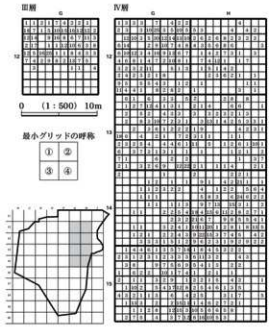
母岩30　B1-250+B1-104+B1-287+B1-223（27～30）　彫刻刀形石器（27）、二次加工ある剥片（28・29）、微細剥離ある剥片（30）の接合資料である。大形の剥片を分割し、このときの分割面を打面として彫刻刀面が作出されている。下半分は3点に割れているが、これはもとの剥片を中央で分割したときに偶発的に3分割されたものである。

母岩148　17D-4+15D-8（160・161）　彫刻刀形石器（160）と彫刻刀削片（161）の接合資料である。折断面を打面として、打面調整なしで161を剥離している。

E　フルイ選別資料

ブロック1・2では微細遺物の回収を目的として、Ⅲ・Ⅳ層土壌のフルイ水洗を行った。土壌を採集した範囲は、Ⅲ層が12Gグリッド、Ⅳ層が11G21～25、12～15G・Hグリッド（15G5・24・25は除く）である。小グリッドを4分割したものを最小グリッドとして、これを土壌採取の単位とした。

この結果、各ブロックの中心付近で高密度に遺物が検出されただけではなく、ブロック間にも微細遺物の分布が確認された。検出された石器は主に砕片で、2,823点である。このうち珪質頁岩製が82％を占める。



第12図　フルイ選別点数表

第Ⅴ章　縄文時代の調査

1　遺　　構

A　概　　要

縄文時代の遺構は、Ⅱ～Ⅳ層で検出された。遺構には集石土坑２基、集石５基、土坑５基があり、ほかに石器集中地点（JB1）が検出された。集石は調査区北側の緩斜面に分布し、土坑は東斜面に分布がまとまる。時期を特定できるような遺物は遺構から出土していないが、土坑の分布は土器の分布集中域とほぼ重なる。このため、土坑の構築時期は土器の主体的な時期である前期中葉から後葉にかけてと推定される。

B　遺構各説

1）集石土坑（図版36・55・56）

集石土坑の構成礫については第４・５表に示す。

集石土坑３（図版36・56）

18F22・23、19F2・３で検出された。一次調査時に発見されたため、記録作成までに礫が原位置から若干移動した可能性がある。礫は東西3.5m、南北1.7mの範囲に散漫に分布し、下部に東西2.9m、南北2.2m、深さ0.2mの皿状の土坑が伴う。礫は100gまでのものが大半で、最大でも940gである。土坑のⅠ層まで礫が含まれる。土坑覆土に炭化物が含まれ、集石部分の礫にも被熱したものが１割弱認められることから、この場所で火が使われなかったものの、火熱に関わった礫などが堆積した遺構であると考えられる。なお、３層の放射性炭素年代測定では、7,690±80年BPという測定値が得られた（第Ⅶ章）。

集石土坑22（図版36・55）

13B19のⅣ層上面で検出された。東西50cm、南北70cmの範囲に礫が集中する。検出面から10cm下がったところまで礫が入り込んでいるが、覆土はⅣ層とよく似ており、判別しがたい。礫のうち流紋岩は全て同一個体の破片であり、不規則に割られている。27点が接合し、20cm角の角礫に復元された。

2）集　　石（図版36・54・55）

集石は５基検出された。礫に顕著な被熱も認められず用途などは不明であるが、礫の多くは搬入礫であるので遺構と判断した。構成礫については第４・５表に示す。

集石21（図版36・55）

12Dから12Eにかけて東西11m、南北5mの範囲に広がる。検出面はⅢ層中である。礫は散漫に分布するが、斜面に位置するため、上方から流れ込んでいる可能性がある。１点のみ12kgの巨大な礫があるが、大半は400gまでに収まる。

集石18（図版36・54）

12E5・10、12F1・６にかけて東西2m、南北3mの範囲に広がる。検出面はⅡ層中である。礫は南西側に円形に集中し、北東側は散漫に分布する。礫は1.2kgを上限に、200gまでが大半を占める。

（点）

遺構	No.	総点数（接合後）	総重量	接合個体数	割れ口あり	赤化			煤の付着		
						割れ口	礫面	割れ口と礫面	割れ口	礫面	割れ口と礫面
集石土坑	3	498（464）	27971.7	22	414	15	3	31	23	15	10
集石土坑	22	49（22）	8587.0	1	45	0	0	0	0	0	0
集石	21	439（431）	205968.0	6	358	0	1	0	1	1	0
集石	18	34（17）	9548.4	4	31	0	0	0	0	0	0
集石	27	4	2075.0	0	2	0	0	0	0	0	0
集石	17	12	12615.0	0	11	0	0	0	0	0	0
集石	13	25（24）	30175.0	1	19	0	0	0	0	0	0

第４表　集石土坑・集石の構成礫　（被熱・破損状況）

集石土坑３

石材	点数（点）	重量合計（g）
アルコース砂岩	1	24.0
砂岩	1	46.0
砂岩	27	1865.0
チャート	251	10148.7
花崗岩	33	4000.5
フォルンフェルス	12	1206
流紋岩	158	7593.5
礫岩	9	3008.0
玉髄	2	9.5
石英	2	47
不明	2	23.5
総計	498	27971.7

集石土坑17

石材	点数（点）	重量合計（g）
花崗岩	8	9055.0
流紋岩	4	3560.0
総計	12	12615.0

集石土坑18

石材	点数（点）	重量合計（g）
砂岩	3	43.4
チャート	1	1020.0
鉄石英	1	1610.0
花崗岩	1	740.0
流紋岩	28	6135.0
総計	34	9548.4

集石土坑21

石材	点数（点）	重量合計（g）
砂岩	5	1364.0
砂岩	166	61836.5
石灰岩	2	1110.0
凝灰岩	6	723.0
粘板岩	3	22.5
チャート	70	20176.5
鉄石英	2	712.0
花崗岩	1	340.0
フォルンフェルス	84	56491.8
流紋岩	78	46444.0
礫岩	18	4589.7
細礫岩	3	11410.0
安山岩	1	500
総計	439	205968.0

集石土坑13

石材	点数（点）	重量合計（g）
花崗岩	23	28185.0
花崗斑岩	1	1980.0
鉄石英（赤玉）	1	10.0
総計	25	30175.0

集石土坑22

石材	点数（点）	重量合計（g）
砂岩	1	42.0
流紋岩	47	8529.0
石英	1	16.0
総計	49	8587.0

集石土坑27

石材	点数（点）	重量合計（g）
砂岩	3	855.0
礫岩	1	1220.0
総計	4	2075.0

第５表　集石土坑・集石の構成礫　（石材組成）

集石27（図版36・55）

12H5のⅢ層上面で、円礫4点がまとめられたような状態で検出された。

集石17（図版36・55）

12H17のⅢ層上面で、直径約50cmの範囲に礫が集中しているのが検出された。礫は610～1,855gのものがある。

集石13（図版36・55）

14G9のⅡ層中で、直径約70cmの範囲に礫が集中しているのが検出された。礫は3,580gを上限として、500～1,000gが主体である。

3）土　　坑（図版37・56・57）

SK28（図版37・56）

14I1のⅢ層中で検出された、90×80cmの楕円形の土坑である。深さ24cmの皿状の掘り込みを持ち、覆土には炭化物が混じる。遺物は出土していないが、近くから胎土に繊維を含む羽状縄文の土器片が出土した。

SK9（図版37・56）

14F9のⅡ層中で検出されたもので、120×100cmの規模を有する長方形土坑である。深さ12cmの皿状の掘り込みを持つ。覆土から無文の縄文土器細片1点が出土した。

SK14（図版37・57）

15F19のⅣ層中で検出されたもので、100×80cmの規模を有する楕円形土坑である。深さ25～35cmの箱型の掘り込みを持つ。覆土は単層で、炭化物粒がわずかに混じる。

SK6（図版37・57）

16E25・16F21のⅣ層中で検出されたもので、直径55cmの規模を有する円形・皿状土坑である。覆土に少量の炭化物を含む。

SK2（図版37・57）

沢の南岸では唯一の土坑で、19F22のⅢ層中で検出された。直径110cmの規模を有する円形・皿状土坑である。Ⅰ層に焼土が含まれるが、壁や床に貼り付いてはいない。

4）石器集中地点（図版38）

JB1

19G21・22、20G1・2の東西約3m、南北3.5mの範囲に石器が集中して分布していた。明確な掘り込みなどは検出されず、現地で取り上げた石器630点のうち、Ⅰ層から303点、Ⅱ層から320点、Ⅲ層から7点が出土しており、分布の中心はⅠ・Ⅱ層であるといえる。ほかに19G21・22のⅡ層を対象に行ったフルイ洗浄から6,670点、410.72gの石器などが検出された（第8表）。石器630点のうち約86％が鉄石英製で、その大部分が4母岩に分類される。このほかに、1母岩とみられる珪質頁岩製の石器が約9％あり、この2石材で約95％を占める。剥片石器には楔形石器が51点あるほかは定形的な石器はなく、これに伴うと見られる台石が1点出土した。出土石器は礫に近い状態まで接合するものもあるが、母岩単位に分布範囲が分かれるということはなく、各母岩が入り混じった状態で分布していた。

縄文土器1点が出土したが、細片のため時期を決定するには至らなかった。そのため、JB1の形成時期についての詳細は不明だが、出土層位がⅠ～Ⅱ層にほぼ限定されることから、縄文時代の所産としておく。

また、JB1出土の鉄石英に類似する鉄石英製の石器・礫などが19Gを中心に、18G・19G・20Fに分布していた。出土層位はⅠ～Ⅳ層であるが、中心はⅡ・Ⅲ層である。石器は少なく、多くが打点の不明瞭な割れ口をもつ破砕礫であった。地山に含まれる石材ではないので、搬入されてきたものと考えられる。

2　遺　　物

A　土　　器

土器は、一次調査で出土した105点を含めて1,032点（接合前）が出土した。13～15Hを中心として沢の両岸に沿って分布している。出土層位はⅡ層を中心としてⅠ～Ⅲ層であるが、旧石器のⅣ層フルイ選別資料中にもごくわずかに土器が含まれていた。大半が粗製深鉢の胴部破片で時期を特定できるものは少ないが、時期を判別できるものをみると、縄文時代前期から後期にかけての土器があり、中でも前期中葉から後葉のものが主体を占める。以下、時期別に大きく3群に分類して報告する。

1）第Ⅰ群土器（図版40・66）

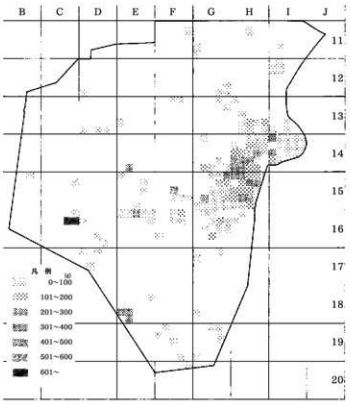
縄文時代前期の土器をまとめて本群としたが、時期的にみてさらに4類に分類される。

1類土器（1）

前期前葉、関山Ⅱ式並行の土器である。1は体部に非結節羽状縄文、口縁部にループにした縄文原体の側面圧痕が3列施文される。口唇部に篦状工具で刻みが施される。

2類土器（2～5）

前期中葉～後葉、刈羽式に並行する土器である。2は口唇に半截竹管の刺突、体部に羽状縄文が施される。3は口唇部に篦状工具の刺突、口縁部に縄文地文に半截竹管の平行線文が施される。4は体部に縄文、口縁部に半截竹管による平行線文が施文され、口唇部に縄文原体の側面圧痕が斜めにつけられている。5は半截竹管による列点が1～2段施される。



第13図　土器重量分布図

3類土器（6・7）

前期後半、大木5、6式に並行する土器である。6は縄文地文に沈線で山形文が描かれる。7は縄文地文に縦位に撚糸文が施される。

4類土器（8）

前期末葉、重稲場式に並行する土器である。8は口縁端部が内側に折れ曲がり、波状を呈する。口縁部には土器本体とは違う、やや白色の粘土紐で文様が描かれている。

その他の土器（9～12）

無文・縄文・羽状縄文の体部破片は時期の限定は困難であるが、多くは前期の所産であると推定される。以下、内訳を示すと無文188点、縄文334点、羽状縄文140点である。胎土に繊維を含むものは無文19点、縄文282点、羽状縄文118点であり、約6割が胎土に繊維を含むことがわかる。なお、無文で胎土に繊維を含まないものの中には、若干器壁が薄いものが含まれており、これらは後期に属す可能性がある。

10は胎土に多量の繊維を含み、スポンジ状になっている。11は非結節羽状縄文が施文され、胎土に繊維を含む。12は胎土に繊維を含み、羽状縄文が施文される。9は太い縄文施文のあと撚糸文が施文されている。撚糸文の施文という点から、大木2式に並行する可能性がある。

2）第Ⅱ群土器（図版40・66）

縄文時代中期の土器をまとめて本群としたが、時期的にみてさらに3類に分類される。

1類土器（18）

中期前葉、大木7～8式に並行する土器である。18は4単位の突起をもつ浅鉢の突起部分の破片である。上端はやや左上がりで、肥厚する。内面に粘土紐貼付けで弧状の文様、外面に半截竹管で逆U字状の文様が描かれる。両側面にも1条ずつ沈線が引かれている。

2類土器（15～17）

中期前葉、新保・新崎式に並行する土器である。15～17は縄文地文に半截竹管で文様が描かれる。17の平行沈線は縦位の可能性もある。

図版No.	遺物No.	出土位置	層位	胎　土	色　調
1	15F-4	15F13	Ⅱ	チャ、繊維	橙
2	14H-22	14H12	Ⅱ	英、長	浅黄橙
3		14I22	Ⅱ	英、長、チャ	にぶい橙
4		15H18	Ⅲ	繊維	にぶい褐
5	JB1-483	19G21	Ⅱ	繊維	にぶい橙
6		15H18	Ⅱ	英、長、雲	橙
7	B2-130①	11G21	Ⅲ上	英、長、玉、角	明黄褐
8	11H-7	11H8	Ⅱ	英、長、白砂	にぶい黄橙
9	14I-109	14I16	Ⅲ	英、長	にぶい橙
10	16G-10	16G10	Ⅱ	英、長、繊維	褐灰
11	16E-7	16E3	Ⅱ	英、長、繊維	橙
12		15H4	Ⅱ	英、長、チャ、白砂、繊維	にぶい橙
13a	16C-11・12	16C9	Ⅱ	英、長、チャ	浅黄橙
13b	16C-11	16C9	Ⅱ	英、長、チャ	浅黄橙
13c	16C-15	16C10	Ⅱ	英、長、チャ	浅黄橙
14		7Tr	Ⅱ？	英、長、角、雲	浅黄
15	13I-5	13I18	Ⅰ	英、長、角、チャ	にぶい褐
16	16E-16	16E5	Ⅱ	英、長、砂	にぶい橙
17	15H-49	15H21	Ⅱ	英、長	橙
18	B2-115	12G25	Ⅲ上	英、長、白砂、雲	浅黄橙
19	14I-48	14I11	Ⅱ	英、長、チャ	橙
20	16G-19	16G18	Ⅱ	英、角	灰白
21	13F-2	13F3	Ⅱ	英、長、砂	にぶい黄橙
22	B2-41	13G4	Ⅲ上	英、長、砂、雲	にぶい黄橙

胎土略号：チャ：チャート、長：長石、英：石英、角：角閃石、雲：雲母、玉：玉髄

第6表　土器観察表

3類土器（13・14）

中期後葉、大木9新式に並行する土器である。13は4単位の波状口縁の深鉢である。縄文を地文とし、口縁部には隆線が巡り、波状部分には横位渦巻文が描かれている。14は無文の口縁部が段をもって区画され、体部に縄文が施文される。

その他の土器（19）

縄文の様子から中期と推定されるが、詳細な時期が不明な土器である。19は口縁端部が外側に引き出される。口縁部は無文、体部に縄文が施文される。

3）第Ⅲ群土器（図版40・66）

縄文時代後期、曽谷式に並行する土器を本群とした。第Ⅰ・Ⅱ群に比べ、器壁が薄い。

20はソロバン玉状の体部を有する注口土器と推定される。体部中央に擦消縄文で4単位の三叉文が描かれる。22も擦消縄文で沈線が引かれている。21は条線文が施される。

B　石　　器

1）JB1出土の石器（図版41～48・67～69）

JB1からは通常の包含層発掘で630点、19G21・22のⅡ層のフルイ洗浄で6,670点（410.72g）の石器及び礫・礫片が出土した。石器には楔形石器51点、、二次加工ある剥片1点、微細剥離ある剥片4点、剥片911点、砕片9点、石核25点、台石1点があり、ほかに礫片49点、礫26点がある。

石材は鉄石英964点、珪質頁岩76点、玉髄15点、石英1点、チャート12点、砂岩5点、花崗岩1点、

流紋岩1点、不明2点である。主体となる石材は鉄石英であり、色調・文様などで4母岩が識別できた。珪質頁岩のうち71点は1母岩に分類される。残りの珪質頁岩製石器のうち2点は、旧石器の石材に使われている良質の珪質頁岩製である。その他の石材は、砂岩に台石が1点あるほかは、すべて礫・礫片である。

接合作業の結果、5母岩で12例の接合資料が得られた。はじめに接合資料について記載し、その後主な石器について説明する。

接合資料

12例の接合資料のうち主な6例を図化した。実測図及び本文中のアルファベットは作業面を、上下左右は作業面における剥片剥離の打面の位置を表している。遺物番号の表記で「JB1-1・2」のように中黒で併記しているものは、接合した状態で1枚の剥片あるいは石核であることを示す。

母岩1

4例の接合例のうち、1例を図化した。

接合資料1a

節理で割れたもので、もとの礫に近い状態まで復元された。

接合資料1b・1d

それぞれ剥片2枚が剥離面で接合したものである。

接合資料1c（図版48・69）

石核と剥片の接合である。A面を打面として、B面から剥離された剥片が1点接合した。石核JB1-467の裏面と下面は礫面で、剥離はA面を打面として固定し、正面とB～D面に行われている。

母岩2

4例の接合資料のうち、3例を図化した。

接合資料2a（図版46・68）

石核1点、楔形石器1点、剥片3点が接合した。接合すると左側面と裏面が礫面と節理面に覆われた状態となる。JB1-506①を剥離し、この剥離面（A面）を打面としてJB1-384①を剥離している。JB1-308②はJB1-506①剥離時に同時に剥落したものである。石核JB1-463②では、JB1-495の剥離後は剥離作業は行われていない。

接合資料2b（図版42・67）

楔形石器1点、剥片2点が接合した。A面を作業面、打面上側としてJB1-514①・473②、JB1-380②を連続して剥離している。JB1-514①・473②は腹面左側面に剥離が1回施されるが、破損する。破

（点）

石材	分類	点数			石材別分類別合計	石材合計
		Ⅰ層	Ⅱ層	Ⅲ層		
鉄石英	楔形石器	18	27	1	46	544
	微細剥離ある剥片	1			1	
	剥片	226	229	5	460	
	砕片	8	1		9	
	石核	5	18		23	
	礫片	3	0		3	
	礫		2		2	
石英	礫		1		1	1
玉髄	剥片	1			1	4
	礫片	1	1	1	3	
珪質頁岩	楔形石器	1			1	61
	二次加工ある剥片	1			1	
	微細剥離ある剥片	2	1		3	
	剥片	16	16		32	
	石核		2		2	
	礫片	8	14		22	
チャート	礫片	8	2		10	11
	礫		1		1	
流紋岩	礫片	1			1	1
花崗岩	礫		1		1	1
砂岩	台石		1		1	5
	礫片	1	1		2	
	礫	1	1		2	
不明	礫片		1		1	2
	礫	1			1	
総計		303	320	7	630	

第7表　JB1層位別石器組成

（点）

分類	黒曜石					珪質頁岩		玉髄	石英	チャート	砂岩	花崗岩	流紋岩	不明	合計
	母岩2	母岩3	母岩4	母岩5	母岩2～5除く	母岩1	母岩1除く								
楔形石器	18 (2)		14	18 (2)		1									51 (4)
二次加工ある剥片						1									1
微細剥離ある剥片				1		2	1								4
剥片	496 (251)	16 (4)	143 (63)	203 (88)	10 (2)	37 (9)	4	2 (1)							911 (418)
砕片	8				1										9
石核	5	2	10	6		2									25
台石											1				1
礫片	2 (2)	1 (1)	2 (1)	2		23 (1)		3 (1)		11 (1)	2		1	1	49 (7)
礫	1		2 (2)	3 (2)		5 (5)		9 (9)	1	1	2	1		1	26 (18)
合計	530 (255)	18 (5)	171 (66)	233 (92)	11 (2)	71 (15)	5	4 (11)		12 (1)	5	1	1	2	1077 (447)

※（ ）内の数字は出土点数のうち、フルイ選別により出土した石器の点数を示す。
※表で示したほかに、フルイ選別資料から砕片 6223 点が出土した。母岩選別は行っていないが、大半は鉄石英製である。
※3Trから母岩2の剥片2点、母岩1の剥片1点が出土した。

第８表　JB1 出土石器集計表

母岩No.	岩石名	色　調	粒度	光沢	特　徴	自然面の特徴	点　数（点）
1	珪質頁岩	白	粗	なし	めのうに似た節理面が多い		71
2	鉄石英	白～明青灰	細	なし	白色の小斑点模様	黄褐色で平滑	530
3	鉄石英	黒褐色	細	中	暗褐色の縞模様	黄橙色で凹凸あり、ざらつく	18
4	鉄石英	黒褐色	細	弱	白色の縞・斑点模様	浅黄色で凹凸あり、ざらつく	171
5	鉄石英	黒褐色	細	弱	白色の小斑点模様と褐色縞模様	黄橙色で小凹凸あり、ざらつく	233

第９表　JB1 母岩の特徴

損後、JB1-473 ②は楔形石器となる。

接合資料 2c（図版 43・67）

楔形石器３点と石核１点が接合した。JB1-399・JB1-468 ②からJB1-487・JB1-465 が剥離され、その後JB1-399 とJB1-468 ②の境目に加えられた打撃により２点に分割された。JB1-399 は破損後、楔形石器となっている。

接合資料 2d

石核（JB1-524）と剥片（JB1-130）が接合した。接合資料2a と同様に打面を固定して剥片剥離を行っている。

母岩３

１例の接合資料がある。

接合資料 3a（図版 41・67）

石核２点と剥片 12 点が、長さ 11cm 厚さ 6cm 程度の楕円礫の状態まで接合した。打面を下側に固定し、礫面を除去している。剥片の大きさは一定ではないが、楔形石器の素材となりそうな剥片（JB1-282・509）も存在する。中心部分の資料は見つからなかった。

母岩４

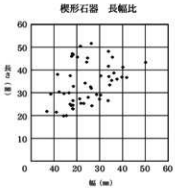
３例の接合資料のうち、２例を図化した。

接合資料 4a

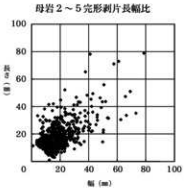
剥片４点の接合資料である。打面調整剥片とみられる剥片の腹面に剥片３点が接合した。

接合資料４ｂ（図版 44・68）

楔形石器１点、剥片２点、石核４点が接合した。Ｂ面を打面として、Ａ面からJB1-193、JB1-463 ③・280 が剥離される。このときJB1-202 も挟在物から破損している。同じくＢ面を打面としてＣ面からJB1-496 が剥離される。その後、JB1-254・281 ではＢ面を作業面として剥離が進行するが、中心の扶



第14図　JB1楔形石器長幅比



第15図　JB1完形剥片長幅比

在物から破損する。JB1-463③・280からも剥片が剥離されているが、やはり中心の挟在物から破損している。JB1-193は楔形石器となっている。

接合資料4c（図版45・68）

剥片8点が接合した。A面を作業面、打面左としてJB1-522、打面上としてJB1-248・96が剥離され、その後B面を作業面、打面上としてJB1-333、JB1-97、JB1-24・231、JB1-141①・114が剥離されている。

楔形石器（2・6～8・9・13・15～28）

楔形石器は51点出土した。全て2極1対の刃部を持つ。平面形の長幅比は3：1～3：4の間でばらつくが、大きさは長さ2cm以上、5cm以内のものがほとんどである。これに対し、母岩2～5の完形剥片は長幅比1：1を中心にかなりのばらつきがあり、大きさも1～3cm角前後がもっとも多い。このことから、剥片剥離では規格性の高い剥片を得ることはなかったが、楔形石器とする際には、一定の基準で素材選択が行われていたといえる。

二次加工ある剥片（30）

30は、背面・腹面に剥離が施されている。

微細剥離ある剥片

鉄石英製1点、珪質頁岩製3点がある。

剥片（1・3・4・11・12・29）

剥片は911点出土した。石材構成は鉄石英868点、珪質頁岩41点、玉髄2点である。鉄石英製の剥片のうち858点が母岩2～5に分類される。母岩2～5の剥片は1cm角から8cm角のものまで存在するが、1～3cm角前後のものがもっとも多い。長幅比は1：1を中心にばらつくが、多くは2：1～1：2の間に収まる。母岩1の剥片は1cm角から7cm角のものまで存在するが、3cm角までのものが多い。長幅比は1：1を中心にばらつく。

石核（5・10・14・接合資料1c）

石核は接合資料にみるように、打面転位は頻繁に行わず、一つの作業面に対して打面を1面に固定している様子が窺える。また、礫面や節理面を残すものが多く、1個の石核から剥離された剥片の数は多くないようである。

台石（31）

台石の表面には両極剥離に使用されたと推定される細かな鋸歯状の痕跡が平行して残る。下端の尖って

いる部分での敲打により裏側を破損し、上側の欠損部と表面との境目に擦れたような痕跡が残る。

2）包含層出土の石器（図版48・69）

縄文時代の石器として報告するのは51点である。石器には、石鏃、楔形石器、石錐各1点、二次加工ある剥片5点、微細剥離ある剥片2点、剥片7点、石核4点、打製石斧1点、磨製石斧3点、磨石類23点、石錘2点、台石1点がある。石材は流紋岩、砂岩の割合が高い。鉄石英はJB1の母岩2あるいは5に似た石質である。

以下、分類ごとに説明する。

石鏃（32）

珪質頁岩製の凹基無茎鏃であるが、先端と両脚を欠損している。

石錐（33）

素材の横長の剥片を横位にして、打瘤を除去しながら錐部を作り出している。

二次加工ある剥片

二次加工ある剥片は3点あるが、いずれも流紋岩製である（17G-3、19G-26・68）。長さ6～9cm、幅5.5～8.5cm、厚さ2.5cm程度の大形の剥片の縁辺に剥離が施されている。

剥　片

剥片4点は流紋岩製である。大きさは長さ4.3～8.4cm、幅4～6.5cm、厚さ1～2cm程度で、ほぼ四角形を呈する。二次加工ある剥片と比べるとやや小ぶりである。

石　核

流紋岩製の石核（18E-1）は長さ4.2cm、幅7.3cm、厚さ2cmで、大部分が礫面に覆われている。打面を転位をしながら小形の剥片を1、2枚剥離している。砂岩製の石核（13E-10）は長さ6.7cm、幅

（点）

石　材	分類	層位別点数						石材別分類別合計	石材合計
		Ⅰ層	Ⅰ・Ⅱ層	Ⅱ層	Ⅲ層	Ⅳ層	攪乱・不明		
流紋岩	二次加工ある剥片	1		2				3	15
	剥片			4				4	
	石核						1	1	
	磨石類	1	1	2	2			6	
	石錘	1						1	
砂　岩	石核			1				1	10
	打製石斧			1				1	
	磨製石斧			1	1			2	
	磨石類	1	1	4				6	
ﾌｫﾙﾝﾌｪﾙｽ	磨製石斧			1				1	3
	磨石類			1	1			2	
珪質頁岩	石鏃					1		1	2
	石錐			1				1	
斑　岩	磨石類			1				1	2
	石錘			1				1	
斑レイ岩	磨石類						1	1	2
	台石				1			1	
花崗岩	磨石類	1		3	1	1		6	6
凝灰岩	磨石類			1				1	1
	総計	5	2	24	6	2	2	41	

第10表　縄文時代の石器

10.9cm、厚さ3.8cmで大部分が礫面に覆われている。礫面を打面として小形の剥片を3、4枚剥離している。

打製石斧（34）

背面が礫面に覆われた大形の横長剥片を素材とする。両側への剥離で形を整えているが、刃部は素材の縁辺をそのまま生かしている。

磨製石斧（40・41）

磨製石斧は3点出土したが、1点は刃部のみの砕片である。40は表裏面は磨かれているが、側面に敲打痕が顕著に残る。41は刃部のみ両面からよく磨かれているが、その他の部分は敲打痕が残る。

磨石類（35～38）

「素材となる礫（転石）の正面及び側縁に磨痕・敲打痕・くぼみ痕を有するもの」［北村1990］。これに該当する石器は23点出土した。使用痕の組み合わせで以下の5類に分類される。分類は［高橋1990］をもとに行った。

A類：磨痕、B類：磨痕＋凹痕、C類：磨痕＋敲打痕、D類：磨痕＋凹痕＋敲打痕、E類：凹痕

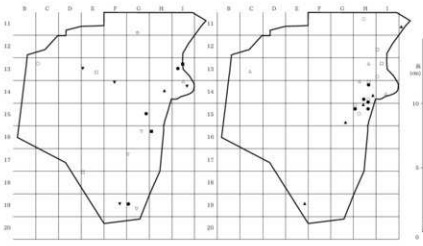
A類7点、B類5点、C類4点（37・38）、D類5点（35・36）、E類1点、不明1点に分類される。磨石の分布は土器が集中していた14H・14I・15Hにほぼまとまる。

石錘（39）

石錘は2点出土した。いずれも長さ8cm、幅7cm、厚さ2cm程度の扁平な円礫を素材とし、長軸両端に抉りが作出されている。1点は沢の落ち際付近から出土した。

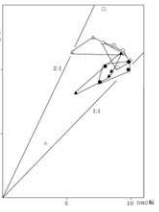
台石

長さ49cm、幅24cm、厚さ11cm、重さ21kgの巨大な斑レイ岩である。長軸の片側を欠損する。側縁に剥離痕、片面に磨耗痕が認められる（B2-137）。



第16図　縄文時代の石器分布図

第17図　磨石類分布図



第18図　磨石類長幅比

第Ⅵ章　歴史時代の調査

1　概　　要

歴史時代の遺構として、炭窯14基が検出された。遺物は裏無紋の寛永通宝が13B24のⅡ層から1点出土したのみである。

2　遺　　構

14基の土坑が検出された。土坑には、埋土に炭化物や焼土を含んでいるもの、あるいは底面や壁面が熱を受けているものがある。同様の遺構は三川村上ノ平遺跡Ａ・Ｃ地点でも検出され、炭窯として報告されているので、ここでも炭窯として報告する（図版39・57～60）。

円山遺跡の炭窯は、調査区東側の崖沿いの南向き緩斜面のⅡ・Ⅲ層で検出された。掘り込み面が明確なSK7・20ではⅡ層を切って掘り込んでいるのが観察された。平面形・断面形により、それぞれ2類に分類される。

Ⅱ類は13Gを中心とする15m四方に集中する。これに対して、Ⅰ類は11列から16列までの広い範囲に分布する。

同様の遺構の所属時期について、上ノ平遺跡Ａ地点では平安時代の土器片が出土したことから平安時代、同Ｃ地点では年代測定の結果13～14世紀としている。円山遺跡でも放射性炭素年代測定を行ったSK5で13～15世紀、SK7で10～11世紀の値が得られたので（第Ⅶ章参照）、これまでいわれていた所属時期とほぼ一致することが確認された。

第19図　炭窯の分類

遺構No.	グリッド	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）	平面形	断面形	焼汙面		炭化物	焼土	検出面	備考
							底面	壁面				
SK4	16F20	112	98	12	Ⅰ	b	×	×	○	◎	Ⅱ層	
SK5	16F14	148	140	28	Ⅰ	a	○	×	◎	×	Ⅲ層	
SK7	14F4	185	150	40	Ⅰ	a	×	×	◎	×	Ⅱ層上面	
SK10	15F18	92	85	28	Ⅰ	a	×	×	○	◎	Ⅱ層	
SK11	16H16	151	142	28	Ⅰ	a	×	×				
SK12	14G7	115	86	9	Ⅱ	b	○	○	◎	◎		3層硬化
SK15	15G11	107	88	8	不整形	b	○	○	△	◎	Ⅲ層	3層硬化
SK16	13G2	143	115	8	Ⅱ	b	○	×	○	○	Ⅱ層	
SK19	13G21	142	102	10	Ⅱ	b	○	×	○	○	Ⅲ層	床面一部硬化
SK20	14H1	133	128	24	Ⅰ	a	×	×	◎	×	Ⅱ層	
SK23	11D25	90	83	9	Ⅰ	b	○	×	◎	△	Ⅱ層	
SK24	13H24	165	104	10	Ⅱ	b	×	×	◎	×		
SK25	11F11	97	93	18	Ⅰ	a	○	○	○	○	Ⅲ層	
SK29	13I22	142	132	32	Ⅰ	a	○	×	○	○	Ⅲ層	1層下面礫文土器

凡例　炭化物　◎：多，○：中，△：少　　焼土　◎：多，○：中，△：少

第11表　炭窯観察表

第Ⅶ章　自然科学分析

1　地層とテフラ

A　はじめに

新潟県域に認められる火山灰土の中には、妙高火山をはじめ浅間火山や中部地方の火山、さらに中国・九州地方などの火山から噴出した多くのテフラ（火山灰）が分布している。これらのテフラについては、理化学的な年代測定法や考古遺物などから大半の噴出年代が明らかにされており、遺跡において示標テフラとの層位関係を求めることにより、遺物包含層の堆積年代や遺構の構築年代の推定が可能になっている。

円山遺跡の発掘調査では良好な火山灰土が認められたことから、地質調査、テフラ組成分析、テフラ検出分析さらに屈折率測定を合わせて行い、示標テフラの層位を明らかにして、土層の堆積年代に関する試料を収集することになった。調査分析の対象とした地点は12H2グリッド、14H2グリッド、17D5グリッド、17F13グリッド、17F6グリッドの５地点である。

B　試料採取地点の層序（第20図）

12H2グリッド

丘陵頂面の平坦部に位置し、下位より黄褐色砂層（層厚17cm，Ⅷ層）、亜角礫混じりで赤味を帯びた褐色砂質土（層厚20cm，礫の最大径28mm，Ⅵ層）、褐色土（層厚15cm，Ⅴ層）、黄色土（層厚13cm，Ⅳ層）、黄灰色土（層厚12cm，Ⅲ層）、褐色土（層厚10cm，Ⅱ層）、暗褐色表土（層厚15cm，Ⅰ層）が認められる。これらのうち、発掘調査ではⅢ層から旧石器時代の石器が、またⅡ層からは縄文時代の遺物が検出されている。

14H2グリッド

丘陵斜面部に位置し、下位より赤味を帯びた褐色砂質土（層厚25cm以上，Ⅵ層）、若干赤味を帯びた褐色土（層厚14cm，Ⅴ層）、黄色土（層厚17cm，Ⅳ層）、黄灰色土（層厚12cm，Ⅲ層）、若干灰色がかった褐色土（層厚20cm，Ⅱ層）、暗褐色表土（層厚11cm，Ⅰ層）が認められる。この地点でも発掘調査によりⅢ層から旧石器時代の石器が、またⅡ層からは縄文時代の遺物が検出されている。

17D5グリッド

谷斜面部に位置し、下位より炭化物混じり暗褐色土（層厚17cm），灰色がかった褐色土（層厚25cm），黒褐色土（層厚21cm），暗褐色土（層厚23cm），褐色土（層厚32cm），暗褐色表土（層厚11cm）が認められる。この地点では、最下部の２層から年代不明の石器が、また上位より２層目の土層からは縄文時代前～後期の土器が各々検出されている。

17F13グリッド

谷基底部に位置し、下位より暗灰色粘質土（層厚19cm以上），灰色砂層（層厚1cm），砂を多く含む暗灰色粘質土（層厚12cm，以上６層），角礫及び砂混じり灰色粘質土（層厚19cm，５層）が認められる。

17F6グリッド

ここでは、谷の基盤にあたる地層を観察することができた。下位より暗褐色泥炭層（層厚15cm），白色凝灰質シルト層（層厚13cm），亜角礫混じりで砂を多く含む灰色粘質土（層厚31cm，礫の最大径3mm），成

層した黄灰色砂層（層厚140cm以上）が認められる。

C　テフラ組成分析

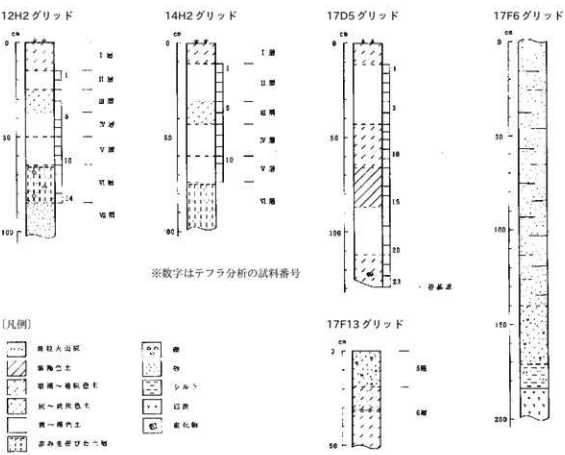
1）試料と分析方法

旧石器時代の石器の年代に関する資料を得るために、12H2グリッドにおいて基本的に5cmごとに採取された試料のうちの5cmおきの7点について、火山ガラス比分析と重鉱物分析を合わせたテフラ組成分析を行って、示標テフラの層位の把握を試みた。テフラ組成分析の手順は、次の通りである。

①試料15gを秤量。②超音波洗浄装置により泥分を除去。③80℃で恒温乾燥。④分析篩により1/4-1/mmの粒子を篩別。⑤偏光顕微鏡下で250粒子を観察し、火山ガラスの形態別組成を求める（火山ガラス比分析）。⑥偏光顕微鏡下で重鉱物250粒子を観察し、重鉱物組成を求める（重鉱物組成分析）。

2）分析結果

火山ガラス比分析の結果をダイヤグラムにして第21図に、その内訳を第12表に示す。なお重鉱物については、含まれる重鉱物の比率が1％以下とごく少量であったため、組成を明らかにすることは困難であった。ここでは、試料6以上に軽石型ガラスと分厚い中間型ガラスがごくわずかずつ認められた。産状から試料6付近に軽石型及び中間型ガラスで特徴づけられるテフラの降灰層準のある可能性も考えられるが、量がきわめて少ないため降灰層準を明確に認定することは難しい。



第20図　試料採取地点の柱状図

D　屈折率測定

1）試料と測定方法

火山ガラスが最も多く検出された12H2グリッド試料6について、位相差法［新井1972］により屈折率測定を行い、含まれるテフラの起源を求めることにした。

2）測 定 結 果

12H2グリッド試料6に含まれる重鉱物としては、角閃石や斜方輝石さらに黒雲母などがごくわずかに認められた。角閃石や斜方輝石さらに火山ガラスについては、含まれる量がごくわずかで屈折率の測定は困難であった。

なお、新潟県朝日村樽口遺跡やガラハギ遺跡では、いわゆるローム層の最上部において、中間型ガラスや軽石型ガラスで特徴づけられる約1.3－1.4万年前に浅間火山から噴出した浅間草津黄色軽石（As-Ypk）［新井1962；町田・新井1992］の降灰層準が検出されている。今回検出された火山ガラスも形態などの特徴から、このテフラに由来する可能性が大きいと思われる。ただし、本遺跡は上述2遺跡に比較して土層の厚さが薄く、形成当初からの攪乱作用などでテフラ粒子の拡散が激しく保存状態が悪いと考えられる。おそらくこのような理由により、降灰層準の認定が困難であったものと推定される。

E　テフラ検出分析

1）試料と分析方法

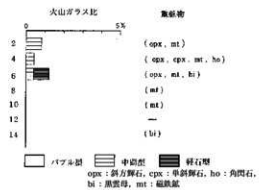
谷斜面の土層をよく観察できた17D5グリッドにおいて、基本的に5cmごとに採取された試料のうち5cmおきの11点について、テフラ検出分析を行って示標テフラの層位の把握を試みた。テフラ組成分析の手順は、次の通りである。

①試料15gを秤量。②超音波洗浄装置により泥分を除去。③80˚Cで恒温乾燥。④実体顕微鏡下でテフラ粒子の特徴や量を観察。

グリッド	試料	bw	md	pm	その他	合計
12H2	2	0	2	0	248	250
	4	0	1	0	249	250
	6	0	1	2	247	250
	8	0	0	0	250	250
	10	0	0	0	250	250
	12	0	0	0	250	250
	14	0	0	0	250	250

※数字は粒子数
bw：バブル型　md：中間型　pm：軽石型

第12表　火山ガラス比分析結果



第21図　12H2グリッドの火山ガラス比ダイヤグラム

2）分析結果（第13表）

テフラ検出分析の結果、軽石やスコリア（黒っぽい軽石）を検出することはできなかった。また試料21では軽石型ガラスが、試料1及び3では透明なバブル型ガラスが検出されたが、その量は非常に少なく示標テフラとの同定には至らなかった。なお後者については、その特徴から約2.2－2.5万年前に南九州の姶良カルデラから噴出した姶良Tn火山灰（AT）［町田・新井1976・1992］に由来する可能性が考えられる。しかし、その層位から二次的に混入したものと思われる。

グリッド	試料	軽石			火山ガラス		
		量	形態	色調	量	形態	色調
17D5	1	－	－	－	＋	bw	透明
	3	－	－	－	＋	bw	透明
	5	－	－	－	－	－	－
	7	－	－	－	－	－	－
	9	－	－	－	－	－	－
	11	－	－	－	－	－	－
	13	－	－	－	－	－	－
	15	－	－	－	－	－	－
	17	－	－	－	－	－	－
	19	－	－	－	－	－	－
	21	－	－	－	＋	bw	透明
	23	－	－	－	－	－	－

※数字：粒子数　bw：バブル型　md：中間型　pm：軽石型

第13表　テフラ検出分析結果

F 小　　結

円山遺跡において地質調査、テフラ組成分析、屈折率測定さらにテフラ検出分析を合わせて行い、遺物包含層の堆積年代に関する資料の収集を試みた。その結果、Ⅳ層からⅡ層にかけて浅間草津黄色軽石（As-YPk，約1.3－1.4万年前）に由来すると思われる火山ガラスが検出されたものの、その降灰層準の認定にはいたらなかった。なお谷部の土層の年代に関しては、放射性炭素年代測定に期待したい。

引用文献

新井房夫　1962　関東盆地北西部地域の第四紀編年．群馬大学紀要自然科学編，10.
新井房夫　1972　斜方輝石・角閃石の屈折率によるテフラの同定－テフロクロノロジーの基礎的研究．第四紀研究，11.
町田　洋・新井房夫　1976　広域に分布する火山灰－姶良Tn火山灰の発見とその意義．科学，46.
町田　洋・新井房夫　1992　火山灰アトラス．東京大学出版会，276p.

2　放射性炭素年代測定

A　試料と方法

試料名	地点・層準	種類	前処理・調整	測定法
No.1	17F13	泥炭	酸洗浄・低濃度処理	β線法
No.2	沢覆土 17D	炭	ベンゼン合成 酸－アルカリ－酸洗浄	β線法
No.3	覆土3層 3号集石土壙	炭	ベンゼン合成 酸－アルカリ－酸洗浄	β線法
No.4	覆土 5号炭窯覆土	炭	ベンゼン合成 酸－アルカリ－酸洗浄	β線法
No.5	7号炭窯覆土	炭	ベンゼン合成 酸－アルカリ－酸洗浄 ベンゼン合成	β線法

B　測定結果

試料名	^{14}C年代（年BP）	δ^{13}C（‰）	補正^{14}C年代（年BP）	暦年代（1σ）	測定No.（Beta－）
No.1	4,620±70	－26.1	4,600±70	BC3490～3455 BC3375～3325	90946
No.2	8,330±100	－27.7	8,280±100	BC7450～7075	90947
No.3	7,720±80	－26.9	7,690±80	BC6550～6425	90948
No.4	680±60	－26.6	650±60	AD1290～1400	90949
No.5	1,070±50	－27.5	1,030±50	AD985～1030	90950

1）^{14}C年代測定値

試料の^{14}C／^{12}C比から、単純に現在（1950年AD）から何年前（BP）かを計算した値。^{14}Cの半減期は5,568年を用いた。

2）δ^{13}C測定値

試料の測定^{14}C／^{12}C比を補正するための炭素安定同位体比（^{13}C／^{12}C）。この値は標準物質（PDB）の同位体比からの千分偏差（‰）で表す。

3）補正^{14}C年代値

δ^{13}C測定値から炭素の同位体分別を知り、^{14}C／^{12}Cの測定値に補正値を加えた上で算出した年代。

4）暦　年　代

過去の宇宙線強度の変動による大気中^{14}C濃度の変動を補正することにより、暦年代（西暦）を算出した。補正には年代既知の樹木年輪の^{14}Cの詳細な測定値を使用した。この補正は10,000年BPより古い試料には適用できない。暦年代の交点とは、補正^{14}C年代値と歴年代補正曲線との交点の歴年代値を意味する。1σは補正^{14}C年代値の偏差の幅を補正曲線に投影した暦年代の幅を示す。したがって、複数の交点が表記される場合や、複数の1σ値が表記される場合もある。

3　植物珪酸体分析

A　はじめに

植物珪酸体は、植物の細胞内にガラスの主成分である珪酸（SiO_2）が蓄積したものであり、植物が枯れたあとも微化石（プラント・オパール）となって土壌中に半永久的に残っている。植物珪酸体分析は、この微化石を遺跡土壌などから検出する方法であり、イネをはじめとするイネ科栽培植物の同定及び古植生・古環境の推定などに応用されている［杉山1987］。

B　試料と分析方法

試料は12H2グリッドで6点、17D5グリッドで6点、17F13グリッドで3点、17F6グリッドで1点の計16点である。試料採取箇所を第22図に示す。

珪酸体の抽出と定量は、プラント・オパール定量分析法［藤原1976a］をもとに、次の手順で行った。①試料の絶乾（105℃・24時間）。②試料約1gを秤量、ガラスビーズ添加（直径約40 μm・約0.02g）、電子分析天秤により1万分の1gの精度で秤量。③電気炉灰化法（550℃・6時間）による脱有機物処理。④超音波による分散（300W・42KHz・10分間）。⑤沈底法による微粒子（20 μm以下）除去、乾燥。⑥封入剤（オイキット）中に分散、プレパラート作成。⑦検鏡・計数。

同定は、イネ科植物の機動細胞に由来する植物珪酸体を主な対象とし、400倍の偏光顕微鏡下で行った。なお、タケ亜科の細分は［杉山1987b］によった。計数は、ガラスビーズ個数が400以上になるまで行った。これはほぼプレパラート1枚分の精査に相当する。試料1gあたりのガラスビーズ個数に、計数された植物珪酸体とガラスビーズ個数の比率をかけて、試料1g中の植物珪酸体個数を求めた。

C　分析結果

分析試料から検出された植物珪酸体の分類群は、以下の通りである。これらの分類群について定量を行い、その結果を第14表及び第22図に示した。また、主要な分類群については、顕微鏡写真（第23図）を掲載した。

12H2グリッド

Ⅰ層（試料1）からⅥ層（試料6）までの層準について分析を行った。その結果、最下位のⅥ層（試料6）では植物珪酸体は検出されなかった。Ⅴ層（試料5）ではウシクサ族やミヤコザサ節型が検出されたが、いずれも比較的少量である。Ⅳ層（試料4）ではミヤコザサ節型が大幅に増加しており、クマザサ属型も出現している。旧石器時代の石器が出土したⅢ層（試料3）では、ミヤコザサ節型がさらに増加（密度7万個/g以上）している。縄文時代の遺物が出土したⅡ層（試料2）では、クマザサ属型が増加傾向を示しており、ミヤコザサ節型がやや減少している。Ⅰ層（試料1）でもほぼ同様の結果である。

17D5グリッド

現表土（試料1）から石器包含層（試料5・6）までの層準について分析を行った。その結果、石器を包含する層及びその上層（試料4）ではミヤコザサ節型や棒状珪酸体が多量に検出され、少量ながらウシクサ族なども検出された。縄文時代前期～後期の遺物包含層（試料2）及びその下層（試料3）では、ミヤコザサ節型がやや減少しており、クマザサ属型が増加傾向を示している。現表土（試料1）では、クマザサ属型がさらに増加している。

17F13グリッド

5層（試料1）と6層（試料2・3）について分析を行った。その結果、全体的にミヤコザサ節型が多量に検出され、少量ながらウシクサ族やクマザサ属型なども検出された。

17F6グリッド

泥炭層（試料1）では、ウシクサ族やミヤコザサ節型などが検出されたが、いずれも比較的少量である。

D　植物珪酸体分析から推定される植生・環境

以上の結果から、円山遺跡における堆積当時の植生と環境について推考すると次のようである。

旧石器時代の石器包含層及びその上下層の堆積当時は、クマザサ属ミヤコザサ節を主体とするイネ科植生が継続されていたと考えられ、とくに石器包含層ではミヤコザサ節が繁茂する状況であったと推定される。その後、縄文時代遺物包含層の時期には、クマザサ属（チシマザサ節、チマキザサ節など）が増加して、

検出密度（単位：×100個/g）

分類群 ＼ 試　料	17F13			17F6	17D5						12H2					
	1	2	3	1	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
イネ科																
キビ族型		7			15			7		22		26				
ヨシ属	7															
ススキ属型					7	7	7			7						
ウシクサ族		7	30	23	22	29	30	15	23	22	7	13	30	7	15	
ウシクサ族（大型）													7			
Cタイプ	22	7							8							
タケ亜科																
ネザサ節型	7					15						6				
クマザサ属型	37	14			305	146	75			15	180	142	96	7		
ミヤコザサ節型	186	273	159	76	291	328	345	618	598	312	427	438	778	517	83	
未分類など	74	48	68	38	102	190	270	434	129	59	52	77	185	15	8	
その他のイネ科																
表皮毛起源	15	7	15	8	7							6				
棒状珪酸体	149	82	129	23	291	263	435	589	409	156	157	97	230	37	15	
類型起源					7											
未分類など	394	403	417	129	618	628	570	729	560	401	434	503	615	120	45	
樹木起源																
はめ絵パズル状（ブナ属など）												6				
植物珪酸体総数	891	848	818	297	1665	1606	1732	2392	1727	994	1257	1314	1941	703	166	

主な分類群の推定生産量（単位：kg/㎡・cm）

ヨシ属	0.47													
ススキ属型					0.09	0.09	0.09			0.09				
ネザサ節型	0.04					0.07						0.03		
クマザサ属型	0.28	0.10			2.29	1.09	0.56			0.11	1.35	1.06	0.72	0.06

※試料の仮比重を1.0と仮定して産出

第14表　植物珪酸体分析結果

ミヤコザサ節は減少したものと考えられる。

ミヤコザサ節は、現在は太平洋側の積雪の比較的少ないところに生育しており、その分布域は年最高積雪の極の平均が50㎝以下のところに限られている［鈴木1978］。一方、チシマザサ節やチマキザサ節は、日本海側の寒冷地などに広く分布しており、積雪に対する適応性が高い。

日本海の海底コアの検討や花粉分析の結果によると、約8,500年前頃には日本海に対馬海流が本格的に流入するようになり、これに伴って日本海側の積雪量が増大したとされている［安田1990］。今回の分析で明らかとなったミヤコザサ節からチシマザサ節、チマキザサ節への植生変遷は、このような気候変化（積雪量の増大）に対応しているものと考えられる。

クマザサ属（ミヤコザサ節を含む）は氷点下5℃程度でも光合成活動をしており、雪の中でも緑を保っていることから、大半の植物が落葉または枯死する秋から冬にかけてはシカなどの草食動物の重要な食物となっている［高槻1992］。気候条件の厳しい氷期にクマザサ属（主にミヤコザサ節）が豊富に存在したことは、当時の動物相を考える上でも重要である。

引用文献

藤原宏志　1976　プラント・オパール分析法の基礎的研究（1）－数種イネ科栽培　植物の珪酸体標本と定量分析法－．考古学と自然科学，9．

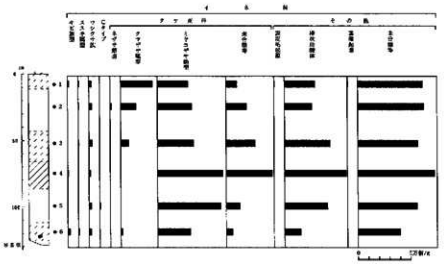
杉山真二　1987a　遺跡調査におけるプラント・オパール分析の現状と問題点．植生史研究，第2号．

杉山真二　1987b　タケ亜科植物の機動細胞珪酸体．富士竹類植物園報告，第31号．

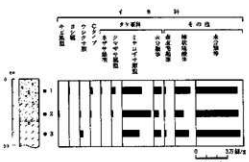
高槻成紀　1992　北に生きるシカたち－シカ，ササそして雪をめぐる生態学－．どうぶつ社．

安田喜憲　1990　気候と文明の盛衰．朝倉書店．

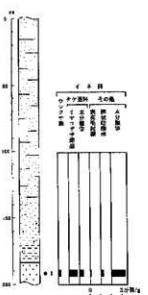
17D5



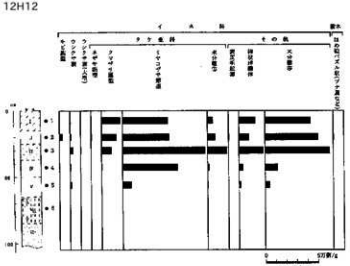
17F13



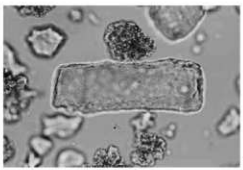
17F6

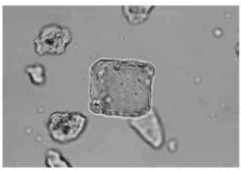


12H12



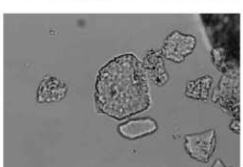
第22図　植物珪酸体分析結果

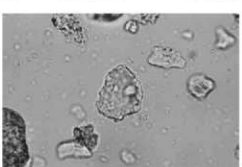

1

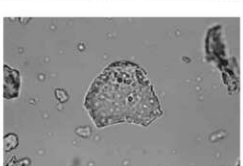

2

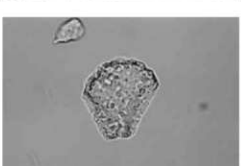
3

4


5


6


7


8

（倍率は400倍撮影を1/2に縮小）

9

№　分　類　群	地　点	試料名
1　キビ族型	17D5	1
2　ウシクサ族	12H2	2
3　イネ科C	17D5	2
4　クマザサ属型	17D5	1
5　クマザサ属型	17F13	1
6　ミヤコザサ節型	17D5	6
7　ミヤコザサ節型	17F13	3
8　タケ亜科	17F6	1
9　棒状珪酸体	17D5	1

第23図　植物珪酸体の顕微鏡写真

4　花粉分析

A　試料と分析方法

試料は、17F13グリッドで3点、17F6グリッドで1点、17D5グリッドで6点の計10点である。試料採取箇所を第05図に示す。

花粉粒の分離抽出は、基本的には［中村1973］を参考にし、試料に以下の手順で物理化学処理を施して行った。

①5％水酸化カリウム溶液を加え、15分間湯煎する。②水洗後、0.5mmの篩で礫などの大きな粒子を取り除き、沈澱法を用いて砂粒の除去を行う。③25％フッ化水素酸溶液を加えて30分放置する。④水洗した後、氷酢酸によって脱水し、アセトリシス処理（無水酢酸9：1濃硫酸のエルドマン氏液を加え1分間湯煎）を施す。⑤再び氷酢酸を加えた後、水洗を行う。⑥沈渣に石炭酸フクシンを加えて染色を行い、グリセリンゼリーで封入しプレパラートを作製する。

以上の物理・化学の各処理間の水洗は、1500rpm、2分間の遠心分離を行った後、上澄みを捨てるという操作を3回繰り返して行った。

検鏡はプレパラート作製後直ちに、生物顕微鏡によって300～1000倍で行った。花粉の同定は、［島倉1973］及び［中村1980］をアトラスとし、所有の現生標本との対比で行った。結果は同定レベルによって、科・亜科・属・亜属・節及び種の階級で分類した。複数の分類群にまたがるものはハイフン（－）で結んで示した。なお、科・亜科や属の階級の分類群で一部が属や節に細分できる場合はそれらを別の分類群とした。イネ属に関しては［中村1974・1977］を参考にし、現生標本の表面模様・大きさ・孔・表層断面の特徴と対比して分類し、個体変化や類似種があることからイネ属型とした。

B　結　　果

出現した分類群は、樹木花粉32、樹木花粉と草本花粉を含むもの4、草本花粉24、シダ植物胞子2形態の計62である。各グリッドの花粉組成を第24図に、また主要な分類群の写真を第25図に示す。

17F13グリッド

6層下部（試料3）では樹木花粉の占める割合が高く、クリーシイ属が著しく優占する。クリーシイ属は小型のクリ型がほとんどである。他は低率でコナラ属コナラ亜属・ハンノキ属・マツ属複維管束亜属などの樹木とイネ科、タンポポ亜科などの草本が出現する。6層上部（試料2）ではクリーシイ属が激減し、コナラ属コナラ亜属を主にクマシデ属－アサダ・ハンノキ属・トチノキ・ブナ属が増加する。草本ではイネ科を主にカヤツリグサ科などが出現する。5層（試料1）ではクリーシイ属がより低率になり、コナラ属コナラ亜属が増加する。草本花粉ではカヤツリグサ科がやや増加し、ウコギ科も少し多くなる。

17F6グリッド

泥炭層（試料1）では、樹木花粉より草本花粉の占める割合がやや高く、イネ科・カヤツリグサ科が優占する。草本花粉では他にヨモギ属・セリ科・タンポポ亜科・キク亜科などが伴われる。樹木花粉ではハンノキ属・ブナ属・コナラ属コナラ亜属・カバノキ属の広葉樹がやや多く、トウヒ属・マツ属単維管束亜属・マツ属複維管束亜属などの針葉樹が出現する。

17D5 グリッド

最下層（試料6）では樹木花粉の占める割合が草本花粉よりやや高く、樹木花粉のモミ属・トウヒ属・ツガ属・マツ属単維管束亜属・マツ属複維管束亜属の寒冷種を含む針葉樹が優占するのが特徴である。樹木花粉では他にカバノキ属・クマシデ属－アサダ・ニレ属－ケヤキの広葉樹が低率に出現する。草本花粉ではカヤツリグサ科・イネ科の出現率が高く、シダ植物単条溝胞子も多い。試料5～3では花粉が極めて少ないため、出現傾向はわからない。

試料2では樹木花粉の出現率が草本花粉よりやや高く、マツ属複維管束亜属やスギなどの針葉樹、ハンノキ属・コナラ属コナラ亜属・クマシデ属－アサダ・クリ－シイ属・ブナ属・ニレ属－ケヤキなどの広葉樹が出現する。草本花粉ではイネ科・ヨモギ属の出現率が高い。

試料1では樹木花粉と草本花粉がほぼ同じ割合である。樹木花粉ではマツ属複維管束亜属とコナラ属コナラ亜属が優占する。草本花粉ではイネ属型を含むイネ科とヨモギ属が優占し、カヤツリグサ科・アブラナ科・ソバ属が出現する。

C　花粉分析から推定される植生の変遷

17F13 グリッド

6層下部の堆積当時は、遺跡周辺はクリ林に覆われるような状況であったと考えられ、相対的にやや乾燥した環境であった可能性が考えられる。

6層上部から5層にかけては、クリ林が減少しナラ類の林を主にハンノキ属・クマシデ属－アサダ・ブナ属・ニレ属－ケヤキ・トチノキが増加したと考えられる。これらの増加は相対的な湿潤化を示唆し、草本でもイネ科やカヤツリグサ科がやや増加することから、湿地が増加したと考えられる。

17F6 グリッド

泥炭層の堆積当時は、イネ科・カヤツリグサ科が繁茂する湿原や湿地であったと考えられる、周辺でハンノキの湿地林が分布していたと推定される。周辺地域の森林植生はナラ類・ブナなどの冷温帯落葉広葉樹林が分布し、トウヒ属・ゴヨウマツ類を含むマツ属の亜寒帯針葉樹も分布していたとみなされる。当時は、これらの植物相が示す寒冷な気候であったと推定される。

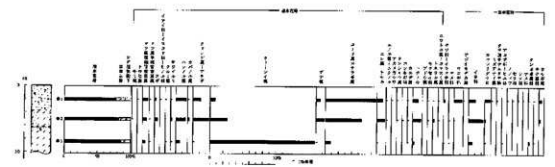
17D5 グリッド

最下層（試料6）の堆積当時は、カヤツリグサ科・イネ科の繁茂する湿原ないし湿地であったと考えられ、周囲はシダ植物が繁茂する乾燥した環境であったと推定される。また、周辺地域にはモミ属・トウヒ属・ツガ属・ゴヨウマツ類を含むマツ属で構成される亜寒帯針葉樹林が分布していたと推定される。これらの様相からみて、同層は最終氷期の堆積物と考えられる。

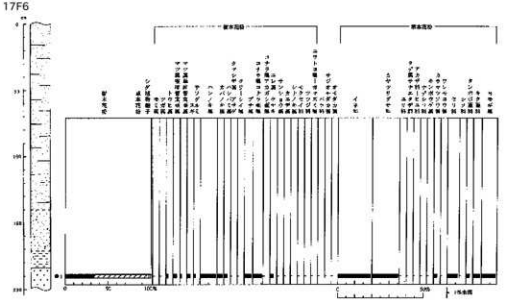
試料2の時期には、イネ科・ヨモギ属が多く生育するやや乾燥した裸地が分布していたと考えられる。周辺地域にはニヨウマツ類やスギなどの針葉樹、ハンノキ属・ナラ類・クマシデ属－アサダ・クリ・ブナ属・ニレ属－ケヤキなどの広葉樹の森林が分布していたと推定される。ニヨウマツ類やナラ類は人為的要素であり、人為干渉による二次林化が進んでいたことも考えられる。

試料1の時期には、イネ属型・ソバ属・アブラナ科などの農耕要素が出現するため、堆積地ないし周囲で水田や畑が営まれていたと考えられる。周辺地域にはニヨウマツ類とナラ類などの二次林が分布していたと推定される。

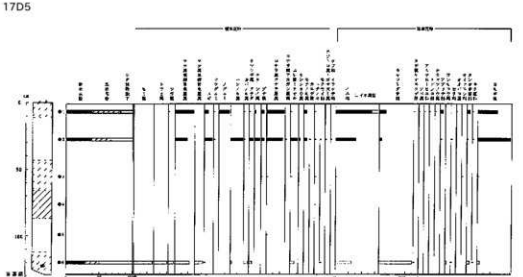
17F13



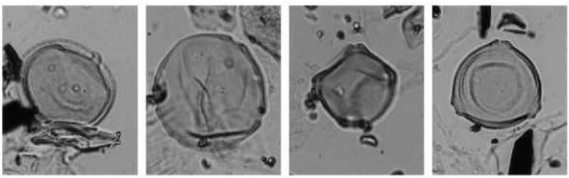
17F6



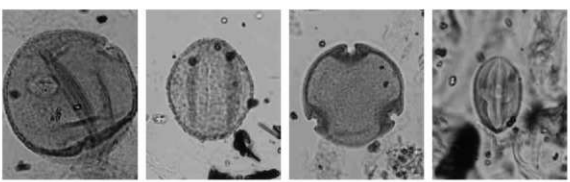
17D5



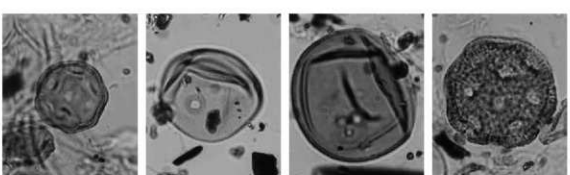
第24図　花粉組成図（花粉総数が基数）



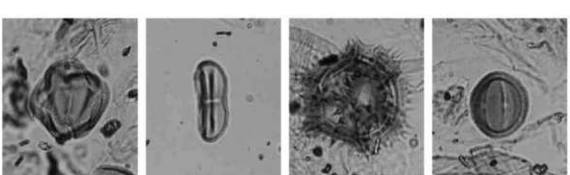
1 スギ　2 クルミ属　3 ハンノキ属　4 クマシデ属－アサダ



5 ブナ属　6 コナラ属コナラ亜属　7 シナノキ属　8 トチノキ



9 サジオモダカ属　10 イネ科　11 イネ属型　12 ナデシコ科



13 アカネ属－ヤエムグラ属　14 セリ科　15 タンポポ亜科　16 ヨモギ属

45μm

第25図　花粉遺体

引用文献

中村　純　1973　花粉分析．古今書院，p.82－110．
金原正明　1993　花粉分析法による古環境復原．新版古代の日本第10巻古代資料　研究の方法．角川書店．
島倉巳三郎　1973　日本植物の花粉形態．大阪市立自然科学博物館収蔵目録第5集．
中村　純　1980　日本産花粉の標徴．大阪自然史博物館収蔵目録第13集．
中村　純　1974　イネ科花粉について，とくにイネ（Oryza sativa）を中心として．第四紀研究．13．
中村　純　1977　稲作とイネ花粉．考古学と自然科学．第10号．

5　種実同定

A　試料と分析方法

試料は，17F13グリッドの6層下部から採取された1点（堆積物）である。分析方法は試料500ccを0.25mmの篩を用いて水洗選別を行い，その残渣を双眼実体顕微鏡で観察した。同定は形態的特徴及び現生標本との対比で行い，結果は同定レベルによって科・属・種の階級で示した。

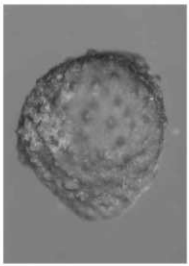
B　結　　果

同定の結果，樹木3，草本4の計7の分類群が認められた。試料500cc中に68個の種実が検出さ，草本のカラムシ属が多く大半を占める。他は樹木のヒメコウゾ・アカメガシワ・ニワトコと，草本のカヤツリグサ科が少量検出された。学名，和名及び粒数と主要な分類群の写真を第26図に示す。

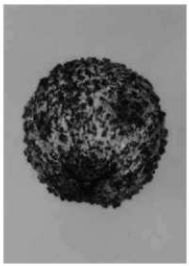
C　考　　察

多量に検出されたカラムシ属は，種類によって多様な環境に生育する。ここでは山野や湿地に生育する種類であろうか。カヤツリグサ科の検出から，堆積地が湿地であったことが示唆される。ヒメコウゾ・アカメガシワ・ニワトコは林縁などのやや日当たりが良い所に生育する。

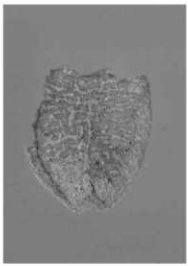
以上の結果から，当時の堆積地はカラムシ属やカヤツリグサ科が生育する湿地状を呈しており，ヒメコウゾ・アカメガシワ・ニワトコの木本が生育する林縁のような環境であったと推定される。



1 ヒメコウゾ種子 —— 0.2 mm



2 アカメガシワ種子 —— 0.5 mm



3 ニワトコ種子 —— 0.4 mm

4 カヤツリグサ科A果実 —— 0.1 mm

5 カヤツリグサ科B果実 —— 0.2 mm

6 カヤツリグサ科C果実 —— 0.1 mm

7 カラムシ属種子 —— 0.1 mm

分類群			（500 cc中）17F13グリッド
学名	和名	部位	最下部
arbor	樹木		
Broussonetia kazinoki Sieb.	ヒメコウゾ	種子	1
Mallotus japonicus Muell. et Arg.	アカメガシワ	種子	1
Sambucus sieboldiana Blume ex Graebn.	ニワトコ	核	1
herb	草木		
Cyperaceae A	カヤツリグサ科A	果実	1
Cyperaceae B	カヤツリグサ科B	果実	1
Cyperaceae C	カヤツリグサ科C	果実	1
Boehmeria	カラムシ属	種子	62
Total	合計		68
Unknown	不明		1

第26図　検出種実

第Ⅷ章　ま　と　め

1　旧石器時代

ブロック

円山遺跡では旧石器時代に属する石器ブロック３か所が検出され、ブロック１～３と呼称した。ブロック１はさらにブロック1a・1b・1cに細分される。使用石材・石器組成の面でブロック１・２とブロック３は区別される。

ブロック１・２では珪質頁岩を多用し、ナイフ形石器・彫刻刀形石器・掻器・削器・彫掻器・彫削器・鋸歯縁石器・抉入石器・楔形石器・石刃類・剥片類・石核・礫石・台石を組成する。ブロック３では台形様石器・彫刻刀形石器・鋸歯縁石器・楔形石器・石刃類・剥片類・石核を組成する。使用石材は珪質頁岩も使用されるが、台形様石器・石核・剥片類に白色の玉髄が多用される点においてブロック１・２とは異なる様相を示す。

各ブロックの共存関係については、石器組成の類似や母岩の共有関係から、ブロック１・２が共存した可能性は高い。ブロック３とブロック１・２との共存関係については、母岩の共有関係がほとんどないことから強い結びつきがあるとは言い難い。しかし使用石材や石器組成が全く異なるわけでもなく、出土層位も明確に分かれるわけでもないので、必ずしも分離されるものではないと考えられる。

出土層位

石器はⅢ～Ⅳ層を中心に出土しており、出土層位からブロック１・２とブロック３を明確に分離することはできない。火山灰分析の結果（第Ⅶ章）、Ⅳ～Ⅱ層にかけて浅間草津黄色軽石AS－YPk（約1.3－1.4万年前）に由来すると思われる火山ガラスが検出されたものの、その降灰層準の認定には至っていない。約2.2～2.5万年前に噴出した姶良Tn火山灰（以下、ATと略す）に由来する可能性のある火山ガラスも検出されたが、二次的な堆積物と推定された。このため、火山灰から石器群の形成時期を特定することは困難である。

石　　材

石器に使用されている良質な珪質頁岩を円山遺跡周辺で得ることはできない。珪質頁岩は新潟県北部から山形県にかけて分布するが、良質のものは新潟県内では稀なようである［阿部 1995］。円山遺跡で使用されている珪質頁岩は三川村上ノ平遺跡Ａ・Ｃ地点や吉ヶ沢遺跡とは質が異なり、山形県小国町湯ノ花、横山周辺で産出する石に類似するという。また、玉髄、特にブロック３で多く使用されている白色の玉髄は遺跡から4km程のところに産出するという[注]。ほかに、黒曜石製石器が２点出土したが、産地同定は行っていない。

石器組成

ブロック１・２は大形の石刃を素材とする基部加工のナイフ形石器、掻器、彫刻刀形石器を主たる石器組成とする。ほかに楔形石器・鋸歯縁石器・抉入石器が多く、石器全体に占めるトゥールの割合が高いこ

注）いずれも高橋春栄氏ご教示。

とが特徴である。石核も組成するが，これと接合する剥片類・石刃類はほとんどなく，接合するのは調整段階の剥片類が多い。また，掻器や削器に破損後の刃部再生・彫刻刀形石器への転用，あるいは破損面の使用（微細剥離の存在）が複数認められる。ほかに石刃類・剥片類にも二次加工あるいは微細剥離のあるものが多く，少ない石材を最大限利用していた様子が窺われる。

ブロック3はブロック1・2にあるようなナイフ形石器はなく，代わりに台形様石器が組成する。石材は地元で供給できる白色の玉髄を多用し，台形様石器の製作にかかわると推定される石核と，そこから剥離されたとみられる剥片が安定して存在する。

円山遺跡については，石器点数・組成から中規模で石刃生産がほとんど行われない単独搬入・二次加工主体の遺跡と評価されていたが［山田2000］，石器の転用・再加工も特徴として付け加えられよう。

台形様石器　本報告書で台形様石器としたものは，北陸で立野ヶ原ナイフ形石器とよばれる石器群［麻柄1986］に類似する石器であるが，定形的なものは見られない。5点出土した台形様石器のうち4点が白色の玉髄製である。台形様石器の素材剥片を剥離していたと推定されるこの石材の石核は，いずれも厚手の剥片を素材としており，素材の腹面あるいは背面を打面として2～3cmの小形剥片を剥離している。剥離に先立つ打面調整は顕著ではなく，剥離順序に規則性は認められない。台形様石器への調整剥離は，折断後調整剥離を行うもの（142・155）と素材形状を生かし調整剥離を行うもの（143・154・156）に大別される。後者のうち154・156には素材腹面側への調整が認められる。この腹面側への調整は立野ヶ原ナイフ形石器の特徴の一つとされている［麻柄前掲］。

近隣の台形様石器群としては，新発田市前山遺跡・安田町上野林J遺跡がAT降灰前の石器群として報告されている［田中ほか1994］が，これらと比べると円山遺跡の台形様石器は著しく小形で，調整も貧弱な印象を受ける。

ナイフ形石器　ナイフ形石器はすべて珪質頁岩製で，主にブロック1・2から出土した。石刃を素材として，基部・先端部に刃潰し加工を施すのを基本とし，調整部位の違いで7類に分類した。各分類を通じて，基部をやや絞り込むように成形する傾向が見られる。Ⅰ～Ⅲ類に類似する石器は朝日村樽口遺跡A-KH・B-KH文化層［立本1996］に見られる。この2文化層は，いわゆる東山型ナイフ形石器を組成の特徴とする文化層である。Ⅳ類は二側縁加工のナイフ形石器である。Ⅵ類は基部両側に抉りだすような二次加工を加えて茎部を作り出すもので，基部のみ1点出土した。これに類するものは，長野県信濃町東浦遺跡H2Ⅱ石器文化の石器群の中に見ることができる。そこでは同様のナイフ形石器について九州地方のAT降灰直後に出現する剥片尖頭器に類例を求めている［谷2000］。

彫刻刀形石器　彫刻刀形石器は折断面を打面とするもの（Ⅰ類）と，素材縁辺に調整剥離を施し打面とするもの（Ⅱ・Ⅲ類）に大別される。このうち折断面を打面とするⅠ類は小坂型の範疇で捉えられる。

剥片剥離技術

主な石器は石刃を素材にしていることから，石刃製作がこの石器群の主たる剥離技術であったといえる。石刃類の観察から，石刃の生産にあたっては打面調整，頭部調整，稜形成などの調整技術が存在したことがわかるが，頭部調整は約4割に認められる程度であまり顕著ではない。生産された石刃の打瘤はあまり発達していない。背面構成から90～180度の打面転位が行われていたと推定される。石刃剥離にかかわる接合資料や石核がほとんどないので，遺跡内では活発な石刃剥離は行われていなかったと推定される。石刃技法のほかに珪質頁岩製の小形石核が存在する。173・174のように素材が厚手の剥片と推定されるものもあり，台形様石器の素材獲得技術に共通する面も認められる。これに対応するであろう小形の剥

片も存在するが、そこから定形石器への加工は見られない。

編年的位置付け

阿賀野川以北における石器群については高橋・沢田両氏によって台形様石器群→ナイフ形石器群→尖頭器石器群→細石刃石器群の変遷試案が示されている［高橋・沢田 1999］。円山遺跡は東山型ナイフを伴う石器群（A群）としてナイフ形石器群の中に位置付けられている。A群は杉久保型ナイフを伴う石器群（B群）に先行し、朝日村樽口遺跡の事例からAT前後にわたり検出される存続期間の長い石器群とされている。円山遺跡の位置付けがここから大きく動くことはないが、ブロック3などで検出された台形様石器の位置付けと、ATとの前後関係について若干検討を加える。

ナイフ形石器を主体とするブロック1・2と台形様石器を組成するブロック3の共存関係であるが、出土層位に分離する根拠を求めることはできない。円山遺跡とよく似た石器組成をもつ岩手県大渡Ⅱ遺跡第Ⅰ文化層では、石刃技法を主体とするナイフ形石器・彫刻刀形石器・掻器などと台形様石器が、AT直下に共存していた［中川ほか1995］。長野県東浦遺跡H2Ⅱ石器文化の石器群は、基部に抉りを持つナイフ形石器・台形石器・国府型ナイフ形石器を組成し、AT降灰前後の石器群に位置付けられている［谷前掲］。山形県新庄市上ミ野A遺跡では石刃素材のナイフ形石器、基部に抉りを持つナイフ形石器・掻器・彫刻刀形石器・鋸歯縁石器などを組成する石器群がAT上位から出土している［柳田・須藤・阿子島2000］。このほかに、近年示された千葉県の旧石器時代編年案では、ATを含む立川ローム層Ⅵ層の石器群として東山系ナイフ形石器群・寺尾系ナイフ形石器群をあて、その石器組成に二側縁ナイフ・掻器・楔形石器・台形様石器を挙げている［道澤2002］。このように、少ないながらも大形のナイフ形石器を主体とする石器群と台形様石器群の共伴を示す事例もあるので、円山遺跡においても積極的に分離する必要はないと考える。

その場合の石器群の位置付けであるが、台形様石器は組成しないものの、全体として上ミ野A遺跡が円山遺跡に最も近い様相を示すと思われる。したがって、円山遺跡の石器群をAT降灰後の石器群として位置付けておきたい。そして、台形様石器を組成する東浦遺跡H2Ⅱ石器文化の石器群や大渡Ⅱ遺跡第Ⅰ文化層の石器群がAT降灰前後あるいはAT降灰前に位置付けられている点を勘案すれば、AT降灰後でも、比較的古い時期の石器群であるといえよう。

2　縄文時代

遺構・遺物ともに検出量が少なく、安定した集落が営まれていた場所ではないようである。沢痕や石錘・破損した石鏃などが検出されていることから、狩猟などが行われた場であったと推定される。

遺　構

縄文時代の遺構は集石土坑2基、集石5基、土坑5基、石器集中地点（JB1）が検出された。JB1以外の遺構の構築時期は主に前期中葉から後葉にかけてと推定されるが、性格は不明である。

遺　物

土　器　縄文時代前期から後期にかけての土器が出土したが、主体は前期中葉から後葉にかけてである。土器の多くが粗製のため時期の詳細は不明であるが、大半が前期に含まれると推定される。このうち約6割が胎土に繊維を含んでおりこの地域の特色を示している。

石　器　包含層からは石鏃・楔形石器・石錐・石錘・磨製石斧・打製石斧・磨石類・台石・二次加

工ある剥片・微細剥離ある剥片・剥片・石核が出土したが、総計で51点と少量であり、とくに剥片石器が少ないのが特徴である。

JB1では鉄石英の原石を持ち込み、剥離作業をおこなっていたと推定される。台石や楔形石器の存在から両極打撃による石器加工が行われていたことがわかるが、石鏃などの定形石器が製作されていた痕跡は見られない。土器細片が出土しているが、時期を決定するには至らなかった。

要　　約

1　円山遺跡は、新潟県北蒲原郡安田町大字円山2102番地ほかに所在する。遺跡は笹神丘陵の南東向き緩斜面に位置し、標高は約37～50mである。遺跡の南約800mには阿賀野川が流れている。遺跡の西側と北側は比高約15～30mの丘に囲まれ、東側は断層により崖になっているため、遺跡範囲は広くない。

2　調査は北陸自動車道建設のための土取り（安田土取場）に伴い、平成6～7年に行われた。調査面積は5,840m^{2}である。

3　調査の結果、後期旧石器時代、縄文時代、歴史時代の遺跡であることが判明した。遺物包含層は旧石器時代がⅢ～Ⅳ層にかけて、縄文時代がⅡ層である。時期により遺物・遺構の平面分布が分かれることはない。

4　旧石器時代の遺構は、石器集中地点3か所（ブロック1～3）が検出された。ブロック1は3細分される。これに伴う礫群などの検出はない。

5　旧石器時代の遺物は、一次・二次調査合わせて3,751点出土した。石器点数はブロック1から1,506点、ブロック2から1,258点、ブロック3から60点、ブロック外から911点である。

6　旧石器時代のブロック1・2では珪質頁岩製の大形のナイフ形石器、彫刻刀形石器、掻器を石器組成の主体とする石器群が出土した。石刃をトゥールの素材とするが、遺跡内で石刃生産はほとんど行われず、トゥールの単独搬入・二次加工が主体である。石器の転用・再加工も行われていたようである。ブロック3は台形様石器と、これの製作に係る石核・剥片などを組成する。石材は玉髄が主体である。ブロック1～3の石器群は編年的に姶良Tn火山灰降灰（約2.2～2.5万年前）直後あたりに位置付けられる。

7　縄文時代の遺構は集石土坑2基、集石5基、土坑5基、石器集中地点1か所（JB1）が検出された。JB1以外の遺構構築時期は前期中葉から後葉にかけてと推定されるが、性格は不明である。

8　縄文時代の遺物は土器1,032点、石器7,351点が出土した。石器のうち7,300点はJB1から出土した。土器の時期は前期中葉から後葉を主体として後期まである。石器は包含層から石鏃・石錐・二次加工ある剥片・石錘・磨製石斧・打製石斧・磨石類・台石などが出土したが、剥片石器が少ないのが特徴である。JB1では鉄石英製の石核・楔形石器・剥片・砕片・台石などの両極剥離にかかわる資料が出土した。石器の多くが接合し、出土石器の大半が5母岩に分類される。時期の詳細は不明である。

9　歴史時代のものと思われる炭窯が14基検出された。放射性炭素年代測定の結果、古代から中世にかけての年代が得られた。

引用文献

阿部朝衛　1995　「新潟県北部における石器材料の調査」『帝京史学』10

亀井　功ほか 1994　『磐越自動車道関係発掘調査報告書　萩野遺跡・官林遺跡』　新潟県教育委員会・（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団

川上貞雄　1983　『安田町文化財調査報告（10）　ツベタ遺跡』　安田町教育委員会

川上貞雄ほか 1980　『安田町文化財調査報告（7）　上野林遺跡丘陵埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ（概報）　中道遺跡』　安田町教育委員会

川上貞雄ほか 1981　『安田町文化財調査報告（5）　上野林遺跡丘陵埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ　横峰Ａ遺跡・横峰Ｂ遺跡』　安田町教育委員会

北村　亮　1990　「第Ⅲ章４　遺物」『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第56集　岩原Ⅰ遺跡・上林塚遺跡』　新潟県教育委員会

沢田　敦　1994　「中峰遺跡・上ノ平遺跡Ｃ地点・古ヶ沢遺跡Ｂ地点」『新潟県埋蔵文化財調査事業団年報』平成５年度　（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団

沢田　敦ほか 1994　『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第64集　磐越自動車道関係発掘調査報告書　上ノ平遺跡Ａ地点』新潟県教育委員会・（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団

沢田　敦　1996　『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第73集　磐越自動車道関係発掘調査報告書　上ノ平遺跡Ｃ地点』新潟県教育委員会・（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団

菅井良咲ほか 1996　『北陸自動車道関係発掘調査報告書　獅子沢遺跡』　新潟県教育委員会・（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団

菅沼　亘　1991　「北蒲原郡安田町中道遺跡の細石核」『北越考古学』第４号　北越考古学研究会

菅沼　亘　1992　「五泉市薬師堂遺跡旧石器時代資料の再検討」『新潟考古』第３号　新潟県考古学会

鈴木郁夫　1986　「Ⅰ　地形分類図」『新潟県下越地域　土地分類基本調査　津川』新潟県農地部農村総合整備課

関　雅之ほか 1972　『安田町文化財調査報告２　ツベタ遺跡発掘調査報告』　安田町教育委員会

（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団　1995　「遺跡だより①　円山遺跡ー旧石器時代の遺跡ー」『埋文にいがた』13号

（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団　1996　「円山遺跡」『新潟県埋蔵文化財調査事業団年報』平成７年度

高浜信行・野崎保　1981　「新潟平野東縁、五頭山地西麓の土石流発達史」『地質学雑誌』87

高橋保雄　1990　「第Ⅳ章２　石器」『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第55集　清水上遺跡』　新潟県教育委員会

高橋保雄　1995　「新潟県北蒲原郡安田町円山遺跡の調査」『第９回　東北日本の旧石器文化を語る会』予稿集

高橋春栄・沢田敦　1999　「阿賀野川以北における旧石器時代の様相」『第12回　東北日本の旧石器文化を語る会』予稿集

田中耕作・増子正三ほか　1994　「ナイフ形石器文化成立期の前山遺跡・上野林Ｊ遺跡」『新潟県考古学会第６回大会発表要旨』　新潟県考古学会

谷　和隆　2000　『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書15　－信濃町内　その１－　裏ノ山遺跡　東裏遺跡　大久保南遺跡　上ノ原遺跡』長野県埋蔵文化財センター

立木宏明　1996　『朝日村文化財報告書 第11集　奥三面ダム関連遺跡発掘調査報告書Ⅴ　樽口遺跡』朝日村教育委員会

津田禾粒ほか 1986 「Ⅱ　表層地質図「津川の地質」」『新潟県下越地域　土地分類基本調査　津川』新潟県農地部農村総合整備課
土橋由理子 2002 「報告書作成中の遺跡　円山遺跡」『埋文にいがた』40号
中川重紀ほか 1995 『岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 第215集　大渡Ⅱ遺跡発掘調査報告書』（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
中川成夫　1966 『安田町文化財調査報告1　ツベタ遺跡』　安田町教育委員会
中川成夫ほか 1970 「水原郷の遺跡・遺物」『新潟県文化財年報第10　水原郷』　新潟県教育委員会
道澤　明　2002 「周辺の様相ー千葉県」『シンポジウム　茨城県における旧石器時代研究の到達点ーその現状と課題ー　発表要旨・資料集』　茨城県考古学協会
南部郷教育委員会連絡協議会　1975　『水原郷遺跡目録』
新潟県　1983 『新潟県史　資料編1　原始・古代一　考古編』
本間信昭ほか 1974 『安田町文化財調査報告3　藤堂遺跡発掘調査概報』　安田町教育委員会
麻柄一志　1986 「いわゆる立野ヶ原型ナイフ形石器の基礎的整理」『旧石器考古学』33　旧石器考古学談話会
増子正三　1989 「安田町六野瀬遺跡の縄文前期の土器」『北越考古学』第2号　北越考古学研究会
柳田俊雄・須藤隆・阿子島香　2000 「山形県新庄市上ミ野A遺跡の第3次発掘調査」『第14回　東北日本の旧石器文化を語る会』予稿集
山田晃弘　2000 「東北地方石刃石器群における居住・移動形態ー石材獲得と石器製作行動からみてー」『佐藤広史君追悼論文集　一所懸命』佐藤広史君を偲ぶ会

①ブロック別石器組成（礫・礫片を除く）

（点）

	台形様石器	ナイフ形石器	錐	彫刻刀形石器	彫刻刀削片	削器	掻器	彫削器	彫掻器	抉入石器	鋸歯縁石器	楔形石器	石二次加工ある刃	石微細剥離ある刃	石刃	剥二次加工ある片	剥微細剥離ある片	剥片	砕片	石核	砥石	台石	石器合計
1a		15	1	7	3	13	18	1	1	13	1	12	14	37	12	13	30	86	681	4	1	1	964
1b		2		2		7	11			4	2	3	4	9	4	3	16	43	390	1			501
1c		2		1	2	2	1			3	1		1	4	2		4	17		1			41
B1合計	0	19	1	10	5	22	30	1	1	20	4	15	19	50	18	16	50	146	1071	6	1	1	1506
2		15		2	1	10	10	1		4	2	12	7	20	7	6	22	94	1042	3			1258
3	2			2	1						1	2		3	3	2	5	34		5			60
外	3	2		2	1	1	13			1		3	6	5	6	11	22	107	712	15	1		911
合計	5	36	1	16	8	33	53	2	1	25	7	32	32	78	34	35	99	381	2825	29	2	1	3735

②石材組成（礫・礫片を除く）

（点）

	1a	1b	1c	B1合計	2	3	外	合計
珪質頁岩	843	392	32	1267	1119	13	627	3026
珪質頁岩？		2	1	3			1	4
玉髄（白）				0	1	35	58	94
玉髄	64	32		96	43	11	95	245
チャート	25	49		74	69		82	225
流紋岩	6	5	6	17	6	1	26	50
流紋岩？	1		1	2	1		1	4
珪質凝灰岩	1			1	2			3
凝灰岩	10			10	13		7	30
珪質シルト岩	1			1				1
黒曜石				0	2			2
硬砂岩	1			1				1
砂岩	2		1	3			1	4
砂岩？	1			1				1
粘板岩	1			1	1			2
鉄石英	1			1			2	3
フォルンフェルス	2	5		7	1		2	10
泥岩	1			1				1
安山岩		2		2				2
不明	4	14		18			9	27
合計	964	501	41	1506	1258	60	911	3735

③礫・礫片組成

（点）

ブロック	層位	珪質頁岩	玉髄	瑪瑙	チャート	流紋岩	凝灰岩	硬砂岩	細粒砂岩	石英砂岩	アルコース砂岩	砂岩	粘板岩	鉄石英	石英	フォルンフェルス	花崗岩	花崗斑岩	斑花崗岩	安山岩	安山岩？	玄武岩	輝緑凝灰岩	石英斑岩	礫岩	不明	合計
1a	I					5	1					2				1	1	1									11
	I・II					3																					3
	II		1		4	18		2				5		2		1	20	6						1	1		61
	III					2						1		1			2										6
	IV				1	1						4				1							1				8
	沢　覆土																										0
	撹乱																										0
	不明																										0
	合計	0	1	0	5	29	1	2	0	0	0	12	0	3	0	3	23	7	0	0	0	0	1	1	1	0	89
1b	I		1																								1
	I・II																										0
	II		1		5	21	2					5				1	15	1		2							53
	III												2														2
	IV		1		1	3			1				1	1													8
	沢　覆土																										0
	撹乱																										0
	不明			1																							1
	合計	0	3	1	6	24	2	0	1	0	0	5	3	1	0	1	15	1	0	2	0	0	0	0	0	0	65
1c	I					1																					1
	I・II																										0
	II											1			1												2
	III				1	1						1															3
	IV				1																						1
	沢　覆土																										0
	撹乱																										0
	不明																										0
	合計	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
2	I																										0
	I・II																										0
	II																										0
	III			1	3	10				1		3	1			5	1										25
	IV				1	1							1			1											4
	沢　覆土																										0
	撹乱																										0
	不明				1																						1
	合計	0	0	1	5	11	0	0	0	1	0	3	2	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
3	I																										0
	I・II																										0
	II			1	2																						3
	III			2													1										3
	IV																										0
	沢　覆土																										0
	撹乱																										0
	不明																										0
	合計	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
外	I				4	5										1		1									11
	I・II																										0
	II		4	1	20	29	3				1	20	2	2	2	7	28	3		1	1			2	1		127
	III			1	8	7	1					3		1		2	3							1			27
	IV			1	3	5						1				1			1							1	13
	沢　覆土				1							1															2
	撹乱					1										1											2
	不明	1	1			4										1	4					1					12
	合計	1	5	3	36	51	4	0	0	0	1	25	2	3	2	13	35	4	1	1	1	1	0	3	1	1	194
総計	I		1		4	11	1					2				2	1	2									24
	I・II					3																					3
	II		6	2	31	68	5	2			1	31	2	4	3	9	63	10		3	1			3	2		246
	III			4	12	20	1			1		8	3	2		7	7							1			66
	IV		1	1	7	10			1			5	2	1		3			1				1			1	34
	沢　覆土				1							1															2
	撹乱					1										1											2
	不明	1	1	1	1	4										1	4					1					14
	合計	1	9	8	56	117	7	2	1	1	1	47	7	7	3	23	75	12	1	3	1	1	1	4	2	1	391

④層位別石器組成表

（点）

		台形様石器	ナイフ形石器	錐	彫刻刀形石器	彫刻刀削片	削器	掻器	彫削器	彫掻器	抉入石器	鋸歯縁石器	楔形石器	あ二次加工る石刃	あ微細剥離る石刃	石刃	あ二次加工る剥片	あ微細剥離る剥片	剥片	砕片	石核	敲石	台石	合計
1a	I		1										1		2		2	1	8					15
	I・II		1												2				1					4
	II		2				2	1			3	1	6	2	7	3	3	7	10		3			50
	III		3		4		4	6		1	4		3	4	8		1	5	15			1	1	60
	IV		8	1	3	3	7	11	1		6		2 (1)	8 (1)	17	9	6	17 (3)	50 (27)	675 (673)	1			825
	V																							0
	沢 覆土																							0
	攪乱																							0
	不明														1		1		2	6 (6)				10
	合計	0	15	1	7	3	13	18	1	1	13	1	12 (1)	14 (1)	37	12	13	30 (3)	86 (27)	681 (679)	4	1	1	964
1b	I						1	1						2			3		2					9
	I・II																							0
	II							5					1		3	1		6	18					34
	III		2				4	3			1			2	3	2		2	7					26
	IV				2		1	2			3	2	2		3 (1)	1		8	15 (7)	390 (390)	1			430
	V																							0
	沢 覆土																							0
	攪乱																							0
	不明						1												1					2
	合計	0	2	0	2	0	7	11	0	0	4	2	3	4	9 (1)	4	3	16	43 (7)	390 (390)	1	0	0	501
1c	I		1		1														1					3
	I・II																							0
	II										1	1		1					4					7
	III		1			1	1	1			1				2	2		2	6					17
	IV					1	1				1				2			2	6		1			14
	V																							0
	沢 覆土																							0
	攪乱																							0
	不明																							0
	合計	0	2	0	1	2	2	1	0	0	3	1	0	1	4	2	0	4	17	0	1	0	0	41
B1 総計	I		2		1		1	1					1	2	2		5	1	11					27
	I・II		1												2				1					4
	II		2				2	6			4	2	7	3	10	4	3	13	32		3			91
	III		6		4	1	9	10		1	6		3	6	13	4	1	9	28			1	1	103
	IV		8	1	5	4	9	13	1		10	2	4 (1)	8 (1)	22 (1)	10	6	27 (3)	71 (34)	1065 (1063)	3			1269
	V																							0
	沢 覆土																							0
	攪乱																							0
	不明						1								1		1		3	6 (6)				12
	合計	0	19	1	10	5	22	30	1	1	20	4	15 (1)	19 (1)	50 (1)	18	16	50 (3)	146 (34)	1071 (1069)	6	1	1	1506
B2 総計	I												1											1
	I・II																							0
	II														2			1	1					4
	III		10		1		10	10	1		4	2	7	7	15	3	2 (1)	15 (2)	42 (22)	384 (384)	3			516
	IV		5		1	1 (1)							4 (2)		3	3 (1)	4 (3)	6 (3)	51 (41)	658 (658)				736
	V																							0
	沢 覆土																							0
	攪乱																							0
	不明															1								1
	合計	0	15	0	2	1 (1)	10	10	1	0	4	2	12 (2)	7	20	7 (1)	6 (4)	22 (5)	94 (63)	1042 (1042)	3	0	0	1258
B3 総計	I																1		2					3
	I・II																							0
	II	1				1									2	1		3	11		4			23
	III	1			1							1	1		1	2	1	2	14		1			25
	IV				1								1						6					8
	V																		1					1
	沢 覆土																							0
	攪乱																							0
	不明																							0
	合計	2	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	2	0	3	3	2	5	34	0	5	0	0	60
区外 総計	I						1	1					1	1		1		1	4		1			11
	I・II																							0
	II	2			2	1		3					2	3	2	3	7	6	34		4	1		70
	III	1	2					6						1	2	1	1	13	19	7 (7)	6			59
	IV							1							1 (1)		2	1 (1)	41 (31)	702 (702)	1			749
	V							1											1					2
	沢 覆土										1					1		1	7		3			13
	攪乱																		1					1
	不明							1						1			1			3 (3)				6
	合計	3	2	0	2	1	1	13	0	0	1	0	3	6	5 (1)	6	11	22 (1)	107 (31)	712 (712)	15	1	0	911

⑤石材別石器組成表（1）

（点）

		台形様石器	ナイフ形石器	錐	彫刻刀形石器	彫刻刀削片	削器	掻器	彫削器	彫掻器	抉入石器	鋸歯縁石器	楔形石器	あ二次加工る石刃	あ微細剥離る石刃	石刃	二次加工ある剥片	あ微細剥離る剥片	剥片	砕片	石核	敲石	台石	合計	重量合計(g)
1a	珪質頁岩		15	1	7	3	13	18	1	1	13	1	11 (1)	14 (1)	36	10	11	30 (3)	73 (25)	584 (582)	1			843	4418.63
	珪質頁岩?																							0	0
	玉髄（石）																							0	0
	玉髄															1			3	60 (60)				4	20.73
	チャート																			24 (24)	1			1	104.95
	流紋岩																1		4		1			6	340.21
	流紋岩?																		1					1	1.15
	珪質凝灰岩																		1 (1)					0	0.12
	凝灰岩												1				1			8 (8)				2	12.65
	珪質シルト岩														1									1	10.49
	黒曜石																							0	0
	硬砂岩																		1 (1)					0	2.59
	砂岩																					1	1	2	864.28
	砂岩?																		1					1	6.09
	粘板岩																		1					1	33.36
	鉄石英																				1			1	20.99
	ホルンフェルス																		1	1 (1)				1	142.58
	泥岩															1								1	75.33
	安山岩																							0	0
	不明																			4 (4)				0	0
	合計	0	15	1	7	3	13	18	1	1	13	1	12 (1)	14 (1)	37	12	13	30 (3)	86 (27)	681 (679)	4	1	1	964	6054.15
1b	珪質頁岩		2		2		7	11			3	2	3	4	9 (1)	4	3	14	32 (6)	296 (296)				392	1354.53
	珪質頁岩?																	1	1 (1)					1	22.98
	玉髄（石）																							0	0
	玉髄																		2	30 (30)				2	32.13
	チャート																			49 (49)				0	0
	流紋岩																	1	3	1 (1)				4	64.37
	流紋岩?																							0	0
	珪質凝灰岩																							0	0
	凝灰岩																							0	0
	珪質シルト岩																							0	0
	黒曜石																							0	0
	硬砂岩																							0	0
	砂岩																							0	0
	砂岩?																							0	0
	粘板岩																							0	0
	鉄石英																							0	0
	ホルンフェルス																		4		1			5	579.74
	泥岩																							0	0
	安山岩										1								1					2	57.99
	不明																			14 (14)				0	0
	合計	0	2	0	2	0	7	11	0	0	4	2	3	4	9 (1)	4	3	16	43 (7)	390 (390)	1	0	0	501	2111.74
1c	珪質頁岩		2			2	2	1			2	1		1	4	1		4	11		1			32	464.68
	珪質頁岩?										1													1	17.39
	玉髄（石）																							0	0
	玉髄																							0	0
	チャート																							0	0
	流紋岩															1			5					6	122.45
	流紋岩?				1																			1	22.88
	珪質凝灰岩																							0	0
	凝灰岩																							0	0
	珪質シルト岩																							0	0
	黒曜石																							0	0
	硬砂岩																							0	0
	砂岩																		1					1	27.08
	砂岩?																							0	0
	粘板岩																							0	0
	鉄石英																							0	0
	ホルンフェルス																							0	0
	泥岩																							0	0
	安山岩																							0	0
	不明																							0	0
	合計	0	2	0	1	2	2	1	0	0	3	1	0	1	4	2	0	4	17	0	1	0	0	41	654.48

⑥石材別石器組成表（2）

（点）

		台形様石器	ナイフ形石器	錐	彫刻刀形石器	彫刻刀削片	削器	掻器	彫削器	彫掻器	抉入石器	鋸歯縁石器	楔形石器	二次加工ある石刃	微細剥離ある石刃	石刃	二次加工ある剥片	微細剥離ある剥片	剥片	砕片	石核	砥石	台石	合計	重量合計(g)
B1総計	珪質頁岩		19	1	9		5	22	30	1	1	18	4	14 (1)	19 (1)	49 (1)	15	14	48 (3)	116 (31)	880 (878)	2			1267	6237.84
	珪質頁岩?										1							1	1 (1)					2	40.37
	玉髄（白）																							0	0
	玉髄															1			5	90 (90)				6	52.86
	チャート																			73 (73)	1			1	104.95
	流紋岩															1	1	1	12	1 (1)	1			16	527.03
	流紋岩?				1														1					2	24.03
	珪質凝灰岩																		1 (1)					0	0.12
	凝灰岩												1				1			8 (8)				2	12.65
	珪質シルト岩														1									1	10.49
	黒曜石																							0	0
	硬砂岩																		1 (1)					0	2.59
	砂岩																		1			1	1	3	891.36
	砂岩?																		1					1	6.09
	粘板岩																		1					1	33.36
	鉄石英																				1			1	20.99
	フォルンフェルス																		5	1 (1)	1			6	722.32
	泥岩															1								1	75.33
	安山岩										1								1					2	57.99
	不明																			18 (18)				0	0
	合計	0	19	1	10		5	22	30	1	1	20	4	15 (1)	19 (1)	50 (1)	18	16	50 (3)	146 (34)	1071 (1069)	6	1	1	1506	8820.37
B2総計	珪質頁岩		15		2	1 (1)	10	10	1		4	2	9 (1)	7	20	7 (1)	6 (3)	22 (5)	77 (55)	925 (925)	2			1119	2510.89
	珪質頁岩?																							0	0
	玉髄（白）																		1 (1)					0	0.34
	玉髄																		4 (4)	38 (38)	1			1	29.46
	チャート																			69 (69)				0	0
	流紋岩																1 (1)		4	1 (1)				4	52.29
	流紋岩?																		1					1	17.99
	珪質凝灰岩																		2 (2)					0	0.95
	凝灰岩																		4 (1)	9 (9)				13	18.99
	珪質シルト岩																							0	0
	黒曜石												2 (1)											2	2.25
	硬砂岩																							0	0
	砂岩																							0	0
	砂岩?																							0	0
	粘板岩												1											1	32.16
	鉄石英																							0	0
	フォルンフェルス																		1					1	2.25
	泥岩																							0	0
	安山岩																							0	0
	不明																							0	0
	合計	0	15	0	2	1 (1)	10	10	1	0	4	2	12 (2)	7	20	7 (1)	6 (4)	22 (5)	94 (63)	1042 (1042)	3	0	0	1258	2667.57
B3総計	珪質頁岩				1							1	1		2	2			6					13	201.39
	珪質頁岩?																							0	0
	玉髄（白）	2			1											1	1	3	22		5			35	368.56
	玉髄					1							1		1		1	2	5					11	69.41
	チャート																							0	0
	流紋岩																		1					1	59.77
	流紋岩?																							0	0
	珪質凝灰岩																							0	0
	凝灰岩																							0	0
	珪質シルト岩																							0	0
	黒曜石																							0	0
	硬砂岩																							0	0
	砂岩																							0	0
	砂岩?																							0	0
	粘板岩																							0	0
	鉄石英																							0	0
	フォルンフェルス																							0	0
	泥岩																							0	0
	安山岩																							0	0
	不明																							0	0
	合計	2	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	2	0	3	3	2	5	34	0	5	0	0	60	699.13

⑦石材別石器組成表（3）

（点）

		台形様石器	ナイフ形石器	錐	彫刻刀形石器	彫刻刀削片	削器	掻器	彫削器	彫掻器	抉入石器	鋸歯縁石器	楔形石器	二次加工ある石刃	微細剥離ある石刃	石刃	二次加工ある剥片	微細剥離ある剥片	剥片	砕片	石核	砥石	台石	合計	重量合計(g)
ブロック外	珪質頁岩		2		1		1	13			1		1	4	4 (1)	3	3	12 (1)	49 (25)	527 (527)	6			627	3396.46
	珪質頁岩?																		1					1	13.83
	玉髄（白）	3			1	1								2	1	3	7	8	28		4			58	453.18
	玉髄												1				1	2	7 (4)	84 (84)				95	66.08
	チャート																		4 (1)	76 (76)	2			82	1037.03
	流紋岩												1						13	11 (11)	1			26	343.84
	流紋岩?																		1					1	0.18
	珪質凝灰岩																							0	0
	凝灰岩																		1	6 (6)				7	2.16
	珪質シルト岩																							0	0
	黒曜石																							0	0
	硬砂岩																							0	0
	砂岩																					1		1	250.91
	砂岩?																							0	0
	粘板岩																							0	0
	鉄石英																				2			2	484.95
	フォルンフェルス																		2 (1)					2	86.4
	泥岩																							0	0
	安山岩																							0	0
	不明																		1	8 (8)				9	0.86
	合計	3	2	0	2	1	1	13	0	0	1	0	3	6	5 (1)	6	11	22 (1)	107 (31)	712 (712)	15	1	0	911	6135.88

※層位別石器組成表・石材別石器組成表における（　）内の数字は、出土点数のうちフルイ選別により出土した石器の点数を示す。
※石材別石器組成表の「重量合計」にはフルイ選別により出土した砕片の重量は含んでいない。

旧石器観察表

遺物No.	図No.	小ブロック	平面位置 大グリッド	小グリッド	北から南	西から東	基点	層位	標高	分類	細分類	最大長(mm)	最大幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	母岩	自然面	被熱	破損	備考
B1-188	1	1a	14G	20	762	805	14G	Ⅳ下	38.081	ナイフ形石器	Ⅰb	60.00	16.85	7.90	5.42	珪頁	70	礫面			
B1-316	2	1a	14H	11	525	14	14H	Ⅳ下	38.14	ナイフ形石器	Ⅰa	87.55	28.00	10.75	22.66	珪頁	59				
B1-37	3	1a	14H	4	174	697	14H	Ⅲ	38.57	ナイフ形石器	Ⅰb	102.50	30.20	9.55	21.55	珪頁	104	礫面		先端欠	
B1-279	4	1a	14H	12	481	336	14H	Ⅳ上	38.191	ナイフ形石器	Ⅰb	84.65	22.25	8.85	10.36	珪頁					
B1-16	5	1a	14G	20	704	855	14G	Ⅱ	38.535	ナイフ形石器	Ⅰb	83.30	26.25	8.00	15.91	珪頁					
B1-246	6	1a	14H	11	466	134	14H	Ⅳ	38.265	ナイフ形石器	Ⅱb	92.80	34.25	7.20	15.17	珪頁					
B1-17	9	1a	14G	20	708	814	14G	Ⅲ	38.331	ナイフ形石器		91.25	24.75	8.00	17.17	珪頁			基部はじけ		
B1-64	11	1a	14H	14	458	741	14H	Ⅱ	38.411	ナイフ形石器	Ⅴ	69.45	19.35	7.70	6.34	珪頁					
B1-304②	12	1a	14H	11	578	74	14H	Ⅳ	38.135	ナイフ形石器	Ⅴ	82.00	25.00	7.55	9.82	珪頁				左ガジリ	
B1-281	13	1a	14H	16	608	58	14H	Ⅳ上	38.19	ナイフ形石器	Ⅰb	122.25	35.00	9.95	46.06	珪頁					錐の可能性あり
B1-60	14	1a	14H	13	569	499	14H	Ⅳ	38.15	ナイフ形石器	Ⅵ	101.90	45.25	14.40	65.98	珪頁		礫面		先端欠	
B1-267	15	1a	14H	13	592	564	14H	Ⅳ上	38.067	ナイフ形石器	Ⅰa	40.75	37.30	14.65	23.17	珪頁	22	礫面		上下欠	B1-№338と接合
B1-338	15	1a	14H	19				Ⅰ		ナイフ形石器	Ⅰa	30.60	24.65	12.00	8.32	珪頁	22	礫面		上半欠	B1-№267と接合
14I-79	16	1a	14I	16	752	88	14I	Ⅳ	37.74	錐		46.75	30.90	10.55	10.46	珪頁		礫面			
B1-50	17	1a	14H	9	256	737	14H	Ⅲ	38.459	彫刻刀形石器	Ⅰb	83.25	33.00	12.00	28.78	珪頁		礫面			
B1-284	18	1a	14H	16	637	48	14H	Ⅳ上	38.191	彫刻刀形石器	Ⅰb	89.80	42.85	14.80	48.39	珪頁		礫面			
B1-34	19	1a	14H	4	141	640	14H	Ⅲ下	38.587	彫刻刀形石器	Ⅰa	80.35	70.75	16.35	89.81	珪頁				末端ガジリ	
B1-9	21	1a	14G	19	686	753	14G	Ⅲ上	38.505	彫刻刀形石器	Ⅰa	75.40	40.00	23.65	61.37	珪頁	102	礫面		上ガジリ	
B1-187	22	1a	14G	20	657	985	14G	Ⅳ上	38.101	彫刻刀形石器	Ⅰb	69.00	49.25	21.20	56.67	珪頁	12			左と末端ガジリ	B1-№102と接合
B1-102	23	1a	14H	22	979	297	14H	Ⅲ下	37.806	剥片		30.00	40.70	12.25	13.40	珪頁	12				B1-№187と接合
B1-285	24	1a	14H	16	670	58	14H	Ⅳ上	38.147	彫刻刀削片	Ⅱb	95.45	20.00	39.20	40.29	珪頁		礫面		上端ガジリ	
B1-295	25	1a	14H	16	662	172	14H	Ⅳ	38.005	彫刻刀削片	Ⅱa	50.00	22.70	14.70	11.05	珪頁	10				B1-№232と接合
B1-232	26	1a	14H	7	344	330	14H	Ⅳ上	38.41	彫刻刀削片	Ⅱa	46.60	17.85	11.75	7.48	珪頁	10				B1-№295と接合
B1-250	27	1a	14H	11	572	76	14H	Ⅳ	38.154	彫刻刀形石器	Ⅰb	59.80	60.55	22.35	71.70	珪頁	30				B1-№104,223,287と接合
B1-104	28	1a	14H	22	836	400	14H		38.012	二次加工ある剥片		52.70	41.20	7.60	13.57	珪頁	30			左半欠	B1-№223,250,287と接合
B1-287	29	1a	14H	16	618	124	14H	Ⅳ	38.072	二次加工ある剥片		42.00	42.00	8.35	8.17	珪頁	30			右半欠・末端ガジリ	B1-№104,223,250と接合
B1-12	34	1a	14G	19	784	790	14G	Ⅱ	38.431	削器		60.20	41.30	9.35	21.46	珪頁	29	礫面		上半欠	B1-№52と接合
B1-52	34	1a	14H	9	360	655	14H	Ⅲ	38.425	削器		72.90	46.80	14.85	50.00	珪頁	29	礫面		下半欠	B1-№12と接合
B1-15	36	1a	14G	20	676	850	14G	Ⅲ下	38.316	削器		86.75	46.20	11.65	33.45	珪頁					
B1-185	37	1a	14G	19	742	705	14G	Ⅳ上	38.369	削器		66.25	41.80	9.60	29.03	珪頁	17	礫面		下半欠	B1-№340と接合
B1-48	39	1a	14H	9	258	694	14H	Ⅲ	38.478	削器		108.90	41.90	12.40	51.39	珪頁					
B1-195	41	1a	15G	5	24	813	15G	Ⅳ上	37.897	削器		94.20	43.55	15.70	39.52	珪頁				末端欠	
B1-247	42	1a	14H	11	490	162	14H	Ⅳ	38.24	削器		62.00	58.40	20.20	44.16	珪頁	26	礫面		下欠・上端ガジリ	13I-№1と接合
B1-105	44	1a	14H	23	834	514	14H	Ⅱ下	38.007	削器		39.00	48.10	1.90	23.80	珪頁	24	礫面		下半欠	53Tr-№3,B1-№274と接合
B1-274	44	1a	14H	12	486	228	14H	Ⅳ上	38.278	削器		46.00	41.25	13.85	24.23	珪頁	24	礫面		上半欠	53Tr-№3,B1-№105と接合
B1-41	45	1a	14H	6	284	138	14H	Ⅲ上	38.749	削器		30.50	46.90	14.00	15.31	珪頁	23	礫面			B1-№278と接合
B1-278	46	1a	14H	12	475	320	14H	Ⅳ上	38.211	削器		74.90	43.10	10.00	30.79	珪頁	23	礫面			刃部再生 B1-№41と接合
B1-273	48	1a	14H	12	417	252	14H	Ⅳ上	38.354	掻器	Ⅰ	71.25	42.75	13.95	40.25	珪頁				右腹ガジリ	左側に抉入部
B1-230	49	1a	14H	4	186	610	14H	Ⅲ下	38.489	掻器	Ⅱ	76.60	38.70	17.15	50.76	珪頁		礫面		上端と左ガジリ	左側縁に抉入部あり
B1-301②	50	1a	14H	7	358	358	14H	Ⅳ	38.291	掻器	Ⅰ	50.20	43.95	10.55	23.96	珪頁	18			上下欠	B1-№179,324と接合
B1-179	50	1a	14G	15	558	974	14G	Ⅳ	38.251	掻器	Ⅰ	23.40	32.50	9.10	4.68	珪頁	18			打面ガジリ・下半欠	B1-№301②,324と接合
B1-184	52	1a	14G	19	658	743	14G	Ⅳ上	38.787	掻器	Ⅰ	115.70	63.10	22.10	105.64	珪頁		礫面			右側縁に抉入部あり
B1-40	53	1a	14H	5	118	816	14H	Ⅲ	38.59	掻器	Ⅰ	106.00	34.25	15.75	42.21	珪頁		礫面			
B1-55	54	1a	14H	14	404	760	14H	Ⅱ	38.441	掻器	Ⅰ	53.00	31.25	11.45	23.68	珪頁		礫面			
B1-26	56	1a	14G	24	878	610	14G	Ⅳ上	38.196	掻器	Ⅰ	90.55	62.30	15.50	85.24	珪頁	66	礫面		左腹ガジリ	右側腹面に刃部
B1-81	57	1a	14H	17	690	250	14H	Ⅲ	38.196	掻器	Ⅰ	72.60	26.70	13.20	17.77	珪頁		礫面		打面右ガジリ	
B1-93	58	1a	14H	20	607	824	14H	Ⅲ	38.042	掻器	Ⅰ	68.15	49.00	21.35	60.79	珪頁		礫面			刃部左半破損後も使用
B1-256	59	1a	14H	11	530	174	14H	Ⅳ下	38.133	掻器	Ⅰ	74.95	31.20	8.10	12.80	珪頁					
B1-194	60	1a	15G	4	130	793	15G	Ⅳ上	37.749	掻器	Ⅰ	96.35	38.00	10.45	31.83	珪頁					
B1-47	61	1a	14H	9	241	607	14H	Ⅲ下	38.494	掻器	Ⅲ	91.50	43.85	24.55	80.93	珪頁		礫面			石核底面と稜上調整残る
B1-304④	62	1a	14H	11	578	74	14H	Ⅳ	38.135	掻器	Ⅲ	82.25	34.85	11.75	33.14	珪頁					
B1-20	63	1a	14G	20	608	988	14G	Ⅳ上	38.32	掻器	Ⅰ	49.60	46.80	15.00	37.46	珪頁	14	礫面		下半欠	B1-№66と接合
B1-66	63	1a	14H	14	555	750	14H	Ⅳ上	38.079	掻器	Ⅰ	35.10	40.75	13.85	21.18	珪頁	14	礫面		上半欠	B1-№20と接合
B1-303①	64	1a	14H	11	568	100	14H	Ⅳ	38.11	彫削器		87.80	36.10	18.00	43.45	珪頁	127				
B1-74	65	1a	14H	16	660	70	14H	Ⅲ下	38.224	彫掻器		68.00	31.85	13.60	25.69	珪頁					

遺物No.	図No.	小ブロック	平面位置 大グリッド	小グリッド	北から南	西から東	基点	層位	標高	分類	細分類	最大長(mm)	最大幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	母岩	自然面	被熱	破損	備考
B1-95	72	1a	14H	20	744	898	14H	Ⅲ	37.907	抉入石器	Ⅰa	28.65	38.35	16.00	15.37	珪頁					
B1-282	73	1a	14H	16	614	50	14H	Ⅳ	38.131	抉入石器	Ⅰa	50.25	38.60	16.10	27.95	珪頁		礫面		下半欠	
B1-260	74	1a	14H	11	588	174	14H	Ⅳ下	38.067	抉入石器	Ⅰa	50.15	34.30	15.50	26.47	珪頁	3				B1-№272,53Tr-№2と接合
B1-272	76	1a	14H	12	435	234	14H	Ⅳ	38.256	二次加工ある剥片		36.65	41.30	9.15	12.00	珪頁	3				B1-№260,53Tr-№2と接合
B1-25	78	1a	14G	23	974	582	14G	Ⅲ下	38.202	楔形石器	Ⅰ	56.60	57.50	13.45	46.27	珪頁		礫面		上端と右ガジリ	
B1-345	79	1a	15H	3				Ⅱ		楔形石器	Ⅰ	51.45	35.85	11.75	17.15	珪頁	106			右ガジリ	
B1-49	80	1a	14H	9	312	640	14H	Ⅲ	38.468	楔形石器	Ⅰ	38.25	44.65	9.25	18.48	珪頁				右欠	
B1-190	82	1a	14G	25	848	849	14G	Ⅳ上	38.11	楔形石器	Ⅱ	50.25	30.25	12.30	9.70	珪頁	13			末端右ガジリ	14I-№55と接合
B1-63	84	1a	14H	14	442	608	14H	Ⅲ下	38.28	楔形石器	Ⅰ	50.25	51.50	13.10	30.72	珪頁	2				B1-№107と接合
B1-107	85	1a	14H	23	838	578	14H	Ⅲ下	37.873	剥片		22.75	21.80	2.80	1.03	珪頁	2				B1-№63と接合
B1-264	86	1a	14H	13	488	513	14H	Ⅳ上	38.168	二次加工ある石刃	Ⅰ	115.10	37.75	10.95	21.26	珪頁	95	礫面		左上ガジリ・下半欠（新）	B1-№265と接合・長,幅,厚接合後
B1-265	86	1a	14H	13	478	512	14H	Ⅳ	38.118	二次加工ある石刃	Ⅰ	115.10	37.75	10.95	25.91	珪頁	95	礫面		上半欠（新）	B1-№264と接合・長,幅,厚接合後
B1-231	87	1a	14H	6	330	140	14H	Ⅳ上	38.551	二次加工ある石刃	Ⅱ	124.15	56.15	19.20	86.68	珪頁	31			右ガジリ	B1-№242と接合（節理割れ）
B1-280	88	1a	14H	12	492	312	14H	Ⅳ上	38.184	二次加工ある石刃	Ⅲ	127.75	36.35	19.10	49.95	珪頁		礫面・節理			稜形成石刃
B1-276	89	1a	14H	12	515	230	14H	Ⅳ	38.167	微細剥離ある石刃	Ⅲ	112.65	38.00	10.85	44.88	珪頁		礫面			
B1-288②	91	1a	14H	16	604	136	14H	Ⅳ上	38.105	微細剥離ある剥片		60.25	41.70	9.00	19.21	珪頁	87	礫面		右ガジリ	
B1-268	92	1a	14H	16	620	12	14H	Ⅳ下	38.135	微細剥離ある剥片		22.90	18.60	2.60	1.06	珪頁	6				
B1-182	93	1a	14G	15	592	880	14G	Ⅳ上	38.302	石刃	Ⅲ	74.75	22.20	14.45	17.99	珪頁	7	礫面		末端欠（新）	稜形成石刃・B1-№78と接合
B1-78	94	1a	14H	16	741	190	14H	Ⅱ	38.252	二次加工ある石刃	Ⅰ	86.70	26.70	11.00	25.43	珪頁	7	礫面		末端ガジリ	B1-№182と接合
B1-2	95	1a	14G	10	346	911	14G	Ⅱ下	38.82	石核		53.00	67.00	53.00	214.51	流紋		礫面		右ガジリ	
B1-28	96	1a	14G	20	796	970	14G	Ⅲ下	38.151	砥石		52.90	73.25	33.00	143.00	砂岩		礫面			
B1-1	97	1a	14G	8	332	536	14G	Ⅲ	39.046	台石		116.45	108.95	42.45	721.28	砂岩					両極剥離の台石
B1-33	写	1a	14H	2	108	250	14H	Ⅱ	38.925	鋸歯縁石器	Ⅰ	111.95	37.85	16.60	40.30	珪頁		節理			
B1-262	写	1a	14H	12	584	286	14H	Ⅳ	38.054	抉入石器	Ⅰa	46.30	17.65	13.40	9.07	珪頁					
B1-22	写	1a	14G	23	888	464	14G	Ⅲ	38.408	抉入石器	Ⅰb	54.25	36.80	7.70	16.23	珪頁				打面欠	
B1-283	写	1a	14H	16	611	76	14H	Ⅲ	38.369	抉入石器	Ⅱb	76.85	27.00	6.30	11.96	珪頁	80			上端・右ガジリ	
B1-346	写	1a	15H	9				Ⅱ		抉入石器	Ⅱb	37.65	38.30	12.95	14.44	珪頁	123				
14H-108	写	1a	14H	8④				Ⅳ		楔形石器	Ⅰ	20.40	19.70	6.00	2.05	珪頁	64				フルイ
B1-29	写	1a	14G	25	861	999	14G	Ⅱ	38.223	楔形石器	Ⅰ	42.75	37.60	17.00	27.37	珪頁		礫面			
B1-100	写	1a	14H	22	862	277	14H	Ⅱ	38.135	楔形石器	Ⅰ	46.45	37.00	9.00	2.54	珪頁	92			折れ（新）	B1-№300と接合・長,幅,厚接合後
B1-300	写	1a	14H	22	866	274	14H	Ⅱ	38.07	楔形石器	Ⅰ	46.45	37.00	9.00	10.72	珪頁	92			折れ（新）	B1-№100と接合・長,幅,厚接合後
B1-347	写	1a	14H	6				Ⅰ		楔形石器	Ⅰ	37.40	22.00	10.70	7.26	珪頁					
B1-240	写	1a	14H	11	464	76	14H	Ⅳ上	38.353	石核		19.45	71.65	49.75	64.59	珪頁	57			素材腹面ガジリ	厚手の剥片素材
B1-3		1a	14G	14	434	719	14G	Ⅱ	38.96	微細剥離ある剥片		51.65	39.40	8.25	17.73	珪頁	53			下端折後剥離	
B1-5		1a	14G	18	796	450	14G	Ⅳ上	38.471	剥片		18.40	9.95	2.10	0.30	珪頁					
B1-6		1a	14G	19	607	768	14G	Ⅲ	38.499	微細剥離ある石刃	Ⅲ	70.45	15.00	6.00	5.15	珪頁				両側と末端ガジリ	
B1-8		1a	14G	19	692	697	14G	Ⅲ下	38.412	抉入石器	Ⅱb	81.85	52.00	6.50	22.24	珪頁		礫面		末端ガジリ	
B1-10		1a	14G	19	756	740	14G	Ⅲ	38.404	微細剥離ある石刃	Ⅱ	82.60	40.95	14.40	48.59	珪頁	105			下端欠・右ガジリ	
B1-11		1a	14G	19	744	768	14G	Ⅲ下	38.297	微細剥離ある剥片		53.80	64.55	17.00	58.73	珪頁	64			上半欠	石核底面残る
B1-13		1a	14G	20	637	814	14G	Ⅲ	38.436	二次加工ある石刃	（Ⅰ）	84.55	38.95	5.90	20.56	珪頁				上端と末端欠	
B1-14		1a	14G	20	656	846	14G	Ⅲ下	38.354	二次加工ある石刃	（Ⅱ）	88.60	26.25	8.60	22.66	珪頁	55			上端と末端欠・両側ガジリ	
B1-18		1a	14G	20	741	805	14G	Ⅲ下	38.289	ナイフ形石器		84.00	21.00	8.00	12.07	珪頁	107			末端欠・右腹ガジリ	
B1-24		1a	14G	23	894	552	14G	Ⅲ上	38.367	微細剥離ある石刃	（Ⅰ）	58.85	25.00	9.00	16.44	珪頁				末端欠	
B1-27		1a	14G	24	874	718	14G	Ⅲ	38.312	剥片		53.45	41.90	17.85	31.59	珪頁	87	礫面			
B1-30		1a	14G	25	917	997	14G	Ⅲ	38.046	掻器		42.75	33.00	6.40	9.06	珪頁	58	礫面		上半欠・右末端ガジリ	
B1-31		1a	14G	25	920	992	14G	Ⅲ	38.048	剥片		25.00	20.50	3.45	1.92	珪頁				右ガジリ	
B1-35		1a	14H	3	192	540	14H	Ⅲ	38.637	二次加工ある石刃	Ⅲ	76.00	29.85	7.00	15.86	珪頁				末端欠	
B1-36		1a	14H	4	182	637	14H	Ⅲ下	38.539	微細剥離ある石刃	Ⅲ	58.00	18.90	12.10	12.33	珪頁	19	礫面		左ガジリ	B1-№46と接合
B1-38		1a	14H	4	182	700	14H	Ⅲ	38.575	彫刻刀形石器	Ⅰb	64.95	39.85	15.50	26.68	珪頁			はじけ		
B1-39		1a	14H	4	198	704	14H	Ⅲ	38.565	微細剥離ある石刃	Ⅱ	96.90	43.70	11.45	34.11	珪頁	57	礫面			石核底面あり
B1-42		1a	14H	7	260	280	14H	Ⅱ	38.782	微細剥離ある石刃	Ⅱ	80.45	38.95	12.00	31.16	珪頁	79				
B1-45		1a	14H	8	287	590	14H	Ⅲ	38.469	剥片		21.20	24.70	4.80	1.15	流紋?	135				
B1-46		1a	14H	9	202	620	14H	Ⅲ下	38.522	微細剥離ある石刃	Ⅲ	69.00	17.40	14.50	14.44	珪頁	19	礫面		打面欠	稜上調整残る B1-№36と接合
B1-51		1a	14H	9	273	744	14H	Ⅲ	38.449	二次加工ある石刃	Ⅰ	67.90	28.00	6.55	10.17	珪頁	25			末端欠・右ガジリ	
B1-54		1a	14H	9	399	758	14H	Ⅱ	38.456	石刃	Ⅰ	47.90	16.85	9.85	4.85	玉髄					パンチ痕残る

遺物No.	図No.	小ブロック	平面位置 大グリッド	小グリッド	北から南	西から東	基点	層位	標高	分類	細分類	最大長(mm)	最大幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	母岩	自然面	被熱	破損	備考
B1-56		1a	14H	10	242	935	14H	Ⅱ	38.559	微細剥離ある剥片		18.90	25.20	2.45	1.10	珪質				上半欠	
B1-57①		1a	14H	8	356	402	14H	Ⅳ	38.36	剥片		13.00	16.75	3.25	0.70	珪質			はじけ		
B1-58		1a	14H	12	490	400	14H	Ⅱ	38.507	微細剥離ある石刃	Ⅰ	82.30	23.85	7.45	12.22	珪質	10				
B1-59		1a	14H	13	554	495	14H	Ⅲ	38.282	微細剥離ある石刃	(Ⅰ)	60.40	19.60	6.35	7.66	珪質		礫面		上端欠・両側ガジリ	
B1-61		1a	14H	13	486	545	14H	Ⅳ	38.201	抉入石器	Ⅰb	39.40	29.25	9.55	8.76	珪質				上半欠	
B1-62		1a	14H	13	549	540	14H	Ⅲ	38.227	微細剥離ある石刃	Ⅲ	71.40	32.20	10.25	22.20	珪質					
B1-65		1a	14H	14	419	797	14H	Ⅲ	38.29	剥片		21.70	22.70	7.00	3.66	珪質	82	礫面		上下欠	
B1-68①		1a	14H	14	584	796	14H	Ⅲ下	38.148	剥片		21.45	11.80	1.55	0.56	珪質				左半欠	
B1-68②		1a	14H	14	584	796	14H	Ⅲ下	38.148	剥片		19.95	17.70	5.50	1.14	珪質					
B1-69		1a	14H	15	450	834	14H	Ⅲ下	38.193	微細剥離ある剥片		28.45	14.45	4.75	1.58	珪質					
B1-70		1a	14H	15	482	832	14H	Ⅳ上	38.13	微細剥離ある剥片		24.90	14.65	2.30	0.76	珪質	87				
B1-71		1a	14H	15	428	908	14H	Ⅱ	38.399	抉入石器	Ⅱb	31.65	26.65	10.00	6.21	珪質	27			下半欠	B1-№339と接合
B1-72		1a	14H	15	500	863	14H	Ⅱ	38.33	剥片		19.85	24.85	2.85	1.20	珪質				上半欠	
B1-73		1a	14H	16	610	84	14H	Ⅱ	38.483	剥片		26.00	13.25	2.30	0.76	珪質	94	礫面		半分に折れ（新）	
B1-77		1a	14H	16	742	114	14H	Ⅳ上	38.07	二次加工ある剥片		26.35	19.95	5.00	2.23	珪質					
B1-82		1a	14H	17	766	227	14H	Ⅱ	38.22	石刃	Ⅰ	31.30	11.55	5.35	1.32	珪質					
B1-83		1a	14H	18	689	448	14H	Ⅰ	38.42	微細剥離ある石刃	Ⅱ	95.65	31.65	13.60	36.33	珪質		礫面		下端ガジリ	
B1-84		1a	14H	17	722	236	14H	Ⅲ下	38.073	剥片		14.25	18.65	10.10	3.41	珪質				上下左右欠	
B1-86		1a	14H	18	748	459	14H	Ⅱ下	38.107	二次加工ある剥片		23.46	28.10	4.50	2.55	珪質	87				
B1-89		1a	14H	19	710	645	14H	Ⅳ上	37.968	微細剥離ある石刃	(Ⅰ)	38.80	19.00	4.30	3.35	珪質				上下端欠	
B1-90		1a	14H	19	707	666	14H	Ⅳ上	37.957	剥片		11.75	17.55	2.55	0.39	珪質					
B1-91		1a	14H	19	657	791	14H	Ⅲ上	38.044	剥片		13.85	20.70	2.85	0.84	珪質					
B1-92		1a	14H	19	767	722	14H	Ⅲ下	37.911	剥片		16.40	12.90	2.00	0.40	珪質			はじけ		
B1-94		1a	14H	20	636	884	14H	Ⅲ下	37.984	剥片		59.00	36.60	7.30	13.51	珪質				右ガジリ	
B1-98		1a	14H	21	916	123	14H	Ⅱ	38.117	石刃	(Ⅰ)	31.40	8.60	4.70	1.20	珪質				上下欠	
B1-99		1a	14H	21	996	74	14H	Ⅲ上	37.938	微細剥離ある剥片		27.20	22.45	9.45	3.99	珪質		礫面		上半欠	
B1-101		1a	14H	22	908	242	14H	Ⅳ上	37.881	微細剥離ある石刃	(Ⅰ)	51.20	26.75	4.30	5.07	珪質		礫面			
B1-103		1a	14H	22	819	396	14H	Ⅱ	38.114	二次加工ある石刃	Ⅰ	25.00	32.00	14.00	9.81	珪質	33	礫面		両端欠	16G-№20と接合
B1-108		1a	14H	23	904	440	14H	Ⅱ	38.01	楔形石器	(Ⅰ)	28.00	31.40	6.45	5.34	珪質				末端欠	
B1-109		1a	14H	23	918	494	14H	Ⅲ上	37.871	二次加工ある剥片		50.00	29.65	10.65	12.65	凝灰					
B1-110		1a	14H	24	844	642	14H	Ⅱ	37.995	剥片		74.00	44.00	9.65	33.36	粘板		礫面			
B1-111		1a	14H	24	962	668	14H	Ⅰ	38.053	剥片		30.40	42.45	29.65	33.54	珪質					石刃石核の打面再生剥片か
B1-114		1a	15G	4	51	736	15G	Ⅳ上	38.008	剥片		29.80	30.30	8.20	5.30	珪質				末端ガジリ	
B1-134		1a	15H	2	24	316	15H	Ⅱ	37.845	微細剥離ある石刃	(Ⅱ)	40.00	22.00	7.45	6.72	珪質				上半欠・下半ガジリ	
B1-135		1a	15H	2	50	326	15H	Ⅱ下	37.813	微細剥離ある石刃	Ⅰ	60.65	24.30	5.50	9.05	珪質				打面ガジリ	
B1-136		1a	15H	2	74	274	15H	Ⅱ	37.84	微細剥離ある石刃	(Ⅱ)	35.80	31.15	7.65	10.58	珪質	28			上下欠	B1-№329と接合
B1-138		1a	15H	2	134	316	15H	Ⅲ上	37.67	微細剥離ある剥片		24.00	22.25	5.45	2.56	珪質		礫面		上下欠	
B1-140		1a	15H	4	94	606	15H	Ⅲ	37.584	微細剥離ある剥片		37.55	51.95	10.75	11.88	珪質					
B1-142		1a	15H	5	114	809	15H	Ⅱ下	37.516	微細剥離ある剥片		53.00	28.60	6.65	7.23	珪質					
B1-172		1a	14H	9	205	718	14H	Ⅳ上	38.48	抉入石器	Ⅱb	51.95	28.40	10.60	13.52	珪質	70	礫面		上半欠・右上ガジリ	
B1-176		1a	14G	15	452	932	14G	Ⅳ	38.451	石刃	Ⅱ	84.00	27.50	5.60	10.96	珪質	66			打面欠・左下ガジリ	
B1-177		1a	14G	15	473	969	14G	Ⅳ	38.373	微細剥離ある剥片		22.45	49.15	14.00	7.61	珪質					
B1-178		1a	14G	15	526	923	14G	Ⅳ	38.331	剥片		32.85	27.50	9.30	6.09	砂岩？		礫面			
B1-180		1a	14G	15	594	990	14G	Ⅳ	38.217	石刃	Ⅲ	85.65	33.15	14.65	44.72	珪質		礫面			
B1-181①		1a	14G	15	578	928	14G	Ⅳ上	38.302	剥片		6.40	19.40	2.00	0.31	珪質					
B1-181②		1a	14G	15	578	928	14G	Ⅳ上	38.302	剥片		10.85	8.30	2.00	0.16	珪質				上半欠	
B1-181③		1a	14G	15	578	928	14G	Ⅳ上	38.302	砕片		4.50	6.40	1.86	0.03	珪質				下半欠	
B1-186		1a	14G	19	787	768	14G	Ⅳ上	38.166	微細剥離ある石刃	Ⅱ	91.45	24.30	7.25	16.83	珪質					
B1-189		1a	14G	25	810	898	14G	Ⅳ	38.04	剥片		24.20	18.60	4.55	2.19	珪質			はじけ	上半欠	
B1-193		1a	15G	3	100	503	15G	Ⅳ	37.942	削器		95.50	38.80	16.70	54.69	珪質					稜形成石刃素材
B1-233		1a	14H	7	352	348	14H	Ⅳ上	38.381	微細剥離ある剥片		88.40	44.65	8.85	20.95	珪質					
B1-238		1a	14H	11	414	21	14H	Ⅳ上	38.46	掻器	Ⅰ	87.90	13.85	10.90	10.76	珪質		礫面		末端と右ガジリ	
B1-239		1a	14H	11	440	46	14H	Ⅳ上	38.395	微細剥離ある石刃	Ⅱ	138.15	32.00	11.95	35.73	珪質		礫面		右ガジリ	
B1-241		1a	14H	11	462	98	14H	Ⅳ	38.319	剥片		24.10	38.30	8.80	6.60	珪質					
B1-242		1a	14H	11	493	74	14H	Ⅳ上	38.343	微細剥離ある剥片	Ⅱ	34.40	37.90	6.50	6.84	珪質	31	礫面			B1-№231と接合

遺物No.	図No.	小ブロック	平面位置 大グリッド	小グリッド	北から南	西から東	基点	層位	標高	分類	細分類	最大長(mm)	最大幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	母岩	自然面	被熱	破損	備考
B1-243		1a	14H	11	403	149	14H	Ⅳ	38.387	二次加工ある石刃	Ⅱ	98.85	36.35	15.85	36.33	珪質		礫面		上端ガジリ	
B1-244		1a	14H	11	434	174	14H	Ⅳ	38.33	二次加工ある石刃	Ⅱ	65.25	20.65	7.20	8.74	珪質	71	礫面		末端欠	
B1-245①		1a	14H	11	462	160	14H	Ⅳ上	38.32	剥片		16.80	24.95	3.65	1.27	珪質					
B1-245②		1a	14H	11	462	160	14H	Ⅳ上	38.32	微細剥離ある剥片		79.25	48.50	10.25	28.47	珪質					
B1-248		1a	14H	11	588	35	14H	Ⅳ下	38.135	剥片		46.45	37.10	6.30	15.50	珪質	87				
B1-249		1a	14H	11	592	77	14H	Ⅳ上	38.192	二次加工ある剥片		51.25	32.00	18.00	21.99	珪質		礫面		下半欠	
B1-251		1a	14H	11	564	84	14H	Ⅳ	38.156	二次加工ある石刃	Ⅱ	114.50	35.80	12.45	31.49	珪質		礫面			
B1-252		1a	14H	11	568	112	14H	Ⅳ	38.127	微細剥離ある石刃	Ⅱ	91.75	42.00	11.30	40.02	珪質					
B1-253		1a	14H	11	582	100	14H	Ⅳ	38.132	微細剥離ある石刃	Ⅱ	67.45	20.20	6.00	7.58	珪質				下端ガジリ	
B1-254		1a	14H	11	598	101	14H	Ⅳ	38.145	微細剥離ある石刃	Ⅲ	61.60	21.00	9.80	12.18	珪質	71	礫面		右ガジリ	
B1-255		1a	14H	11	568	130	14H	Ⅳ下	38.093	微細剥離ある剥片		87.60	53.00	14.30	50.71	珪質					
B1-257		1a	14H	11	560	160	14H	Ⅳ下	38.098	抉入石器	Ⅱb	87.00	35.20	10.75	25.84	珪質	79			末端欠	
B1-258		1a	14H	11	571	158	14H	Ⅳ	38.097	微細剥離ある石刃	Ⅰ	107.75	29.00	16.00	31.37	珪質		礫面		上端欠	稜上調整残る
B1-261		1a	14H	12	500	378	14H	Ⅳ上	38.194	微細剥離ある石刃	(Ⅰ)	36.60	23.75	6.80	5.01	珪質	90			下端欠・左ガジリ	B1-No.266と接合
B1-263		1a	14H	12	592	372	14H	Ⅳ上	38.11	剥片		31.45	24.35	7.15	5.86	珪質	90				
B1-266		1a	14H	13	500	468	14H	Ⅳ	38.115	微細剥離ある石刃	(Ⅰ)	21.70	19.60	7.50	3.16	珪質	90			上下欠	B1-No.261と接合
B1-269		1a	14H	16	624	26	14H	Ⅳ	38.161	微細剥離ある石刃	Ⅱ	72.85	21.45	9.50	10.54	珪質	59				
B1-270		1a	14H	16	608	48	14H	Ⅳ下	38.132	削器		42.80	30.65	7.95	6.01	珪質				下半欠	
B1-271		1a	14H	12	417	212	14H	Ⅳ上	38.334	微細剥離ある石刃	Ⅱ	84.15	26.00	9.00	16.08	珪質	63	礫面		石腹ガジリ	
B1-275		1a	14H	12	442	264	14H	Ⅳ上	38.355	微細剥離ある剥片		13.50	27.15	6.50	1.61	珪質					
B1-286		1a	14H	16	757	68	14H	Ⅳ	38.023	微細剥離ある剥片		22.20	11.35	3.85	1.01	珪質				上下欠	
B1-288①		1a	14H	16	604	136	14H	Ⅳ上	38.105	剥片		30.00	32.00	8.45	7.89	珪質	87				
B1-289		1a	14H	16	603	168	14H	Ⅳ上	38.094	石刃	Ⅰ	40.90	9.35	7.80	2.09	珪質				末端欠	彫刻刀削片の可能性あり
B1-290		1a	14H	16	628	146	14H	Ⅳ	38.034	微細剥離ある石刃	Ⅰ	106.55	35.45	5.85	17.88	珪質				末端欠	
B1-291		1a	14H	16	636	156	14H	Ⅳ	38.02	剥片		23.00	33.00	9.25	4.46	珪質				右ガジリ	
B1-292		1a	14H	16	652	96	14H	Ⅳ	38.058	石刃	Ⅲ	155.50	31.55	17.70	75.33	泥岩	118	礫面			稜形成石刃
B1-293		1a	14H	16	648	114	14H	Ⅳ	38.056	微細剥離ある石刃	Ⅲ	121.00	38.35	12.60	55.19	珪質	122	礫面			
B1-294		1a	14H	16	687	144	14H	Ⅳ	38.006	微細剥離ある石刃	Ⅰ	65.00	32.00	6.50	7.99	珪質	91			半分折れ（新）・右ガジリ	
B1-296		1a	14H	17	668	226	14H	Ⅳ	37.968	微細剥離ある剥片		34.30	28.95	9.65	9.11	珪質					
B1-297		1a	14H	17	640	274	14H	Ⅳ上	38.096	微細剥離ある剥片		47.00	26.85	4.60	4.31	珪質				右ガジリ	
B1-298		1a	14H	17	610	388	14H	Ⅱ	38.338	二次加工ある剥片		15.60	36.90	17.00	16.83	珪質	82	礫面		上半欠（新）	
B1-299		1a	14H	18	626	584	14H	Ⅳ	37.941	剥片		18.65	16.65	3.20	0.89	珪質				左ガジリ	
B1-301①		1a	14H	7	358	358	14H	Ⅳ	38.291	剥片		30.00	17.70	3.45	1.92	珪質	87				
B1-302①		1a	14H	11	595	86	14H	Ⅳ	38.126	剥片		12.15	12.00	3.85	0.51	珪質					
B1-302②		1a	14H	11	595	86	14H	Ⅳ	38.126	微細剥離ある剥片		90.80	51.20	9.15	32.49	珪質		礫面			
B1-303②		1a	14H	11	568	100	14H	Ⅳ	38.11	石刃	Ⅲ	89.10	28.10	9.45	12.93	珪質				上端欠・左ガジリ	稜形成石刃
B1-304①		1a	14H	11	578	74	14H	Ⅳ	38.135	剥片		46.40	54.85	8.00	10.45	珪質		礫面		右ガジリ	
B1-304③		1a	14H	11	578	74	14H	Ⅳ	38.135	二次加工ある剥片		28.80	18.55	2.90	1.13	珪質	87				
B1-305		1a	15H	7	376	372	15H		37.176	微細剥離ある石刃	Ⅲ	144.70	24.25	18.00	49.30	珪質		礫面		稜上ガジリ	
B1-306		1a	15H	8	209	596	15H		37.335	剥片		72.10	69.90	26.60	142.58	フォルンフェルス	89				
B1-312		1a	14G	15				Ⅳ下	36.91	剥片		24.75	12.40	2.90	0.97	珪質	87			上下欠	
B1-313		1a	14G	15				Ⅳ下	37.056	石刃	Ⅰ	26.00	10.90	4.75	0.98	珪質	87				
B1-314		1a	14G	15				Ⅳ	36.84	剥片		37.35	25.45	9.00	6.30	珪質	87	礫面			
B1-315		1a	14G	20				Ⅳ下	36.898	剥片		14.55	7.90	1.45	0.21	珪質					
B1-317		1a	14H	11	541	40	14H	Ⅳ下	38.112	石刃	Ⅱ	34.80	15.20	5.10	2.74	珪質		礫面			
B1-318		1a	14H	11	599	42	14H	Ⅳ下	38.05	微細剥離ある石刃	Ⅰ	35.25	11.65	3.60	1.54	珪質				上下欠	
B1-319		1a	14H	11	584	93	14H	Ⅳ下	38.032	剥片		29.35	17.00	4.45	1.61	珪質	55			左ガジリ	
B1-320		1a	14H	11	568	192	14H	Ⅳ下	38.048	剥片		20.90	26.25	4.15	1.76	珪質			はじけ		
B1-321		1a	14H	11	589	188	14H	Ⅳ下	38.023	二次加工ある剥片		45.60	25.00	17.60	12.71	珪質				上半欠	
B1-322		1a	14H	12	467	268	14H	Ⅳ下	38.178	砕片		9.45	10.70	1.85	0.05	珪質			白化		
B1-323		1a	14H	12	476	350	14H	Ⅳ下	38.134	石刃	Ⅰ	22.00	4.95	2.60	0.22	珪質				上半欠	
B1-329		1a	15H	2				Ⅰ・Ⅱ		微細剥離ある石刃	(Ⅱ)	43.90	36.85	12.60	19.68	珪質	28			上半欠・左下ガジリ	B1-No.136と接合
B1-331		1a	14H	15				Ⅰ		微細剥離ある石刃	(Ⅱ)	54.70	24.45	5.15	6.41	珪質				上端欠	
B1-332		1a	14H	21				Ⅱ		微細剥離ある剥片		59.70	44.80	14.75	29.41	珪質		礫面		下端欠	
B1-333		1a	15H	4				Ⅱ		微細剥離ある剥片		35.30	27.00	7.40	7.70	珪質				上下端欠	

遺物No.	図No.	小ブロック	大グリッド	小グリッド	平面位置 北から南	平面位置 西から東	基点	層位	標高	分類	細分類	最大長(mm)	最大幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	母岩	自然面	被熱	破損	備考
B1-337		1a	14H	22				Ⅰ		微細剥離ある剥片		60.65	26.65	6.00	7.17	珪質		礫面			
B1-339		1a	14H	20				Ⅱ		抉入石器	Ⅱb	17.20	32.55	10.95	6.09	珪質	27			両端欠	B1-№71と接合
B1-341		1a	14H	17				Ⅰ		二次加工ある剥片		13.20	21.65	3.65	1.15	珪質				上半欠	
B1-343		1a	14H	23				Ⅱ		微細剥離ある剥片		29.55	38.60	7.60	7.92	珪質					
B1-344		1a	15H	9				Ⅰ		二次加工ある剥片		39.40	38.00	8.00	11.41	珪質		礫面			
B1-348		1a	15H	2				Ⅰ・Ⅱ		ナイフ形石器		46.25	26.00	6.75	8.95	珪質	124			上半欠	
B1-350		1a	14H	19				Ⅱ		剥片		13.00	22.90	4.00	1.12	珪質			はじけ		
B1-351		1a	15H	2				Ⅰ・Ⅱ		剥片		16.00	16.00	2.70	0.63	珪質					
B1-353		1a	14G	18				Ⅱ		微細剥離ある石刃	Ⅰ	37.80	11.65	3.60	1.65	珪質	87			末端欠	
B1-354		1a	14H	15				Ⅰ		剥片		24.00	21.80	4.75	2.26	珪質	85			上半ガジリ	
B1-357		1a	14H	15				Ⅰ		剥片		22.00	22.40	4.50	1.57	流紋					
B1-358		1a	15H	3				Ⅰ		剥片		34.85	30.10	7.65	5.90	珪質					
B1-359		1a	15H	2				Ⅰ・Ⅱ		微細剥離ある石刃	(Ⅱ)	30.85	14.00	8.95	3.37	珪質	55			上半欠	稜上調整残る
B1-362		1a	14G	18				Ⅱ		剥片		29.50	37.60	21.25	20.21	珪質					
B1-363		1a	14H	14				Ⅰ		剥片		37.75	32.80	9.65	7.33	珪質					
B1-365		1a	14H	18				Ⅰ		剥片		43.40	27.40	12.00	11.74	珪質					
B1-368		1a	14H	18				Ⅰ		剥片		19.68	24.00	4.90	1.42	玉髄	112			上半欠	
B1-369		1a	14H	15				Ⅰ		剥片		28.65	30.90	5.00	3.07	珪質	85			上端ガジリ	
B1-370		1a	14H	22				Ⅱ		剥片		40.00	23.00	11.75	8.94	玉髄	115				
B1-371		1a	15H	8				Ⅲ		剥片		16.20	18.40	2.90	1.02	珪質			はじけ		
B1-374		1a	15H	4				Ⅱ		剥片		69.45	64.55	19.60	71.33	珪質	108				
B1-375		1a	14H	18				Ⅱ		剥片		38.20	35.70	10.75	13.31	流紋	141			上部欠・腹面ガジリ	
B1-376		1a	14H	19				Ⅱ		剥片		50.10	41.90	12.00	11.83	流紋			赤化		
B2-39		1a	13H	25	921	920	13H	Ⅲ上	39.167	剥片		48.60	28.50	4.45	6.01	珪質				上下欠	
14G-5		1a	14G	9	213	623	14G	Ⅱ	39.222	石核		69.60	42.00	19.00	104.95	チャ	131				
14G-13		1a	14G	15③				Ⅳ		剥片		14.30	19.60	3.60	0.67	珪質					フルイ
14G-14		1a	14G	15③				Ⅳ		剥片		13.80	11.00	1.90	0.19	珪質					フルイ
14G-15		1a	14G	20③				Ⅳ		二次加工ある石刃	Ⅰ	88.90	22.85	5.60	14.34	珪質				上端欠・右ガジリ	フルイ
14H-104		1a	14H	4	11	616	14H	Ⅱ	38.875	二次加工ある剥片		57.40	60.00	17.00	45.86	流紋		節理			
14H-105		1a	14H	21				Ⅱ		剥片		17.00	33.00	12.00	5.52	玉髄					
14H-107		1a	14H	7③				Ⅳ		剥片		15.80	17.90	3.90	0.82	珪質					フルイ
14H-109		1a	14H	8④				Ⅳ		剥片		12.00	18.75	10.85	1.56	珪質					フルイ
14H-110		1a	14H	9②				Ⅳ		剥片		17.90	11.40	2.90	0.59	珪質					フルイ
14H-111		1a	14H	13③				Ⅳ		剥片		9.20	10.60	2.00	0.17	珪質			はじけ		フルイ
14H-112		1a	14H	13③				Ⅳ		剥片		12.90	11.40	2.75	0.27	珪質					フルイ
14H-113		1a	14H	14③				Ⅳ		剥片		9.20	12.50	3.10	0.25	珪質					フルイ
14H-114		1a	14H	14③				Ⅳ		微細剥離ある剥片		21.00	17.15	4.00	1.38	珪質					フルイ
14H-115		1a	14H	16④				Ⅳ		剥片		4.80	17.40	1.70	0.18	珪質					フルイ
14H-116		1a	14H	17④				Ⅳ		剥片		11.70	10.65	1.50	0.20	珪質					フルイ
14H-117		1a	14H	17③				Ⅳ		微細剥離ある剥片		12.00	7.30	4.00	0.26	珪質				上端欠・左欠	フルイ
14H-118		1a	14H	17①				Ⅳ		剥片		9.45	13.70	2.30	0.28	珪質					フルイ
14H-119		1a	14H	18②				Ⅳ		剥片		7.90	12.60	1.55	0.12	珪凝					フルイ
14H-120		1a	14H	18④				Ⅳ		剥片		19.70	23.85	2.90	1.32	珪質				上端欠・左ガジリ	フルイ
14H-121		1a	14H	21②				Ⅳ		剥片		20.15	8.90	6.90	0.70	珪質		礫面			フルイ
14H-122		1a	14H	21③				Ⅳ		剥片		17.45	13.60	4.00	0.71	珪質					フルイ
14H-123		1a	14H	24④				Ⅳ		剥片		19.30	17.85	4.00	0.99	珪質		礫面			フルイ
14H-126①		1a	14H	23				Ⅱ		微細剥離ある剥片		67.65	39.65	24.85	42.67	珪質		節理		上半欠後微細剥離	節理面で剥離
14H-126②		1a	14H	23				Ⅱ		石核		26.20	48.50	15.00	20.99	鉄石英					
14H-127		1a	14H	14				Ⅱ		楔形石器	Ⅰ	28.00	23.85	11.80	5.35	凝灰				左欠・末端ガジリ	
14H-132		1a	14H	2③				Ⅳ		剥片		13.00	7.70	1.65	0.19	珪質					フルイ
14H-133①		1a	14H	12③				Ⅳ		剥片		6.55	13.85	5.00	0.42	珪質					フルイ
14H-133②		1a	14H	12③				Ⅳ		剥片		11.85	6.35	1.20	0.11	珪質				末端欠	フルイ
14H-134①		1a	14H	21③				Ⅳ		剥片		6.50	12.85	2.40	0.14	珪質				上下欠	フルイ
14H-134②		1a	14H	21③				Ⅳ		砕片		9.90	7.00	1.75	0.10	?				末端欠	フルイ
14I-52		1a	14I	11	596	84	14I	Ⅱ	38.338	微細剥離ある石刃	Ⅰ	57.00	28.95	5.65	10.49	珪質シルト岩				左ガジリ	

			平面位置																		
遺物No.	図No.	小ブロック	大グリッド	小グリッド	北から南	西から東	基点	層位	標高	分類	細分類	最大長(mm)	最大幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	母岩	自然面	被熱	破損	備考
14I-77		1a	14I	16	695	98	14I	Ⅳ	37.806	微細剥離ある剥片		20.00	20.00	5.40	2.41	珪頁				下半欠	
14I-108		1a	14I	16	795	2	14I	Ⅲ	37.739	剥片		89.75	52.40	22.75	66.23	珪頁		礫面			
15G-31		1a	15G	3①				Ⅳ		剥片		11.10	11.20	3.00	0.32	珪頁					フルイ
15G-32		1a	15G	4④				Ⅳ		剥片		14.65	18.75	4.00	1.26	珪頁				上半欠	フルイ
15G-33		1a	15G	5①				Ⅳ		剥片		5.40	14.90	2.00	0.12	珪頁			はじけ	上半欠	フルイ
15H-61		1a	15H	3	84	441	15H		37.858	剥片		48.00	80.65	17.90	53.13	流紋			赤化	上半欠	
15H-90		1a	15H	1③				Ⅳ		剥片		10.50	15.00	2.40	0.37	珪頁		礫面			フルイ
15H-91		1a	15H	1③				Ⅳ		剥片		11.70	8.45	2.40	0.20	珪頁					フルイ
15H-92		1a	15H	3①				Ⅳ		剥片		23.50	24.00	4.80	2.59	硬砂					フルイ
15H-114		1a	15H	1④				Ⅳ		微細剥離ある剥片		3.35	16.55	1.75	0.12	珪頁				左ガジリ	フルイ
15H-115		1a	15H	2①				Ⅳ		剥片		17.55	16.40	2.30	0.26	珪頁					フルイ
B1-132	8	1b	15G	25	900	830	15G	Ⅲ上	37.049	ナイフ形石器	Ⅱb	67.50	16.85	11.60	8.34	珪頁				背面稜上ガジリ	
B1-167	10	1b	15H	23	823	508	15H	Ⅲ上	36.931	ナイフ形石器		93.70	32.00	13.00	34.06	珪頁	29			基部欠	
B1-211	20	1b	15G	20	686	863	15G	Ⅳ	37.062	彫刻刀形石器	Ⅱ	94.65	35.75	12.00	35.74	珪頁	81	礫面		右ガジリ	
B1-223	30	1b	15G	25	976	884	15G	Ⅳ上	36.772	微細剥離ある剥片		50.90	40.60	17.15	26.16	珪頁	30			上と右欠・背面稜上ガジリ	B1-№104,250,287と接合
B1-202	31	1b	15G	14	565	712	15G	Ⅳ	37.202	彫刻刀形石器	Ⅰb	67.35	51.55	14.65	29.42	珪頁					
B1-308	32	1b	15H	11	592	74	15H		37.125	削器		88.10	28.40	8.85	19.02	珪頁					微細剥離全周
B1-123	33	1b	15G	20	706	818	15G	Ⅲ上	37.256	削器		71.15	32.60	11.35	25.35	珪頁					
B1-197	35	1b	15G	9	346	743	15G	Ⅲ下	37.587	削器		52.80	45.00	6.95	18.24	珪頁		礫面		上半欠	
B1-340	37	1b	15G	14				Ⅰ		削器		35.00	29.35	6.65	5.66	珪頁	17			上半欠	B1-№185と接合
B1-118	38	1b	15G	13	506	434	15G	Ⅲ上	37.699	削器		100.85	48.75	19.90	62.83	珪頁		礫面			
B1-204	43	1b	15G	15	413	898	15G	Ⅲ下	37.445	削器		87.40	34.50	9.20	27.61	珪頁		礫面		末端欠	
B1-169	47	1b	15H	23	868	460	15H	Ⅲ	36.843	楔器	Ⅲ	58.95	47.00	11.85	32.62	珪頁	29				
B1-324	50	1b	15G	14				Ⅱ		楔器	Ⅰ	45.90	47.85	12.35	27.96	珪頁	18			上半欠	B1-№179,301②と接合
16H-11	51	1b	16H	1	130	10	16H	Ⅳ	36.563	楔器	Ⅰ	47.35	36.95	13.75	19.14	珪頁	16			下半欠・末端ガジリ	B1-№130と接合
B1-130	51	1b	15G	20	798	904	15G	Ⅳ上	37	楔器	Ⅰ	73.15	41.90	9.45	35.57	珪頁	16			上半欠・右ガジリ	16H-№11と接合
B1-131	55	1b	15G	25	842	804	15G	Ⅲ上	37.116	楔器	Ⅲ	45.80	28.85	9.45	10.93	珪頁				左下ガジリ	
B1-226	66	1b	15G	25	993	849	15G	Ⅳ下	36.62	鋸歯縁石器	Ⅱ	48.25	59.00	14.50	39.23	珪頁	4				16G-№32と接合
16G-32	67	1b	16G	5	60	926	16G	Ⅳ下	36.488	微細剥離ある剥片		33.00	25.60	8.65	3.91	珪頁	4			末端ガジリ	B1-№226と接合
B1-133	68	1b	15G	25	826	954	15G	Ⅲ下	37.011	剥片		28.65	32.20	8.60	4.41	珪頁	4				B1-№226と接合
16G-31	69	1b	16G	5	76	847	16G	Ⅳ下	36.51	鋸歯縁石器	Ⅰ	39.80	34.65	12.20	16.57	珪頁				上下欠	
B1-199	71	1b	15G	14	466	750	15G	Ⅳ上	37.409	抉入石器	Ⅱb	79.60	45.00	17.00	42.56	珪頁				上端欠	石核底面あり
B1-121	77	1b	15G	15	594	962	15G	Ⅱ下	37.359	楔形石器	Ⅰ	68.00	37.00	11.30	20.72	珪頁					
B1-224	81	1b	15G	25	966	930	15G	Ⅳ上	36.777	楔形石器	Ⅱ	27.70	18.25	7.80	3.44	珪頁					
B1-201	90	1b	15G	14	560	729	15G	Ⅳ	37.217	微細剥離ある石刃	Ⅰ	87.45	22.75	6.00	11.47	珪頁					
16G-28	写	1b	16G	15	420	835	16G	Ⅳ	36.222	楔形石器	Ⅰ	28.45	24.60	8.25	5.10	珪頁					
B1-222	写	1b	15G	24	1000	791	15G	Ⅳ下	36.669	抉入石器	Ⅰb	58.75	53.65	21.60	56.32	珪頁					稜形成石刃素材
B1-198	写	1b	15G	9	344	784	15G	Ⅳ上	37.522	抉入石器	Ⅱb	67.75	82.95	9.55	52.53	安山	8				B1-№207と接合
B1-115		1b	15G	9	366	608	15G	Ⅲ上	37.808	微細剥離ある石刃	Ⅲ	25.50	13.55	3.95	1.19	珪頁	93			上半欠（新）	B1-116①と接合
B1-116①		1b	15G	9	368	614	15G	Ⅲ上	37.794	微細剥離ある石刃	Ⅲ	41.95	23.00	6.00	5.60	珪頁	93			末端と左ガジリ	B1-115と接合
B1-117		1b	15G	10	393	898	15G	Ⅲ上	37.626	石刃	Ⅲ	63.00	27.80	14.30	21.83	珪頁		礫面	はじけ		
B1-120		1b	15G	14	568	700	15G	Ⅲ上	37.507	剥片		21.35	19.60	6.85	2.65	珪頁				上下欠・末端ガジリ	
B1-122		1b	15G	19	772	698	15G	Ⅲ	37.196	剥片		17.60	17.40	4.15	0.88	珪頁					
B1-124		1b	15G	20	640	995	15G	Ⅳ上	37.156	微細剥離ある剥片		67.40	35.90	14.65	22.76	珪頁				上端欠・背面ガジリ	
B1-125		1b	15H	16	676	6	15H	Ⅲ	37.199	剥片		14.60	24.30	4.20	1.39	珪頁				左欠	
B1-126		1b	15G	20	698	990	15G	Ⅲ	37.203	微細剥離ある剥片		10.55	24.25	2.60	0.63	珪頁					
B1-127		1b	15G	20	734	936	15G	Ⅱ下	37.208	微細剥離ある石刃	Ⅰ	64.30	25.20	6.45	9.63	珪頁				末端欠	
B1-128		1b	15G	20	736	968	15G	Ⅱ下	37.201	微細剥離ある剥片		47.55	25.60	2.90	4.42	珪頁	53			上端欠（新）	
B1-146		1b	15H	13	509	546	15H	Ⅲ	37.191	剥片		28.50	39.40	9.60	8.30	珪頁		礫面		上半欠	
B1-148		1b	15H	16	682	170	15H	Ⅱ下	37.227	剥片		58.65	34.00	8.70	25.20	珪頁			火はじけ？		
B1-149		1b	15H	16	752	100	15H	Ⅲ	37.086	剥片		40.90	24.40	5.75	5.40	珪頁		礫面		下端欠	
B1-150		1b	15H	17	684	324	15H	Ⅱ	37.193	楔器	(Ⅲ)	20.00	48.65	33.35	22.62	珪頁		礫面			石核？
B1-151		1b	15H	17	708	380	15H	Ⅱ	37.136	微細剥離ある剥片		23.00	32.00	6.50	4.20	流紋	142	礫面			
B1-152		1b	15H	18	610	530	15H	Ⅰ	37.303	二次加工ある剥片		70.60	51.50	22.00	65.19	珪頁				背面ガジリ	
B1-154		1b	15H	18	610	544	15H	Ⅳ上	36.958	微細剥離ある剥片		27.60	33.45	8.70	7.70	珪頁		礫面		上下欠	

			平面位置																		
遺物No.	図No.	小ブロック	大グリッド	小グリッド	北から南	西から東	基点	層位	標高	分類	細分類	最大長(mm)	最大幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	母岩	自然面	被熱	破損	備考
B1-156		1b	15H	18	675	478	15H	Ⅳ上	36.921	剥片		31.60	41.70	7.30	9.52	流紋	140			右半欠	
B1-158		1b	15H	18	728	436	15H	Ⅱ	37.084	掻器		28.00	29.35	5.50	3.99	珪質	10			上半欠・左ガジリ	
B1-159		1b	15H	18	791	450	15H	Ⅱ	37.039	剥片		26.70	14.00	5.60	1.54	珪質				右半欠	
B1-160		1b	15H	21	962	62	15H	Ⅱ	37.047	微細剥離ある剥片		26.55	18.15	6.55	3.26	珪質				下半欠	
B1-161		1b	15H	21	960	68	15H	Ⅱ	37.036	剥片		25.85	15.90	5.50	2.43	流紋	137	礫面			
B1-162		1b	15H	21	968	86	15H	Ⅲ下	36.802	二次加工ある石刃	Ⅰ	37.35	18.00	3.80	3.00	珪質				上半欠（新）・末端ガジリ	
B1-163		1b	15H	21	932	121	15H	Ⅱ	36.991	剥片		23.40	27.60	6.20	3.06	珪質			はじけ		
B1-164		1b	15H	21	944	170	15H	Ⅲ下	36.786	石刃	Ⅰ	37.20	26.75	6.15	5.11	珪質	25			下端ガジリ	B1-№335と接合
B1-165①		1b	15H	22	882	378	15H	Ⅱ	36.971	微細剥離ある剥片		62.60	39.95	15.55	22.57	珪質？	84			下端欠	
B1-165②		1b	15H	22	882	378	15H	Ⅱ	36.971	剥片		19.10	16.50	8.65	2.27	珪質			はじけ	上部欠	
B1-166		1b	15H	23	803	508	15H	Ⅲ下	36.839	微細剥離ある剥片		47.00	48.00	14.00	29.19	珪質	128				
B1-168		1b	15H	23	848	526	15H	Ⅲ下	36.776	抉入石器	Ⅱb	81.00	18.25	5.75	7.21	珪質	10				
B1-170		1b	15H	23	921	506	15H	Ⅲ	36.787	掻器	Ⅰ	63.80	41.80	13.70	32.49	珪質			はじけ		
B1-175		1b	15G	25	975	891	15G	Ⅱ下	36.924	微細剥離ある剥片		47.20	57.20	10.85	26.57	珪質	87	礫面			
B1-196		1b	15G	9	320	641	15G	Ⅳ上	37.585	石刃	Ⅰ	60.70	24.55	4.85	7.01	珪質				上半欠・右ガジリ	
B1-200		1b	15G	14	506	746	15G	Ⅳ	37.312	石核		115.60	63.45	50.80	463.00	ﾌｫﾙﾝﾌｪﾙｽ					
B1-205		1b	15G	15	454	900	15G	Ⅲ下	37.397	微細剥離ある石刃	Ⅱ	56.40	22.80	4.95	6.98	珪質					
B1-206		1b	15G	15	445	864	15G	Ⅳ上	37.327	剥片		56.25	43.00	23.50	48.26	ﾌｫﾙﾝﾌｪﾙｽ	89				
B1-207		1b	15G	15	459	863	15G	Ⅳ上	37.322	剥片		33.50	37.90	6.00	5.46	安山	8				B1-№198と接合
B1-209		1b	15G	20	614	962	15G	Ⅲ下	37.239	剥片		39.70	36.40	18.85	29.00	ﾌｫﾙﾝﾌｪﾙｽ					
B1-210		1b	15G	20	612	940	15G	Ⅳ	36.937	微細剥離ある石刃	Ⅲ	95.70	49.65	7.30	49.20	珪質				上下欠	
B1-212①		1b	15G	20	708	868	15G	Ⅳ上	37.267	削器		90.80	37.40	14.70	51.20	珪質	81				
B1-214		1b	15G	20	692	966	15G	Ⅳ	36.935	剥片		47.35	41.85	18.75	28.00	ﾌｫﾙﾝﾌｪﾙｽ					
B1-216		1b	15G	20	695	930	15G	Ⅳ	36.9	剥片		17.40	10.10	3.00	0.36	珪質					
B1-217		1b	15G	20	728	910	15G	Ⅳ上	37.037	微細剥離ある剥片		30.35	30.45	4.60	4.32	珪質				左ガジリ	背面にポジ面あり
B1-218		1b	15G	20	758	924	15G	Ⅳ	36.919	剥片		11.40	9.70	2.25	0.25	珪質					
B1-225		1b	15G	25	988	954	15G	Ⅳ上	36.729	微細剥離ある剥片		27.95	41.70	7.00	6.02	珪質					
B1-227		1b	15G	25	1000	865	15G	Ⅱ	36.962	微細剥離ある石刃	Ⅲ	53.75	15.00	10.20	7.13	珪質					
B1-228		1b	15G	25	812	820	15G	Ⅳ上	36.912	微細剥離ある剥片		42.40	26.30	5.55	4.98	珪質				上半欠・右ガジリ	
B1-309		1b	15H	14	509	665	15H		36.971	剥片		78.69	52.25	17.15	51.20	珪質		礫面			
B1-325		1b	15H	7				Ⅰ		掻器		40.70	36.20	12.55	21.78	珪質				上半欠	
B1-328		1b	15G	25				Ⅰ		二次加工ある石刃	Ⅲ	43.40	19.55	5.40	4.68	珪質				磨耗激しい・上端欠	
B1-330		1b	15H	16				Ⅰ		二次加工ある石刃	Ⅱ	58.00	35.00	6.95	18.89	珪質				上下欠	
B1-335		1b	15H	14				Ⅱ		石刃	Ⅰ	38.10	23.95	6.65	5.97	珪質	25			上下欠	B1-№164と接合
B1-336		1b	15G	25				Ⅱ		微細剥離ある石刃	（Ⅲ）	47.20	19.10	4.00	3.62	珪質		礫面		上端欠・末端ガジリ	
B1-342		1b	15G	25				Ⅰ		二次加工ある剥片		39.45	37.45	10.85	12.05	珪質					
B1-349		1b	15H	7				Ⅱ		剥片		13.75	14.00	2.35	0.38	珪質					
B1-352		1b	15G	25				Ⅱ		剥片		14.00	16.60	1.25	0.38	珪質					
B1-355		1b	15G	14				Ⅰ		剥片		13.90	18.85	2.90	0.53	珪質					
B1-356		1b	15G	25				Ⅱ		剥片		16.10	31.35	7.30	2.33	珪質					
B1-360		1b	15H	17				Ⅱ		剥片		18.90	18.00	2.70	0.91	珪質			赤化・はじけ		
B1-361		1b	15H	7				Ⅱ		剥片		27.20	26.60	7.60	2.43	珪質					
B1-364		1b	15H	17				Ⅱ		剥片		35.94	45.00	16.70	17.68	玉髄	99				
B1-366		1b	15G	25				Ⅱ		剥片		21.90	22.40	3.15	1.55	珪質					
B1-367		1b	15H	22				Ⅱ		剥片		37.55	32.65	18.25	14.45	玉髄					
B1-372		1b	15G	25				Ⅰ		二次加工ある剥片		45.75	56.70	12.65	27.79	珪質					
B1-373		1b	15H	13				Ⅱ		微細剥離ある剥片		50.00	59.80	15.20	32.78	珪質					
15G-21		1b	15G	10	300	1000	15G	Ⅱ	37.63	剥片		27.90	50.00	8.00	11.48	ﾌｫﾙﾝﾌｪﾙｽ			右半欠		
15G-35		1b	15G	25①				Ⅳ		剥片		12.40	6.90	4.55	0.45	珪質					フルイ
15G-36		1b	15G	23④				Ⅳ		剥片		12.50	14.90	2.30	0.41	珪質？			はじけ		フルイ
15G-37		1b	15G	25②				Ⅳ		剥片		9.95	14.00	1.45	0.15	珪質					フルイ
15G-39		1b	15G	24				Ⅰ		剥片		32.20	20.55	11.90	8.74	珪質			はじけ		
15H-94		1b	15H	21③				Ⅳ		剥片		12.80	15.60	5.35	0.72	珪質					フルイ
15H-95		1b	15H	21④				Ⅳ		剥片		15.40	10.80	3.00	0.51	珪質					フルイ
15H-96		1b	15H	21④				Ⅳ		微細剥離ある石刃	（Ⅰ）	23.85	9.35	2.00	0.56	珪質				上半欠	フルイ

			平面位置																		
遺物No.	図No.	小ブロック	大グリッド	小グリッド	北から南	西から東	基点	層位	標高	分類	細分類	最大長(mm)	最大幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	母岩	自然面	被熱	破損	備考
15H-97		1b	15H	16①				Ⅳ		剥片		17.00	13.60	2.35	0.51	珪頁				上半欠・左ガジリ	フルイ
15H-116		1b	15H	19①				Ⅳ		剥片		7.90	14.90	3.20	0.25	珪頁					フルイ
16G-20		1b	16G	4	90	730	16G	Ⅲ	36.716	二次加工ある石刃	Ⅰ	51.25	28.00	15.25	15.30	珪頁	33	礫面		下半欠	B1-No.103と接合
16G-21		1b	16G	4	150	713	16G	Ⅱ	36.785	剥片		23.95	18.60	8.95	2.61	珪頁	121	礫面	はじけ		
16G-23		1b	16G	5	84	850	16G	Ⅱ	36.915	剥片		29.00	19.50	5.50	1.53	珪頁					
16G-24		1b	16G	5	180	978	16G	Ⅳ	36.49	剥片		20.00	17.65	4.40	1.36	珪頁					
16G-27		1b	16G	10	275	812	16G	Ⅱ	36.618	掻器		27.30	37.40	11.67	12.22	珪頁				上半欠・上端ガジリ	
16H-1		1b	16H	1	147	126	16H	Ⅱ	36.637	掻器		36.70	32.75	7.00	11.22	珪頁				上半欠・刃部ガジリ	
16H-9		1b	16H	3	118	587	16H	Ⅱ	36.529	剥片		78.45	38.60	16.15	48.22	流紋		礫面			
16H-12		1b	16H	2	130	310	16H	Ⅳ	36.477	微細剥離ある剥片		13.65	20.40	6.55	1.63	珪頁					
16H-13		1b	16H	3	122	570	16H	Ⅳ上	36.42	剥片		24.00	18.80	6.25	1.96	珪頁				左ガジリ	
16H-14		1b	16H	3	140	595	16H	Ⅱ	36.422	剥片		55.80	51.45	15.50	24.63	珪頁		礫面			
14I-101	7	1c	14I	14	444	774	14I	Ⅲ	37.824	ナイフ形石器	Ⅳ	72.90	21.80	10.75	12.99	珪頁					
14I-95	40	1c	14I	5	62	883	14I	Ⅳ	37.98	削器		92.75	35.80	13.20	34.56	珪頁		礫面			
13I-15	70	1c	13I	24	988	732	13I	Ⅲ	38.193	抉入石器	Ⅰa	82.90	50.90	18.40	62.68	珪頁	30			右ガジリ	
14I-55	83	1c	14I	12	492	300	14I	Ⅲ	38.184	微細剥離ある剥片		43.20	27.55	6.65	6.43	珪頁	13				B1-No.190と接合
14I-21	写	1c	14I	6	235	159	14I	Ⅱ	38.435	鋸歯縁石器	Ⅰ	53.40	16.20	20.25	12.21	珪頁		礫面			稜形成石刃素材
14I-104	写	1c	14I	10	227	840	14I	Ⅳ	37.818	抉入石器	Ⅱb	73.00	25.20	14.00	20.38	珪頁	63	礫面			
14I-70	写	1c	14I	15	498	811	14I	Ⅰ	38.155	彫刻刀形石器	Ⅰb	54.20	35.40	13.65	22.88	流紋?	139	礫面			
13I-19		1c	13I	23	924	464	13I	Ⅳ	38.335	微細剥離ある石刃	Ⅱ	61.90	23.00	9.80	11.12	珪頁	133				
14I-6		1c	14I	2	30	326	14I	Ⅱ	38.675	剥片		36.35	35.50	6.65	6.63	流紋	48	礫面			
14I-7		1c	14I	2	24	353	14I	Ⅲ	38.53	石刃	Ⅲ	51.90	23.90	7.65	7.54	流紋	48	礫面			
14I-9		1c	14I	2	178	271	14I	Ⅱ	38.68	二次加工ある石刃	Ⅲ	97.20	34.65	13.90	32.38	珪頁				上下ガジリ	稜形成石刃
14I-10		1c	14I	2	62	393	14I	Ⅲ	38.523	剥片		68.80	36.45	16.85	27.08	砂岩		礫面			
14I-15		1c	14I	4	5	690	14I	Ⅳ	38.202	微細剥離ある剥片		50.60	49.70	17.00	23.66	珪頁		礫面			
14I-16		1c	14I	4	100	700	14I	Ⅳ	38.043	石核		64.45	32.15	20.65	41.11	珪頁		礫面			
14I-17		1c	14I	4	37	768	14I	Ⅲ	38.244	微細剥離ある石刃	Ⅱ	80.40	30.50	10.50	19.58	珪頁	116			末端欠・左ガジリ	
14I-18		1c	14I	4	101	757	14I	Ⅲ	38.15	石刃	(Ⅱ)	66.70	23.00	6.75	7.33	珪頁				上下欠・左ガジリ	
14I-31①		1c	14I	9	227	800	14I	Ⅳ	38.009	剥片		19.30	9.80	2.50	0.40	珪頁					
14I-31②		1c	14I	9	227	800	14I	Ⅳ	38.009	剥片		21.80	28.00	5.45	2.43	珪頁					
14I-33		1c	14I	10	398	857	14I	Ⅲ	37.91	微細剥離ある石刃	Ⅱ	76.65	25.45	8.20	13.67	珪頁	80	節理			
14I-56		1c	14I	13	548	425	14I	Ⅲ	37.853	微細剥離ある剥片		43.20	42.85	10.00	16.33	珪頁					
14I-59		1c	14I	13	562	538	14I	Ⅲ	38.042	掻器		46.95	36.80	10.90	20.10	珪頁				上半欠・ガジリ	
14I-60		1c	14I	13	477	562	14I	Ⅲ	38.051	彫刻刀削片	Ⅱa	49.55	14.45	12.45	7.12	珪頁					
14I-62		1c	14I	14	523	619	14I	Ⅲ	38.048	剥片		34.20	57.25	14.00	20.18	流紋		礫面			
14I-64		1c	14I	14	527	702	14I	Ⅱ	38.075	剥片		58.65	51.60	12.00	21.83	流紋	36	節理			14I-No.65.67と接合
14I-65		1c	14I	14	504	684	14I	Ⅱ	38.089	剥片		8.45	46.00	14.00	6.58	流紋	36				14I-No.64.67と接合
14I-66		1c	14I	14	410	628	14I	Ⅲ	38.061	剥片		44.00	28.50	5.55	5.10	珪頁		礫面			
14I-67		1c	14I	14	414	740	14I	Ⅲ	38.119	剥片		61.60	73.75	15.00	59.69	流紋	36	礫面			14I-No.64.65と接合
14I-71		1c	14I	15	491	821	14I	Ⅰ	38.174	ナイフ形石器		74.70	26.20	7.00	12.10	珪頁		礫面		下半欠	
14I-72		1c	14I	15	493	814	14I	Ⅰ	38.159	剥片		24.40	28.00	5.20	3.10	珪頁		礫面			
14I-73		1c	14I	15	509	812	14I	Ⅱ	38.08	剥片		37.85	32.80	7.45	8.00	珪頁					
14I-75		1c	14I	15	452	824	14I	Ⅱ	38.075	抉入石器	Ⅰb	46.90	36.70	11.45	17.39	珪頁?	84				
14I-76		1c	14I	13	552	410	14I	Ⅳ	37.819	剥片		15.45	11.00	2.95	0.57	珪頁					
14I-91		1c	14I	10	330	882	14I	Ⅲ	37.905	剥片		28.00	14.00	7.40	1.93	珪頁					
14I-96		1c	14I	10	246	969	14I	Ⅲ	38.06	削器		63.40	24.60	12.00	17.25	珪頁		礫面		下半欠	
14I-100		1c	14I	9	281	652	14I	Ⅲ	38.007	剥片		14.50	22.60	4.40	1.09	珪頁					
14I-102		1c	14I	10	310	810	14I	Ⅳ	37.804	剥片		18.30	13.70	3.25	0.50	珪頁					
14I-103		1c	14I	10	270	840	14I	Ⅳ	37.781	剥片		47.40	32.20	8.00	10.05	珪頁				右ガジリ	
14I-105		1c	14I	10	241	855	14I	Ⅳ	37.719	彫刻刀削片	Ⅰ	28.80	11.45	5.65	1.75	珪頁				末端欠（新）	
14I-106		1c	14I	10	292	912	14I	Ⅳ	37.712	剥片		28.10	28.15	8.85	4.64	珪頁		礫面			
14I-107		1c	14I	5	189	916	14I	Ⅳ	37.807	微細剥離ある石刃	Ⅲ	111.60	33.00	10.70	31.46	珪頁		礫面		右ガジリ	稜形成石刃素材
14I-110		1c	14I	10				Ⅳ	37.756	微細剥離ある剥片		65.00	39.90	8.25	22.66	珪頁				左下ガジリ	
B2-65	98	2	12G	4	55	788	12G	Ⅲ上	40.91	ナイフ形石器	Ⅰb	109.76	42.75	9.50	34.69	珪頁					
B2-120	99	2	11G	13	473	448	11G	Ⅲ上	41.798	ナイフ形石器	Ⅰb	74.00	18.25	5.85	7.62	珪頁					

			平面位置																		
遺物№	図№	小ブロック	大グリッド	小グリッド	北から南	西から東	基点	層位	標高	分類	細分類	最大長(mm)	最大幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	母岩	自然面	被熱	破損	備考
B2-138	100	2	11G	23	818	571	11G	Ⅲ上	41.147	ナイフ形石器	Ⅰb	95.70	27.90	9.35	23.30	珪質				先端欠	
B2-178	101	2	12G	11	527	9	12G	Ⅲ下	40.777	ナイフ形石器	Ⅰb	90.25	29.65	9.25	21.69	珪質				左ガジリ	
B2-163	102	2	12G	5	102	846	12G	Ⅲ下	40.713	ナイフ形石器	Ⅱa	120.40	25.70	11.85	33.34	珪質				先端欠・右上ガジリ	
B2-75	103	2	12G	5	196	974	12G	Ⅲ上	40.857	ナイフ形石器	Ⅱa	71.80	22.60	9.90	12.19	珪質				先端欠	
B2-141	104	2	11G	25	954	976	11G	Ⅲ上	40.938	ナイフ形石器	Ⅱa	85.00	22.00	8.40	12.57	珪質					
B2-179	105	2	12G	12	469	238	12G	Ⅳ下	40.549	ナイフ形石器	Ⅱb	42.30	19.70	4.60	2.74	珪質				末端ガジリ	
B2-167	106	2	12G	7	276	312	12G	Ⅳ	40.676	ナイフ形石器	Ⅱb	54.60	20.50	7.60	6.10	珪質					
B2-159	107	2	12G	5	13	908	12G	Ⅳ上	40.739	ナイフ形石器	Ⅲ	72.70	19.15	5.75	7.93	珪質	51			左ガジリ	
B2-190	108	2	12H	8	388	428	12H	Ⅳ下	40.211	ナイフ形石器	Ⅲ	57.15	17.45	8.70	5.66	珪質				右ガジリ	
B2-126	109	2	11G	17	723	271	11G	Ⅲ上	41.355	ナイフ形石器	Ⅰb	105.90	33.00	17.30	53.46	珪質	119	礫面		右ガジリ	
B2-92	110	2	12G	9	400	710	12G	Ⅲ上	40.918	彫刻刀形石器	Ⅰb	51.90	40.65	14.30	32.39	珪質	15				
B2-187	111	2	12H	3	107	470	12H	Ⅳ上	40.518	彫刻刀形石器	Ⅱ	67.65	26.00	13.55	18.86	珪質				末端欠・上端ガジリ	
B2-66②	112	2	12G	4	56	794	12G	Ⅲ上	40.91	削器		120.00	34.00	9.80	38.68	珪質				上端欠	
B2-148	113	2	11G	23	1000	561	11G	Ⅲ上	40.974	削器		86.60	47.50	12.45	54.74	珪質	52	礫面		末端欠	
B2-61	114	2	12G	3	120	546	12G	Ⅲ上	41.041	削器		72.80	33.85	8.20	17.04	珪質	114			右ガジリ	
B2-169	115	2	12G	7	398	268	12G	Ⅲ下	40.714	削器		79.50	42.85	14.35	41.21	珪質	61				
B2-160	116	2	12G	5	93	800	12G	Ⅲ下	40.746	掻器	Ⅲ	100.75	43.00	16.00	65.98	珪質	68	礫面		上端ガジリ	
B2-139	117	2	11G	24	972	728	11G	Ⅲ上	41.02	掻器	Ⅰ	121.90	42.00	11.85	53.81	珪質					
B2-59	118	2	12G	3	145	508	12G	Ⅲ上	41.093	掻器	Ⅰ	80.15	36.55	7.85	19.09	珪質		礫面			
B2-175	119	2	12G	9	280	738	12G	Ⅲ下	40.575	掻器	Ⅰ	57.85	33.65	10.90	12.33	珪質	88				
B2-174	120	2	12G	9	212	671	12G	Ⅲ下	40.687	掻器	Ⅰ	71.70	42.15	11.00	26.55	珪質	51			右ガジリ	
B2-58	121	2	12G	3	166	422	12G	Ⅲ上	41.037	掻器	Ⅲ	61.70	31.85	8.00	16.53	珪質					
B2-95	122	2	12G	9	400	630	12G	Ⅲ上	40.737	掻器	Ⅲ	76.20	25.40	15.25	23.36	珪質	65	礫面			
B2-156	123	2	12G	4	94	747	12G	Ⅲ下	40.778	鋸歯縁石器	Ⅰ	117.00	35.00	14.35	53.31	珪質		礫面			
B2-80	124	2	12G	7	286	357	12G	Ⅲ上	40.974	抉入石器	Ⅱa	67.30	42.30	14.75	34.80	珪質	52			右ガジリ	
B2-57	125	2	12G	2	170	382	12G	Ⅲ上	41.036	抉入石器	Ⅱc	81.00	30.50	8.10	22.70	珪質	52				
B2-82	126	2	12G	8	270	403	12G	Ⅲ上	40.953	抉入石器	Ⅰb	83.25	29.90	13.90	25.81	珪質					
B2-64②	127	2	12G	4	14	730	12G	Ⅲ上	41.287	抉入石器	Ⅰb	70.65	61.25	16.60	73.74	珪質		礫面			
B2-158	128	2	12G	4	185	682	12G	Ⅳ上	40.679	楔形石器	Ⅰ	62.70	39.20	14.95	25.87	珪質	11				B2-№33②と接合
B2-33②	129	2	12H	22	834	246	12H	?		石刃		34.00	11.45	4.65	1.29	珪質	11				B2-№158と接合
B2-149	130	2	11G	25	939	904	11G	Ⅳ	40.73	楔形石器	Ⅰ	63.30	31.60	8.85	17.38	珪質	9			末端ガジリ	11H-№11と接合
11H-11	131	2	11H	16	793	4	11H	Ⅲ下	40.629	微細剥離ある石刃		46.80	25.10	9.55	7.66	珪質	9				B2-№149と接合
B2-106	132	2	12G	15	425	974	12G	Ⅲ上	40.77	楔形石器	Ⅰ	23.55	20.00	3.90	1.57	黒曜		礫面		左下半欠	
12G-54	133	2	12G	14①				Ⅳ		楔形石器	Ⅰ	17.25	10.25	4.20	0.68	黒曜					フルイ
B2-145	134	2	12G	11	415	126	12G	Ⅲ上	40.887	楔形石器	Ⅱ	67.90	22.75	18.25	27.58	珪質		礫面			
B2-31	135	2	12H	17	715	280	12H	Ⅲ上	40.665	二次加工ある石刃	(Ⅱ)	42.40	16.95	5.35	3.73	珪質				末端欠・左側ガジリ	タール状付着物
B2-87	136	2	12G	8	224	576	12G	Ⅲ上	40.998	微細剥離ある剥片		59.35	35.35	12.00	24.55	珪質				左下欠・左ガジリ	彫刻刀石器か?
B2-153	137	2	12G	3	180	413	12G	Ⅲ下	40.833	微細剥離ある石刃	Ⅱ	88.85	50.20	10.25	32.26	珪質					
B2-170	138	2	12G	8	276	499	12G	Ⅳ上	40.54	微細剥離ある剥片		42.00	47.80	11.85	17.52	珪質	6				
B2-62	139	2	12G	3	170	510	12G	Ⅲ上	40.985	石核		64.10	46.10	19.70	55.29	珪質		礫面			
B2-6	140	2	12H	3	126	463	12H	Ⅲ上	40.727	石核		69.95	50.35	38.00	160.72	珪質	1	礫面			B2-№18と接合
B2-18	141	2	12H	8	214	502	12H	Ⅲ上	40.682	剥片		43.60	22.40	7.35	4.86	珪質	1	礫面			礫打面　B2-№6と接合
B2-112	写	2	12G	19	740	783	12G	Ⅲ上	40.784	彫削器		36.75	31.50	12.40	16.93	珪質		礫面		ガジリ	
B2-127	写	2	11G	19	748	704	11G	Ⅲ上	41.158	鋸歯縁石器	Ⅰ	69.40	34.95	14.25	27.27	珪質	34	礫面		末端欠	B2-№11と接合
B2-25	写	2	12H	12	590	340	12H	Ⅲ上	40.54	楔形石器	Ⅰ	42.00	30.20	18.35	20.12	珪質	20	礫面		右欠・ガジリ	B2-№30と接合
B2-30	写	2	12H	17	641	260	12H	Ⅲ上	40.706	楔形石器	Ⅰ	42.20	25.20	12.70	16.28	珪質	20	礫面			B2-№25と接合
12G-44	写	2	12G	10④				Ⅳ		楔形石器	Ⅱ	22.65	9.00	5.35	0.89	珪質					フルイ
B2-11	写	2	12H	6	336	64	12H	Ⅲ上	40.937	削器		43.00	21.35	6.90	6.36	珪質	34	礫面		上半欠	B2-№127と接合・折面に剥離
B2-1		2	12H	1	34	106	12H	Ⅰ	41.17	楔形石器	(Ⅰ)	33.15	28.50	11.95	9.11	珪質	64				
B2-2		2	12H	1	130	23	12H	Ⅱ	40.93	微細剥離ある石刃	(Ⅱ)	57.30	41.20	7.55	19.67	凝灰	88			上半欠	
B2-3		2	12H	1	181	58	12H	Ⅲ上	40.885	剥片		19.10	23.35	5.00	2.19	凝灰	67	礫面			
B2-4		2	12H	6	151	127	12H	Ⅱ	40.915	剥片		21.40	15.10	1.80	0.58	珪質	10			上下欠	
B2-7		2	12H	6	256	70	12H	Ⅲ上	40.883	微細剥離ある石刃	Ⅱ	58.60	35.40	7.20	19.76	珪質		礫面		末端欠後微細剥離・左下ガジリ	
B2-8		2	12H	6	297	50	12H	Ⅲ上	40.976	楔形石器	(Ⅰ)	33.70	22.00	10.40	6.13	珪質	69				
B2-9		2	12H	6	305	59	12H	Ⅲ上	40.962	楔形石器	Ⅱ	38.60	31.30	4.90	5.91	珪質	64			上半欠	

遺物No.	図No.	小ブロック	平面位置 大グリッド	平面位置 小グリッド	平面位置 北から南	平面位置 西から東	基点	層位	標高	分類	細分類	最大長(mm)	最大幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	母岩	自然面	被熱	破損	備考
B2-10		2	12H	6	340	19	12H	Ⅲ上	40.962	削器		30.80	34.00	8.55	7.47	珪質				上半欠	
B2-12		2	12H	6	296	140	12H	Ⅲ上	40.932	微細剥離ある石刃	(Ⅰ)	68.40	28.70	7.55	10.00	珪質	60			上下欠	
B2-16		2	12H	8	210	467	12H	Ⅲ上	40.612	剥片		21.70	24.45	7.00	3.06	珪質				下半欠	
B2-17		2	12H	8	204	480	12H	Ⅲ上	40.72	剥片		10.75	16.00	7.00	1.41	珪質	75				
B2-19		2	12H	8	385	519	12H	Ⅲ上	40.764	剥片		44.75	58.25	13.65	26.88	流紋	138			末端欠	
B2-20		2	12H	9	252	651	12H	Ⅲ上	40.746	微細剥離ある剥片		72.90	38.85	8.50	20.92	珪質		礫面		末端欠	
B2-22		2	12H	11	547	42	12H	Ⅲ上	40.691	微細剥離ある剥片		12.65	34.30	6.85	4.15	珪質	74				
B2-23		2	12H	11	525	146	12H	Ⅲ上	40.738	二次加工ある石刃	Ⅰ	50.75	20.30	14.50	14.67	珪質	21			末端欠	B2-№79と接合
B2-24		2	12H	12	472	222	12H	Ⅲ上	40.675	剥片		27.85	31.85	6.95	4.52	凝灰	67	礫面	赤化・はじけ		
B2-26		2	12H	13	453	546	12H	Ⅲ上	40.6	微細剥離ある剥片		25.65	18.25	3.75	2.05	珪質					
B2-27		2	12H	13	554	582	12H	Ⅲ上	40.528	剥片		30.35	41.00	6.50	7.23	珪質	74			左欠	
B2-28		2	12H	16	618	94	12H	Ⅲ上	40.781	微細剥離ある石刃	Ⅲ	33.60	15.60	5.00	2.11	珪質				末端欠	
B2-29		2	12H	17	608	355	12H	Ⅲ上	40.605	微細剥離ある石刃	Ⅰ	63.20	23.35	8.00	8.97	珪質		礫面		末端欠・左ガジリ	
B2-32		2	12H	17	756	389	12H	Ⅲ上	40.44	石刃	Ⅰ	39.00	19.30	6.30	3.34	珪質	76			末端欠	
B2-34		2	12H	22	975	202	12H	Ⅲ上	40.379	微細剥離ある剥片		38.55	25.30	12.65	8.65	珪質					
B2-63		2	12G	3	190	476	12G	Ⅲ上	40.974	微細剥離ある石刃	Ⅰ	114.00	29.20	9.00	26.18	珪質		礫面			
B2-64①		2	12G	4	14	730	12G	Ⅲ上	41.287	石核		35.45	54.55	19.55	28.62	玉髄	111	礫面			
B2-66①		2	12G	4	56	794	12G	Ⅲ上	40.91	微細剥離ある剥片		50.35	37.90	9.65	19.25	珪質	74			末端欠・末端右ガジリ	
B2-67		2	12G	4	72	796	12G	Ⅲ上	40.802	二次加工ある剥片		28.85	18.60	13.00	6.02	珪質	77			左ガジリ.	
B2-68		2	12G	4	62	775	12G	Ⅲ上	40.91	剥片		25.15	14.80	4.85	2.25	フォルンフェルス					
B2-69		2	12G	4	94	728	12G	Ⅲ上	41.081	微細剥離ある石刃	Ⅱ	68.30	20.00	4.75	7.70	珪質	60			上下欠	
B2-72		2	12G	4	188	666	12G	Ⅲ上		剥片		28.95	20.90	9.40	4.73	珪質		礫面		上下欠・左ガジリ	
B2-73		2	12G	5	135	812	12G	Ⅲ上	40.892	微細剥離ある石刃	Ⅰ	99.40	46.00	11.85	29.70	珪質		節理			
B2-74		2	12G	5	106	963	12G	Ⅲ上	40.988	剥片		13.85	12.50	5.25	0.89	珪質				左半欠	調整剥片
B2-76		2	12G	6	270	105	12G	Ⅲ上	41.246	ナイフ形石器		43.40	22.00	5.35	3.27	珪質		礫面		下半欠	
B2-77		2	12G	6	315	175	12G	Ⅲ上	41.04	微細剥離ある剥片		63.45	49.10	11.40	25.61	珪質	65	礫面			
B2-78		2	12G	6	368	114	12G	Ⅲ上	40.995	微細剥離ある石刃	Ⅲ	107.45	34.90	13.65	42.24	珪質	58	礫面		右ガジリ	
B2-79		2	12G	7	280	334	12G	Ⅲ上	41.124	二次加工ある石刃	Ⅰ	29.85	18.90	10.65	6.70	珪質	21			上下欠	B2-№23と接合
B2-83		2	12G	8	240	440	12G	Ⅲ上	41.236	掻器	Ⅲ	55.80	42.95	12.30	23.93	珪質	120	節理		上半節理割れ・右ガジリ	
B2-84		2	12G	8	211	507	12G	Ⅲ上	40.942	掻器	Ⅰ	65.40	14.45	9.85	7.80	珪質	77			末端欠	
B2-85		2	12G	8	237	538	12G	Ⅲ上	41.197	掻器	Ⅰ	62.65	52.45	15.00	38.45	珪質				腹面右と下部ガジリ	
B2-86		2	12G	8	209	567	12G	Ⅲ上	41.06	剥片		44.95	54.40	12.70	17.99	流紋？				左ガジリ	
B2-88		2	12G	8	300	480	12G	Ⅲ上	41.144	微細剥離ある石刃	Ⅲ	53.65	32.55	13.00	30.09	珪質				下半欠・末端ガジリ	
B2-89		2	12G	7	265	390	12G	Ⅲ上	41.035	剥片		34.15	34.75	7.90	8.88	珪質	20	礫面		下端欠	
B2-90		2	12G	8	320	563	12G	Ⅲ上	40.965	微細剥離ある石刃	Ⅱ	50.50	37.65	15.00	22.97	珪質	15			末端欠・右ガジリ	B2-№172と接合
B2-91		2	12G	9	250	750	12G	Ⅲ上	40.955	微細剥離ある剥片		75.75	30.00	10.45	20.25	珪質					
B2-93		2	12G	10	320	969	12G	Ⅲ上	40.954	削器		61.45	45.00	16.40	52.80	珪質	61			下半欠・右ガジリ	
B2-94		2	12G	10	371	980	12G	Ⅲ上	40.726	剥片		22.95	24.85	6.45	3.38	珪質				下半欠	
B2-96		2	12G	11	600	130	12G	Ⅲ上	40.785	二次加工ある石刃	Ⅰ	71.20	24.40	7.90	13.65	珪質		礫面		末端欠・右ガジリ	
B2-97		2	12G	12	508	252	12G	Ⅲ上	40.838	二次加工ある石刃	(Ⅰ)	40.45	20.70	6.20	5.38	珪質	15			上半欠	
B2-98		2	12G	12	510	330	12G	Ⅲ上	40.927	微細剥離ある剥片		32.45	22.90	4.55	3.33	珪質					
B2-99		2	12G	12	494	376	12G	Ⅲ上	40.919	石刃	Ⅱ	78.90	34.00	6.75	12.61	珪質					
B2-100		2	12G	13	460	420	12G	Ⅲ上	40.906	ナイフ形石器		24.85	13.70	3.50	1.29	珪質				下半欠	
B2-101		2	12G	13	436	506	12G	Ⅲ上	41.007	剥片		16.20	12.75	2.15	0.32	珪質				右ガジリ	
B2-102		2	12G	14	500	680	12G	Ⅲ上	40.851	削器		47.00	38.75	16.25	25.34	珪質					
B2-103		2	12G	14	420	750	12G	Ⅲ上	40.902	剥片		65.75	44.90	13.65	27.49	珪質				末端ガジリ	
B2-105		2	12G	14	590	765	12G	Ⅲ上	40.707	微細剥離ある剥片		81.60	49.65	10.55	34.47	珪質		礫面		剥離部分磨耗	
B2-107		2	12G	15	450	972	12G	Ⅲ上	40.857	微細剥離ある剥片		42.55	28.60	10.25	11.72	珪質				左腹面ガジリ	
B2-108		2	12G	18	606	406	12G	Ⅲ上	40.855	剥片		43.95	30.25	10.50	10.91	流紋				上端欠	
B2-110		2	12G	19	646	720	12G	Ⅲ上	40.868	剥片		38.35	28.45	12.20	12.75	珪質	69	礫面	赤化	下半欠	
B2-116		2	12G	25	880	852	12G	Ⅲ上	40.467	微細剥離ある剥片		22.85	20.45	6.00	2.91	珪質	75			上下欠	
B2-121		2	11G	14	480	620	11G	Ⅲ上	41.779	楔形石器	Ⅱ	54.25	50.70	12.60	32.16	粘板				両面ガジリ	
B2-124		2	11G	17	655	224	11G	Ⅲ上	41.401	削器		75.90	39.60	7.30	23.72	珪質	110			左ガジリ	
B2-125		2	11G	17	690	204	11G	Ⅲ上	41.486	剥片		31.35	29.60	21.35	11.82	凝灰		礫面			
B2-130②		2	11G	21	875	61	11G	Ⅲ上	41.261	剥片		21.25	25.25	3.05	2.14	流紋	143				

			平面位置																		
遺物№	図№	小ブロック	大グリッド	小グリッド	北から南	西から東	基点	層位	標高	分類	細分類	最大長(mm)	最大幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	母岩	自然面	被熱	破損	備考
B2-132		2	11G	22	804	342	11G	Ⅲ上	41.504	削器		54.60	22.20	11.50	11.42	珪質				上半欠	稜形成石刃素材
B2-140		2	11G	25	983	813	11G	Ⅲ上	41.185	微細剥離ある剥片		62.15	40.50	9.70	20.62	珪質				末端ガジリ	
B2-144		2	12G	11	436	95	12G	Ⅲ上	40.873	石刃	Ⅲ	50.80	23.20	12.20	14.98	珪質	68	礫面			稜形成石刃
B2-147		2	11G	25	922	855	11G	Ⅳ上	40.815	微細剥離ある石刃	Ⅱ	77.20	31.30	9.45	20.20	珪質	10	礫面			
B2-151		2	12G	3	11	527	12G	Ⅲ	40.946	微細剥離ある石刃	Ⅱ	110.55	30.00	8.20	21.04	珪質	55				
B2-154		2	12G	5	17	814	12G	Ⅲ下	40.817	微細剥離ある石刃	Ⅲ	96.00	20.65	15.25	25.44	珪質					
B2-155		2	12G	3	102	577	12G	Ⅲ下	40.803	微細剥離ある石刃	(Ⅲ)	89.00	36.35	7.30	15.91	珪質		礫面		上下欠	
B2-157		2	12G	4	177	672	12G	Ⅳ上	40.649	石刃	Ⅰ	28.00	11.55	3.10	0.68	珪質					
B2-161		2	12G	5	84	852	12G	Ⅳ	40.514	微細剥離ある剥片		52.85	46.95	13.55	23.81	珪質		礫面		打面ガジリ	
B2-162		2	12G	5	90	952	12G	Ⅳ上	40.543	剥片		28.00	18.00	3.00	2.18	珪質	10				
B2-165		2	12G	6	383	133	12G	Ⅳ上	40.766	剥片		29.90	27.00	5.45	4.32	流紋					
B2-166		2	12G	7	244	256	12G	Ⅳ上	40.745	剥片		18.90	7.25	3.45	0.32	珪質					
B2-168		2	12G	7	380	265	12G	Ⅳ上	40.704	二次加工ある剥片		23.00	24.45	3.95	2.48	珪質					
B2-171		2	12G	8	353	502	12G	Ⅳ上	40.524	剥片		44.55	31.40	5.70	7.04	珪質		節理		末端ガジリ	
B2-172		2	12G	8	241	572	12G	Ⅳ上	40.697	微細剥離ある石刃	Ⅱ	92.45	40.50	17.25	61.91	珪質	15	礫面		上下欠・右ガジリ	B2-№90と接合
B2-173		2	12G	9	222	656	12G	Ⅳ上	40.63	剥片		15.40	27.40	2.80	0.88	珪質					調整剥片
B2-176		2	12G	11	536	0	12G	Ⅲ下	40.767	剥片		9.70	12.65	1.20	0.12	珪質				上半欠	
B2-177		2	12G	11	418	134	12G	Ⅳ上	40.728	微細剥離ある剥片		67.20	37.65	4.75	13.31	珪質	10			末端ガジリ	
B2-180		2	12G	12	496	302	12G	Ⅳ	40.544	剥片		13.65	18.45	1.70	0.37	珪質				右欠	
B2-181		2	12G	13	453	586	12G	Ⅳ上	40.585	剥片		56.45	25.55	8.20	7.21	珪質			はじけ		
B2-183		2	12G	15	409	857	12G	Ⅳ上	40.489	剥片		36.25	22.30	4.00	3.36	珪質					
B2-185		2	12H	2	13	322	12H	Ⅲ下	40.663	二次加工ある石刃	Ⅲ	107.90	33.90	14.70	35.38	珪質		礫面		末端ガジリ	
B2-186		2	12H	7	328	202	12H	Ⅳ上	40.367	剥片		46.25	37.00	7.20	7.80	珪質	50	礫面			
B2-188		2	12H	6	247	89	12H	Ⅳ上	40.487	微細剥離ある石刃	Ⅱ	85.20	37.45	11.00	26.02	珪質					
B2-189		2	12H	6	331	192	12H	Ⅳ上	40.371	石刃	Ⅰ	40.10	18.65	4.30	2.55	珪質	50			末端欠・右ガジリ	
B2-191		2	12H	8	321	516	12H	Ⅳ下	40.226	剥片		9.90	18.00	2.80	0.37	珪質	50				
B2-192		2	12H	16	720	97	12H	Ⅳ上	40.194	ナイフ形石器		27.70	21.20	6.40	4.65	珪質		礫面		上半欠	
11G-1		2	11G	23④				Ⅳ		剥片		9.65	18.45	4.45	0.67	珪質					フルイ
11G-2		2	11G	24①				Ⅳ		剥片		6.50	23.45	5.00	0.79	珪質					フルイ
11G-3		2	11G	25③				Ⅳ		石刃	Ⅲ	42.50	13.95	2.90	1.57	珪質				上端欠	フルイ
11G-4		2	11G	25③				Ⅳ		剥片		6.65	21.85	4.30	0.57	珪質					フルイ
11G-5		2	11G	24②				Ⅳ		剥片		13.35	7.00	1.25	0.13	珪質					フルイ
11H-8		2	11H	21	872	156	11H	Ⅱ	41.108	微細剥離ある剥片		27.35	21.00	5.75	3.16	珪質	86				
11H-9		2	11H	21	891	136	11H	Ⅲ下	40.765	二次加工ある石刃	(Ⅲ)	50.00	23.00	6.75	6.76	珪質				上端欠	
12F-2		2	12F	15	475	980	12F	Ⅱ	40.738	微細剥離ある石刃	Ⅰ	115.15	38.65	15.75	66.04	珪質		礫面		末端欠・上端ガジリ	
12G-1		2	12G	8④				Ⅲ		微細剥離ある剥片		24.20	20.25	5.70	2.78	珪質					フルイ
12G-2		2	12G	8④				Ⅲ		剥片		17.20	22.75	6.45	2.65	珪質				石器刃部の破損品？	フルイ
12G-3		2	12G	1①				Ⅲ		剥片		11.70	10.00	3.45	0.50	珪凝					フルイ
12G-4		2	12G	3③				Ⅲ		剥片		10.85	10.15	1.80	0.20	珪質					フルイ
12G-5		2	12G	3④				Ⅲ		剥片		8.60	11.20	1.45	0.13	珪質					フルイ
12G-6		2	12G	5③				Ⅲ		剥片		16.95	6.70	2.80	0.22	珪質					フルイ
12G-7		2	12G	5③				Ⅲ		剥片		28.60	23.00	6.45	1.94	珪質					フルイ
12G-8		2	12G	6④				Ⅲ		剥片		9.85	11.85	2.35	0.21	珪質			はじけ		フルイ
12G-9		2	12G	9③				Ⅲ		剥片		6.60	18.65	1.40	0.17	珪質					フルイ
12G-10		2	12G	9④				Ⅲ		剥片		17.50	17.60	3.20	0.93	珪質				上半欠	フルイ
12G-11		2	12G	11①				Ⅲ		微細剥離ある剥片		35.85	20.30	4.50	3.33	珪質		礫面			フルイ
12G-12		2	12G	12②				Ⅲ		剥片		11.20	6.45	2.70	0.19	玉髄				上下欠	フルイ
12G-13		2	12G	12④				Ⅲ		剥片		4.00	12.90	1.20	0.07	珪質					フルイ
12G-14		2	12G	12④				Ⅲ		剥片		7.45	11.30	2.45	0.18	珪質					フルイ
12G-15		2	12G	12③				Ⅲ		剥片		25.40	18.00	4.45	0.93	珪質					フルイ
12G-16		2	12G	13③				Ⅲ		剥片		7.25	12.40	1.90	0.12	玉髄				上半欠	フルイ
12G-17		2	12G	13③				Ⅲ		剥片		11.65	6.60	1.85	0.11	珪質					フルイ
12G-18		2	12G	13①				Ⅲ		剥片		13.90	20.60	1.95	0.55	珪質					フルイ
12G-19		2	12G	14④				Ⅲ		剥片		11.60	6.45	1.00	0.10	珪質					フルイ
12G-20		2	12G	14④				Ⅲ		剥片		10.85	8.70	1.65	0.14	珪質					フルイ
12G-21		2	12G	14④				Ⅲ		剥片		11.70	13.50	2.55	0.38	珪質		礫面			フルイ

			平面位置																		
遺物No.	図No.	小ブロック	大グリッド	小グリッド	北から南	西から東	基点	層位	標高	分類	細分類	最大長(mm)	最大幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	母岩	自然面	被熱	破損	備考
12G-22		2	12G	14①				Ⅲ		剥片		8.75	12.25	3.00	0.29	珪頁					フルイ
12G-23		2	12G	14①				Ⅲ		剥片		11.30	6.00	2.20	0.13	珪頁					フルイ
12G-24		2	12G	15①				Ⅲ		剥片		11.65	14.80	2.85	0.45	珪凝					フルイ
12G-25		2	12G	15①				Ⅲ		二次加工ある剥片		19.15	42.65	9.35	6.33	珪頁					フルイ
12G-26		2	12G	3②				Ⅳ		彫刻刀削片	Ⅰ	34.20	19.00	9.85	4.58	珪頁					フルイ
12G-27		2	12G	3④				Ⅳ		剥片		14.80	10.85	1.90	0.32	珪頁					フルイ
12G-28		2	12G	3②				Ⅳ		剥片		7.55	12.00	1.90	0.09	珪頁					フルイ
12G-29		2	12G	4④				Ⅳ		剥片		19.70	12.25	2.00	0.42	珪頁					フルイ
12G-30		2	12G	5③				Ⅳ		剥片		12.90	4.85	1.85	0.09	珪頁					フルイ
12G-31		2	12G	5③				Ⅳ		剥片		7.90	12.45	3.15	0.34	玉髄（白）				上半欠	フルイ
12G-32		2	12G	6④				Ⅳ		剥片		23.25	11.80	2.35	0.57	珪頁					フルイ
12G-33		2	12G	6②				Ⅳ		剥片		16.70	17.65	6.00	1.63	珪頁					フルイ
12G-34		2	12G	6②				Ⅳ		剥片		15.00	16.10	2.40	0.46	凝灰				上下欠	フルイ
12G-35		2	12G	6④				Ⅳ		剥片		11.00	8.00	3.25	0.32	珪頁				末端欠	フルイ
12G-36		2	12G	8②				Ⅳ		砕片		9.60	9.85	1.00	0.17	珪頁					フルイ
12G-37		2	12G	8③				Ⅳ		剥片		11.00	7.50	2.75	0.18	珪頁					フルイ
12G-38		2	12G	8②				Ⅳ		剥片		4.20	12.00	2.00	0.10	珪頁					フルイ
12G-39		2	12G	8②				Ⅳ		剥片		10.85	16.20	2.25	0.37	珪頁					フルイ
12G-40		2	12G	8①				Ⅳ		二次加工ある剥片		12.55	19.75	5.60	1.24	珪頁				上下と左欠	フルイ
12G-41		2	12G	9④				Ⅳ		剥片		18.45	7.60	5.65	0.65	珪頁			はじけ		フルイ
12G-42		2	12G	9②				Ⅳ		剥片		10.50	12.45	1.90	0.19	珪頁					フルイ
12G-43		2	12G	10④				Ⅳ		微細剥離ある剥片		32.65	7.65	3.90	1.38	珪頁					フルイ
12G-45		2	12G	10④				Ⅳ		微細剥離ある剥片		11.45	22.25	3.75	0.88	珪頁				末端ガジリ	フルイ
12G-46		2	12G	10④				Ⅳ		剥片		12.25	5.10	1.55	0.09	珪頁					フルイ
12G-47		2	12G	12③				Ⅳ		剥片		11.30	11.00	2.45	0.35	玉髄					フルイ
12G-48		2	12G	12②				Ⅳ		剥片		16.30	11.45	5.45	0.82	珪頁					フルイ
12G-49		2	12G	13②				Ⅳ		二次加工ある剥片		27.70	29.10	15.00	8.04	流紋					フルイ
12G-50		2	12G	14③				Ⅳ		剥片		21.00	12.00	2.35	0.57	珪頁					フルイ
12G-51		2	12G	14④				Ⅳ		剥片		8.25	11.20	4.15	0.31	珪頁					フルイ
12G-52		2	12G	14④				Ⅳ		二次加工ある剥片		28.60	30.90	8.95	6.95	珪頁					フルイ
12G-53		2	12G	14④				Ⅳ		微細剥離ある剥片		44.60	43.10	14.00	21.85	珪頁				末端ガジリ	フルイ
12G-55		2	12G	19③				Ⅳ		剥片		13.70	7.45	1.20	0.12	珪頁					フルイ
12G-60		2	12G	8④				Ⅳ		剥片		14.95	9.80	1.95	0.33	珪頁					フルイ
12G-61		2	12G	18①				Ⅳ		剥片		6.45	12.15	2.65	0.14	珪頁					フルイ
12H-2		2	12H	6③				Ⅳ		剥片		13.70	13.65	2.30	0.33	珪頁					フルイ
12H-3		2	12H	6④				Ⅳ		剥片		11.00	5.35	2.20	0.13	珪頁					フルイ
12H-4		2	12H	7③				Ⅳ		剥片		12.40	6.70	1.35	0.12	珪頁					フルイ
12H-5		2	12H	8④				Ⅳ		剥片		11.90	9.20	2.15	0.26	珪頁					フルイ
12H-6		2	12H	8④				Ⅳ		剥片		11.30	6.00	1.00	0.10	珪頁					フルイ
12H-7		2	12H	8③				Ⅳ		剥片		11.00	5.20	1.15	0.09	珪頁				末端欠	フルイ
12H-9		2	12H	12①				Ⅳ		剥片		21.40	27.00	7.85	3.33	珪頁				末端欠	フルイ
12H-10		2	12H	13③				Ⅳ		剥片		13.15	11.20	2.40	0.30	珪頁					フルイ
12H-11		2	12H	13①				Ⅳ		剥片		4.30	15.50	2.30	0.15	珪頁			はじけ	上下欠	フルイ
12H-12		2	12H	13①				Ⅳ		剥片		8.00	10.70	1.75	0.12	珪頁		礫面	はじけ		フルイ
12H-13		2	12H	18③				Ⅳ		剥片		6.80	11.15	2.00	0.18	珪頁					フルイ
12H-14		2	12H	18③				Ⅳ		剥片		12.00	8.85	0.70	0.07	珪頁				末端欠	フルイ
12H-15		2	12H	18②				Ⅳ		剥片		11.80	5.50	1.85	0.10	珪頁					フルイ
12H-16		2	12H	21②				Ⅳ		剥片		10.00	8.65	1.45	0.12	珪頁					フルイ
12H-17		2	12H	17③				Ⅳ		剥片		8.25	18.90	1.50	0.18	玉髄					フルイ
B3-30	142	3	14D	19	750	772	14D	Ⅲ	39.35	台形		20.90	23.65	7.40	3.29	玉髄（白）	43				
15D-1	143	3	15D	3	62	497	15D	Ⅱ	39.082	台形		24.80	16.00	6.15	1.88	玉髄（白）	73				
B3-35	144	3	14C	9	222	731	14C	Ⅲ	39.529	鋸歯縁石器	Ⅱ	61.60	28.65	16.90	21.24	珪頁					
B3-53	145	3	13D	21	987	6	13D	Ⅲ	39.657	彫刻刀形石器	Ⅰa	20.85	40.00	11.70	9.15	玉髄（白）	39	礫面			
B3-24	146	3	14D	15	540	842	14D	Ⅲ	39.727	楔形石器	Ⅰ	38.60	46.70	11.80	20.70	珪頁		礫面			
B3-26	147	3	14D	15	429	953	14D	Ⅳ	39.505	彫刻刀形石器	Ⅲ	69.55	37.00	12.35	30.85	珪頁				左ガジリ	

遺物No.	図No.	小ブロック	平面位置				基点	層位	標高	分類	細分類	最大長(mm)	最大幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	母岩	自然面	被熱	破損	備考
			大グリッド	小グリッド	北から南	西から東															
B3-18	148	3	14D	9	254	740	14D	Ⅱ	40.087	石刃	Ⅲ	76.40	23.50	10.50	8.43	玉髄（白）	73				
B3-14	149	3	14D	7	219	335	14D	Ⅲ	39.692	石刃	Ⅱ	75.80	47.00	15.65	46.37	珪質		礫面		右上と下欠	
B3-34	150	3	14C	5	200	964	14C	Ⅱ	39.732	石核		39.20	39.40	20.50	23.65	玉髄（白）	42	礫面			
B3-16	151	3	14D	7	378	377	14D	Ⅲ	39.605	石核		49.85	56.70	21.15	44.30	玉髄（白）	42	節理			
15D-2	152	3	15D	5	69	886	15D	Ⅱ	38.92	石核		67.40	62.20	27.00	96.77	玉髄（白）	46	礫面			
B3-19①	153	3	14D	9	253	792	14D	Ⅱ	40.048	石核		41.35	62.90	22.15	37.78	玉髄（白）	42	節理			
14E-12	写	3	14E	3	101	544	14E	Ⅳ	40.138	楔形石器	Ⅱ	22.00	30.45	12.00	5.81	玉髄	49				
B3-1		3	14D	1	48	36	14D	Ⅱ	39.767	剥片		23.40	21.25	6.00	3.15	玉髄（白）	42			上半欠	
B3-2		3	14D	1	177	188	14D	Ⅱ	39.891	剥片		19.15	16.80	2.50	1.00	玉髄（白）					台形石器素材？
B3-3		3	14D	3	80	508	14D	Ⅲ	39.777	微細剥離ある剥片		29.90	16.40	3.10	1.36	玉髄	56			上半欠	
B3-4		3	14D	4	88	693	14D	Ⅲ	39.88	二次加工ある剥片		39.40	40.25	11.30	14.19	玉髄	83				
B3-5		3	14D	4	63	702	14D	Ⅱ	40.184	剥片		8.00	19.10	2.80	0.75	珪質					
B3-6		3	14D	4	81	800	14D	Ⅲ	39.92	剥片		29.55	30.60	6.95	8.41	珪質	86				
B3-7		3	14D	5	43	989	14D	Ⅰ	40.371	剥片		16.85	16.45	4.20	0.95	珪質			はじけ		
B3-8		3	14D	6	296	21	14D	Ⅱ	39.68	微細剥離ある石刃	Ⅲ	53.20	15.00	3.00	3.26	玉髄	83	節理			
B3-9		3	14D	6	364	24	14D	Ⅲ	39.482	剥片		18.50	11.50	3.60	0.56	玉髄（白）	46	礫面			
B3-10		3	14D	6	385	22	14D	Ⅲ	39.505	剥片		24.90	14.30	7.75	2.21	玉髄	83			下半欠	
B3-11		3	14D	6	344	98	14D	Ⅱ	39.722	微細剥離ある剥片		50.60	64.70	17.75	42.85	玉髄（白）		節理			
B3-12		3	14D	7	266	208	14D	Ⅲ	39.668	剥片		23.45	21.85	5.95	2.63	玉髄（白）	43				
B3-13		3	14D	7	269	255	14D	Ⅳ	39.527	剥片		43.00	45.50	8.00	12.83	玉髄					
B3-15		3	14D	7	229	365	14D	Ⅲ	39.656	剥片		19.75	10.80	2.85	0.33	珪質				上半欠	
B3-17		3	14D	8	263	531	14D	Ⅱ	39.837	微細剥離ある剥片		43.75	25.00	6.90	7.56	玉髄（白）	72				
B3-19②		3	14D	9	253	792	14D	Ⅱ	40.048	剥片		14.95	31.95	11.90	3.63	玉髄	83			下半欠	
B3-20		3	14D	11	412	83	14D	Ⅲ	39.363	剥片		60.10	40.00	10.25	16.09	珪質	136				
B3-22		3	14D	13	546	528	14D	Ⅳ	39.408	剥片		29.35	31.30	6.70	4.16	玉髄（白）					
B3-23		3	14D	14	416	768	14D	Ⅱ	39.888	微細剥離ある石刃	Ⅰ	51.35	18.15	6.85	5.32	珪質					
B3-25		3	14D	15	442	870	14D	Ⅱ	39.948	彫刻刀削片	Ⅱc	36.60	13.20	9.85	2.84	玉髄	83				
B3-28		3	14D	18	733	560	14D	Ⅱ	39.54	微細剥離ある剥片		30.66	20.15	6.95	4.48	玉髄（白）	72			下半欠	
B3-29		3	14D	19	758	622	14D	Ⅱ	39.557	剥片		19.75	21.90	6.25	2.42	玉髄（白）	72				台形石器素材？
B3-31①		3	14D	24	820	658	14D	Ⅲ	39.208	剥片		12.35	17.50	3.90	0.62	玉髄（白）				左右欠	
B3-31②		3	14D	24	820	658	14D	Ⅲ	39.208	微細剥離ある剥片		13.35	18.30	6.95	0.94	玉髄	83			上半欠	
B3-32		3	14C	5	118	873	14C	Ⅱ	39.768	剥片		14.40	11.85	2.75	0.42	玉髄（白）					
B3-33		3	14C	5	3	964	14C	Ⅰ	39.92	剥片		11.95	16.00	2.70	0.40	玉髄（白）					
B3-36		3	14C	10	226	890	14C	Ⅲ	39.63	剥片		48.60	42.85	10.80	19.76	玉髄	97	礫面			
B3-39		3	14E	1	110	70	14E	Ⅲ	40.115	剥片		16.50	16.10	3.65	0.80	玉髄（白）	42				
B3-40		3	14E	2	139	205	14E	Ⅴ	39.944	剥片		20.55	15.70	3.30	1.00	玉髄（白）	42	礫面			
B3-41		3	14E	7	270	300	14E	Ⅳ	39.95	剥片		14.25	29.40	11.40	2.58	玉髄	49				
B3-42		3	14E	16	795	185	14E	Ⅱ	39.625	剥片		25.00	20.60	9.25	4.75	玉髄（白）	42	礫面	赤化		
B3-43		3	14E	17	792	230	14E	Ⅱ	39.537	石核		20.00	27.15	13.55	6.42	玉髄（白）	42	礫面			
B3-44		3	14E	21	987	72	14E	Ⅱ	39.279	剥片		24.15	14.25	7.45	2.06	玉髄（白）				末端欠	
B3-45		3	14E	21	994	72	14E	Ⅱ	39.285	剥片		3.90	18.15	5.35	1.00	玉髄（白）					
B3-46		3	14E	21	966	188	14E	Ⅱ	39.36	剥片		18.00	18.75	5.00	1.33	玉髄（白）	43				
B3-47		3	14E	22	938	229	14E	Ⅱ	39.338	剥片		13.95	26.00	9.20	2.10	玉髄（白）	42	礫面			
B3-48		3	13D	22	946	283	13D	Ⅲ	39.866	剥片		34.30	76.95	22.70	59.77	流紋		礫面			
B3-50		3	13D	23	800	518	13D	Ⅲ	39.797	石刃	（Ⅲ）	66.65	30.15	10.25	18.07	珪質		節理		上半欠	
B3-52		3	14C	5	12	995	14C	Ⅲ	39.75	微細剥離ある石刃	Ⅰ	63.00	22.45	9.30	15.91	珪質		礫面		末端欠	
13D-9		3	13D	20	742	835	13D	Ⅲ	39.968	剥片		31.80	59.80	12.50	16.40	珪質	62				
13D-10		3	13D	25	838	850	13D	Ⅳ	39.888	剥片		44.66	37.60	7.85	9.68	玉髄（白）	42	礫面			
13D-11		3	13D	24	856	680	13D	Ⅳ	39.779	剥片		33.00	30.70	4.00	3.17	玉髄（白）	72			下半欠	
13E-12		3	13E	21	890	190	13E	Ⅰ	40.485	二次加工ある剥片		31.00	41.25	12.80	13.77	玉髄（白）	39	礫面			
14E-11		3	14E	3	92	456	14E	Ⅲ	40.242	剥片		16.40	13.40	4.90	0.74	玉髄（白）					
14E-13		3	14E	8	226	543	14E	Ⅲ	40.184	剥片		64.00	43.60	10.00	22.01	玉髄（白）	42				
14E-16		3	14E	18	768	456	14E	Ⅳ	39.38	剥片		34.25	17.00	4.75	2.10	玉髄（白）	43				
15D-4		3	15D	5	116	946	15D	Ⅲ	38.608	剥片		24.80	21.60	3.85	2.13	玉髄（白）	46			上半欠	
13I-1	42		13I	6	358	120	13I	Ⅰ	39.49	削器		52.70	50.35	21.00	55.33	珪質	26	礫面		下半欠後剥離	B1-№247と接合

遺物No.	図No.	平面位置 小ブロック	平面位置 大グリッド	平面位置 小グリッド	平面位置 北から南	平面位置 西から東	基点	層位	標高	分類	細分類	最大長(mm)	最大幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	母岩	自然面	被熱	破損	備考
15F-5	154		15F	15	566	840	15F	Ⅱ	37.806	台形		24.90	19.20	4.10	1.73	玉髄（白）					
16D-8①	155		16D	13	470	492	16D	Ⅱ	36.425	台形		37.00	24.75	9.70	8.74	玉髄（白）	41				
14E-15	156		14E	15	503	940	14E	Ⅲ	39.777	台形		23.85	29.50	8.00	3.67	玉髄（白）	40	節理			
12I-12	158		12I	13	430	550	12I	Ⅲ	39.745	ナイフ形石器	Ⅶ	103.30	39.40	9.75	29.24	珪質	10				
12I-11①	159		12I	13	416	544	12I	Ⅲ	39.752	ナイフ形石器	Ⅳ	83.00	25.85	6.70	13.72	珪質					
17D-4	160		17D	3	54	561	17D	Ⅱ	35.898	彫刻刀形石器	Ⅰb	28.40	38.00	11.55	12.53	玉髄（白）	148	礫面			15D-№8と接合
15D-8	161		15D	9	296	608	15D	Ⅱ	38.646	彫刻刀削片	Ⅰ	19.45	7.00	3.20	0.48	玉髄（白）	148				17D-№4と接合
15C-2	162		15C	12	450	362	15C	Ⅱ	38.672	彫刻刀形石器	Ⅰa	57.85	37.85	14.25	24.75	珪質	78	礫面			彫刻刀面両設？
B1-326	163									掻器	Ⅰ	57.60	36.85	13.65	27.63	珪質					
16E-34	164		16E	4	74	767	16E	Ⅴ上	36.496	掻器	Ⅰ	112.95	42.15	13.95	62.20	珪質	109				両側縁銀両縁状
13D-1	165		13D	6	219	2	13D	Ⅲ	40.075	二次加工ある石刃	Ⅱ	92.45	41.25	14.00	42.64	玉髄（白）	46			左右欠	
16E-3	166		16E	1	2	184	16E	Ⅱ	37.143	楔形石器	Ⅱ	18.50	23.90	8.00	3.06	玉髄	56			左欠	
16F-5①	167		16F	3	52	460	16F	Ⅱ	36.994	二次加工ある剥片		28.85	35.35	12.85	12.79	玉髄（白）	73				
17D-24	168		17D	15	464	958	17D	沢下層	34.563	剥片		54.00	48.75	15.00	25.28	珪質	5	礫面			17D-№22と接合
17D-22	169		17D	15	443	938	17D	沢下層	34.682	剥片		54.00	50.55	32.55	83.45	珪質	5	礫面		左ガジリ	17D-№24と接合
16F-1	170		16F	2	65	240	16F	Ⅲ	36.503	石核		31.00	39.35	20.25	23.63	玉髄（白）	46	節理			
15F-16	171		15F	12	563	235	15F	Ⅳ	35.465	石核		38.90	49.90	39.20	43.79	玉髄（白）	46	節理			
B2-48①	172		13G	10	386	805	13G	Ⅲ上	40.137	石核		28.25	31.20	20.75	14.74	鉄石英		礫面			
13C-8	173		13C	15	566	862	13C	Ⅲ	39.524	石核		30.45	47.55	18.35	22.10	珪質	62	礫面			
13F-8	174		13F	18	742	561	13F	Ⅱ	40.297	石核		27.50	48.00	17.10	16.25	珪質	86				
13F-3①	175		13F	4	115	633	13F	Ⅱ	40.636	石核		119.00	181.80	82.40	1,654.63	珪質		礫面			
11I-1	176		11I	16	616	192	11I	Ⅱ	40.735	砥石		92.50	57.75	47.95	250.91	砂岩			赤化	ガジリ	筋状砥面あり
11I-3	写		11I	17	714	223	11I	Ⅰ	40.836	楔形石器	Ⅰ	44.35	51.30	16.20	43.69	流紋					
13F-1	写		13F	1	5	99	13F	Ⅱ	40.8	楔形石器	Ⅱ	64.90	58.70	18.00	57.30	珪質		礫面			
14F-7	写		14F	22	981	394	14F	Ⅲ	38.717	石核		50.00	41.00	24.00	47.46	珪質	134				
17D-20①	写		17D	15	401	958	17D	沢下層	34.626	石核		65.15	69.00	38.95	180.85	珪質	5	礫面		ガジリ	
B1-129			15G	22	882	278	15G	Ⅲ上	37.178	微細剥離ある石刃	Ⅱ	43.75	12.75	6.70	3.08	珪質				上端ガジリ	
B1-220①			15G	22	983	212	15G	Ⅱ下	37.009	剥片		14.00	25.50	5.20	2.64	珪質			はじけ		
B1-220②			15G	22	983	212	15G	Ⅱ下	37.009	剥片		22.45	43.60	9.50	6.36	珪質		礫面			
B1-327			15H	不明				Ⅳ		剥片		68.70	42.45	9.20	15.38	珪質		礫面			
B1-334			15G	1				Ⅱ		剥片		39.45	26.75	8.35	10.80	珪質				下端欠	
B2-36			13H	5	9	886	13H	Ⅲ上	40.047	剥片		33.40	27.00	6.00	8.45	珪質	1	礫面			
B2-37			13H	16	797	118	13H	Ⅲ上	39.598	掻器		42.00	27.75	9.25	10.40	珪質				上半欠損後微細剥離	右側に抉入あり
B2-38			13H	19	711	614	13H	Ⅲ上	39.424	微細剥離ある剥片		24.30	27.00	7.65	5.51	玉髄（白）				上下欠	
B2-42			13G	4	80	720	13G	Ⅲ上	40.555	剥片		26.25	16.25	7.35	3.44	流紋		礫面	はじけ	上半欠	
B2-43			13G	4	110	737	13G	Ⅲ上	40.54	微細剥離ある剥片		29.95	13.55	8.30	4.22	珪質					
B2-44			13G	8	218	422	13G	Ⅲ上	40.414	剥片		24.35	19.95	3.30	1.80	珪質					
B2-45			13G	8	284	514	13G	Ⅲ上	40.436	剥片		30.00	24.30	5.10	2.81	珪質				右下ガジリ	
B2-47			13G	8	334	440	13G	Ⅲ上	40.186	微細剥離ある剥片		14.85	26.15	6.65	2.27	珪質	75			上下欠・右ガジリ	光沢あり
B2-51			13G	13	511	594	13G	Ⅲ上	40.192	剥片		42.95	40.25	15.90	24.26	珪質					
B2-52			13G	14	415	699	13G	Ⅲ上	40.318	剥片		73.85	69.95	17.70	84.85	フォルンフェルス					
B2-53			13G	16	660	67	13G	Ⅲ上	40.157	微細剥離ある剥片		88.90	38.60	12.00	39.55	珪質	113	礫面		左ガジリ	
B2-55①			13G	18	671	468	13G	Ⅲ上	40.131	剥片		13.00	7.40	0.75	0.09	珪質					
B2-55②			13G	18	671	468	13G	Ⅲ上	40.131	微細剥離ある剥片		21.50	13.75	3.90	1.09	珪質					
B2-184			13G	8	243	520	13G	Ⅳ上	40.012	掻器		39.00	33.35	14.00	16.14	珪質		礫面		上半欠	
B2-193			13G	5						二次加工ある剥片		26.20	21.30	10.85	4.87	珪質	76				
B3-37			14C	24	893	723	14C	Ⅲ	39.044	微細剥離ある剥片		46.90	40.50	11.95	16.64	玉髄	83	礫面			
11E-1			11E	18	730	455	11E	Ⅲ	40.897	剥片		39.40	30.25	6.40	8.77	流紋		礫面			
11E-3			11E	21	978	27	11E	Ⅰ	40.96	剥片		35.25	17.40	8.35	4.32	珪質		礫面		左半欠	
11E-6			11E	25	897	833	11E	Ⅱ	40.977	石刃	Ⅲ	63.70	17.30	10.10	10.69	珪質				末端欠	
11F-1			11F	1	74	132	11F	Ⅲ	41.847	石核		91.50	71.00	20.30	96.66	流紋					
11F-2			11F	4	182	754	11F	Ⅲ	41.714	掻器		74.95	34.50	9.00	18.52	珪質				上半欠	
11F-3			11F	5	100	800	11F	Ⅱ	42.034	石核		33.30	27.50	14.00	9.94	玉髄（白）					
11F-6			11F	10	274	800	11F	Ⅱ	41.688	剥片		65.00	31.85	12.00	13.90	流紋					
11F-10			11F	15	452	890	11F	Ⅱ	41.595	剥片		8.00	10.90	2.00	0.18	流紋？					

遺物No.	図No.	小ブロック	平面位置 大グリッド	小グリッド	北から南	西から東	基点	層位	標高	分類	細分類	最大長(mm)	最大幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	母岩	自然面	被熱	破損	備考
11I-4			11I	17	764	306	11I	I	40.737	微細剥離ある剥片		25.20	52.70	11.45	12.45	珪質	126				
11I-6①			11I	17	759	370	11I	II	40.539	剥片		34.60	30.95	4.85	5.00	流紋	38			下半欠	
11I-7			11I	22	836	326	11I	I	40.663	石核		34.80	40.80	16.00	30.59	珪質		礫面			
12C-1			12C	14	575	790	12C	III	40.343	剥片		47.00	33.00	9.00	13.83	珪質？		礫面			
12C-2			12C	22	872	280	12C	II	40.265	剥片		48.20	47.70	10.50	18.92	玉髄					
12C-3			12C	23	976	450	12C	II	40.255	剥片		23.00	25.60	8.70	2.16	凝灰				上半欠	
12E-6			12E	15	432	857	12E	II下	40.791	二次加工ある石刃	(II)	96.35	45.00	9.55	36.13	珪質				上半欠・右ガジリ	
12G-56			12G	21②				IV		剥片		4.80	12.00	1.35	0.08	珪質					フルイ
12G-57			12G	21③				IV		剥片		18.90	12.75	2.40	0.51	玉髄					フルイ
12G-58			12G	22②				IV		剥片		10.60	6.75	1.20	0.07	珪質					フルイ
12G-59			12G	22④				IV		剥片		7.60	14.80	2.65	0.35	珪質					フルイ
12G-62			12G	21①				IV		剥片		4.40	13.00	4.65	0.16	珪質				上半欠	フルイ
12H-1			12H	4①				IV		剥片		4.45	11.90	1.00	0.05	珪質				上半欠	フルイ
12H-8			12H	10④				IV		微細剥離ある石刃	(I)	60.25	18.30	6.80	6.03	珪質				上端と左ガジリ	フルイ
12H-18			12H	24③				IV		剥片		10.60	4.80	8.30	0.32	珪質			はじけ		フルイ
12H-19			12H	24②				IV		剥片		13.65	8.35	1.30	0.09	珪質					フルイ
12H-20			12H	25③				IV		剥片		9.55	18.00	4.80	0.48	珪質					フルイ
12I-1			12I	1	197	117	12I	II	40.434	掻器	I	59.60	41.90	10.00	32.57	珪質					
12I-9			12I	16	759	146	12I	II	40.05	微細剥離ある石刃	I	72.85	24.00	10.00	13.58	珪質		礫面		末端欠	
12I-11②			12I	13	416	544	12I	III	39.752	剥片		10.90	9.10	3.00	0.25	珪質					
12I-13			12I	13	474	549	12I	III	39.684	掻器		80.50	37.15	15.90	38.74	珪質				上半欠・左ガジリ	
12I-14			12I	13	500	522	12I	III	39.7	掻器	I	83.35	36.00	14.40	39.53	珪質		礫面			
12I-15			12I	18	718	410	12I	II	39.625	二次加工ある石刃	III	116.40	33.65	10.30	27.12	珪質				左ガジリ	
13B-2			13B	24	993	755	13B	II	39.76	剥片		10.25	18.25	3.00	0.54	玉髄					
13C-4①			13C	24	910	726	13C	II	39.703	剥片		29.70	35.00	5.00	6.36	流紋	38				
13C-5			13C	2	139	258	13C	II	40.103	微細剥離ある剥片		60.60	37.00	8.10	16.27	珪質				左ガジリ	
13C-6			13C	6	364	169	13C	II	39.704	剥片		27.40	10.75	4.45	1.00	玉髄（白）	43				
13C-7			13C	12	471	382	13C	III	39.645	剥片		33.00	22.00	10.60	5.25	玉髄（白）	43				
13E-3			13E	2	24	351	13E	III	40.389	掻器	I	67.80	28.50	12.40	15.59	珪質	27				
13E-6			13E	8	342	509	13E	II	40.63	剥片		17.45	17.10	6.65	2.83	玉髄（白）		礫面		上半欠	
13E-7			13E	8	394	516	13E	II下	40.515	二次加工ある石刃	II	124.00	49.65	18.50	90.58	珪質					
13F-5①			13F	13	546	592	13F	II	40.281	剥片		65.00	67.40	10.60	42.82	珪質		礫面		末端欠	
13F-5②			13F	13	546	592	13F	II	40.281	剥片		23.50	22.25	5.65	2.11	チャ		礫面		上半欠	
13F-6			13F	15	543	906	13F	III	40.144	微細剥離ある剥片		43.25	24.20	9.00	9.52	珪質	78				
13F-9			13F	21	980	60	13F	II	40.396	掻器	I	97.00	38.25	14.70	42.65	珪質				左ガジリ	
13G-1			13G	1②				IV		剥片		12.65	12.90	2.45	0.48	玉髄					フルイ
13G-2			13G	3④				IV		剥片		14.25	9.25	2.80	0.33	珪質					フルイ
13G-3			13G	7④				IV		剥片		11.35	11.00	3.45	0.28	玉髄					フルイ
13G-4			13G	9①				IV		剥片		14.00	27.40	5.55	1.55	ﾌｫﾙﾝﾌｪﾙｽ					フルイ
13G-5			13G	9①				IV		剥片		13.50	10.95	2.60	0.28	珪質					フルイ
13G-6			13G	15③				IV		剥片		9.60	12.25	2.00	0.10	チャ					フルイ
13G-7			13G	18④				IV		微細剥離ある剥片		23.30	20.00	3.95	1.35	珪質				左ガジリ	フルイ
13G-8			13G	25③				IV		剥片		17.60	24.60	4.55	2.49	珪質				上半欠	フルイ
13G-9			13G	2④				IV		剥片		14.15	5.40	2.00	0.15	玉髄				右半欠	フルイ
13G-10			13G	6④				IV		剥片		15.00	6.30	1.60	0.08	珪質					フルイ
13G-11			13G	9②				IV		剥片		7.55	12.40	1.60	0.14	珪質					フルイ
13G-12			13G	22④				IV		剥片		2.60	11.00	1.65	0.05	珪質				上半欠	フルイ
13G-13			13G	23③				IV		剥片		11.35	14.85	3.70	0.55	珪質		礫面		右半欠	フルイ
13H-30			13H	6④				IV		剥片		28.70	12.20	2.90	0.29	珪質					フルイ
13H-31			13H	7②				IV		剥片		12.20	14.20	1.85	0.35	珪質				上半欠	フルイ
13H-32			13H	14①				IV		剥片		13.60	9.40	2.25	0.23	珪質					フルイ
13H-33			13H	20①				IV		剥片		14.30	7.45	1.60	0.14	珪質			はじけ		フルイ
13H-34			13H	20①				IV		剥片		11.45	7.10	1.30	0.09	珪質					フルイ
13H-35			13H	25②				IV		剥片		10.50	5.30	1.60	0.09	珪質					フルイ
13I-4			13I	17	640	383	13I	II	38.788	剥片		49.40	50.50	10.35	23.01	珪質	117	礫面			

遺物No.	図No.	平面位置 小ブロック	大グリッド	小グリッド	北から南	西から東	基点	層位	標高	分類	細分類	最大長(mm)	最大幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	母岩	自然面	被熱	破損	備考
14C-2			14C	7	378	360	14C	Ⅲ	39.447	石核		27.40	25.50	9.40	9.69	玉髄（白）	96				
14E-17			14E	24	952	704	14E	Ⅱ	39.129	剥片		21.40	40.55	8.00	4.78	玉髄（白）					
14E-19			14E	表採						二次加工ある石刃	Ⅲ	60.00	35.25	10.00	20.77	玉髄（白）					
14F-1①			14F	7	371	321	14F	Ⅰ	40.007	剥片		12.60	14.40	3.85	0.82	珪頁				末端欠（新）	
14F-1②			14F	7	371	321	14F	Ⅰ	40.007	二次加工ある石刃	Ⅱ	57.20	19.00	7.70	6.45	珪頁	54			先端欠	
14F-3			14F	15	472	841	14F	Ⅱ	39.498	剥片		35.60	42.65	6.30	10.21	玉髄（白）	45	礫面			
14F-4			14F	15	504	820	14F	Ⅲ	39.26	掻器		52.50	56.25	14.50	35.81	珪頁	54			上半欠	
14F-6			14F	22	900	232	14F	Ⅲ	39.06	微細剥離ある剥片		47.60	44.20	9.20	14.33	玉髄（白）	42	礫面			
14F-10			14F	25	977	849	14F	Ⅳ	38.504	剥片		15.60	19.15	2.40	0.76	珪頁	54				
14G-12			14G	8②				Ⅳ		剥片		13.00	7.70	3.10	0.22	珪頁					フルイ
14G-16			14G	22④				Ⅳ		剥片		4.80	15.95	2.00	0.16	珪頁					フルイ
15B-1			15B	18	634	534	15B	Ⅱ	38.915	石核		116.65	101.10	39.35	470.21	鉄石英					
15D-3			15D	5	90	885	15D	Ⅱ	38.91	剥片		11.00	20.60	4.55	0.86	?		礫面			
15D-5			15D	6	283	70	15D	Ⅱ	38.58	微細剥離ある剥片		23.60	25.95	4.90	2.89	玉髄（白）					
15D-6			15D	7	272	378	15D	Ⅱ	38.572	二次加工ある剥片		53.80	47.10	12.90	23.37	玉髄（白）	72				
15D-7			15D	7	292	390	15D	Ⅲ	38.32	剥片		38.60	24.30	4.25	4.16	玉髄（白）	41				
15D-9			15D	9	298	614	15D	Ⅱ	38.665	微細剥離ある剥片		28.45	41.00	6.90	10.13	珪頁					
15D-10			15D	9	367	783	15D	Ⅱ	38.524	二次加工ある剥片		19.00	31.70	16.35	3.64	玉髄（白）				下半欠	
15D-13			15D	16	696	90	15D	Ⅲ	37.765	剥片		18.60	24.00	4.80	1.83	玉髄（白）	46			左半欠	
15D-14			15D	16	660	180	15D	Ⅲ	37.725	剥片		44.90	28.80	15.20	14.27	玉髄	98	礫面			
15D-16			15D	25	951	804	15D	Ⅱ	37.224	剥片		22.90	21.00	3.80	1.60	玉髄（白）					
15D-17			15D	25	942	872	15D	Ⅱ	37.29	掻器	Ⅰ	68.85	40.25	12.40	31.87	珪頁				刃部ガジリ	
15D-18			15D	25	877	902	15D	Ⅱ	37.415	剥片		24.20	26.00	6.90	4.05	玉髄（白）	46				
15E-5			15E	6	375	174	15E	Ⅱ	38.469	剥片		37.00	28.65	10.00	7.23	玉髄（白）	73				
15E-9			15E	17	617	305	15E	Ⅳ上	37.568	剥片		23.60	34.65	8.25	5.01	玉髄（白）	46	礫面			
15E-10			15E	19	751	684	15E	Ⅲ	37.248	剥片		36.80	40.40	7.70	8.57	流紋		礫面			
15E-12			15E	24	812	660	15E	Ⅱ	37.214	剥片		51.85	27.40	8.15	8.94	玉髄（白）	42	礫面			
15F-2			15F	12	570	336	15F	Ⅱ	37.755	剥片		64.35	40.75	14.80	34.04	流紋	32	礫面		左半欠	15F-No.19と接合
15F-6①			15F	18	676	486	15F	Ⅱ	37.637	剥片		40.60	25.00	4.65	4.28	玉髄（白）	46				
15F-6②			15F	18	676	486	15F	Ⅱ	37.637	剥片		11.95	12.70	2.60	0.28	玉髄（白）	73				
15F-8			15F	18	715	571	15F	Ⅱ	37.548	石刃	Ⅲ	33.00	8.90	6.15	1.37	玉髄（白）					
15F-9			15F	18	794	511	15F	Ⅱ	37.215	剥片		30.60	40.45	16.65	12.42	玉髄（白）	42	礫面			
15F-14			15F	7	229	389	15F	Ⅳ	36.185	剥片		52.35	46.40	17.40	42.87	玉髄（白）		礫面			
15F-15			15F	9	279	608	15F	Ⅳ	35.914	剥片		40.70	30.75	8.80	8.21	玉髄（白）	43			右半欠	
15F-17			15F	13	600	536	15F	Ⅳ	35.43	二次加工ある剥片		34.40	20.25	4.75	2.32	玉髄（白）	46				
15F-18			15F	14	535	711	15F	Ⅳ	35.519	剥片		27.00	21.20	6.50	3.02	玉髄（白）	45				
15F-19			15F	21	810	87	15F	Ⅳ	35.017	剥片		70.00	25.35	12.50	26.89	流紋	32	礫面		右欠	15F-No.2と接合
15F-20			15F	21	1000	102	15F	Ⅳ	34.79	剥片		26.95	10.00	5.00	0.81	玉髄（白）	44			左半と上欠	
15F-21			15F	25	992	814	15F	Ⅳ	34.692	剥片		79.85	39.20	16.10	40.57	流紋	32	礫面			
15G-34			15G	11④				Ⅳ		剥片		11.60	7.90	1.10	0.10	珪頁					フルイ
15H-93			15H	20②				Ⅳ		剥片		9.40	10.80	1.20	0.10	珪頁					フルイ
16D-5			16D	7	348	349	16D	Ⅱ	36.86	剥片		32.65	21.25	12.10	7.94	玉髄（白）	45			右半欠	
16D-6			16D	8	305	563	16D	Ⅲ	36.455	微細剥離ある石刃	Ⅰ	50.85	32.25	7.95	10.25	玉髄（白）	46				
16D-9			16D	14	430	658	16D	Ⅱ	36.577	微細剥離ある剥片		22.30	51.85	11.60	8.52	玉髄（白）	47				
16D-19			16D	23	856	480	16D	Ⅱ	35.924	微細剥離ある剥片		37.00	37.10	6.90	6.90	珪頁	86			末端ガジリ	
16E-17			16E	5	109	840	16E	Ⅲ上	36.676	微細剥離ある剥片		34.00	18.90	7.00	2.82	珪頁	47			末端欠	
16E-19			16E	6	238	178	16E	Ⅲ	36.637	剥片		19.90	12.00	3.40	0.46	玉髄（白）					
16E-22			16E	8	390	473	16E	Ⅱ	36.388	剥片		20.25	16.20	16.20	3.29	チャ					
16E-23			16E	9	338	740	16E	Ⅱ	36.632	剥片		22.20	11.70	4.85	0.94	玉髄（白）	44				
16E-24			16E	10	369	882	16E	Ⅲ上	36.134	石刃	Ⅰ	23.85	8.25	3.35	0.64	玉髄（白）	44			末端欠	
16E-26			16E	10	384	883	16E	Ⅲ上	36.276	剥片		17.45	17.80	4.35	1.13	玉髄（白）	40			下半欠	
16E-29			16E	14	495	675	16E	Ⅱ	36.377	石刃	Ⅰ	33.45	11.75	4.55	1.55	玉髄（白）		節理			
16E-30			16E	14	594	760	16E	Ⅱ	36.218	剥片		14.25	21.00	3.90	0.87	珪頁					
16E-31			16E	16	657	107	16E	Ⅰ	36.367	掻器	Ⅰ	42.70	40.00	7.20	15.85	珪頁					
16E-33			16E	21	978	156	16E	Ⅲ	35.542	剥片		33.25	47.45	8.65	11.88	流紋		礫面		上半欠	

			平面位置																		
遺物No.	図No.	小ブロック	大グリッド	小グリッド	北から南	西から東	基点	層位	標高	分類	細分類	最大長(mm)	最大幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	母岩	自然面	被熱	破損	備考
16F-2			16F	2	70	374	16F	Ⅲ	36.694	微細剥離ある剥片		37.15	25.20	3.00	2.77	玉髄（白）				右欠	
16F-3			16F	2	128	388	16F	Ⅱ	36.805	剥片		25.65	42.45	5.40	4.63	玉髄（白）					
16F-5②			16F	3	52	460	16F	Ⅱ	36.994	微細剥離ある剥片		11.35	15.30	2.80	0.42	玉髄（白）					
16F-6			16F	3	36	480	16F	Ⅲ	36.706	微細剥離ある剥片		35.90	18.60	8.00	4.49	玉髄（白）	46				
16F-8①			16F	3	150	584	16F	Ⅱ	36.752	微細剥離ある石刃	Ⅰ	68.00	33.50	12.00	19.12	珪頁	86			左ガジリ	
16F-16			16F	4	70	705	16F	Ⅱ	36.868	剥片		14.95	26.80	6.60	3.95	玉髄（白）	46				
16F-22			16F	7	242	240	16F	Ⅲ	36.515	二次加工ある剥片		24.35	22.55	7.15	2.81	玉髄（白）					
16F-23			16F	8	220	478	16F	Ⅲ	36.422	剥片		23.55	13.10	5.95	1.35	玉髄（白）	44				
16F-26			16F	12	410	262	16F	Ⅱ	36.45	二次加工ある剥片		37.00	39.00	6.95	10.14	玉髄（白）	46				
16F-27			16F	15	498	855	16F	Ⅱ	36.4	剥片		32.25	29.10	3.00	2.07	玉髄（白）	46	礫面		左欠	
16F-28			16F	18	682	490	16F	Ⅲ	35.908	微細剥離ある剥片		28.00	17.65	6.25	2.22	玉髄（白）	45	礫面			
16F-31			16F	21	975	17	16F	Ⅲ	35.164	微細剥離ある剥片		35.80	43.00	12.40	16.17	珪頁	125				
16G-25			16G	8	395	432	16G	Ⅳ	36.186	剥片		30.60	30.75	7.90	8.14	珪頁				下半欠	
16G-30			16G	18	652	500	16G	Ⅰ	36.28	剥片		24.25	37.30	9.95	5.62	珪頁				上半欠（新）	
16H-15			16H	16	710	80	16H	Ⅰ	35.277	剥片		56.50	44.25	14.25	28.92	流紋					
17D-5			17D	4	60	678	17D	Ⅱ	35.842	二次加工ある剥片		18.40	29.00	4.35	2.31	玉髄	56			上半欠	
17D-13			17D	7	256	360	17D	沢下層	35.276	剥片		26.45	37.95	10.80	11.30	玉髄（白）		礫面		上半欠	
17D-14			17D	12	589	354	17D	沢下層	35.89	剥片		36.95	79.10	14.25	33.92	珪頁	5	礫面			
17D-15			17D	12	596	363	17D	沢下層	35.795	剥片		21.15	52.00	6.40	6.44	珪頁	5				
17D-16			17D	14	518	760	17D	沢下層	35.058	石刃	Ⅲ	69.60	30.50	13.70	16.24	珪頁	5			稜上ガジリ	17D-No.23と接合
17D-17			17D	19	760	683	17D	沢下層	35.4	石核		94.35	57.85	34.00	222.87	チャ	37	礫面			17D-No.18と接合
17D-18			17D	19	756	724	17D	沢下層	35.239	石核		91.45	72.45	82.85	802.13	チャ	37	礫面			17D-No.17と接合
17D-23			17D	15	461	937	17D	沢下層	34.674	剥片		82.40	51.75	25.00	97.50	珪頁	5	礫面		上端ガジリ	17D-No.16と接合
17E-1			17E	5	110	962	17E	Ⅳ	34.338	二次加工ある剥片		26.25	35.00	8.25	2.99	玉髄（白）					
17E-2			17E	6	355	0	17E	沢覆土	34.362	剥片		34.25	25.50	5.00	5.19	流紋		礫面			
17E-3			17E	21	813	140	17E	沢覆土	33.655	微細剥離ある剥片		41.15	22.40	7.00	8.92	玉髄					
17E-4			17E	8	298	521	17E	Ⅴ上	34.28	剥片		21.55	48.95	5.75	6.53	チャ	37			上半欠	
17F-1			17F	2	184	256	17F	撹乱	34.638	剥片		29.60	38.25	9.00	9.96	流紋	32	礫面			
18G-8			18G	19				沢覆土		抉入石器	Ⅱb	69.85	45.00	18.70	52.41	珪頁				右ガジリ	
19E-6			19E	10	229	844	19E	Ⅱ	36.84	剥片		53.25	64.00	14.30	39.31	珪頁					
19E-7			19E	14	478	712	19E	Ⅱ上	37.233	二次加工ある剥片		36.60	39.80	9.00	11.00	珪頁					
19G-23			19G	7	331	296	19G	Ⅰ	36.575	石刃	Ⅱ	38.30	17.00	2.00	1.30	珪頁				左欠	
19G-45			19G	11	524	52	19G	Ⅱ	36.705	二次加工ある剥片		47.60	45.50	17.20	21.53	珪頁		礫面		左欠	
7Tr-1								Ⅲ		石刃	Ⅰ	100.75	39.80	25.50	73.13	珪凝		礫面			
49Tr-1								Ⅳ		微細剥離ある剥片		35.30	29.35	7.70	7.90	珪頁				末端欠後微細剥離	
53Tr-1										微細剥離ある剥片		39.00	26.35	7.40	6.36	珪頁				上端欠（新）	
53Tr-2	75							Ⅳ		微細剥離ある剥片		27.45	30.45	11.60	8.32	珪頁	3			上欠・右ガジリ	B1-No.260と接合
53Tr-3	44									削器		55.90	46.80	16.90	51.12	珪頁	24	礫面		上下欠	B1-No.105,274と接合
53Tr-4①								Ⅳ		微細剥離ある剥片		39.45	27.10	6.85	7.94	珪頁				両端欠	
53Tr-4②								Ⅳ		微細剥離ある剥片		99.25	39.40	13.30	32.13	珪頁				右ガジリ	
53Tr-4④										掻器	Ⅰ	69.35	25.00	6.70	12.84	珪頁				左ガジリ	
53Tr-4⑤										微細剥離ある剥片		67.40	95.75	15.60	59.58	珪頁		礫面		末端ガジリ	
69Tr-1										二次加工ある石刃	Ⅱ	79.85	37.15	13.60	24.97	珪頁				左先ガジリ	
69Tr-2	157									ナイフ形石器	Ⅴ	92.00	25.20	7.60	14.00	珪頁		礫面		先端欠	
69Tr-3										二次加工ある石刃	Ⅰ	98.00	24.00	6.00	17.57	珪頁				右上ガジリ	
100Tr-1	写									彫刻刀形石器	Ⅰb	18.50	24.65	11.50	4.77	珪頁					失敗品？
100Tr-2										掻器		56.00	33.20	7.90	15.02	珪頁				上端欠・右ガジリ	
100Tr-3										石刃	Ⅰ	72.00	21.15	5.85	8.03	珪頁	10			末端欠	
101Tr-1										二次加工ある剥片		57.45	34.75	10.20	18.74	珪頁				上半欠・末端ガジリ	

※一次調査出土遺物のうち49Tr・100Trについてはトレンチ名を誤注記している可能性があり、出土地点の詳細は不明である。
※石材名の略号は次の通り。珪頁：珪質頁岩、珪凝：珪質凝灰岩、チャ：チャート、流紋：流紋岩。
※「玉髄（白）」はブロック3に特徴的な白色の玉髄と同質の玉髄であることを示す。
※図No.欄の「写」は写真図版のみ掲載していることを示す。
※小グリッド欄の○付数字は最小グリッドを表す。

ナイフ形石器属性表

ブロック	遺物No.	図No.	分類	二次加工（方向　長さ・径度・角度）（単位：mm・mm・°）												打面	先端角	折れ		完形	背面構成					備考
				基部左				基部右				先端左				先端右										
1a	B1-188	1	Ib	D	13.10	3.80	75	なし				D	16.20	4.10	74	なし			有	43			○	○	×	×	○	○	×	
1a	B1-316	2	Ia	V	13.60	2.45	63	なし				D	35.50	9.80	70	なし			有	48			○	○	×	×	×	×	×	
1a	B1-37	3	Ib	D	22.30	2.50	52	D	28.50	10.00	62	D	欠	3.70	54	なし			有	欠	V		×	×	×	○	×	○	×	
1a	B1-279	4	Ib	D	11.20	5.30	65	D	13.50	3.10	83	なし				D	8.20	1.30	67	有	61			○	○	×	○	×	×	×	
1a	B1-16	5	Ib	D	29.30	5.30	79	D	28.00	5.90	78	D	20.30	5.30	66	なし				有	66			○	○	×	×	×	×	×	
1a	B1-246	6	IIb	D	33.00	3.00	70	D	29.30	5.30	75	なし				なし				なし	115			○	○	×	×	○	×	×	
1a	B1-17	9	—	欠		欠	欠	欠		欠	欠	欠	RD	16.50	7.00	60	なし			欠	44	はじけ		×	○	○	○	×	×	×	
1a	B1-64	11	V	D	30.60	5.80	80	DR	23.70	7.20	78	なし				D	32.70	3.60	78	なし	60			○	○	×	×	×	×	×	
1a	B1-304②	12	V	D	29.50	5.50	75	なし				なし				D	22.20	6.20	79	なし	68			×	○	○	○	×	×	×	左ガジリ
1a	B1-281	13	Ib	なし				なし				D	31.60	4.10	73	D	38.00	7.60	76	有	60			○	○	×	○	×	×	×	
1a	B1-60	14	VI	D	40.00	19.50	66	D	27.40	13.70	68	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	有	欠	V		×	○	×	×	×	○	×	
1a	B1-267・338	15	Ia	DV	欠	13.60	80	DV	欠	12.30	66	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	有	欠	D	有	×	○	×	×	×	○	×	
1a	B1-18	—		欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	D	7.00	3.60	58	D	18.80	3.20	71	欠	35	V		×	○	×	×	×	×	×	
1a	B1-348	—		D	35.70	6.30	64	D	25.50	4.80	59	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	なし	欠	V		×	○	×	○	×	×	×	
1b	B1-132	8	IIb	D	15.00	4.90	88	DR	29.40	6.60	93	D	10.30	1.00	75	D	15.90	6.10	80	なし	35			×	○	○	○	×	×	×	背面縁上ガジリ
1b	B1-167	10	—	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	なし				なし				なし	96	D		○	○	×	○	×	×	×	
1c	14I-101	7	IV	D	—	4.60	70	DR	30.00	9.00	82	D	—	6.00	86	なし				なし	45			○	○	×	○	×	×	×	
1c	14I-71		—	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	なし				D	34.00	6.80	66	欠	32	D		×	○	×	×	○	×	×	
2	B2-65	98	Ib	D	29.00	4.40	65	D	30.60	9.50	67	なし				D	15.90	6.80	61	有	67			○	○	○	○	○	×	×	
2	B2-120	99	Ib	D	4.00	3.00	60	なし				DR	11.20	1.00	68	なし				有	62			○	○	×	×	×	×	×	
2	B2-138	100	Ib	D	20.60	6.80	59	D	24.70	8.70	65	欠				欠				有	欠	D		×	○	×	×	×	×	×	
2	B2-178	101	Ib	DR	31.35	7.90	81	D	34.70	4.90	70	なし				R	4.90	3.00	53	有	53			×	○	×	○	×	×	×	楔形或石刃素材
2	B2-163	102	IIa	VD	48.00	9.30	65	DV	40.00	5.40	84	なし				D	(6.1)	3.40	38	なし	44	V		×	○	×	×	×	×	×	石上ガジリ
2	B2-75	103	IIa	VD	21.70	7.20	79	V	26.70	8.70	62	欠	欠	欠	(D)	(5.0)	3.20	65	なし	—	DV	有	×	○	×	○	×	×	×	
2	B2-141	104	IIa	VD	17.20	5.90	75	VD	28.30	8.60	66	なし				DR	11.40	3.80	82	なし	42			○	○	×	○	×	×	×	
2	B2-179	105	IIb	D	20.00	3.40	67	RD	15.00	2.50	105	なし				なし				なし	78			×	○	×	○	×	×	×	末端ガジリ
2	B2-167	106	IIb	D	25.70	3.60	80	D	27.60	3.30	75	D	6.90	1.90	59	なし				なし	80			○	○	×	○	×	×	×	
2	B2-159	107	III	なし				なし				DR	(14)	5.00	71	なし				有	47			×	○	×	×	×	×	×	左ガジリ
2	B2-190	108	III	なし				なし				なし				D	13.20	4.50	72	有	67			×	○	×	×	×	×	×	右ガジリ
2	B2-126	109	Ib	D	50.00	8.80	60	DV	78.00	5.00	46	なし				DV	12.80	3.00	56	有	117			×	○	×	×	×	×	×	
2	B2-192		—	D	15.40	2.40	63	D	22.50	4.90	63	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	なし	欠	D			×	○	×	×	○	×	×	
2	B2-76	—		欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	D	2.40	1.40	44	D	12.10	3.60	60	欠	30	D		×	○	×	×	○	○	×	
2	B2-100	—		欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	なし				D	13.60	2.60	50	欠	50	V	H	×	○	×	×	×	×	×	
	69Tr-2	157	V	D	34.60	2.50	60	D	35.20	3.10	69	D	欠	1.60	60	D	欠	1.40	58	欠	欠	V	H	×	○	×	○	×	○	×	
外	12I-12	158	VII	V	3.80	0.50	54	D	20.20	2.20	77	V	19.60	3.60	68	なし				なし	73			○	—	—	—	×	×	非石刃素材
外	12I-11①	159	IV	D	27.00	3.60	69	D	17.00	6.50	43	D	44.70	2.70	42	なし				有	31			○	○	×	×	○	×	×	

石刃属性表（1）

ブロック	遺物No.	図No.	分類	打面				打点			打面構成					頭部調整	剥離角	末端形状	折れ面	備考
				幅mm	厚さmm	種類	形状	位置	径mm	バルブ形状	I	II	III	IV	礫面	節理面				
1a	B1-292		III	15.00	4.10	単剥	平坦	Ib	不詳	F	○	×	×	○	○	×	×	95	F	×	楔形或石刃
1a	B1-180		III	19.35	8.40	単剥	平坦	III	5.50	F	○	×	○	○	○	×	×	104	F	×	
1a	B1-303②		III	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	○	×	×	×	×	欠	欠	F	×	楔形或石刃
1a	B1-82		I	9.10	5.20	調整	平坦	III	不詳	S	○	×	×	×	×	×	×	104	F	×	
1a	B1-98		(I)	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	×	×	×	×	×	欠	欠	欠	D	
1a	B1-323		I	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	×	×	×	×	×	欠	欠	F	D	
1a	B1-54		I	11.45	10.55	調整	平坦	Ib	不詳	F	○	○	×	×	×	×	×	72	S	×	
1a	B1-289		I	7.35	6.40	単剥	凸状	Ia	2.55	F	○	×	×	×	×	×	×	116	欠	D	

石刃属性表（2）

ブロック	遺物№	図№	分類	打面				打点		バルブ形状	背面構成							頭部調整	剥離角°	末端形状	折れ面	備考
				幅㎜	厚さ㎜	種類	形状	位置	径㎜		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	礫面	節理面						
1a	B1-317		Ⅱ	10.00	—	線状	凹状	Ⅲ	不明	—	○	×	○	×	○	×	×	不明	H	×	
1a	B1-176		Ⅱ	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	×	○	×	×	×	×	欠	F	×	
1a	B1-182	93	Ⅲ	21.70	7.40	調整	凸状	Ⅱ	1.45	S	○	○	×	×	○	×	○	110	欠（新）		硬質頁岩石刃
1b	B1-117		Ⅲ	22.00	4.90	自然面	平坦	1b	不計	S	○	○	×	×	○	×	○	105	S	×	
1b	B1-196		Ⅰ	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	×	×	×	×	×	×	欠	H	V	
1b	B1-164・335		Ⅰ	—	—	—	めくれ	—	不計	—	○	×	×	×	×	×	○	不明	欠	V	
1c	141-18		（Ⅱ）	—	—	—	めくれ	—	不計		○	×	○	×	×	×	×	不明		V	
2	B2-144		Ⅲ	13.25	7.90	複剥	山型	1a	1.45	S	○	×	×	○	○	×	○	116	H	×	硬質頁岩石刃
2	B2-99		Ⅱ	25.30	8.80	調整	平坦	Ⅱ	不計	S	○	×	○	×	×	×	×	89	F	×	
2	B2-189		Ⅰ	—	—	—	めくれ	—	不計	—	○	×	×	×	×	×	×	不明	欠	V	
2	B2-157		Ⅰ	4.95	2.70	単剥	平坦	1a	不計	D	○	×	×	×	×	×	×	84	H	×	
2	B2-32		Ⅰ	2.00	0.70	単剥	平坦	Ⅱ	2.00	S	○	×	×	×	×	×	○	99	欠	不明	
3	B3-14	149	Ⅱ	18.00	8.20	単剥	平坦	Ⅲ	不計	S	○	×	○	×	○	×	○	102	F	V	
3	B3-18	148	Ⅲ	2.40	4.20	単剥	平坦	1a	不計	S	○	×	○	○	×	×	×	88	F	×	
3	B3-50		（Ⅲ）	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	○	○	×	×	○	欠	欠	F	×	
外	11E-6		Ⅲ	13.90	10.75	自然面	平坦	Ⅲ	3.25	S	○	○	×	×	×	×	○	115	欠	D	
1a	B1-313		Ⅰ	6.65	2.65	単剥	山型	1a	不計	S	○	×	×	×	×	×	○	116	F	×	
1c	141-7		Ⅲ	12.90	6.00	単剥	山型	1b	3.55	F	×	×	×	○	○	×	×	113	O	×	
外	15F-8		Ⅲ	6.80	7.45	複剥	平坦	1b	不計	S	○	○	×	×	×	×	×	81	F	×	
外	16E-24		Ⅰ	8.00	3.00	調整	山型	1b	不計	F	○	×	×	×	×	×	○	108	欠	不明	
外	16F-29		Ⅰ	10.55	5.85	単剥	平坦	1b	3.00	D	○	×	×	×	×	○	×	100	H	×	
外	17D-16		Ⅲ	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	○	×	×	×	×	欠	欠	F	D	
外	19G-23		Ⅱ	3.55	1.45	単剥	平坦	1a	不計	S	○	○	×	×	×	×	×	99	F	×	
	7Tr-1		Ⅰ	34.35	18.95	調整	山型	Ⅱ	2.65	S	○	×	×	×	○	×	×	125	F	×	
	100Tr-3		Ⅰ	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	×	×	×	×	×	×	欠	欠	D	
2	11G-3		Ⅲ	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	○	×	×	×	×	×	欠	F	V	

微細剥離ある石刃属性表（1）

ブロック	遺物№	図№	分類	打面				打点		バルブ形状	背面構成						頭部調整	剥離角°	末端形状	折れ面	二次加工部位			備考
				幅㎜	厚さ㎜	種類	形状	位置	径㎜		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	礫面	節理面					左	右	末端	
2	B2-12		（Ⅰ）	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	×	×	×	×	×	欠	欠	F	V	D	D	欠	
2	B2-2		（Ⅱ）	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	×	○	×	×	×	欠	欠	F	D	D	D		
2	B2-155		（Ⅲ）	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	×	×	○	○	×	欠	欠	欠	上D,下V	D	D,V	欠	
2	B2-29		Ⅰ	13.70	6.25	単剥	平坦	Ⅲ	不計	S	○	×	×	×	○	×	○	102	欠	V	D	×	欠	
2	12F-2		Ⅰ	5.25	3.70	単剥	平坦	Ⅲ	不計	S	○	×	×	×	○	×	○	95	欠	V	D	D	欠	抉入
2	B2-73		Ⅰ	20.25	10.60	調整	凹状	1a	3.95	S	○	×	×	×	×	○	○	95	F	×	D・V	D・V	～	
2	B2-63		Ⅰ	14.70	6.00	複剥	平坦	1b	3.30	S	○	×	×	×	○	×	○	110	H	×	D	D,V	×	
2	B2-69		Ⅱ	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	×	○	×	×	×	欠	欠	F	V	D・V	D・V	D・V	
2	B2-147		Ⅱ	12.40	7.65	自然面	平坦	1a	6.60	S	○	×	○	○	×	×	98	H	×	D	D	×		
2	B2-188		Ⅱ	19.75	7.55	調整	平坦	Ⅲ	4.35	S	○	×	○	×	×	○	85	O	×	D	D,V	×		
2	B2-151		Ⅱ	11.25	5.85	調整	凸状	1a	3.50	S	○	×	○	×	×	×	80	F	×	D,V	D・V	～		
2	B2-153	137	Ⅱ	28.15	10.00	調整	平坦	Ⅱ	7.95	S	○	×	○	×	×	○	96	F	×	D	V	V		
2	B2-7		Ⅱ	16.40	7.80	調整	平坦	Ⅱ	4.95	S	○	×	○	×	○	×	96	欠	V	D	D・V	折面		
2	B2-90・172		Ⅱ	22.00	14.55	調整	凸状	1a	不計	S	○	×	○	×	○	×	75	O	D	D	D,ガジリ	ガジリ		
2	B2-78		Ⅲ	18.60	9.75	自然面	平坦	Ⅱ	6.00	S	○	×	○	○	×	×	99	O	×	×	V,ガジリ	×		
2	B2-88		Ⅲ	16.25	7.30	調整	平坦	1a	3.50	S	○	○	×	×	×	×	111	折	V	D	D	欠		

微細剥離ある石刃属性表（2）

ブロック	遺物No.	図No.	分類	打面				打点		バルブ	背面構成						底部調整	剥離角	末端形状	折れ面	二次加工部位			備考
				幅mm	厚さmm	種類	形状	位置	厚mm	形状	I	II	III	IV	裸面	節理面					左	右	末端	
2	B2-28		III	7.40	2.85	調整	凹状	III	1.00	S	○	○	×	○	×	×	○	112	欠	D	D	D	欠	
2	B2-154		III	15.75	8.40	調整	凸状	1 a	4.45	S	○	×	○	○	×	×	×	98	F	×	V	D・V	—	
3	B3-23		I	9.00	5.65	単剥	平坦	1 a	不計	F	○	×	×	×	×	×	×	106	H	×	D	×	×	
3	B3-52		I	12.75	5.80	調整	平坦	1 a	4.60	S	○	×	×	×	○	×	○	90	欠	V	×	V	欠	
3	B3-8		III	—	—	—	点状	不明	不明	S	○	○	×	×	×	○	不明	—	F	V	D・V	D	欠	
1a	B1-89		(I)	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	×	×	×	×	×	欠	欠	欠	欠	D	×	欠	
1a	B1-59		(I)	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	×	×	×	○	×	欠	欠	F	×	D・V	D・V	—	
1a	B1-261・266		(I)	7.80	4.40	自然面	平坦	1 b	不明	F	○	×	×	×	×	×	○	84	欠	D	D	×	欠	
1a	B1-24		(I)	18.95	6.00	複剥	平坦	1 b	15.50	S	○	×	×	×	×	×	○	91	欠	V	×	D・V	欠	
1a	B1-101		(II)	—	—	—	めくれ	—	不計	—	○	×	×	×	○	×	不明	不計	H	×	D	D・V	D	
1a	B1-136・329		(II)	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	×	○	×	×	×	欠	欠	H	V	D	V,D・V	ガジリ	
1a	B1-134		(II)	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	×	○	×	×	×	欠	欠	欠	V	D	V	欠	
1a	B1-135		I	15.35	3.70	(ガジリ)	(ガジリ)	II	不計	F	○	×	×	×	×	×	○	99	F	×	D,V	×	×	左脚疵
1a	B1-36・46		III	15.20	11.75	複剥	山型	1 b	5.35	S	○	○	×	×	○	×	×	106	F	D	V,D	×	—	稜形或石刃
1a	B1-218		I	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	×	×	×	×	×	欠	欠	F	V	D	D	—	
1a	B1-258		I	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	×	×	×	○	×	欠	欠	O	D	D	V	×	稜形或石刃
1a	B1-58		I	8.75	4.30	調整	平坦	1 a	不計	F	○	×	×	×	×	×	×	106	H	×	D,V	D,V	D	
1a	B1-294		I	24.70	6.75	調整	凹状	II	8.40	S	○	×	×	×	×	×	×	87	F	×	V	D	—	右ガジリ
1a	B1-290		I	25.70	6.70	調整	山型	II	6.40	S	○	×	×	×	×	×	×	103	F	D	V	D・V	欠	
1a	1-H-52		I	15.25	3.00	複剥	凹状	1 b	6.15	F	○	×	×	×	×	×	×	109	欠	V	ガジリ	D	欠	
1a	B1-253		II	—	—	—	点状	1 a	不明	F	○	×	○	×	×	×	○	—	欠	V	×	D,V	欠	
1a	B1-186		II	4.25	2.40	単剥	平坦	1 a	不明	S	○	×	○	×	×	×	×	101	F	×	D・V	D・V	D	
1a	B1-39		II	17.30	5.65	単剥	平坦	1 a	2.95	S	○	×	○	×	○	×	○	101	O	×	D,V	D,V	D	右稜底面残す
1a	B1-83		II	23.45	11.15	調整	平坦	1 b	不明	F	○	×	○	×	○	×	×	92	O	×	V	V	×	下端ガジリ
1a	B1-269		II	17.65	10.20	調整	山型	1 a	1.75	F	○	×	○	×	×	×	×	102	F	×	D	V	—	
1a	B1-252		II	20.65	6.80	調整	平坦	II	不計	D	○	×	○	×	×	×	×	82	H	×	D	D	×	
1a	B1-271		II	12.00	4.75	調整	平坦	1 b	不計	S	○	×	○	×	○	×	×	105	F	×	D	D	—	右ガジリ
1a	B1-239		II	13.50	5.40	調整	凸状	1 a	不計	S	○	×	○	×	○	×	×	109	F	×	D	D	—	右ガジリ
1a	B1-10		II	29.45	10.00	調整	山型	III	8.35	S	○	×	○	×	×	×	×	86	欠	D	V,D	D・V,D	欠	
1a	B1-42		II	18.00	8.40	複剥	平坦	1 b	不計	F	○	×	○	×	×	×	○	92	F	×	Dm	D,V	D,V	
1a	B1-305		III	8.25	8.25	自然面	平坦	1 b	2.35	S	×	○	×	×	○	×	×	111	F	×	D・V	D・V	D	稜上ガジリ
1a	B1-6		III	3.55	1.85	単剥	凹状	1 a	不計	S	×	○	○	×	×	×	×	87	F	×	D	D	欠	左・末端ガジリ
1a	B1-293		III	35.70	9.75	調整	山型	1 b	4.45	S	○	○	×	×	○	×	×	94	H	×	D・V	D・V	×	
1a	B1-276	89	III	21.50	8.50	調整	山型	II	2.55	S	○	×	○	○	○	×	○	101	H	×	V	V,D・V	×	
1a	B1-62		III	19.15	9.60	調整	山型	II	不計	S	○	○	×	○	×	×	○	104	F	×	D	D・V	D	
1a	B1-254		III	15.95	6.65	調整	平坦	II	1.65	F	○	×	○	○	○	×	×	112	H	×	D	D	D	右ガジリ
1a	B1-331		(II)	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	×	○	×	×	×	欠	欠	F	V	D	D	—	
1a	B1-359		(II)	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	×	○	×	×	×	欠	欠	H	D	V	D	×	稜形或石刃
1b	B1-353		I	11.70	2.50	複剥	凸状	II	不計	S	○	×	×	×	×	×	○	108	欠	D	×	D	欠	
1b	B1-127		I	14.85	8.10	調整	平坦	1 b	不計	S	○	×	×	×	×	×	×	90	欠	V	D	D・V	欠	
1b	B1-201	90	I	12.20	4.00	調整	山型	1 b	3.25	F	○	○	×	×	×	×	×	90	H	×	D,V	D	×	
1b	B1-205		II	12.90	5.00	複剥	凸状	II	不計	S	○	×	○	×	×	×	×	98	F	×	D	D	V	
1b	B1-210		III	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	×	○	○	×	×	欠	欠	S	D	D	V	V	
1b	B1-227		III	15.00	3.50	調整	山型	1 b	不計	F	○	○	×	×	×	×	×	104	F	×	V	V	—	
1b	B1-115・116④		III	6.25	4.20	複剥	凹状	1 b	4.65	S	○	×	×	○	×	×	○	89	F	D	×	V	欠	
1b	15H-96		(I)	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	×	×	×	×	×	欠	欠	F	D	×	D	—	

微細剥離ある石刃属性表（3）

ブロック	遺物№	図№	分類	打面				打点		バルブ	背面構成						底部調整	剥離角°	末端形状	折れ面	二次加工部位			備考
				幅mm	厚さmm	種類	形状	位置	径mm	形状	I	II	III	IV	礫面	節理面					左	右	末端	
1b	B1-336		(III)	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	×	×	×	○	○	×	欠	欠	欠	D	D	V	欠	
1c	14I-33		II	8.55	8.15	単剥	平坦	II	5.00	S	○	×	○	×	×	○	○	87	F	×	D	D,V	×	
1c	14I-17		II	20.35	7.00	調整	凸状	I b	6.45	S	○	×	○	×	×	×	○	99	欠	D	D	V	欠	
1c	13I-19		II	18.35	5.00	複剥	山型	I b	1.60	S	○	×	○	×	×	×	○	118	H	×	D,V	V	D	
1d	14I-107		III	19.50	9.65	単剥	平坦	I a	不計	S	○	○	○	×	○	×	×	103	H	D	V	D,V	(欠)	楔形成石刃
外	12H-8		(I)	—	—	—	めくれ	—	不計	F	○	×	×	×	×	×	不明	不計	H	×	×	D・V	×	上端・左ガジリ
外	16D-6		I	14.80	5.85	自然面	平坦	III	6.50	S	○	×	×	×	×	×	○	103	F	×	D	×	—	
外	16F-81		I	14.65	6.80	単剥	平坦	II	3.30	S	○	×	×	×	×	×	×	100	F	×	D・V	D・V	—	左ガジリ
外	12I-9		I	18.15	11.60	調整	凸状	I b	不計	F	○	×	○	×	×	○	×	97	欠	D	×	D・V	欠	
外	B1-129		II	10.35	4.30	調整	平坦	I a	1.70	S	○	×	○	×	×	×	○	117	F	×	×	D	×	上端ガジリ

二次加工ある石刃属性表

ブロック	遺物№	図№	分類	打面				打点		バルブ	背面構成						底部調整	剥離角°	末端形状	折れ面	二次加工部位			備考
				幅mm	厚さmm	種類	形状	位置	径mm	形状	I	II	III	IV	礫面	節理面					左	右	末端	
2	B2-97		(I)	欠	欠		欠	欠	欠	欠	○	×	×	×	×	×	欠	欠	—	D	D・V	V	D	
2	B2-31	135	(II)	—	—		めくれ	I a	不計	—	○	×	○	×	×	×	不明	不明	欠	D	D	V	欠	左ガジリ
2	11H-9		(III)	欠	欠		欠	欠	欠	欠	○	×	○	○	×	×	欠	欠	F	D	D,V	V,D	—	
2	B2-23・79		I	15.80	7.65		調整	平坦	I b	1.75	S	○	×	×	×	×	×	105	欠	D	D	×	欠	
2	B2-96		I	—	—		—	凸状	I a	不計	—	○	×	×	×	○	×	○	—	欠	D	Dm	D	欠	
2	B2-185		III	15.60	7.55		単剥	平坦	II	6.00	S	○	○	×	○	×	○	105	F（ガジリ）	×	D・V	D	—	
1a	B1-13		(I)	欠	欠		欠	欠	欠	欠	○	×	×	×	×	×	欠	欠	F	上下	D	D,V	欠	
1a	B1-14		(II)	欠	欠		欠	欠	欠	欠	○	×	○	×	×	×	欠	欠	H	上	V,D	D	×	
1a	14G-15		I	欠	欠		欠	欠	欠	欠	○	×	×	×	×	×	欠	欠	F	V	D,D・V	D	—	
1a	B1-264・265	86	I	25.00	8.00		自然	平坦	I a	不計	F	○	×	×	×	○	×	○	96	欠	V	D・V	×	×	左上ガジリ
1a	B1-78	94	I	25.70	11.00		調整	凸状	II	1.80	S	○	×	×	×	○	×	×	99	欠	V	D・V	D	欠	末端ガジリ
1a	B1-51		I	21.75	6.55		調整	凸状	II	7.30	S	○	×	×	×	×	×	97	H	末端	V	D	×	
1a	B1-103・16G-20		I	14.90	6.40		調整	凹状	I b	不計	S	○	×	×	×	○	×	×	117	欠	上V，下D	D・Vm	V	欠	
1a	B1-244		II	5.50	5.30		単剥	平坦	I b	1.75	S	○	×	○	×	○	×	○	105	F	末端	Dm	V	×	
1a	B1-231	87	II	30.00	14.90		調整	凸状	I a	不明	S	○	×	○	×	×	×	×	95	O	×	m	D・V	×	右側ガジリ
1a	B1-251		II	28.60	9.30		調整	平坦	II	不計	S	○	×	×	×	×	×	×	89	F	×	D,V	×	—	
1a	B1-243		II	27.00	16.15		複剥	山型	I b	不明	D	○	×	○	×	○	×	×	89	F	×	D	D	×	打面ガジリ
1a	B1-35		III	21.90	7.50		調整	平坦	I a	不計	S	○	×	○	○	×	×	○	95	欠	D	×	V	欠	
1a	B1-280	88	III	21.75	12.00		複剥	平坦	I b	2.85	S	○	×	×	○	○	×	×	90	O	×	m	D・V	m	稜形成石刃
1b	B1-162		I	欠	欠		欠	欠	欠	欠	○	×	×	×	×	×	欠	欠	F	×	D	V	D		
1b	B1-330		II	欠	欠		欠	欠	欠	欠	○	×	○	×	×	×	欠	欠	欠	上V,下D	Dm	V	×		
1b	B1-328		II	欠	欠		欠	欠	欠	欠	○	×	×	○	×	×	欠	欠	—	D	D	D・V	D		
1c	14I-9		III	18.00	8.00		ガジリ・(単剥)	凸状	III	不計	F	○	○	○	×	×	ガジリ,不明	102	F	×	D,V	V・D	D・V	稜形成石刃
外	12E-6		(II)	欠	欠		欠	欠	欠	欠	○	×	○	×	×	×	欠	欠	F	V	D・V	D・V	D		
外	14F-12		II	欠	欠		欠	欠	欠	欠	○	×	○	×	×	×	欠	欠	—	D	V,D	V,D	V		
外	13D-1	165	II	31.35	12.30		単剥	凸状	II	不計	F	○	×	○	×	×	○	107	F	×	D・V	D・V	—	左右欠	
外	13E-7		II	26.40	10.25		調整	凸状	I b	不計	S	○	×	○	×	×	○	90	F	×	D・V	V,D・V	—		
外	12I-15		III	6.75	2.50		単剥	平坦	III	不計	F	○	○	○	×	×	×	108	O	×	D,ガジリ	D	D		
外	14E-19		III	14.00	7.20		単剥	平坦	I b	3.95	S	○	○	×	○	×	×	107	F	×	V	×	×		
	69Tr-1		II	28.00	13.65		調整	凸状	I b	不計	S	○	×	○	×	×	×	82	F	×	D・V	D・V	V	左ガジリ	
	69Tr-3		II	欠	4.80		調整	平坦	I a	3.60	S	○	×	○	×	×	○	85	H	×	Dm・Vm	D・Vm	×	上端ガジリ	

縄文時代石器観察表

			平面位置																	
遺物№	図№	ブロック	大グリッド	小グリッド	北から南	西から東	基点	層位	標高	読み値	単高	分類	細分類	最大長(mm)	最大幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	母岩	自然面	被熱	破損	備考
JB1-282	1	JB1	19G	21	998	125	19G	II	37.168	0.832	38	剥片		20.10	34.15	11.80	6.11	鉄石英	3a	礫面		上下欠	
JB1-509	1	JB1	20G	1	38	160	20G	II	37.098	0.902	38	剥片		35.30	37.30	10.10	12.37	鉄石英	3a			末端欠	
JB1-442		JB1	20G	1	53	115	20G	II	37.175	0.825	38	石核		48.35	54.30	34.00	88.86	鉄石英	3a	礫面			
JB1-507		JB1	20G	1	30	150	20G	II	37.138	0.862	38	石核		31.60	33.80	26.90	27.37	鉄石英	3a	礫面			
JB1-62		JB1	19G	22	937	214	19G	I	37.054	0.946	38	剥片		34.20	30.25	12.50	6.35	鉄石英	3a	礫面			
JB1-164		JB1	19G	21	996	107	19G	I	37.235	0.765	38	剥片		40.15	42.00	12.75	16.89	鉄石英	3a	礫面			
JB1-207①		JB1	20G	2	15	202	20G	I	37.200	0.800	38	剥片		33.00	20.60	6.55	4.80	鉄石英	3a	礫面			
JB1-354		JB1	20G	2	18	220	20G	II	37.105	0.895	38	剥片		16.70	30.25	8.35	2.75	鉄石英	3a	礫面			
JB1-468①		JB1	19G	21	970	138	19G	II	37.078	0.922	38	剥片		48.30	38.90	19.95	31.30	鉄石英	3a	礫面			
JB1-486②		JB1	19G	21	992	195	19G	II	37.056	0.944	38	剥片		14.25	31.45	9.00	3.74	鉄石英	3a	礫面			
JB1-498		JB1	20G	1	19	132	20G	II	37.107	0.893	38	剥片		54.45	42.60	16.50	27.02	鉄石英	3a	礫面		上半欠・右欠	
JB1-501		JB1	20G	1	42	87	20G	III	36.977	1.023	38	剥片		73.00	61.00	18.25	43.71	鉄石英	3a	礫面			
JB1-503②		JB1	20G	1	69	102	20G	II	37.133	0.867	38	剥片		22.25	42.50	14.25	10.58	鉄石英	3a	礫面			
JB1-528		JB1	19G	22	823	238	19G	III	36.606	1.394	38	剥片		18.45	20.85	10.50	5.35	鉄石英	3a	礫面			
JB1-473②	2	JB1	19G	21	932	134	19G	II	37.007	0.993	38	楔形石器		38.10	38.80	18.50	23.95	鉄石英	2b				
JB1-380②	3	JB1	19G	21	937	145	19G	II	37.063	0.937	38	剥片		42.60	34.60	10.50	13.96	鉄石英	2b				
JB1-514①	4	JB1	19G	21	953	182	19G	II	36.995	1.005	38	剥片		78.20	40.35	17.40	29.51	鉄石英	2b				
JB1-468②	5	JB1	19G	21	970	138	19G	II	37.078	0.922	38	石核		28.70	58.35	37.60	42.44	鉄石英	2c	礫面			
JB1-399	6	JB1	19G	21	983	110	19G	II	37.122	0.878	38	楔形石器		36.90	40.65	19.20	28.39	鉄石英	2c	礫面			
JB1-465	7	JB1	19G	21	963	125	19G	II	37.106	0.894	38	楔形石器		49.85	28.60	13.85	21.21	鉄石英	2c	礫面			
JB1-487	8	JB1	19G	21	968	150	19G	II	36.986	1.014	38	楔形石器		32.65	25.20	10.40	6.53	鉄石英	2c				
JB1-193	9	JB1	20G	1	40	167	20G	I	37.215	0.785	38	楔形石器		46.55	19.80	13.70	11.63	鉄石英	4b				
JB1-254	10	JB1	19G	21	910	184	19G	I	37.025	0.975	38	石核		37.55	40.00	25.35	29.22	鉄石英	4b				
JB1-281	10	JB1	19G	21	990	182	19G	II	37.140	0.860	38	石核		51.35	34.90	34.90	42.79	鉄石英	4b	節理			
JB1-280		JB1	19G	21	993	145	19G	II	37.115	0.885	38	石核		32.50	48.80	35.80	42.35	鉄石英	4b	礫面			
JB1-463③		JB1	19G	21	980	113	19G	II	37.068	0.932	38	石核		27.35	50.00	45.70	33.34	鉄石英	4b	礫面			
JB1-202		JB1	20G	1	103	195	20G	I	37.262	0.738	38	剥片		43.70	51.85	19.00	24.50	鉄石英	4b				
JB1-496		JB1	20G	1	9	115	20G	II	37.124	0.876	38	剥片		51.00	69.10	28.00	61.00	鉄石英	4b				
JB1-114	11	JB1	19G	21	904	146	19G	I	37.120	0.880	38	剥片		54.55	47.30	17.15	27.32	鉄石英	4c	礫面		上半欠	
JB1-141①	11	JB1	19G	21	960	107	19G	I	37.238	0.762	38	剥片		35.30	39.55	11.00	13.80	鉄石英	4c				
JB1-97	12	JB1	19G	21	851	136	19G	II	37.060	0.940	38	剥片		48.10	41.50	17.25	23.86	鉄石英	4c	礫面			
JB1-24		JB1	19G	22	838	238	19G	I	36.597	1.403	38	剥片		41.55	30.95	12.90	14.56	鉄石英	4c	礫面		上半欠	
JB1-96		JB1	19G	21	862	173	19G	I	37.060	0.940	38	剥片		46.50	36.65	22.10	30.68	鉄石英	4c	礫面		末端欠	
JB1-231		JB1	19G	21	830	124	19G	II	36.945	1.055	38	剥片		26.30	39.85	15.70	9.89	鉄石英	4c	礫面		上半欠	
JB1-248		JB1	19G	21	880	170	19G	I	36.977	1.023	38	剥片		39.25	48.75	16.55	36.58	鉄石英	4c	礫面			
JB1-333		JB1	20G	1	22	166	20G	II	37.133	0.867	38	剥片		29.35	36.65	22.00	19.03	鉄石英	4c	礫面		上半欠	
JB1-522		JB1	20G	1	27	137	20G	II	37.068	0.932	38	剥片		33.60	66.40	14.40	29.49	鉄石英	4c	礫面			
JB1-495	13	JB1	20G	1	9	108	20G	II	37.125	0.875	38	楔形石器		47.30	34.00	19.30	22.09	鉄石英	2a	礫面			
JB1-463②	14	JB1	19G	21	980	113	19G	II	37.068	0.932	38	石核		40.95	44.00	31.00	55.42	鉄石英	2a	礫面			両極
JB1-308②		JB1	19G	22	905	245	19G	II	37.000	1.000	38	剥片		16.25	28.60	18.95	6.07	鉄石英	2a				
JB1-384①		JB1	19G	21	910	170	19G	II	37.044	0.956	38	剥片		26.95	16.90	4.45	2.18	鉄石英	2a	礫面			
JB1-506①		JB1	20G	1	13	148	20G	II	37.163	0.837	38	剥片		49.45	42.85	14.25	27.94	鉄石英	2a	礫面			
JB1-78①	1c	JB1	19G	21	804	129	19G	I	36.940	1.060	38	剥片		20.00	28.70	14.20	3.78	珪質	1c	礫面			

			平面位置																
遺物№	図№	ブロック	大グリッド	小グリッド	北から南	西から東	基点	層位	標高	読み値	単高	分類	細分類	最大長(mm)	最大幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	母岩	自然面	被熱	破損	備考
JB1-467	1c	JB1	19G	21	974	142	19G	II	37.037	0.963	38	石核		54.00	50.10	42.00	56.39	珪質	1c	礫面			
JB1-467③	15	JB1	19G	22	975	229	19G	I	37.123	0.877	38	楔形石器		29.20	28.60	9.50	7.44	鉄石英	2				
JB1-475②	16	JB1	19G	21	925	145	19G	II	36.909	1.091	38	楔形石器		32.65	24.50	13.25	10.56	鉄石英	2				
JB1-452	17	JB1	20G	2	47	213	20G	II	37.063	0.937	38	楔形石器		30.55	12.45	7.90	2.78	鉄石英	2				
JB1-426	18	JB1	20G	1	2	140	20G	II	37.117	0.883	38	楔形石器		37.40	32.80	14.60	12.74	鉄石英	4				
JB1-450	19	JB1	20G	2	23	215	20G	II	37.067	0.933	38	楔形石器		41.50	26.90	16.70	21.52	鉄石英	4				
JB1-275	20	JB1	19G	21	965	163	19G	II	37.075	0.925	38	楔形石器		24.10	19.20	12.00	4.99	鉄石英	4				
JB1-520	21	JB1	20G	1	46	139	20G	II	37.032	0.968	38	楔形石器		44.30	34.40	17.25	24.20	鉄石英	4				
JB1-313②	22	JB1	19G	22	948	248	19G	II	37.000	1	38	楔形石器		51.60	20.00	16.30	13.97	鉄石英	4				
JB1-85	23	JB1	19G	21	832	170	19G	I	37.029	0.971	38	石核		45.95	40.50	24.10	29.97	鉄石英	5				剥片素材
JB1-340	24	JB1	20G	1	37	185	20G	II	37.170	0.83	38	楔形石器		26.90	29.80	11.35	8.16	鉄石英	5				
JB1-184	25	JB1	20G	1	7	177	20G	I	37.195	0.805	38	楔形石器		23.90	27.20	9.80	5.98	鉄石英	5				
JB1-163①	26	JB1	19G	21	996	116	19G	I	37.236	0.764	38	楔形石器		36.95	37.10	18.00	18.44	鉄石英	5				
JB1-529	27	JB1	20G	1	10	86	20G	III	36.855	1.145	38	楔形石器		31.75	28.00	13.05	6.70	鉄石英	5				
JB1-502	28	JB1	20G	1	46	89	20G	II	37.070	0.93	38	楔形石器		48.80	20.00	16.45	11.85	鉄石英	5				
JB1-306	29	JB1	19G	22	947	208	19G	I	37.025	0.975	38	剥片		43.05	41.30	13.15	12.46	珪質	1	礫面			
JB1-253	30	JB1	19G	21	900	200	19G	I	37.017	0.983	38	二次加工ある剥片		32.20	32.20	13.20	4.37	珪質	1				
JB1-462	31	JB1	19G	21	995	112	19G	II	37.067	0.933	38	台石		105.50	64.50	37.80	304.80	砂岩	34			欠	
14H-124	32		14H	14④				IV				石錘		14.00	11.70	2.00	0.31	珪質				両脚先欠	フルイ
14I-14	33		14I	3	200	542	14I	II	38.378	2.622	41	石錘		62.00	39.70	9.55	13.70	珪質					
13C-2	34		13C	6	316	180	13C	II	39.884	1.116	41	打斧		18.65	73.45	18.00	168.60	砂岩					
15H-63	35		15H	3	23	520	15H	I	37.809	2.191	40	磨石	D	113.15	92.70	47.85	760.00	花崗					
14H-125	36		14H	20				III上				磨石	D	98.00	84.50	46.65	543.59	花崗					
14I-98	37		14I	18	713	430	14I	II	37.815	3.185	41	磨石	C	124.60	70.00	60.80	755.33	流紋					
13I-9	38		13I	21	874	136	13I	I	38.880	2.12	41	磨石	C	42.65	34.12	30.50	48.61	砂岩					
13I-8	39		13I	18	704	538	13I	I	38.671	2.329	41	石錘		88.85	62.00	22.55	164.68	流紋					
15G-38	40		15G	15				II				磨斧		17.45	53.80	31.80	309.37	砂岩				先端欠	
13I-3	41		13I	17	632	258	13I	III	38.893	2.107	41	磨斧		11.40	51.85	30.00	239.63	砂岩				頭部欠	
13E-10	写		13E	19	650	680	13E	II下	40.503	0.497	41	石核		45.25	109.40	67.50	274.04	砂岩					
18E-1	写		18E	5	54	951	18E	攪乱	35.705	2.295	38	石核		42.40	73.35	20.55	66.00	流紋					
B2-137	写		11G	23	842	498	11G	III上	42.164	0.836	43	台石		490.00	235.00	110.00	21,670.00	無ライ岩					
16G-26	写		16G	9	305	663	16G	I	36.724	2.276	39	二次加工ある剥片		94.25	85.45	25.00	151.32	流紋		礫面			
19G-68	写		19G	18	790	480	19G	II	36.952	1.048	38	二次加工ある剥片		58.70	59.90	22.55	61.25	流紋					
17G-3	写		17G	6	332	105	17G	II	34.600	1.9	36.5	二次加工ある剥片		55.00	93.80	24.35	116.16	流紋					

※石材名の略号は次の通り。珪質：珪質頁岩、花崗：花崗岩、流紋：流紋岩、
※母岩欄の「3a」などの略号は「接合資料3a」などを表す。
※小グリッド欄の()付数字は最小グリッドを表す。

図　　版

凡　例

1　石器の新しい破損面（ガジリ）の範囲は白抜きで示した。

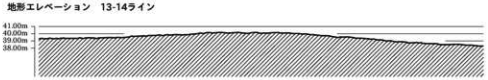
2　旧石器実測図における「/←　→/」は微細剥離のある範囲を示す。
ガジリなどで範囲を限定できないものについては矢印のみを記した。

3　旧石器図版の図No.脇には以下のように属性を記した。

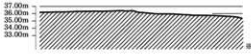
（遺物No.）
ブロック　グリッド　層位
石材

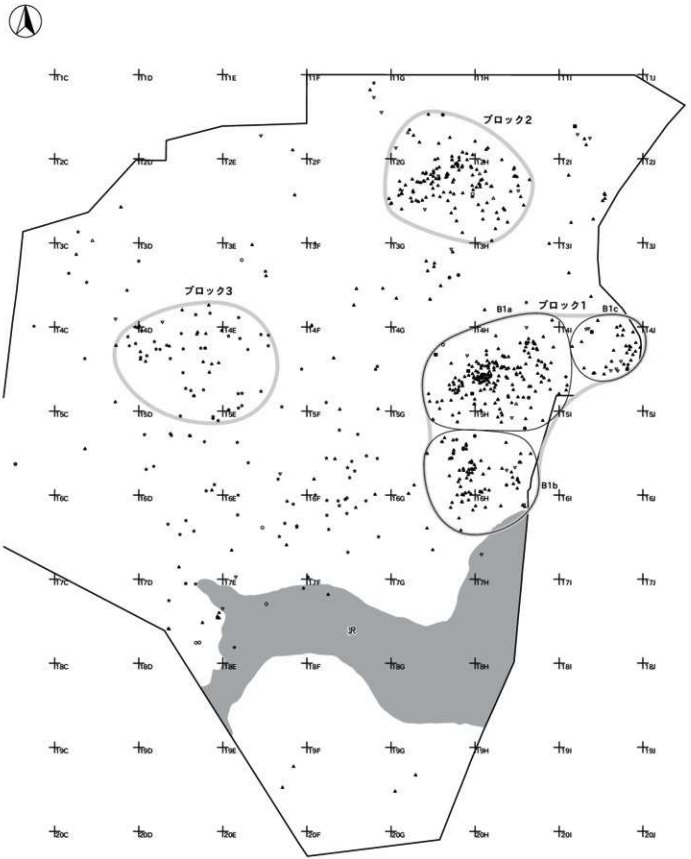
4　石器写真図版のうち、実測図版がなく写真のみ掲載したものは遺物No.を記した。

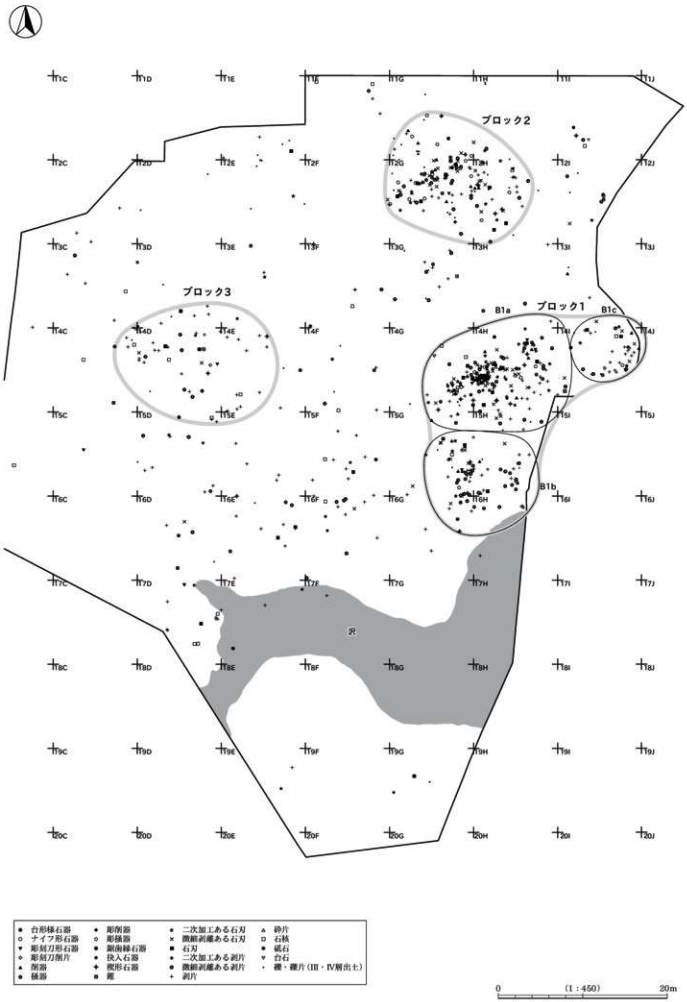
地形エレベーション 13-14ライン



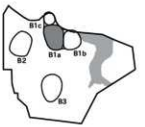
地形エレベーション 18-19ライン




ブロック2
ブロック3
ブロック1
B1a
B1c
B1b
JR
○ チャート
✱ フォルンフェルス
▲ 凝灰岩
▲ 珪質頁岩・珪質頁岩？
□ 黒曜石
■ 砂岩・砂岩？
✱ 鉄石英
✱ 粘板岩
▼ 流紋岩・流紋岩？
✱ 玉髄（白）
✱ 玉髄（白以外）
✱ その他
0
（1：450）
20m

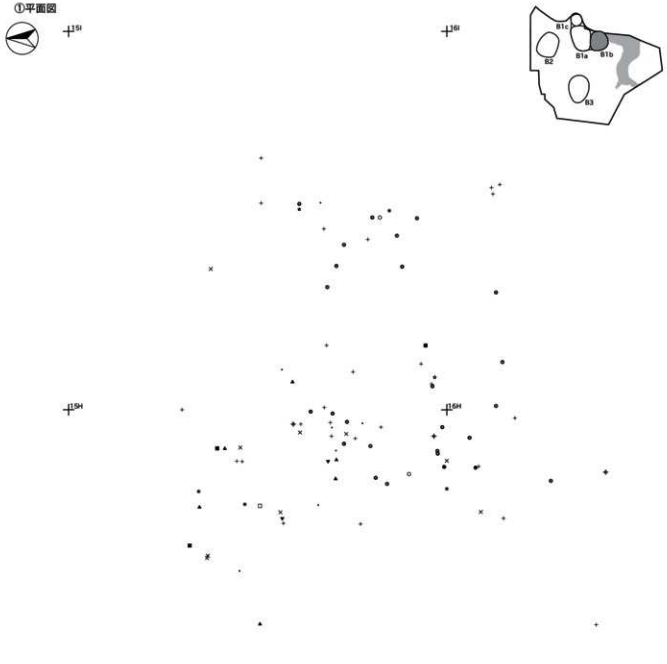

ブロック2
ブロック3
ブロック1
B1a
B1b
B1c
JR
台形様石器
ナイフ形石器
彫刻刀形石器
彫刻刀削片
削器
様器
彫削器
彫様器
鋸歯縁石器
抉入石器
楔形石器
錐
二次加工ある石刃
微細剥離ある石刃
石刃
二次加工ある剥片
微細剥離ある剥片
剥片
砕片
石核
砥石
台石
礫・礫片（III・IV層出土）
0
(1：450)
20m

①平面図



②垂直分布図（平面図の投影図）

①平面図



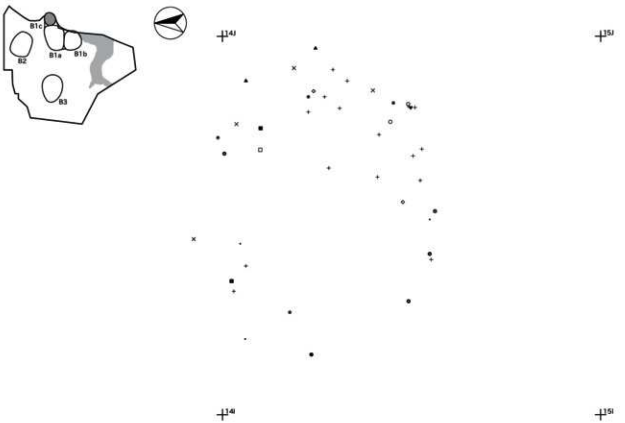
②垂直分布図（平面図の投影図）

● 台形様石器	◆ 彫削器	★ 二次加工ある石刃	△ 砕片
○ ナイフ形石器	○ 彫掻器	× 微細剥離ある石刃	□ 石核
▼ 彫刻刀形石器	● 剥面様石器	■ 石刃	● 砥石
◇ 彫刻刀削片	★ 抉入石器	● 二次加工ある剥片	▽ 台石
▲ 削器	✚ 楔形石器	● 微細剥離ある剥片	・ 礫・礫片（III・IV層出土）
● 掻器	■ 錐	+ 剥片	

0　（1：100）　5m

旧石器ブロック 1c 石器分布図

①平面図

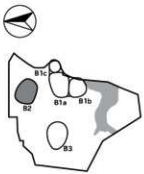


②垂直分布図（平面図の投影図）

● 台形様石器	◆ 彫際器	★ 二次加工ある石刃	▲ 砕片	
○ ナイフ形石器	○ 彫掻器	× 微細剥離ある石刃	□ 石核	
▼ 彫刻刀形石器	● 鋸歯縁石器	■ 石刃	● 礫石	
▽ 彫刻刀削片	◆ 抉入石器	★ 二次加工ある剥片	▽ 台石	
▲ 削器	✚ 模形石器	● 微細剥離ある剥片	・ 礫・礫片（Ⅲ・Ⅳ層出土）	
■ 掻器	■ 礫	＋ 剥片		

0 (1：100) 5m

①平面図

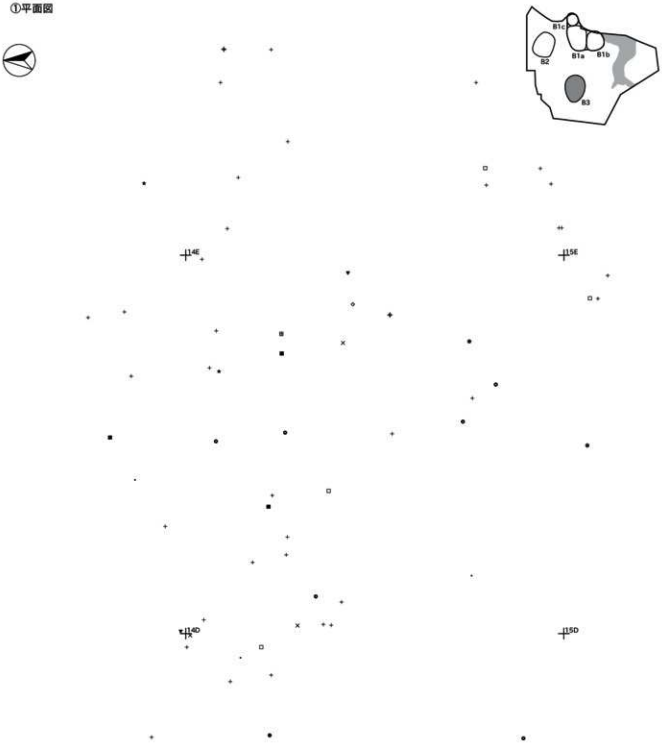


②垂直分布図（平面図の投影図）

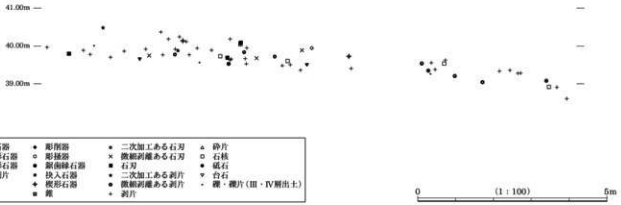
台形様石器	彫削器	二次加工ある石刃	砕片
ナイフ形石器	彫掻器	微細剥離ある石刃	石核
彫刻刀形石器	鋸歯縁石器	石刃	砥石
彫刻刀削片	抉入石器	二次加工ある剥片	台石
削器	楔形石器	微細剥離ある剥片	礫・礫片（Ⅲ・Ⅳ層出土）
掻器	錐	剥片	

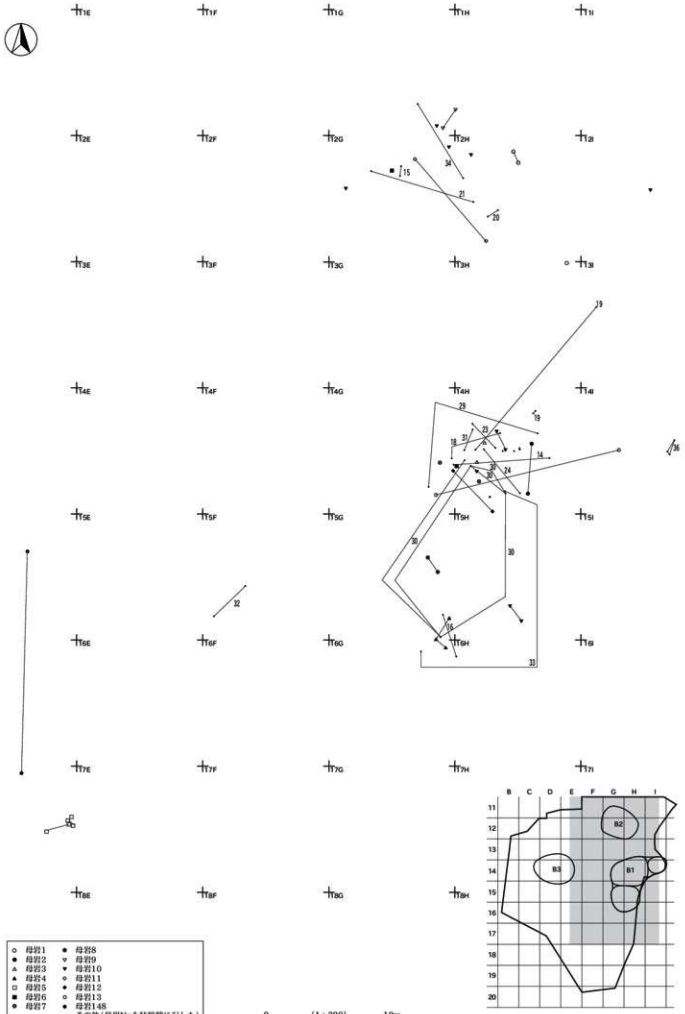
0　（1：100）　5m

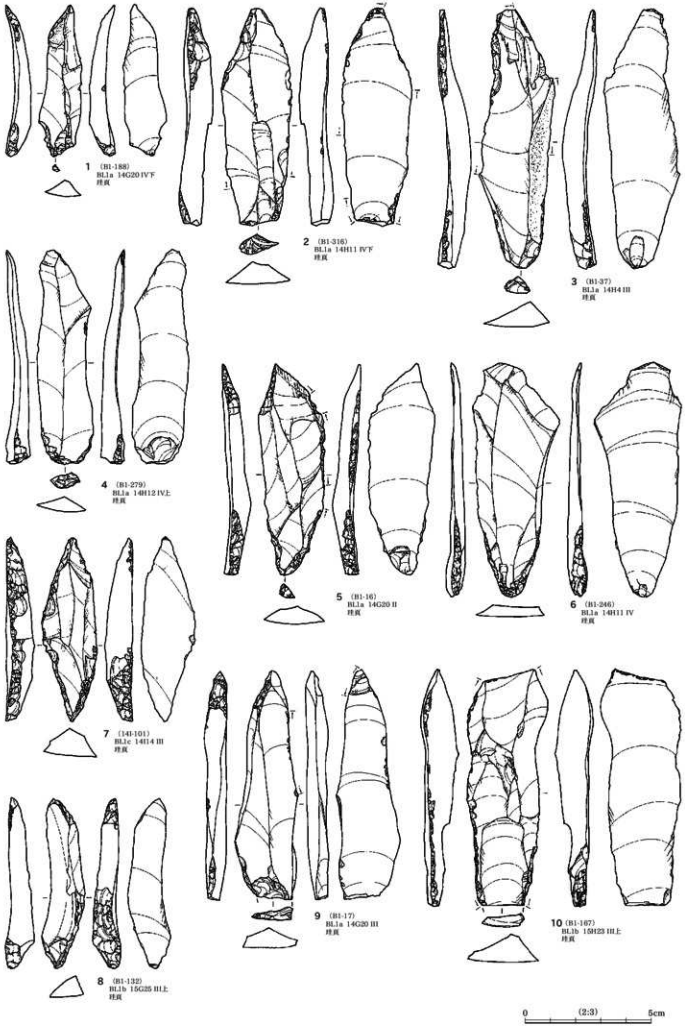
①平面図

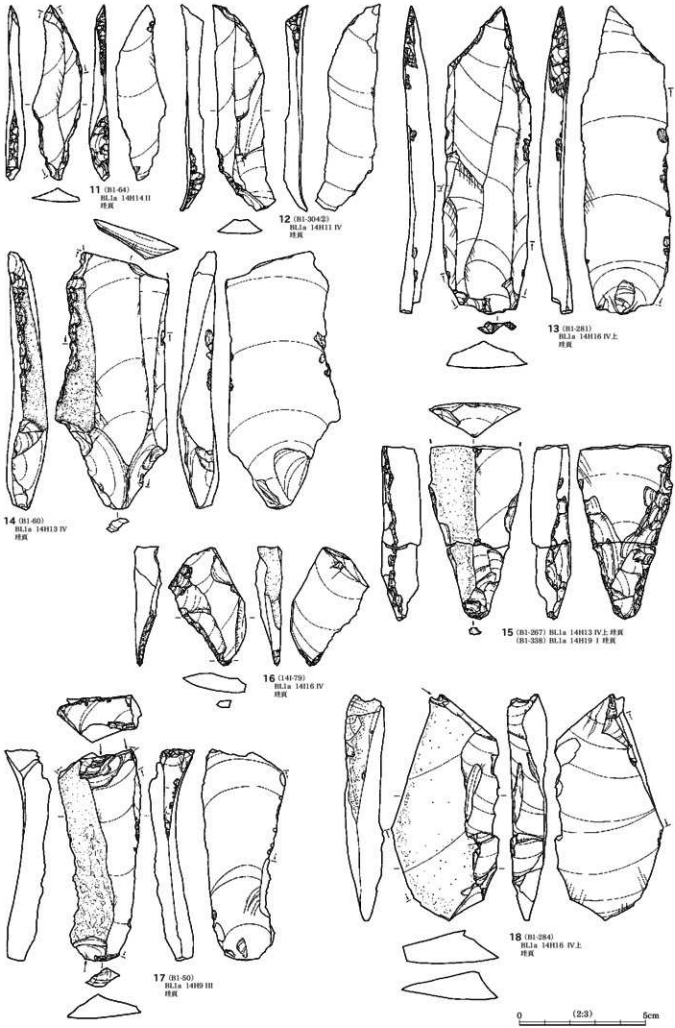


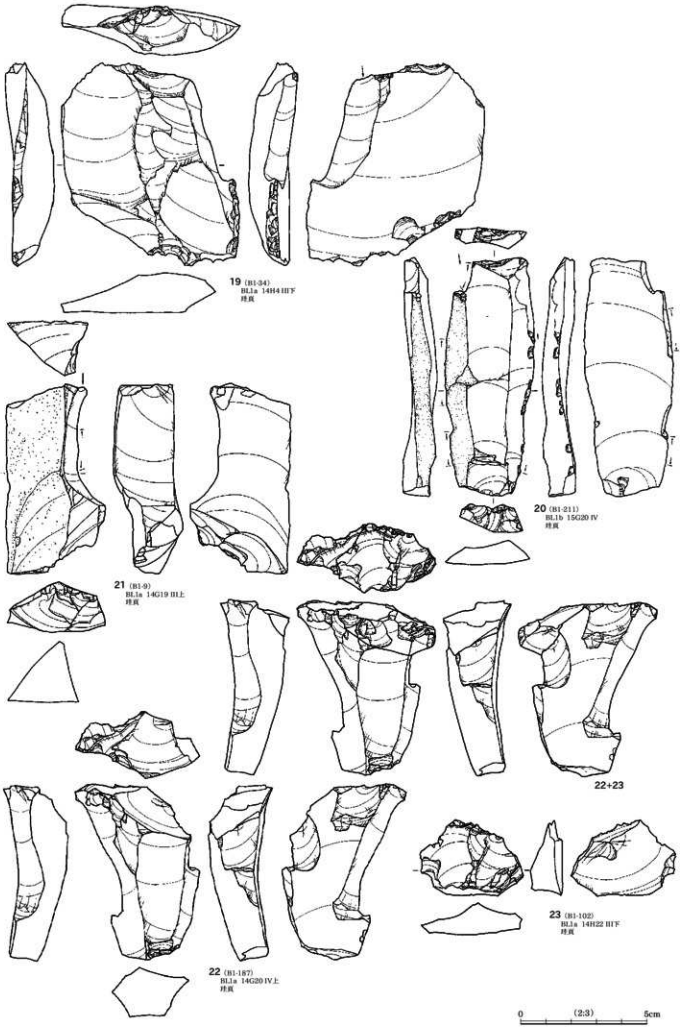
②垂直分布図（平面図の投影図）

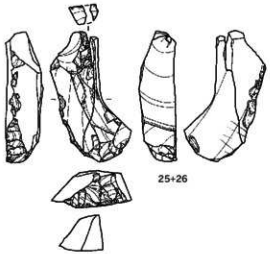



I-1E
I-1F
I-1G
I-1H
I-1I
I-2E
I-2F
I-2G
I-2H
I-2I
I-3E
I-3F
I-3G
I-3H
I-3I
I-4E
I-4F
I-4G
I-4H
I-4I
I-5E
I-5F
I-5G
I-5H
I-5I
I-6E
I-6F
I-6G
I-6H
I-6I
I-7E
I-7F
I-7G
I-7H
I-7I
I-8E
I-8F
I-8G
I-8H
母岩1
母岩2
母岩3
母岩4
母岩5
母岩6
母岩7
母岩8
母岩9
母岩10
母岩11
母岩12
母岩13
母岩14B
その他(母岩Noを結線脇に記した)
0
(1：300)
10m
B
C
D
E
F
G
H
I
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
B2
B3
B1

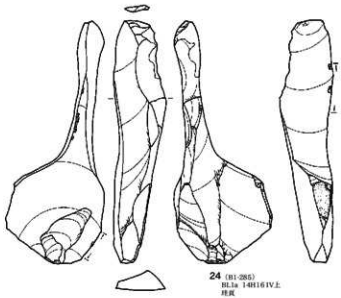

1 (B1-188)
BLla 14G20 IV下
珪質
2 (B1-316)
BLla 14H11 IV下
珪質
3 (B1-37)
BLla 14H4 III
珪質
4 (B1-279)
BLla 14H12 IV上
珪質
5 (B1-16)
BLla 14G20 II
珪質
6 (B1-246)
BLla 14H11 IV
珪質
7 (141-101)
BLlc 14I14 III
珪質
8 (B1-132)
BLlb 15G25 III上
珪質
9 (B1-17)
BLla 14G20 III
珪質
10 (B1-167)
BLlb 15H23 III上
珪質
0 (2:3) 5cm


11 (B1-64)
BLla 14H14 II
頁岩
12 (B1-304②)
BLla 14H11 IV
頁岩
13 (B1-281)
BLla 14H16 IV上
頁岩
14 (B1-60)
BLla 14H13 IV
頁岩
15 (B1-267) BLla 14H13 IV上 頁岩
(B1-338) BLla 14H19 I 頁岩
16 (141-79)
BLla 14H16 IV
頁岩
17 (B1-50)
BLla 14H9 III
頁岩
18 (B1-284)
BLla 14H16 IV上
頁岩
0 (2:3) 5cm

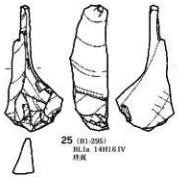

19 (B1-34)
BLla 14H4 III下
珪質
20 (B1-211)
BLlb 15G20 IV
珪質
21 (B1-9)
BLla 14G19 III上
珪質
22+23
22 (B1-187)
BLla 14G20 IV上
珪質
23 (B1-102)
BLla 14H22 III下
珪質
0 (2:3) 5cm



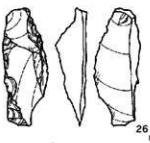
25+26



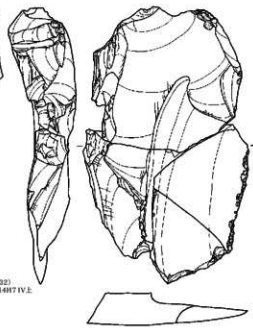
24 (B1-285)
BLla 14H16 IV上
珪質

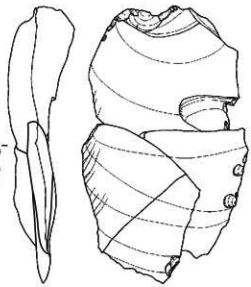


25 (B1-295)
BLla 14H16 IV
珪質

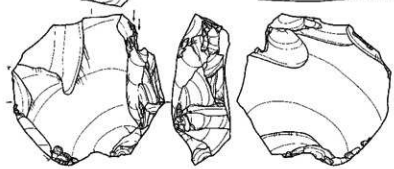


26 (B1-232)
BLla 14H7 IV上
珪質

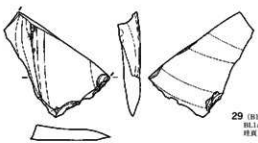




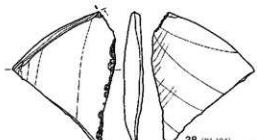
27+28+29+30



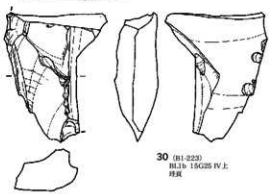
27 (B1-250)
BLla 14H11 IV
珪質



29 (B1-287)
BLla 14H16 IV
珪質

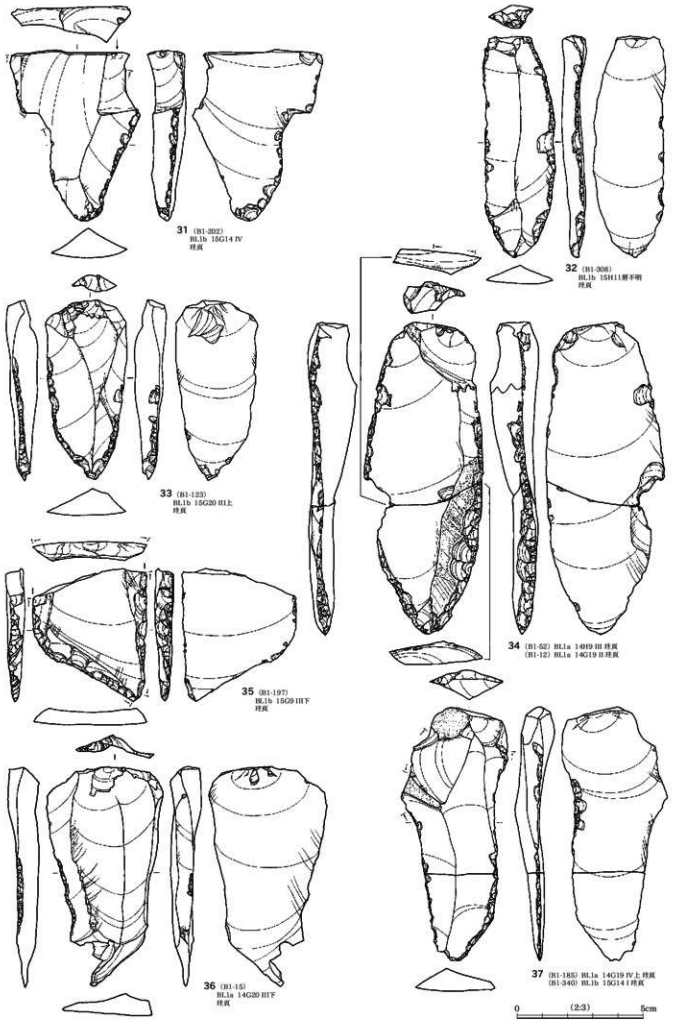


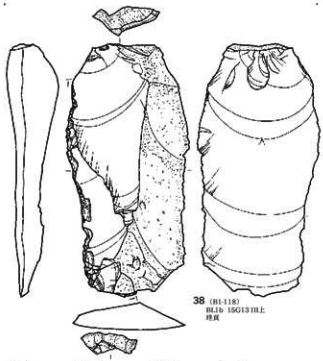
28 (B1-104)
BLla 14H22 層不明
珪質



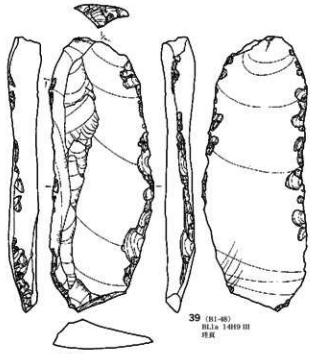
30 (B1-223)
BLlb 15G25 IV上
珪質

0　(2:3)　5cm

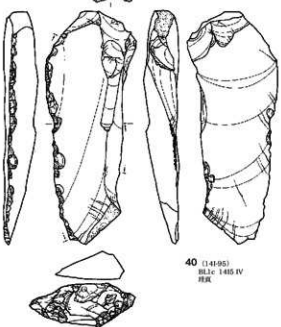

31 (B1-202) BL1b 15G14 IV 建貢
32 (B1-308) BL1b 15H11 層不明 建貢
33 (B1-123) BL1b 15G20 III上 建貢
34 (B1-52) BL1a 14H9 III 建貢 (B1-12) BL1a 14G19 II 建貢
35 (B1-197) BL1b 15G9 III下 建貢
36 (B1-15) BL1a 14G20 III下 建貢
37 (B1-185) BL1a 14G19 IV上 建貢 (B1-340) BL1b 15G14 I 建貢



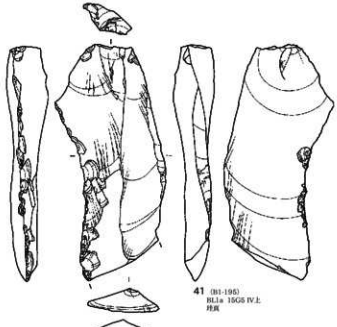
38 (B1-118)
BLb 15G13 III上
珪質



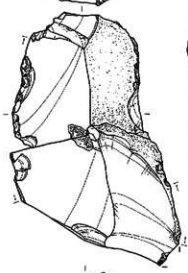
39 (B1-48)
BLa 14H9 III
珪質

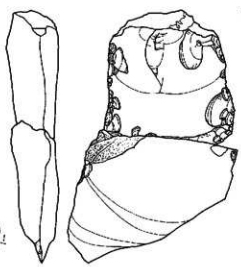


40 (141-95)
BLc 14I5 IV
珪質

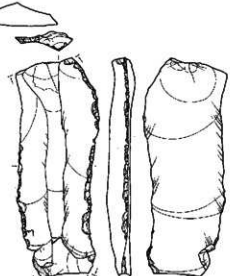


41 (B1-195)
BLa 15G5 IV上
珪質

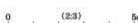


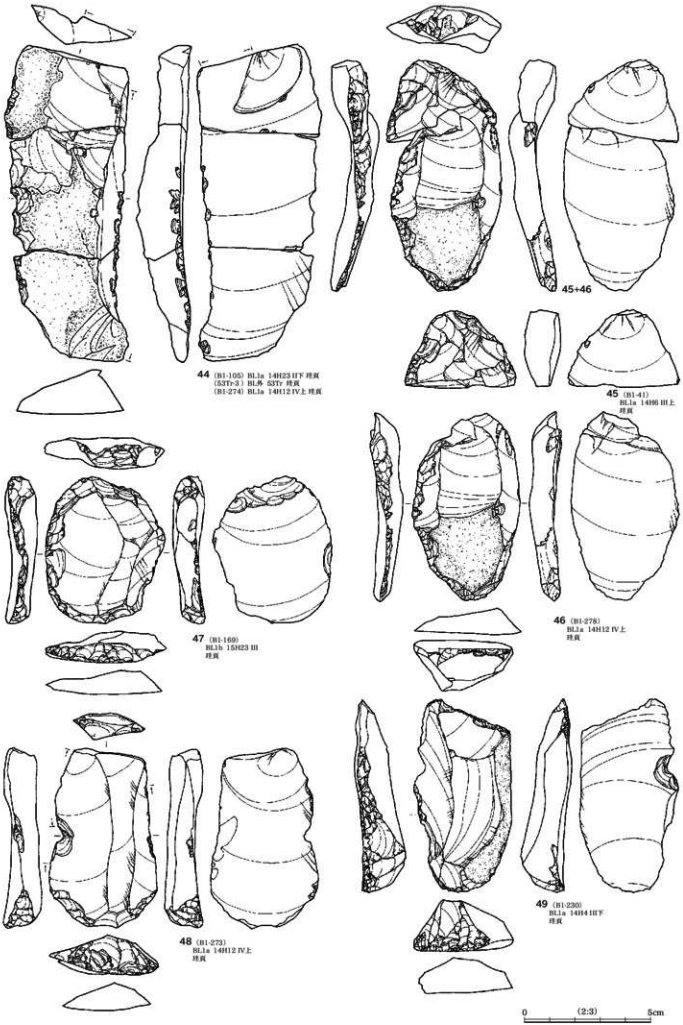


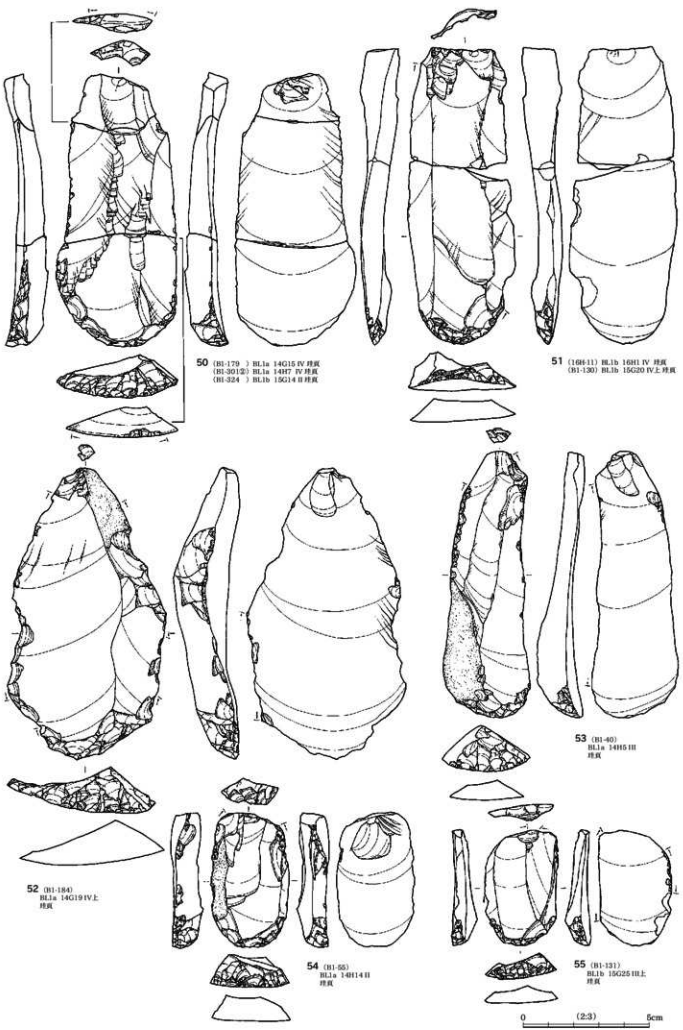
42 (131-1) BL系 13I6 I 珪質
(B1-247) BLa 14H11 IV 珪質

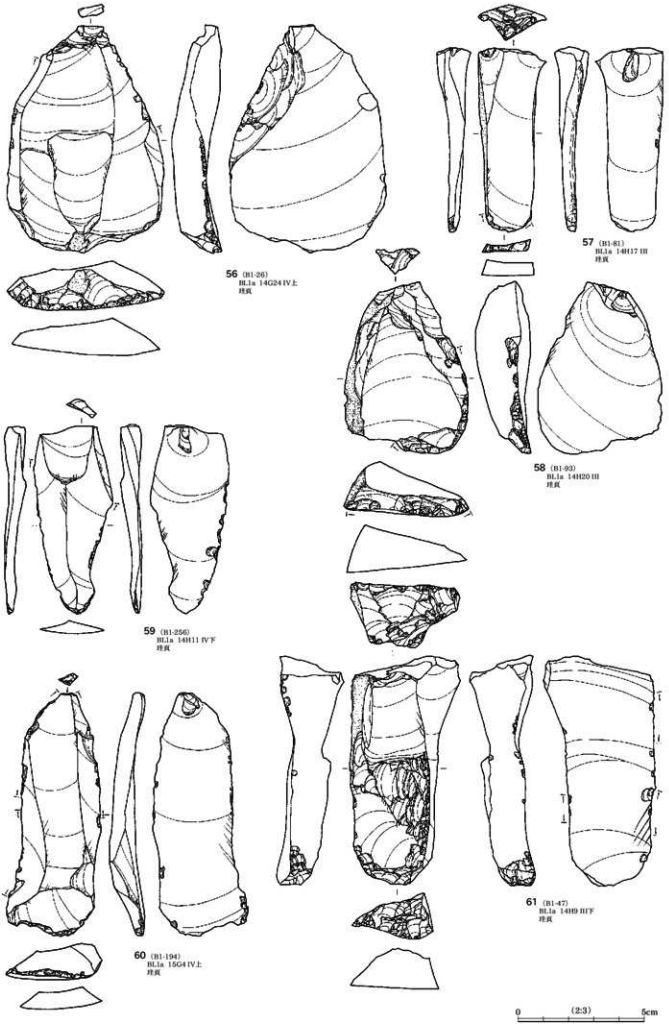


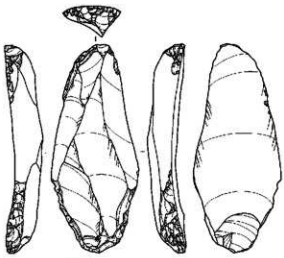
43 (B1-204)
BLb 15G15 III下
珪質



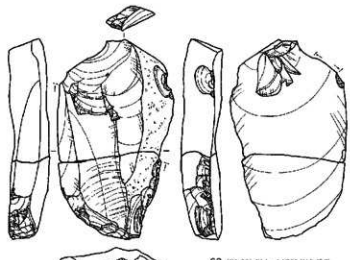

44 (BI-105) BL1a 14H23 II下 埋頁
(53Tr-3) BL外 53Tr 埋頁
(BI-274) BL1a 14H12 IV上 埋頁
45+46
45 (BI-41)
BL1a 14H6 III上
埋頁
47 (BI-169)
BL1b 15H23 III
埋頁
46 (BI-278)
BL1a 14H12 IV上
埋頁
48 (BI-273)
BL1a 14H12 IV上
埋頁
49 (BI-230)
BL1a 14H4 III下
埋頁
0
(2:3)
5cm


50 (B1-179) BL1a 14G15 IV 理質
(B1-301②) BL1a 14H7 IV 理質
(B1-324) BL1b 15G14 II 理質
51 (16H-11) BL1b 16H1 IV 理質
(B1-130) BL1b 15G20 IV上 理質
52 (B1-184)
BL1a 14G19 IV上
理質
53 (B1-40)
BL1a 14H5 III
理質
54 (B1-55)
BL1a 14H14 II
理質
55 (B1-131)
BL1b 15G25 III上
理質
0
(2:3)
5cm

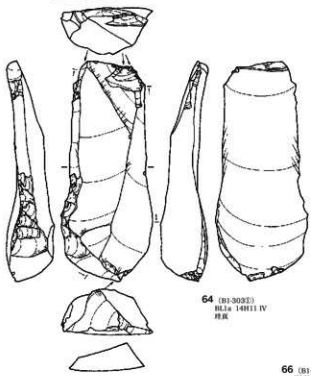

56 (B1-26)
BLIa 14G24 IV上
埋戻
57 (B1-81)
BLIa 14H17 III
埋戻
58 (B1-93)
BLIa 14H20 III
埋戻
59 (B1-256)
BLIa 14H11 IV下
埋戻
60 (B1-194)
BLIa 15G4 IV上
埋戻
61 (B1-47)
BLIa 14H9 III下
埋戻
0
(2:3)
5cm



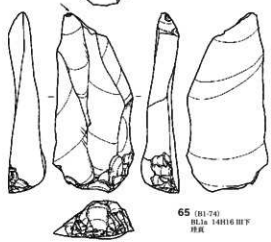
62 (B1-304接)
BL1a 14H11 IV
珪質



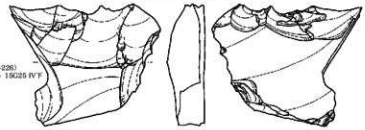
63 (B1-20) BL1a 14G20 IV上 珪質
(B1-66) BL1a 14H14 IV上 珪質



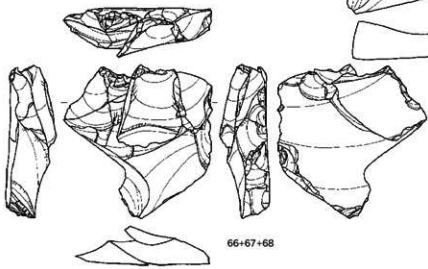
64 (B1-303接)
BL1a 14H11 IV
珪質



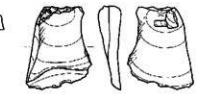
65 (B1-74)
BL1a 14H16 III下
珪質



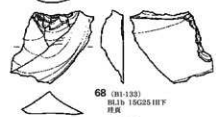
66 (B1-226)
BL1b 15G25 IV下
珪質



66+67+68

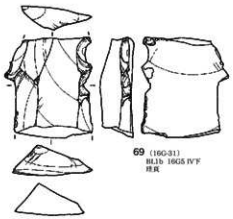


67 (16G-32) BL1b 16G5 IV下 珪質

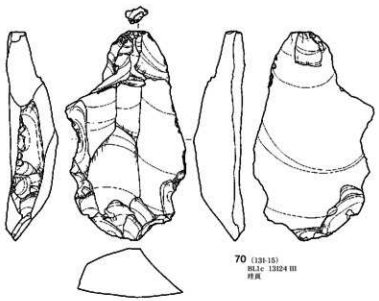


68 (B1-133)
BL1b 15G25 III下
珪質

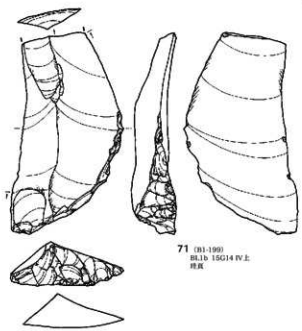
0 (2:3) 5cm



69 (16G-31)
BL1b 16G5 IV下
珪質

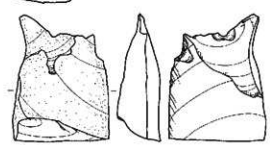


70 (13I-15)
BL1c 13I24 III
珪質

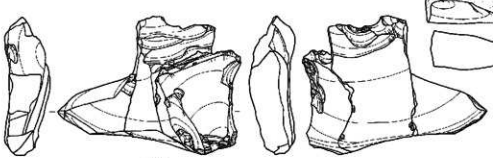


71 (B1-199)
BL1b 15G14 IV上
珪質

72 (B1-95)
BL1a 14H20 III
珪質

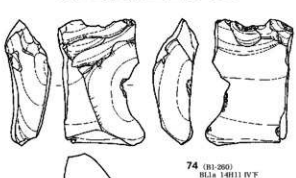


73 (B1-282)
BL1a 14H16 IV
珪質

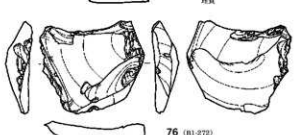


74+75+76

75 (53Tr-2)
BL外 53Tr IV
珪質

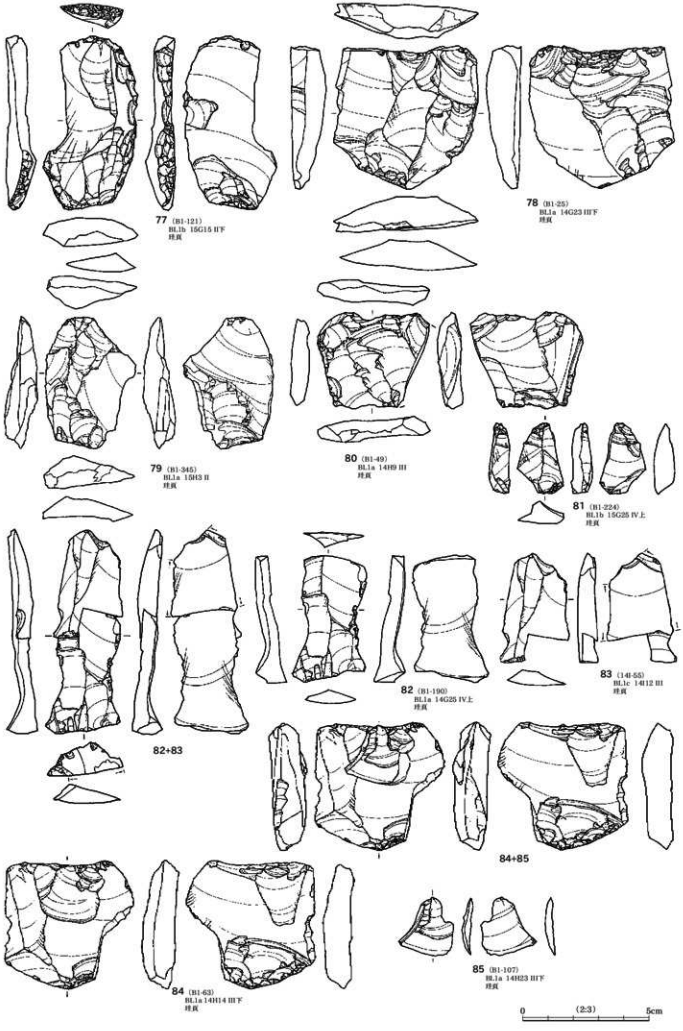


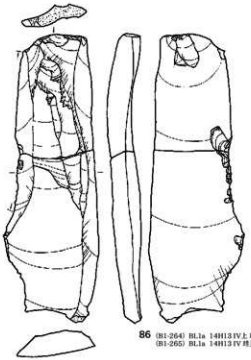
74 (B1-260)
BL1a 14H11 IV下
珪質



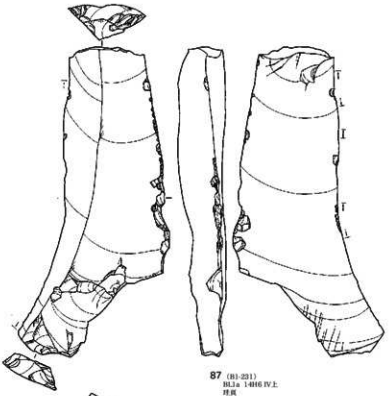
76 (B1-272)
BL1a 14H12 IV
珪質

0　(2:3)　5cm

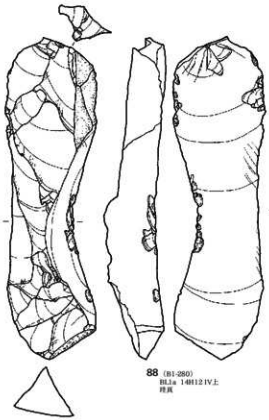

77 (B1-121)
BL1b 15G15 II下
埋真
78 (B1-25)
BL1a 14G23 III下
埋真
79 (B1-345)
BL1a 15H3 II
埋真
80 (B1-49)
BL1a 14H9 III
埋真
81 (B1-224)
BL1b 15G25 IV上
埋真
82+83
82 (B1-190)
BL1a 14G25 IV上
埋真
83 (14I-55)
BL1c 14I12 III
埋真
84+85
84 (B1-63)
BL1a 14H14 III下
埋真
85 (B1-107)
BL1a 14H23 III下
埋真
0
(2:3)
5cm



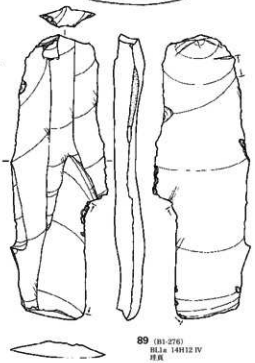
86 (B1-264) BL1a 14H13 IV上 埋戻
(B1-265) BL1a 14H13 IV 埋戻



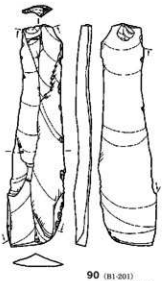
87 (B1-231)
BL1a 14H6 IV上
埋戻



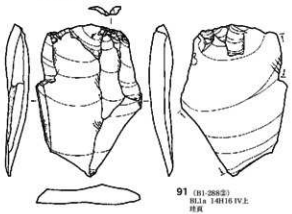
88 (B1-280)
BL1a 14H12 IV上
埋戻



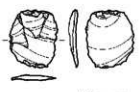
89 (B1-276)
BL1a 14H12 IV
埋戻



90 (B1-201)
BL1b 18G14 IV
埋戻

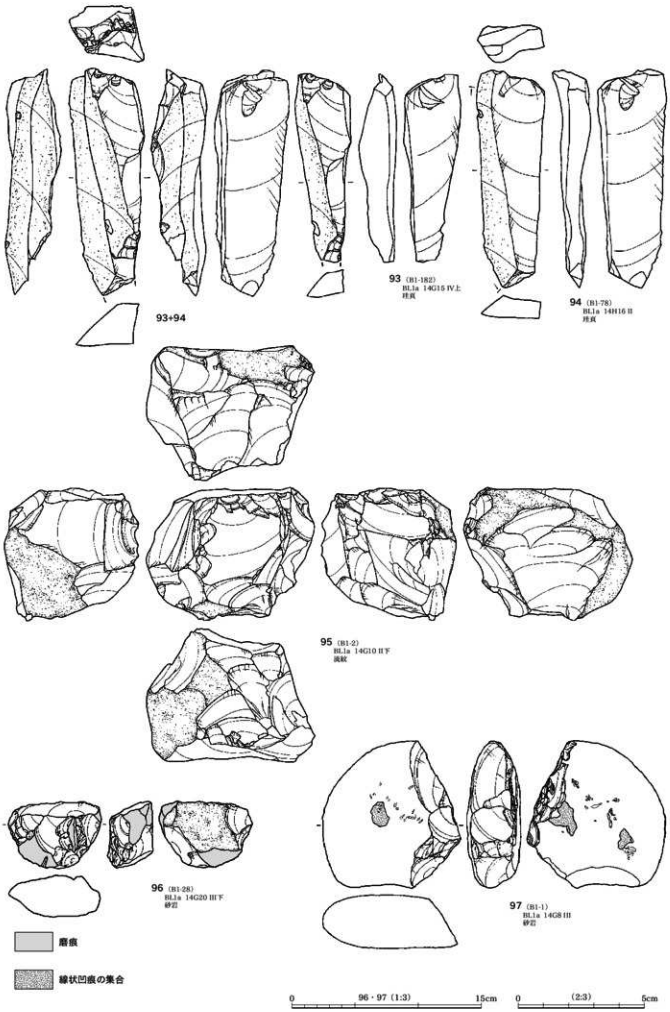


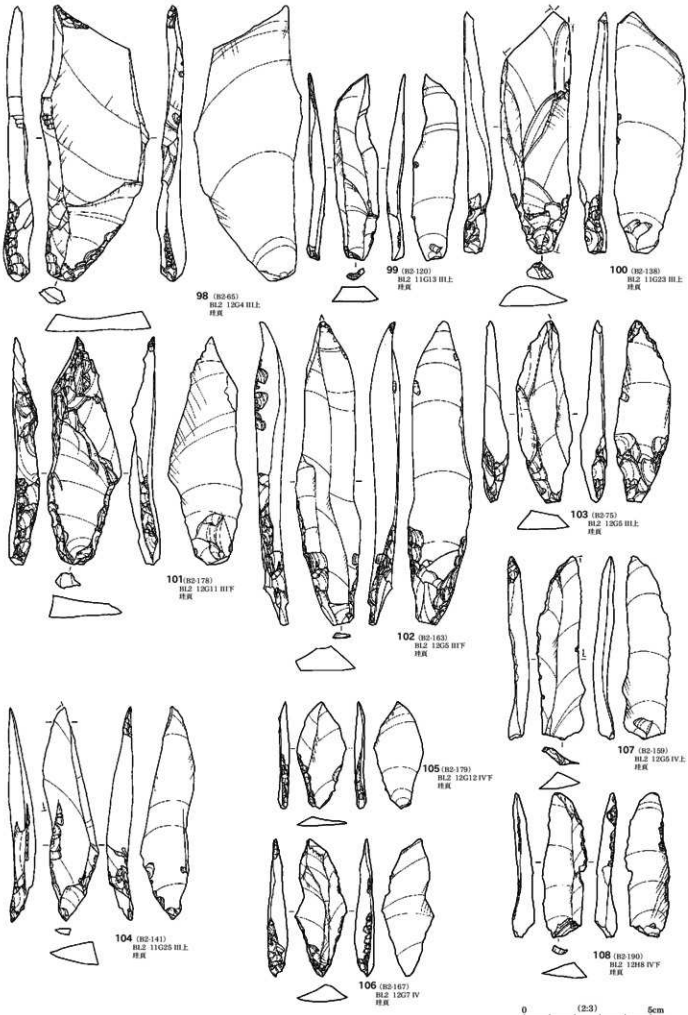
91 (B1-288②)
BL1a 14H16 IV上
埋戻

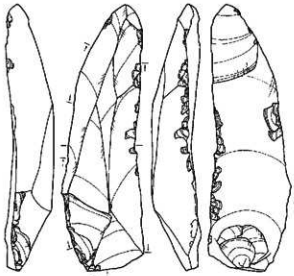


92 (B1-268)
BL1a 14H16 IV下
埋戻

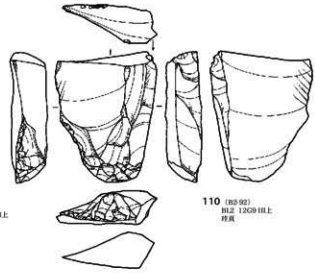
0　(2:3)　5cm


93+94
93 (B1-18Z)
BL1a 14G15 IV上
珪質
94 (B1-7B)
BL1a 14H16 II
珪質
95 (B1-2)
BL1a 14G10 II下
流紋
96 (B1-28)
BL1a 14G20 III下
砂岩
97 (B1-1)
BL1a 14G8 III
砂岩
磨痕
線状凹痕の集合
0
96・97 (1:3)
15cm
0
(2:3)
5cm

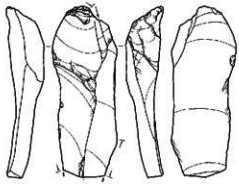

98 (B2-65)
BL2 12G4 III上
頁岩
99 (B2-120)
BL2 11G13 III上
頁岩
100 (B2-138)
BL2 11G23 III上
頁岩
101 (B2-178)
BL2 12G11 III下
頁岩
102 (B2-163)
BL2 13G5 III下
頁岩
103 (B2-75)
BL2 12G5 III上
頁岩
104 (B2-141)
BL2 11G25 III上
頁岩
105 (B2-179)
BL2 12G12 IV下
頁岩
106 (B2-167)
BL2 12G7 IV
頁岩
107 (B2-159)
BL2 12G5 IV上
頁岩
108 (B2-190)
BL2 12H8 IV下
頁岩
0 (2:3) 5cm



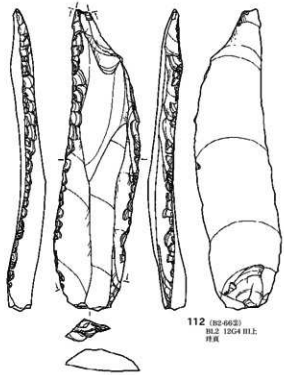
109 (B2-126)
BL2 11G7 III上
珪質



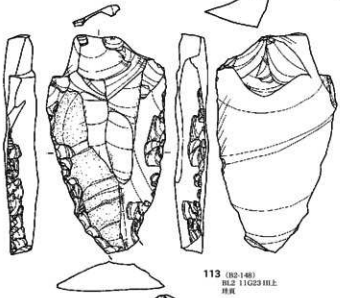
110 (B2-92)
BL2 12G9 III上
珪質



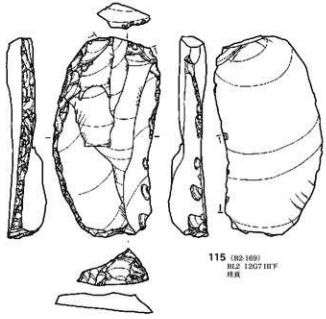
111 (B2-187)
BL2 12H3 IV上
珪質



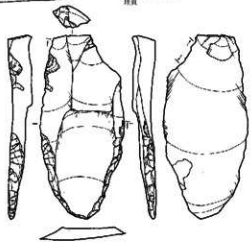
112 (B2-662)
BL2 12G4 III上
珪質



113 (B2-148)
BL2 11G23 III上
珪質

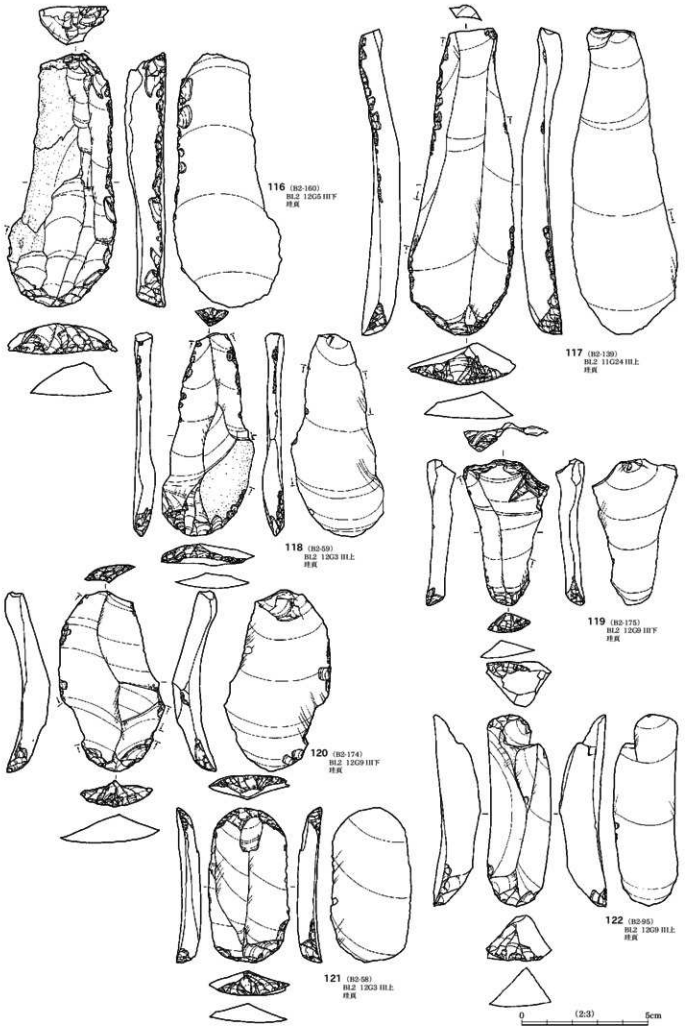


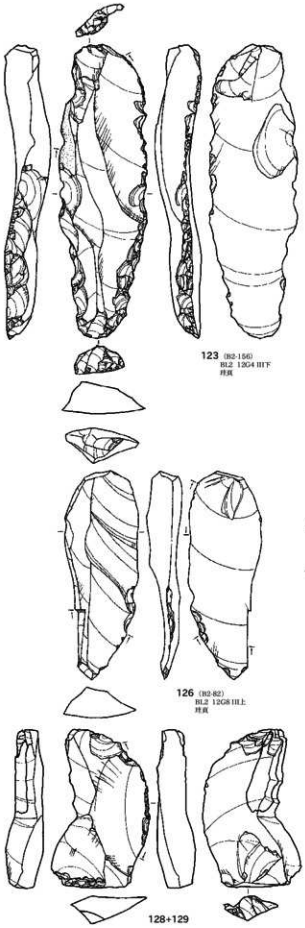
115 (B2-169)
BL2 12G7 III下
珪質



114 (B2-61)
BL2 12G3 III上
珪質

0 (2:3) 5cm


116 (B2-160)
BL2 12G5 III下
埋真
117 (B2-139)
BL2 11G24 III上
埋真
118 (B2-59)
BL2 12G3 III上
埋真
119 (B2-175)
BL2 12G9 III下
埋真
120 (B2-174)
BL2 12G9 III下
埋真
121 (B2-58)
BL2 12G3 III上
埋真
122 (B2-95)
BL2 12G9 III上
埋真
0
(2:3)
5cm



123 (B2-156)
BL2 12G4 III下
珪質

124 (B2-80)
BL2 12G7 III上
珪質

125 (B2-57)
BL2 12G2 III上
珪質

126 (B2-82)
BL2 12G8 III上
珪質

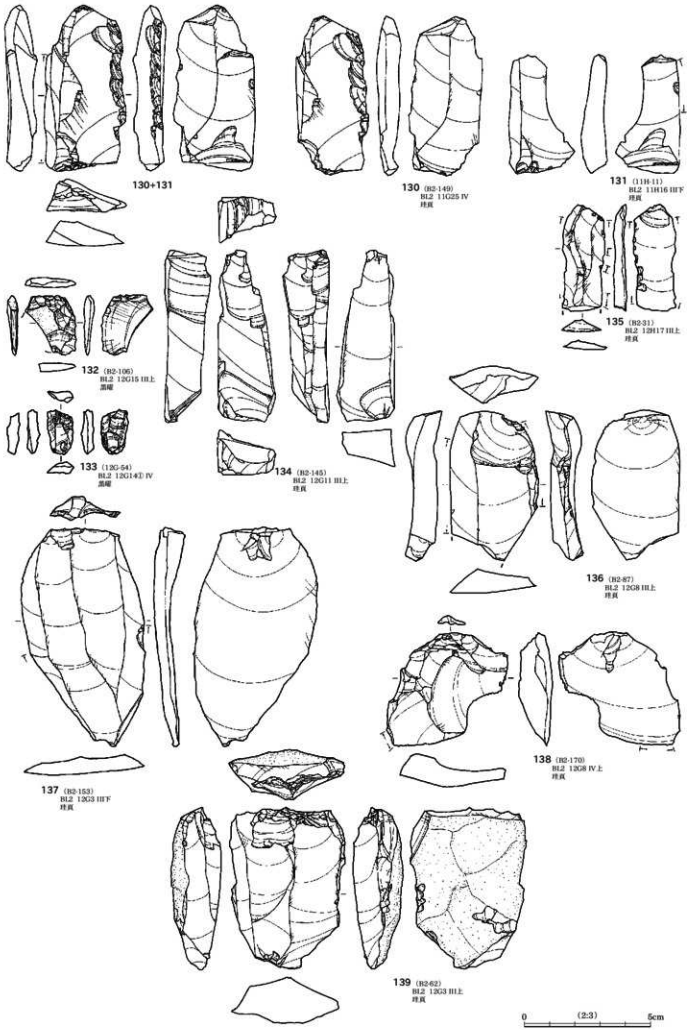
127 (B2-64②)
BL2 12G4 III上
珪質

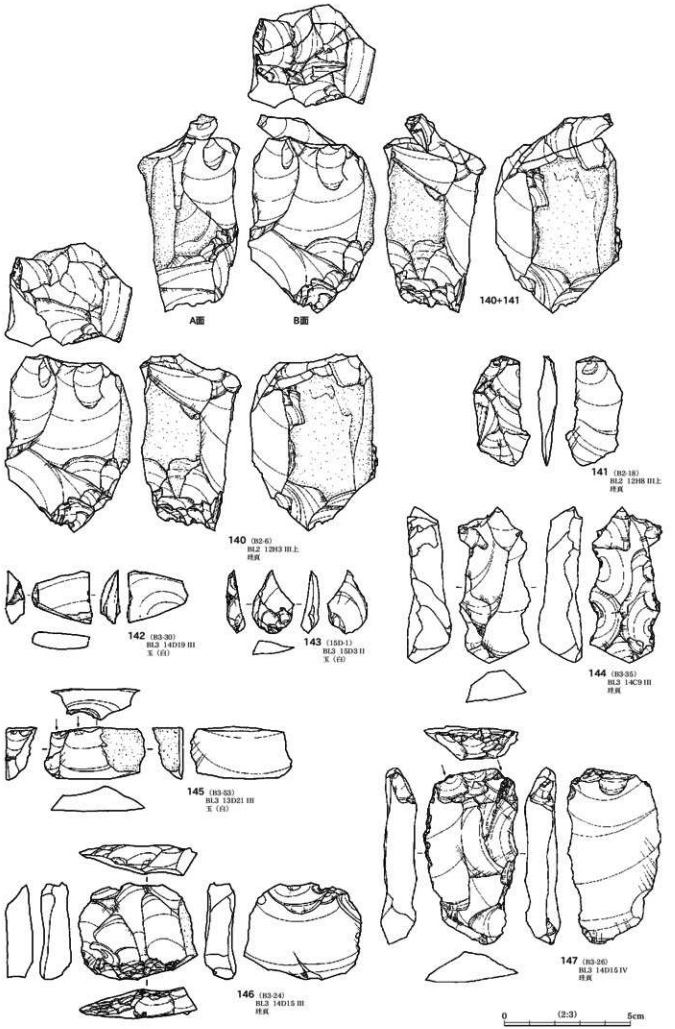
128+129

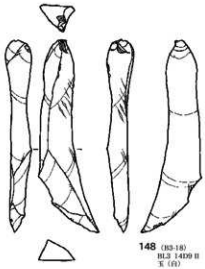
128 (B2-158)
BL2 12G4 IV上
珪質

129 (B2-33②)
BL2 12H22 原不明
珪質

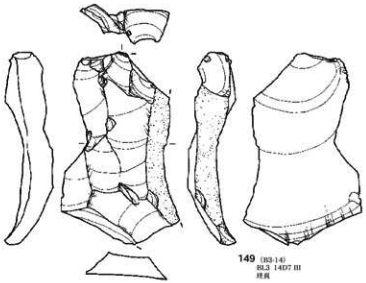
0　(2:3)　5cm


130+131
130 (B2-149)
BL2 11G25 IV
珪質
131 (11H-11)
BL2 11H16 IIIF
珪質
135 (B2-31)
BL2 12H17 III上
珪質
132 (B2-106)
BL2 12G15 III上
黒曜
133 (12G-54)
BL2 12G14E IV
黒曜
134 (B2-145)
BL2 12G11 III上
珪質
136 (B2-87)
BL2 12G8 III上
珪質
137 (B2-153)
BL2 12G3 IIIF
珪質
138 (B2-170)
BL2 12G8 IV上
珪質
139 (B2-62)
BL2 12G3 III上
珪質
0　(2:3)　5cm

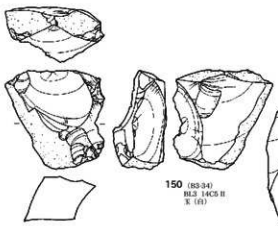

A面
B面
140+141
140 (B2-6)
BL2 12H3 III上
珪質
141 (B2-18)
BL2 12H8 III上
珪質
142 (B3-30)
BL3 14D19 III
玉（白）
143 (15D-1)
BL3 15D3 II
玉（白）
144 (B3-35)
BL3 14C9 III
珪質
145 (B3-33)
BL3 13D21 III
玉（白）
146 (B3-24)
BL3 14D15 III
珪質
147 (B3-26)
BL3 14D15 IV
珪質
0
(2:3)
5cm



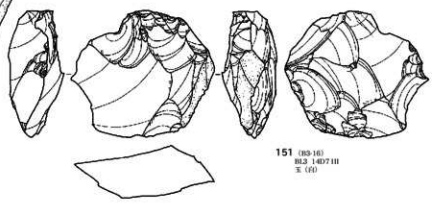
148 (B3-18)
BL3 14D9 II
玉 (H)



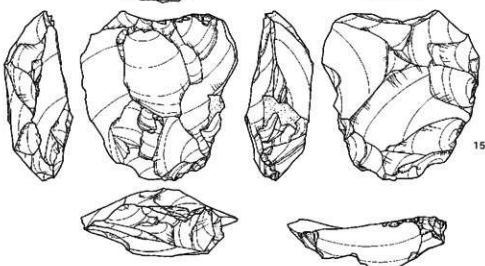
149 (B3-14)
BL3 14D7 III
珪質



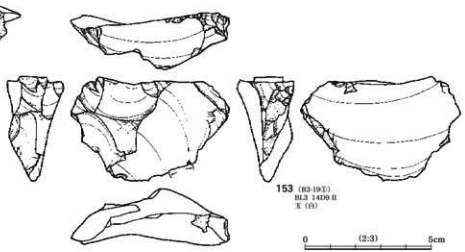
150 (B3-34)
BL3 14C5 II
玉 (H)



151 (B3-16)
BL3 14D7 III
玉 (H)

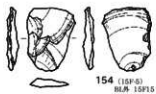


152 (15D-2)
BL3 15D5 II
玉 (H)

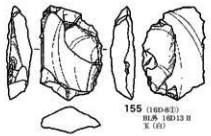


153 (B3-19①)
BL3 14D9 II
玉 (H)

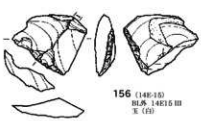
0 (2:3) 5cm



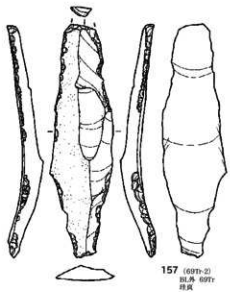
154 (15F-5)
BLA 15F15 II
玉（白）



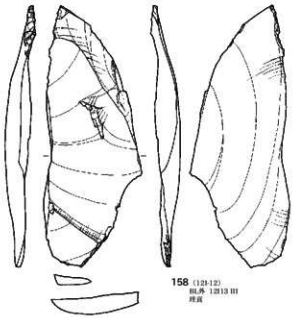
155 (16D-8①)
BLA 16D13 II
玉（白）



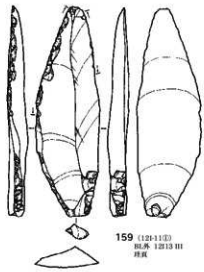
156 (14E-15)
BLA 14E15 III
玉（白）



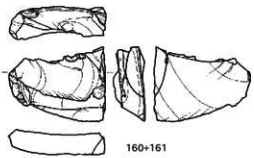
157 (69Tr-2)
BLA 69Tr
珪質



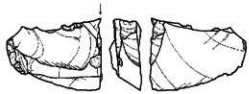
158 (12I-12)
BLA 12I13 III
珪質



159 (12I-11①)
BLA 12I13 III
珪質

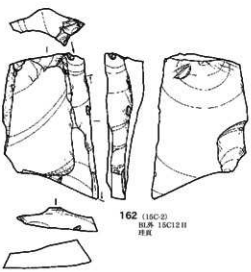


160+161

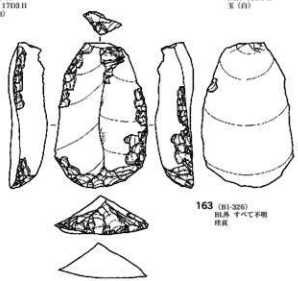


160 (17D-4)
BLA 17D3 II
玉（白）

161 (15D-8)
BLA 15D9 II
玉（白）

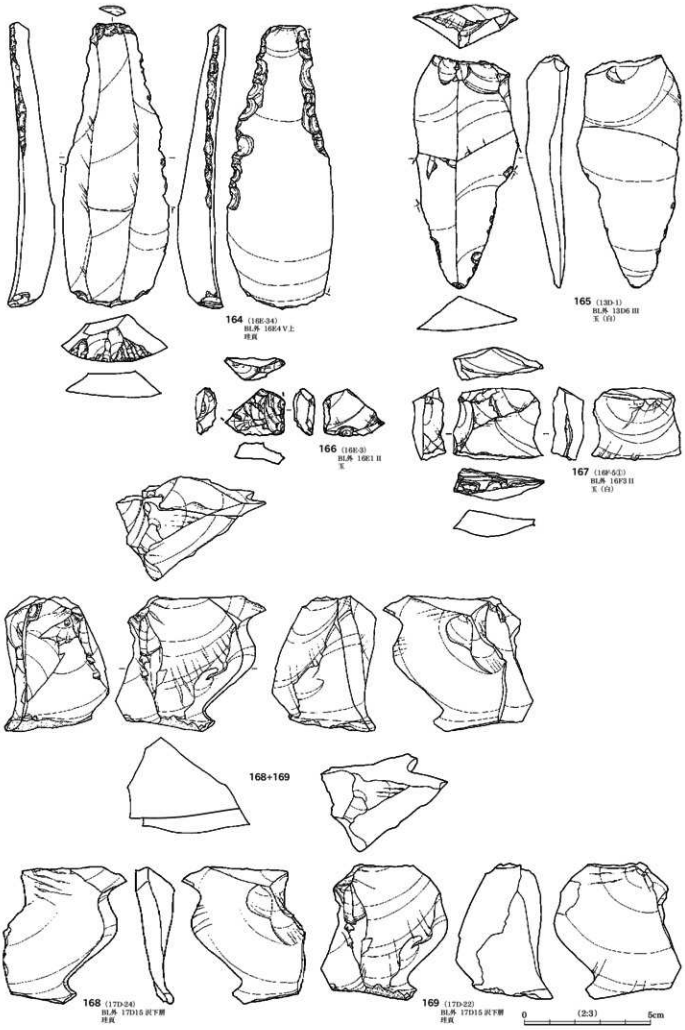


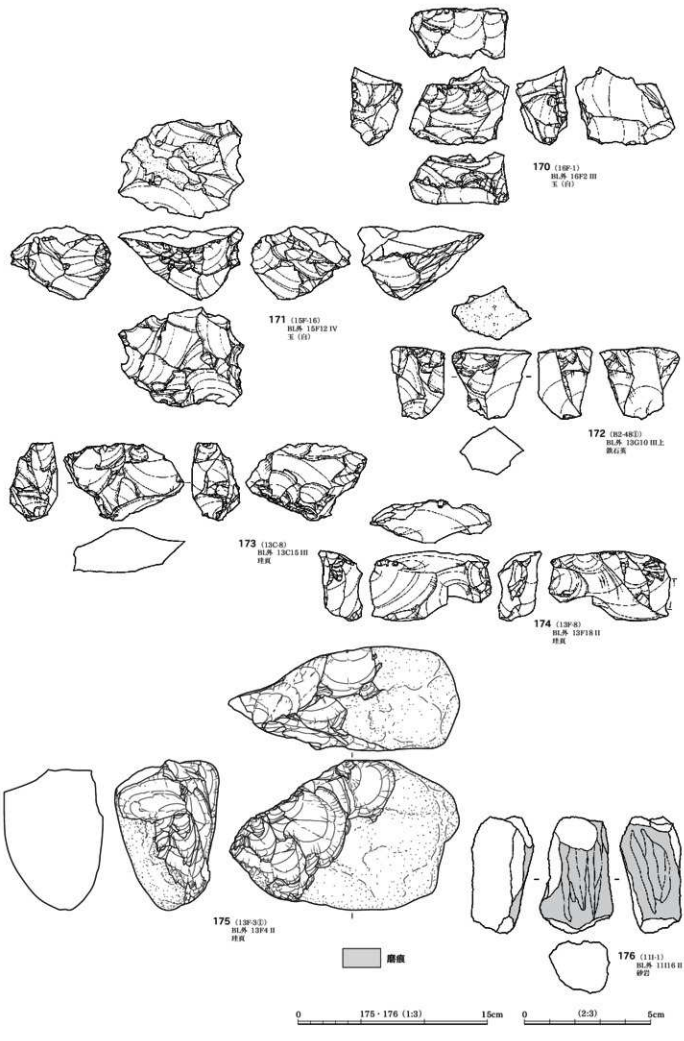
162 (15C-2)
BLA 15C12 II
珪質



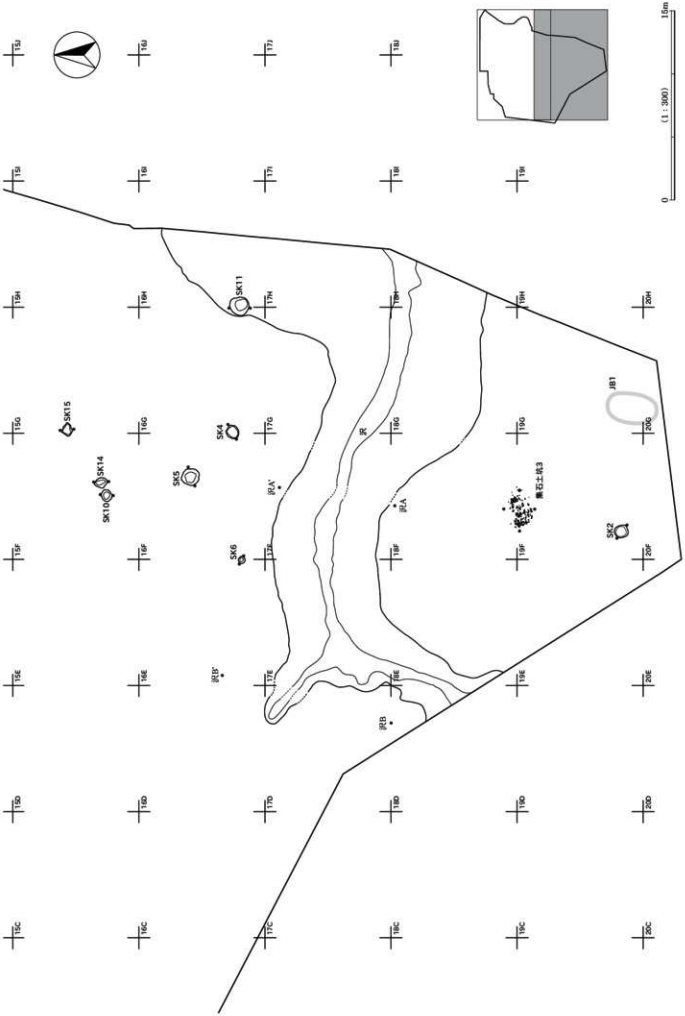
163 (B1-326)
BLA すべて不明
珪質

0　(2:3)　5cm

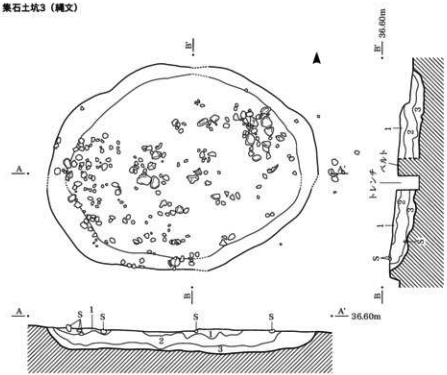

164 (16E-34)
BL外 16E4 V上
理貝
165 (13D-1)
BL外 13D6 III
玉 (白)
166 (16E-3)
BL外 16E1 II
玉
167 (16F-5①)
BL外 16F3 II
玉 (白)
168+169
168 (17D-24)
BL外 17D15 沢下層
理貝
169 (17D-22)
BL外 17D15 沢下層
理貝
0
(2:3)
5cm


170 (16F-1)
BL外 16F2 III
玉 (白)
171 (15F-16)
BL外 15F12 IV
玉 (白)
172 (B2-48玉)
BL外 13G10 III上
黒石黄
173 (13C-8)
BL外 13C15 III
珪質
174 (13F-8)
BL外 13F18 II
珪質
175 (13F-3玉)
BL外 13F4 II
珪質
磨痕
176 (11I-1)
BL外 11I16 II
砂岩
0
175・176 (1:3)
15cm
0
(2:3)
5cm

SK25
SK23
SK29
SK28
SK24
SK20
SK16
SK19
SK12
SK7
SK9
SK15
SK14
SK10
集E27
集E17
集E13
集E18
集E21
集E22
0
15m
(1：300)

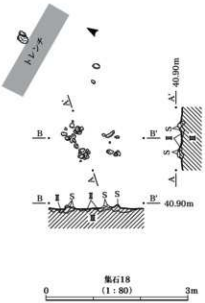

15J
16J
17J
18J
15I
16I
17I
18I
19I
15H
16H
17H
18H
19H
20H
15G
16G
17G
18G
19G
20G
15F
16F
17F
18F
19F
20F
15E
16E
17E
18E
19E
20E
15D
16D
17D
18D
19D
20D
15C
16C
17C
18C
19C
20C
SK11
SK15
SK4
SK5
SK14
SK10
SK6
SK2
JB1
沢
沢A'
沢A
沢B'
沢B
集石土坑3
0
(1：300)
15m

集石土坑3（縄文）



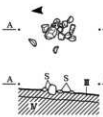
1. 褐色土。　しまり強。炭化物少量混入。礫を含む。
2. 黒褐色土。　炭化物混入。炭化物塊点在。（14C年代測定試料採取）
3. 明黄褐色土。　しまりあり。2層土ブロック混入。

集石18（縄文）

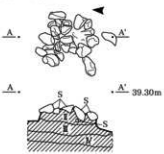


集石27

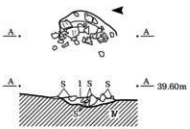
集石17（縄文）



集石13（縄文）



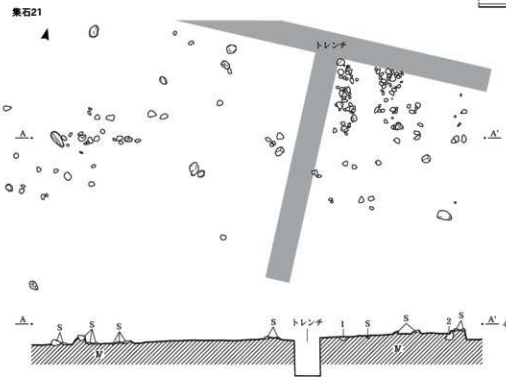
集石土坑22（縄文）



1. 褐色シルト質粘土。　粘性・しまりあり。IV層土に似る。

集石土坑3・22、集石13・17・27
(1：40)
0　2m

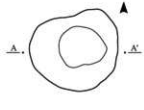
集石21

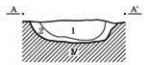


1. 褐色粘土　木の根痕。
2. 明黄褐色粘土。木の根痕。

集石21
(1：80)
0　3m

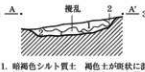
SK28（縄文）





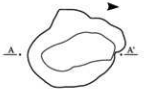
1. 黒褐色土　細粒で粘性あり。炭化物混入。
2. 褐色土　Ⅳ層混入。

SK9（縄文）



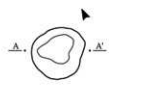
1. 暗褐色シルト質土　褐色土が斑状に混入。
2. 褐色土　暗褐色シルト質土混入。1Cに似る。

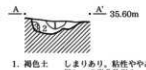
SK14（縄文）



1. 暗褐色粘土　粘性あり。しまりややあり。炭化物少量混入。

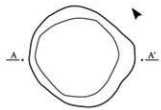
SK6（縄文）

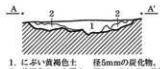




1. 褐色土　しまりあり。粘性ややあり。径1cmの炭化物混入。
2. 褐色土（1層より明るい色調）　しまりあり。粘性ややあり。径3mmの炭化物混入。
3. 明褐色土　しまりあり。粘性ややあり。

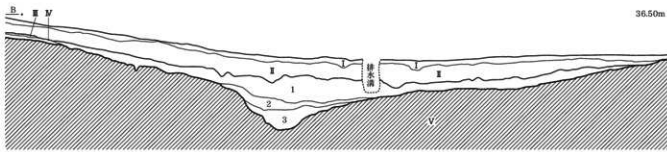
SK2（縄文）





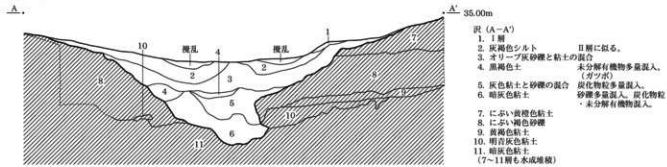
1. にぶい黄褐色土　径5mmの炭化物、焼土混入。
2. 黄褐色シルト質土　径1cmのにぶい黄褐色粘土粒混入。

沢（B-B'）



沢（B－B'）
1. 暗褐色シルト　炭化物粒少量。風化砂礫多量混入。しまりあり。
2. 褐色シルト
3. 灰褐色シルト　炭化物粒混入。（14C 年代測定試料採取）

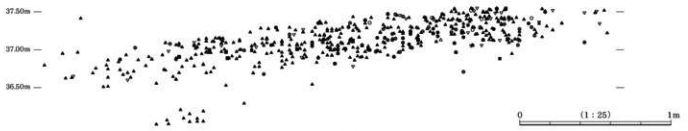
沢（A-A'）



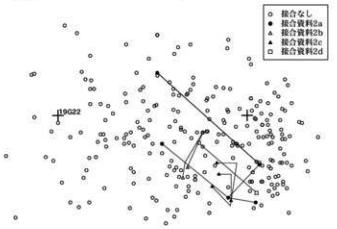
沢（A－A'）
1. Ⅰ層
2. 灰褐色シルト　Ⅱ層に似る。
3. オリーブ灰砂礫と粘土の混合
4. 黒褐色土　未分解有機物多量混入。（ガツガ）
5. 灰色粘土と砂礫の混合　炭化物粒多量混入。
6. 暗灰色粘土　砂礫多量混入。炭化物粒・未分解有機物混入。
7. にぶい黄橙色粘土
8. にぶい褐色砂礫
9. 黄褐色粘土
10. 明青灰色粘土
11. 暗灰色粘土
（7～11層も水成堆積）

①平面図

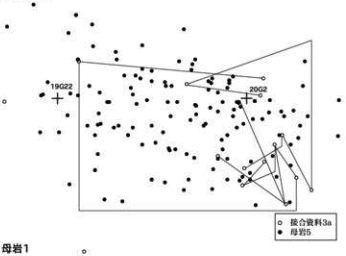
②垂直分布図（平面図の投影図）



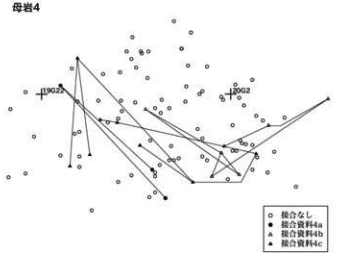
母岩2



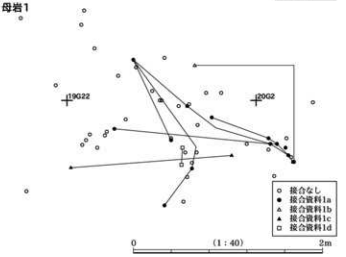
母岩3・5



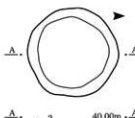
母岩4



母岩1

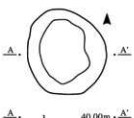


SK25



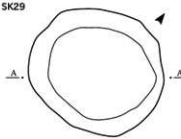
1. 黒褐色土シルト質土　褐色土混入。粘性・しまりなし　玉小石・炭化物混入。
2. 炭層　1層土少量混入。
3. 暗赤褐色土　しまりあり。焼土が混在する。
4. 黒色土　黒褐色土混入。

SK23



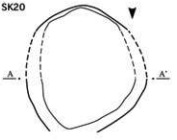
1. 黒褐色土　粘性あり。しまりやあり。炭化物混入。Ⅲ層少量混入。
2. 明褐色土　粘性あり。しまりやあり。Ⅲ層が被熱により変色したもの。

SK29



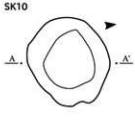
1. 黒褐色土　炭化物少量混入。下面から縄文土器出土。
2. 黒色土　炭層。
3. 明褐色土　Ⅴ層が被熱により変色したもの。
4. 暗褐色土　Ⅲ層土混入。

SK20



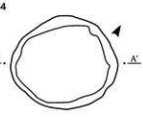
1. 黒褐色土　褐色土・暗褐色土・黒褐色土が混在。上部、しまり・粘性なし。下部、ややしまりあり。炭化物混入。（Ⅰ・Ⅱ層と炭化物が混じったもの）

SK10



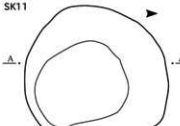
1. 暗褐色土　粘性・しまりなし。炭化物点在。
2. 1層より炭化物多い。
3. 黒褐色焼土　焼きしまる。
4. 暗褐色土　褐色土混入。

SK4



1. 黒褐色土　壁際は暗褐色土。炭化物細粒混入。上面は黒色、下面は赤褐色。しまり混。
2. 焼土

SK11



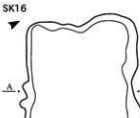
SK7

1. 黒褐色土　壁際は暗褐色土。中央部分を中心に炭化物を含む。底部から20cmではとくに多い。（14C年代測定試料採取）

SK5

1. 黒褐色土　壁際は暗褐色土。（14C年代測定試料採取）
2. 炭層。

SK16



1. 褐色土・暗褐色土・黒褐色土が混じるシルト質土　上部、しまり・粘性なし。下部、ややしまりあり。炭化物混入。底部の一部に焼土あり。

SK19

1. 暗褐色土・黒褐色土が混じるシルト質土　上部、しまり・粘性なし。炭化物混入。底部の一部に焼きしまった焼土あり。

SK24

1. 褐色土　しまりなし。攪乱。
2. 黒褐色土　しまりなし。炭化物多量混入。

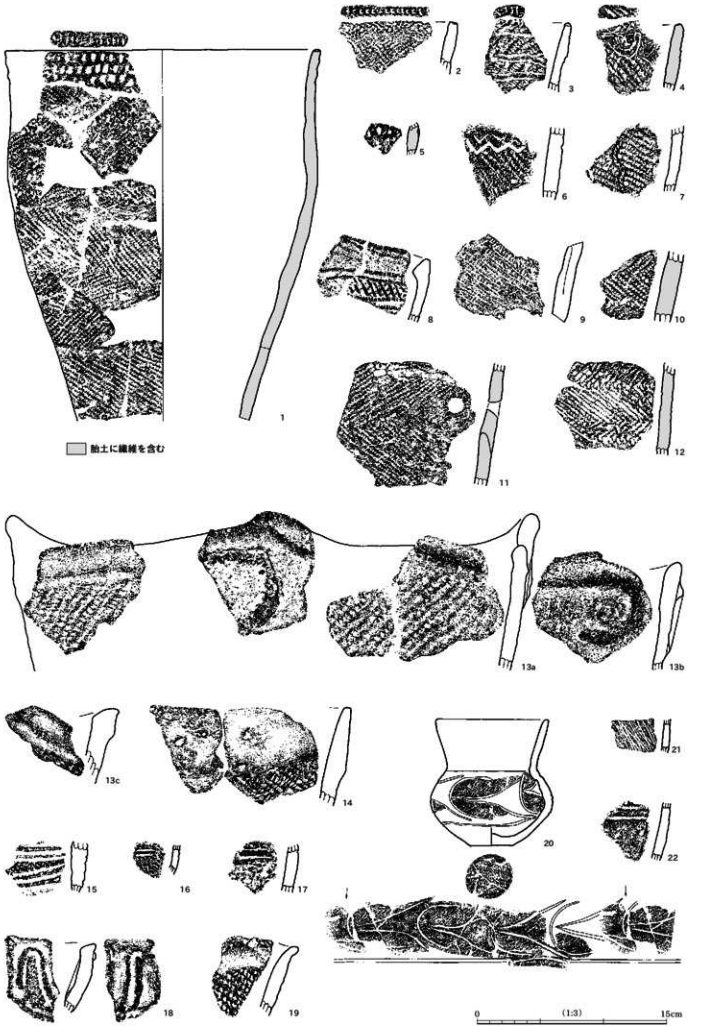
SK12

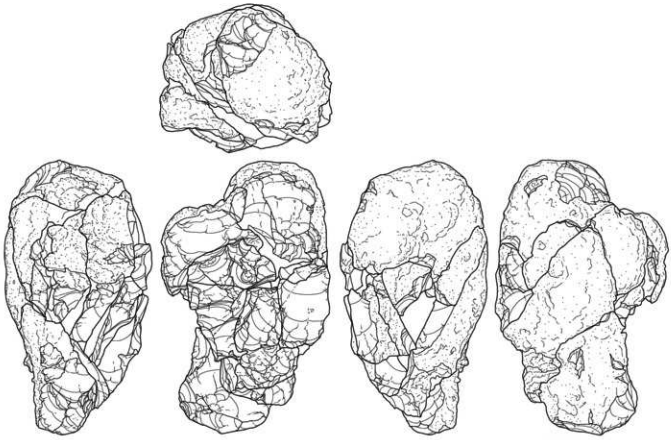
1. 暗褐色土　炭化物少量混入。
2. 黒色土　暗褐色土少量混入。炭化物多量混入。
3. 焼土　Ⅲ・Ⅳ層が焼土化。硬化。

SK15

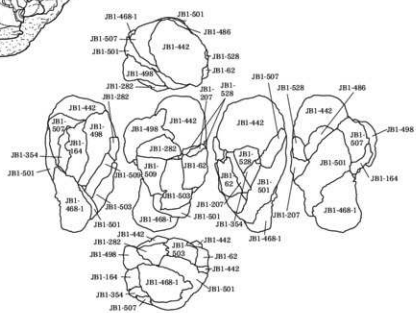
1. 暗褐色土　炭化物少量混入。
2. 黒色炭化粒土　暗褐色土少量混入。
3. 焼土　Ⅲ層が焼土化。硬化。

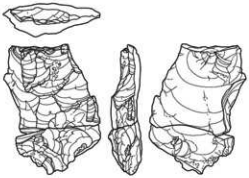
0　(1:40)　2m


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
胎土に繊維を含む
13a
13b
13c
14
15
16
17
18
19
20
21
22
0
(1:3)
15cm



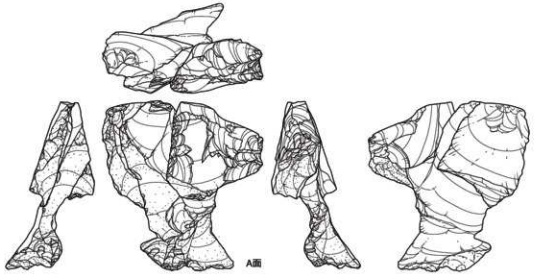
接合資料3a



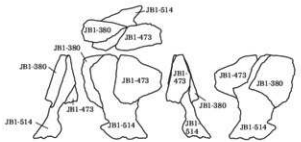


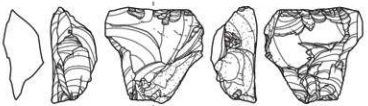
1 (JB1-282+509)

0 (2:3) 5cm

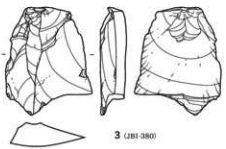


接合資料2b

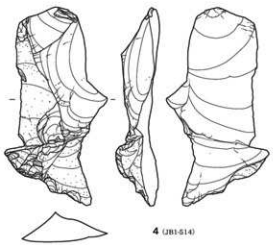




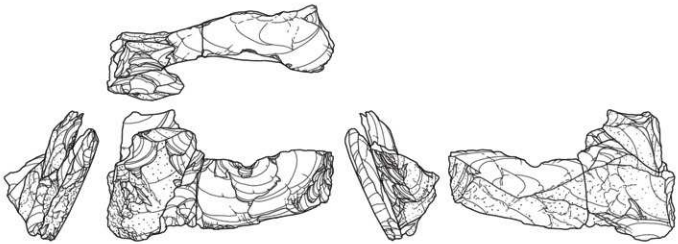
2 (JB1-473)



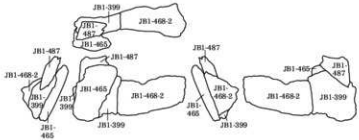
3 (JB1-380)

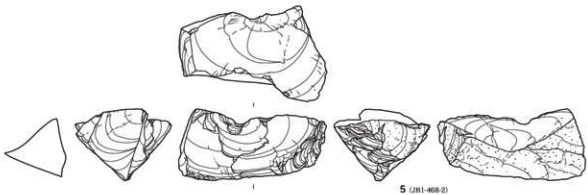


4 (JB1-514)

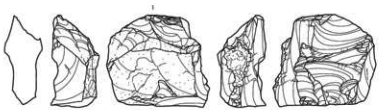


接合資料2c

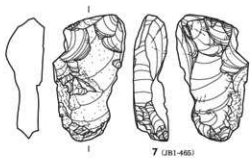




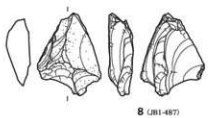
5（JB1-468-2）



6（JB1-399）

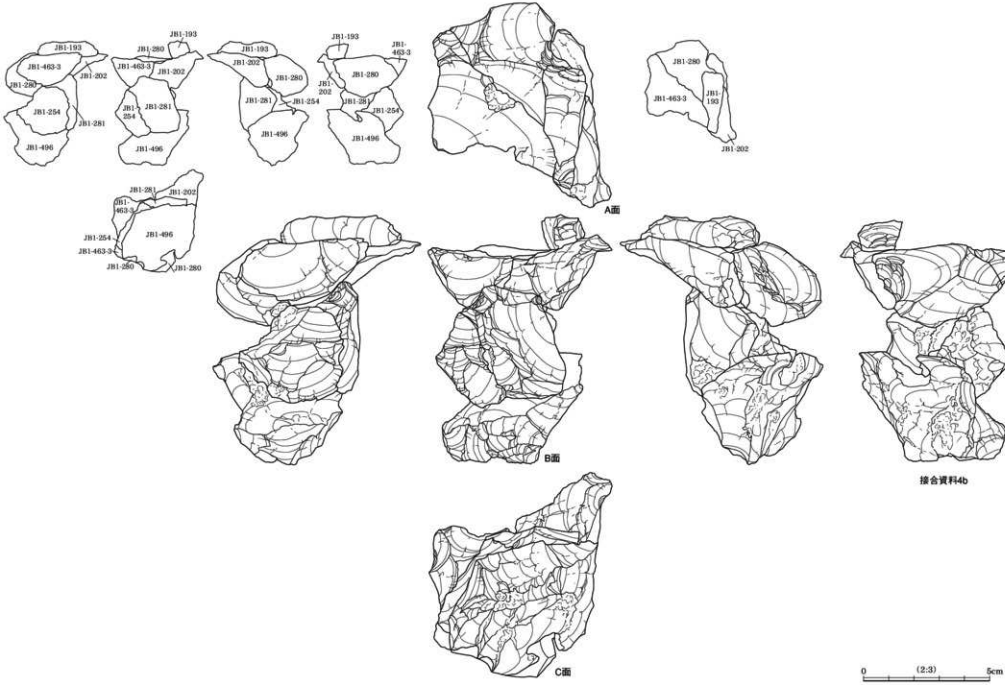


7（JB1-465）

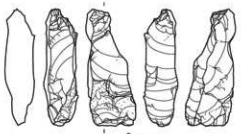


8（JB1-487）

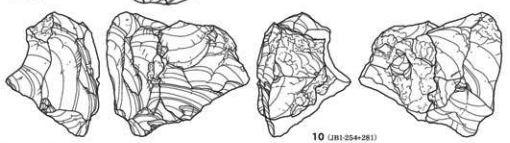
0 (2:3) 5cm


JB1-193
JB1-463-3
JB1-202
JB1-280
JB1-254
JB1-281
JB1-496
A面
B面
C面
接合資料4b
0
(2:3)
5cm

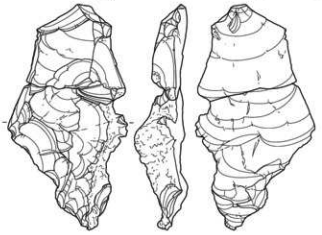
A面
B面
接合資料4c
0
(2:3)
5cm



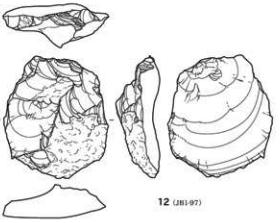
9（JB1-193）



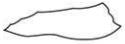
10（JB1-254+281）



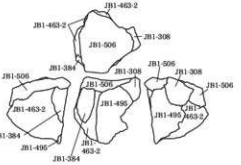
11（JB1-141+114）

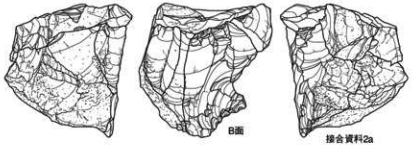


12（JB1-97）

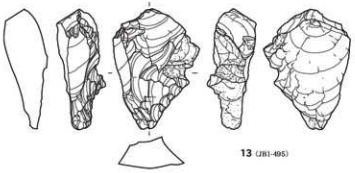


A面

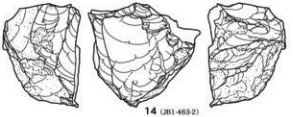




B面　　接合資料2a

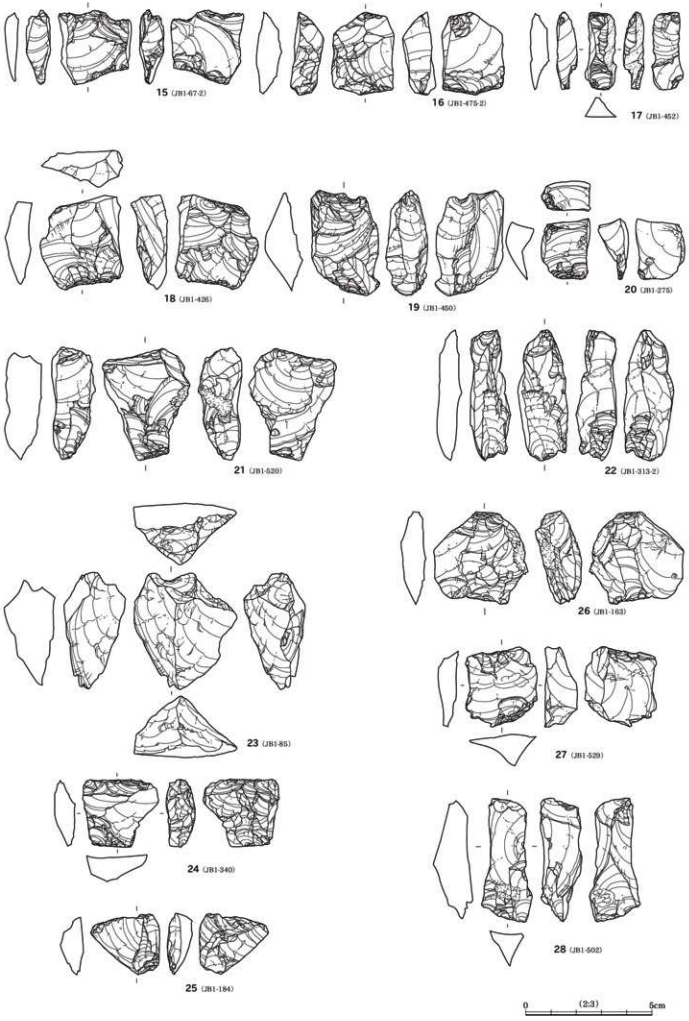


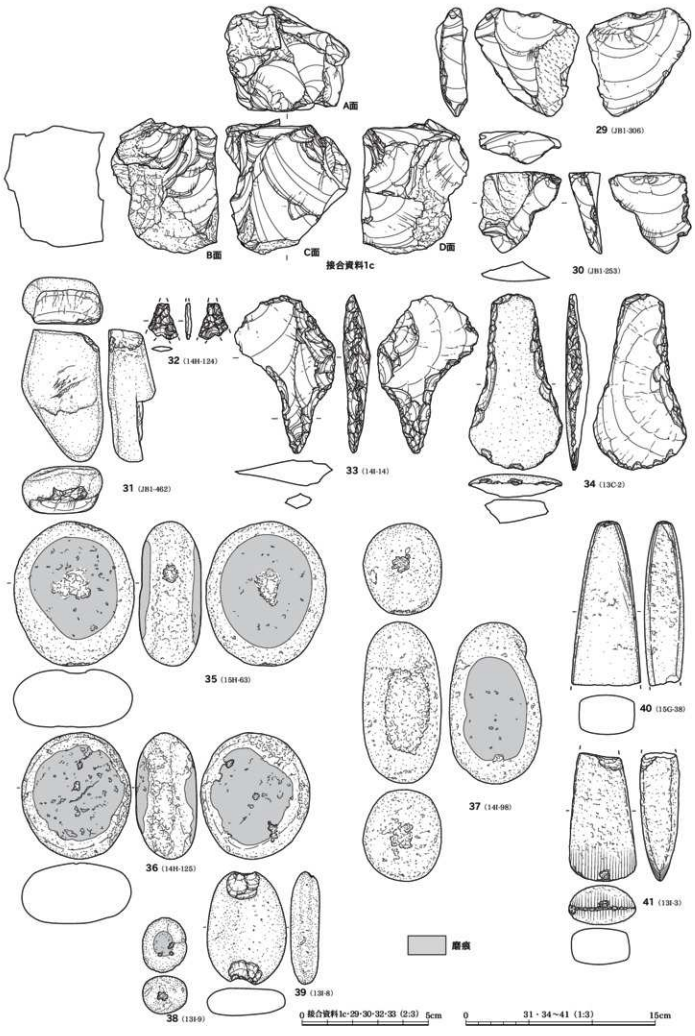
13（JB1-495）



14（JB1-463-2）

0　(2:3)　5cm


15 (JB1-67-2)
16 (JB1-475-2)
17 (JB1-452)
18 (JB1-426)
19 (JB1-460)
20 (JB1-275)
21 (JB1-520)
22 (JB1-313-2)
23 (JB1-85)
24 (JB1-340)
25 (JB1-184)
26 (JB1-163)
27 (JB1-529)
28 (JB1-502)
0 (2:3) 5cm


A面
B面
C面
D面
接合資料1c
29 (JB1-306)
30 (JB1-253)
32 (14H-124)
31 (JB1-462)
33 (14I-14)
34 (13C-2)
35 (15H-63)
36 (14H-125)
37 (14I-98)
40 (15G-38)
41 (13I-3)
39 (13I-8)
38 (13I-9)
磨痕
0 接合資料1c・29・30・32・33 (2:3) 5cm
0 31・34～41 (1:3) 15cm

遺跡遠景（南西から）

調査区全景

遺跡全景（南西から）

基本層序（13G11～13G16）

旧石器ブロック（B1～3）全景（南から）

B1～3　全景（西から）

B1～2　全景（南から）

14C杭～14E杭　セクション

14E杭～15E杭　セクション

B1　全景（西から）

B1　出土状況（北から）

B1　Ⅳ層上面出土状況（北西から）

14G杭～15G杭　セクション

14G杭～14I杭　セクション

B2　全景（西から）

B2　全景（南西から）

B2　Ⅳ層上面出土状況（西から）

12G杭～13G杭　セクション

12G杭～12H杭　セクション

沢　全景（北西から）

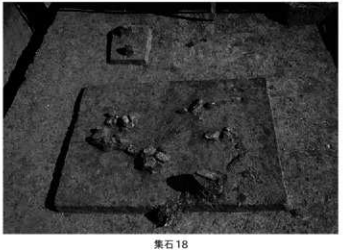
沢　全景（東から）

沢　セクション（15E22～17D24）

沢　セクション（17F）

JB1（西から）

JB1　セクション（西から）


集石18

集石18　セクション

集石21

集石21　断ち割り

集石13

集石27

集石17

集石17　断ち割り

集石土坑22

集石土坑22　セクション

集石土坑3（集石）

集石土坑3（下部　土坑）

集石土坑3　セクション（A-A'）

集石土坑3　セクション（B-B'）

SK28　セクション

SK28　完掘

SK9　セクション

SK9　完掘

SK14　セクション

SK14　完掘

SK6　セクション

SK6　完掘

SK5　セクション

SK5　完掘

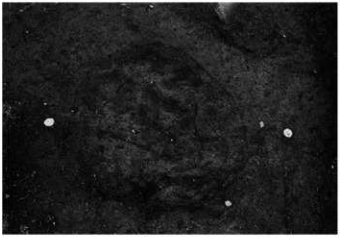
SK2　セクション

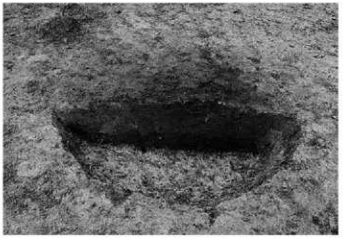
SK2　完掘

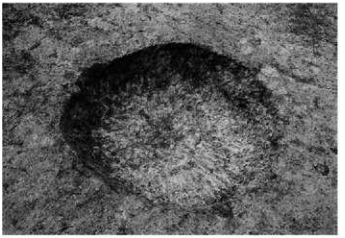
SK25　セクション

SK25　完掘

SK23　セクション


SK23　完掘


SK29　セクション


SK29　完掘

SK20　セクション

SK20　完掘

SK10　セクション

SK10　完掘

SK4　セクション

SK4　完掘

SK7　セクション

SK7　完掘

SK16　セクション

SK16　完掘

SK19　セクション

SK19　完掘

SK24　セクション

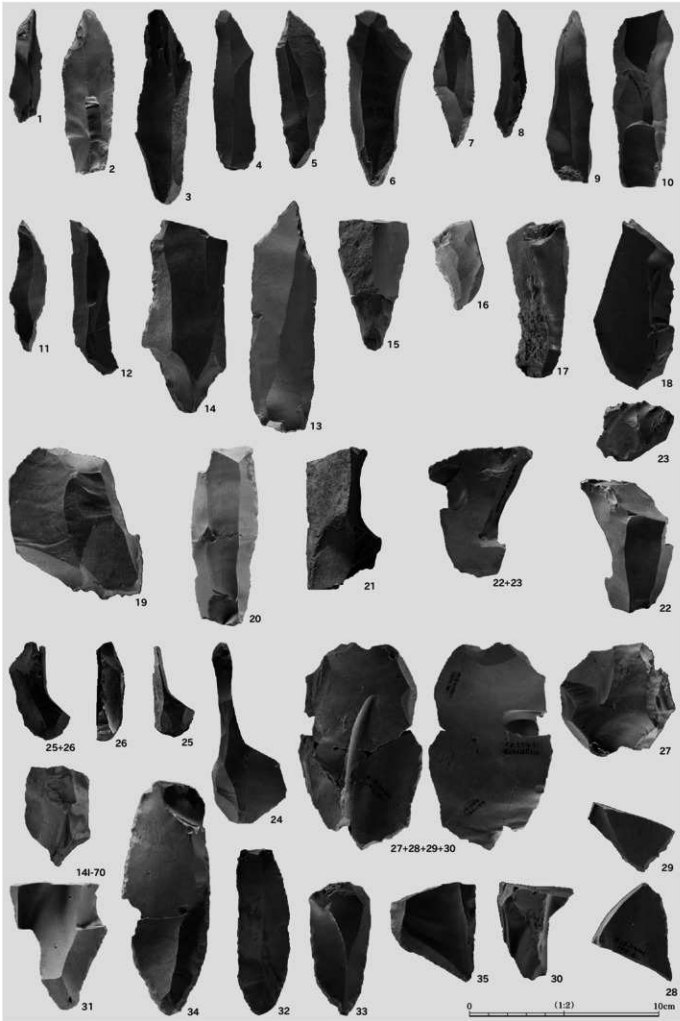
SK24　完掘

SK12　セクション

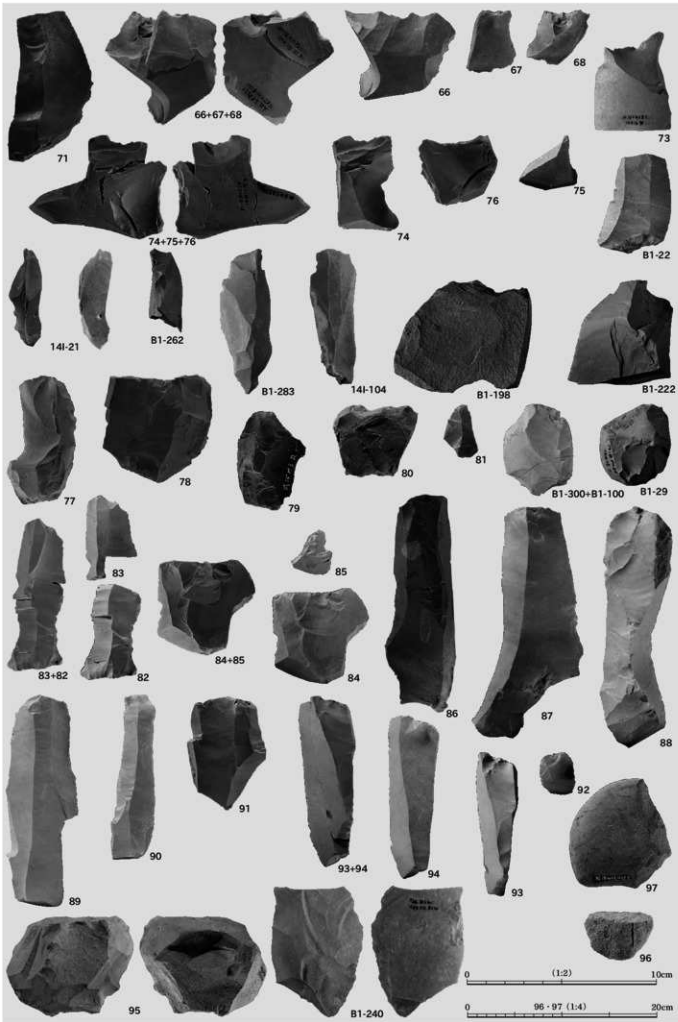
SK12　完掘

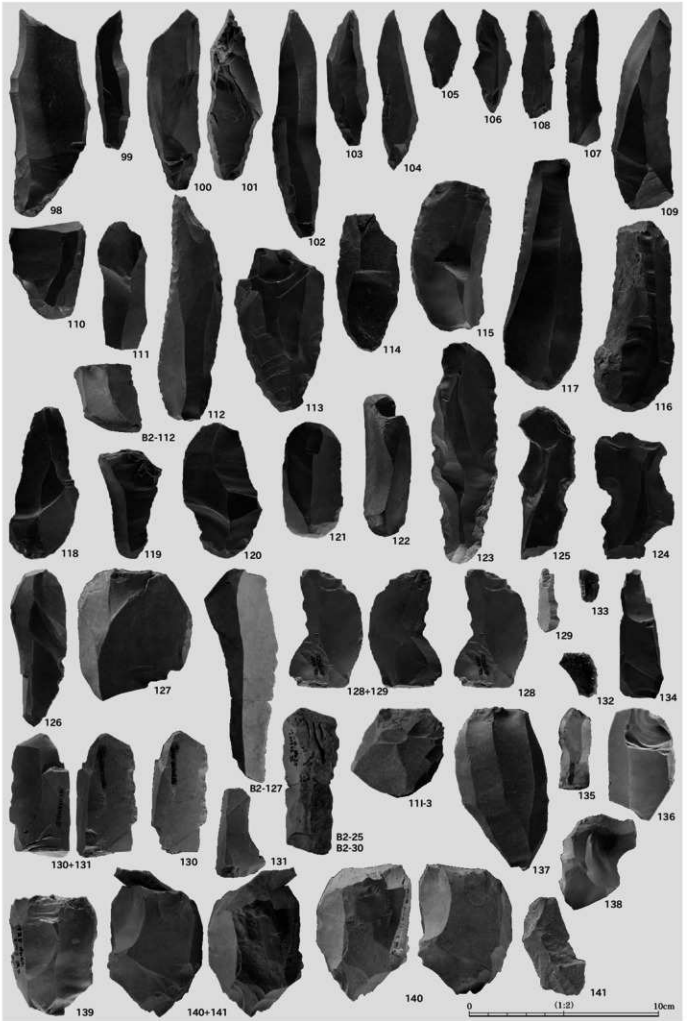
SK15　セクション

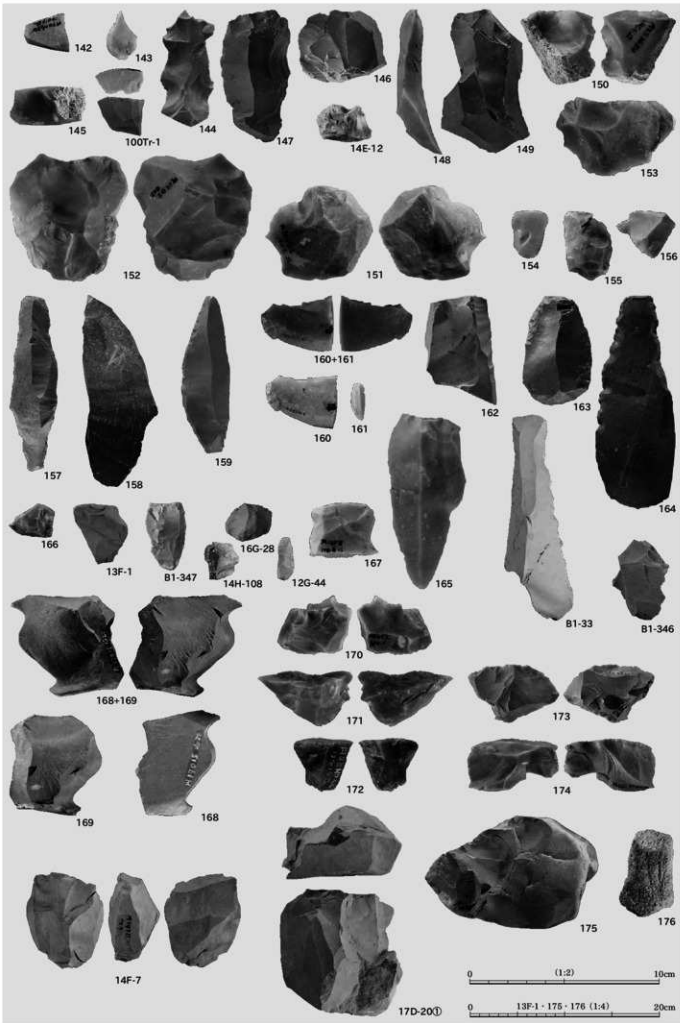
SK15　完掘

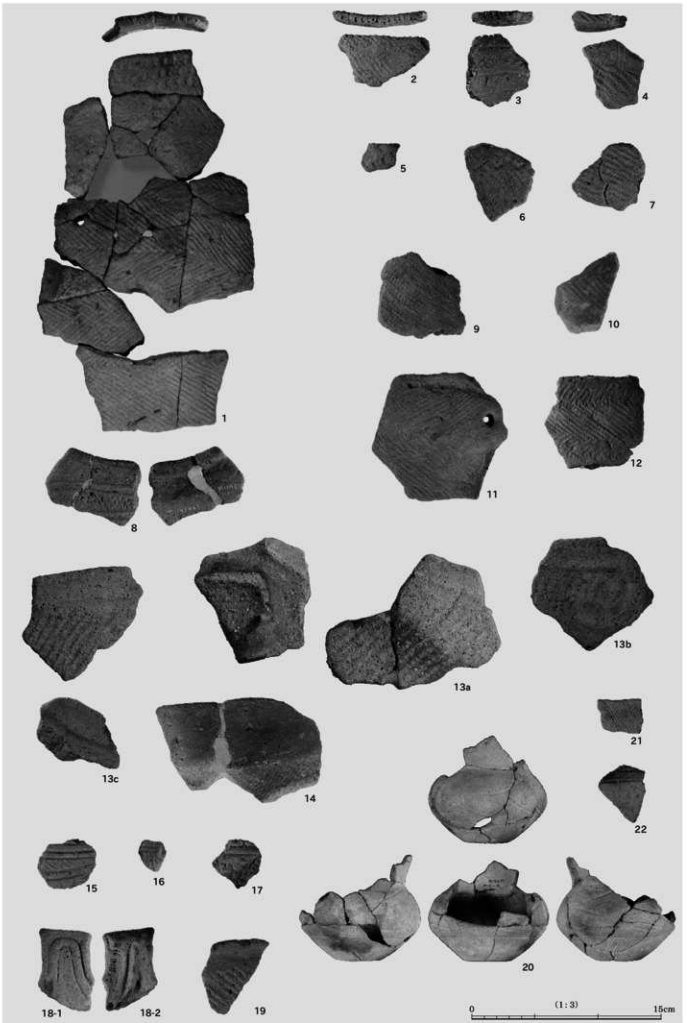

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
14
13
15
16
17
18
23
19
20
21
22+23
22
25+26
26
25
24
27+28+29+30
27
14I-70
29
31
34
32
33
35
30
28
0
(1:2)
10cm

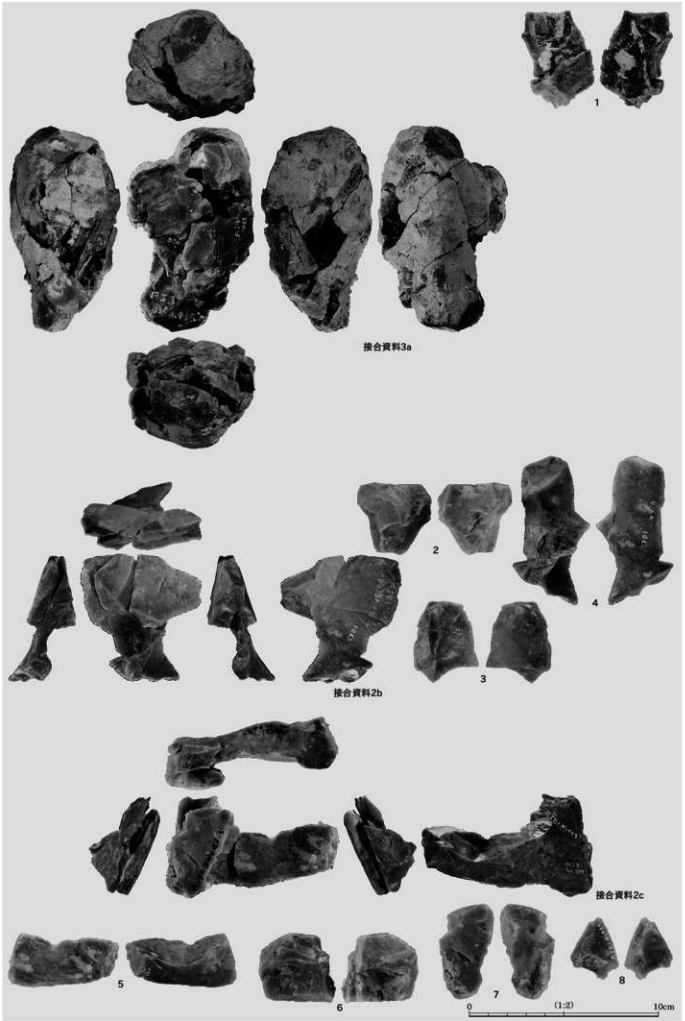
36
37
38
39
40
41
43
42
44
45+46
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
59
58
60
61
62
63
64
65
69
72
70
0
(1:2)
10cm

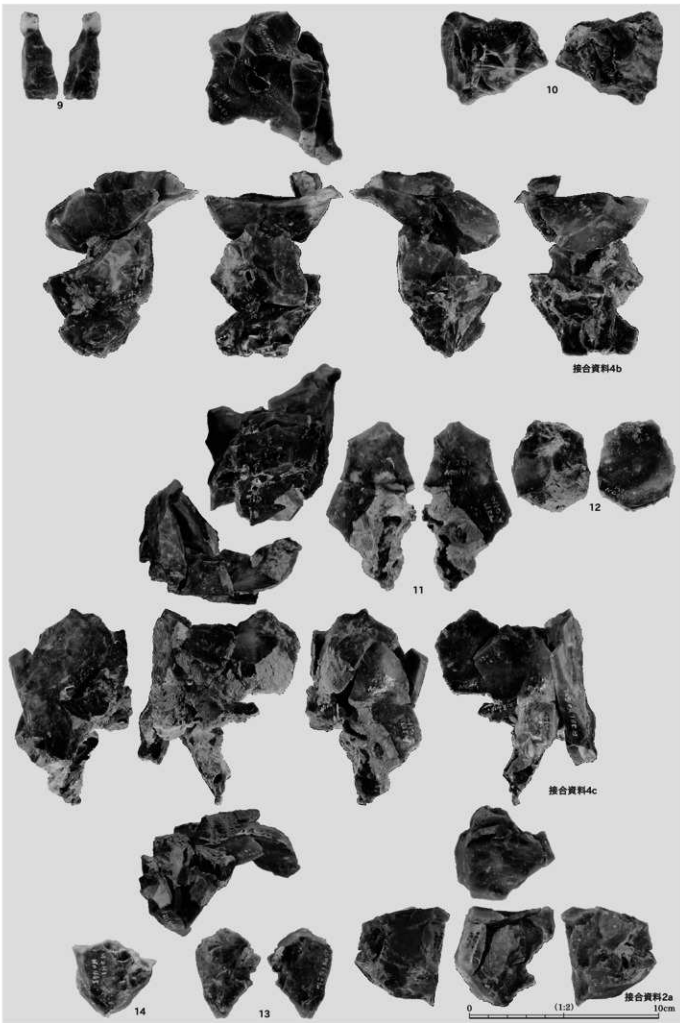

71
66+67+68
66
67
68
73
74+75+76
74
76
75
B1-22
14I-21
B1-262
B1-283
14I-104
B1-198
B1-222
77
78
79
80
81
B1-300+B1-100
B1-29
83
85
83+82
82
84+85
84
86
87
88
91
92
90
93+94
94
93
97
89
96
95
B1-240
0
(1:2)
10cm
0
96・97 (1:4)
20cm

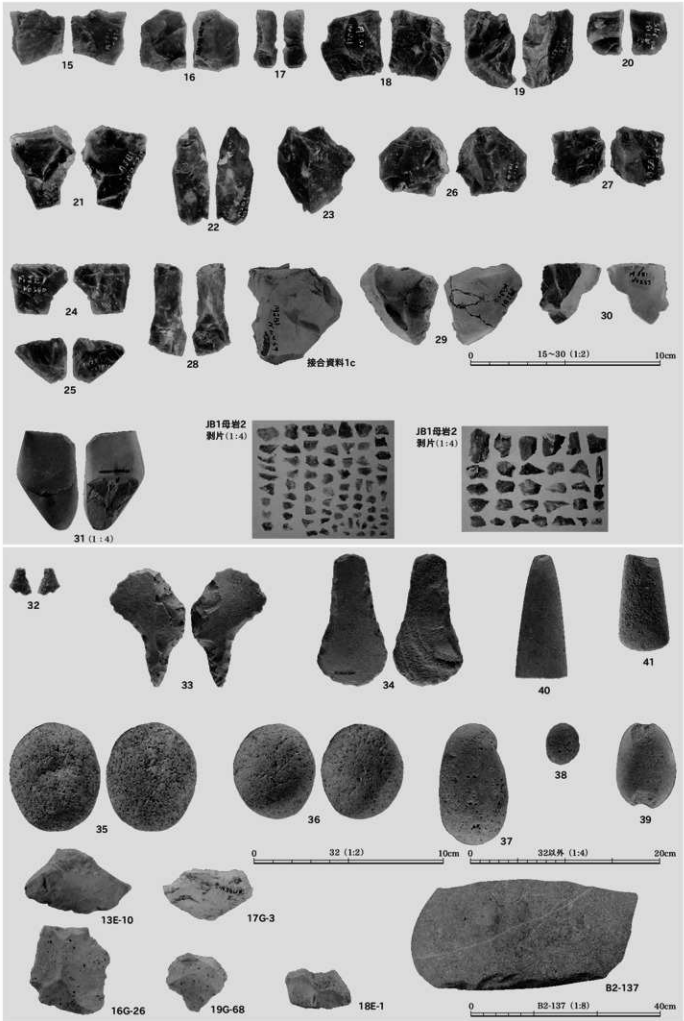

98
99
100
101
102
103
104
105
106
108
107
109
110
111
112
113
114
115
117
116
B2-112
118
119
120
121
122
123
125
124
126
127
128+129
128
129
133
132
134
B2-127
111-3
135
136
130+131
130
131
B2-25
B2-30
137
138
139
140+141
140
141
0
(1:2)
10cm


142
143
146
150
145
100Tr-1
144
147
14E-12
148
149
153
152
151
154
155
156
160+161
162
163
157
158
159
160
161
164
166
13F-1
B1-347
16G-28
14H-108
12G-44
167
165
B1-33
B1-346
170
168+169
171
173
169
168
172
174
175
176
14F-7
17D-20①
0 (1:2) 10cm
0 13F-1・175・176 (1:4) 20cm


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13a
13b
13c
14
15
16
17
18-1
18-2
19
20
21
22
0
(1:3)
15cm


1
接合資料3a
2
3
4
接合資料2b
接合資料2c
5
6
7
8
0
(1:2)
10cm


9
10
接合資料4b
12
11
接合資料4c
14
13
接合資料2a
0
(1:2)
10cm


15
16
17
18
19
20
21
22
23
26
27
24
25
28
接合資料1c
29
30
0　15~30 (1:2)　10cm
31 (1:4)
JB1母岩2
剥片(1:4)
JB1母岩2
剥片(1:4)
32
33
34
40
41
35
36
37
38
39
0　32 (1:2)　10cm
0　32以外 (1:4)　20cm
13E-10
17G-3
B2-137
16G-26
19G-68
18E-1
0　B2-137 (1:8)　40cm

報告書抄録

ふりがな	まるやまいせき
書名	円山遺跡
副書名	北陸自動車道安田土取場関係発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	新潟県埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第121集
編著者名	土橋由理子
編集機関	財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団
所在地	〒956-0845　新潟県新津市大字金津93番地1　　TEL 0250（25）3981
発行年月日	西暦2003（平成15）年3月31日

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 ° ′ ″	東経 ° ′ ″	調査期間	調査面積 m²	調査原因
円山遺跡	新潟県北蒲原郡安田町大字六野瀬字円山2102番地ほか	301	92	37度 45分 12秒 （日本測地系）	139度 15分 49秒 （日本測地系）	19941128 ～19941215 19950901 ～19951212	5,840	北陸自動車道建設に係る土取り

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
円山遺跡	遺物包含地	旧石器	ブロック3か所	石器3,751点（台形様石器・ナイフ形石器・彫刻刀形石器・錐・掻器・削器・抉入石器・鋸歯縁石器・石刃など）	
		縄文	集石土坑2基、集石5基、土坑5基、石器集中地点1か所	土器1,032点（前期～後期） 石器集中地点7,300点（楔形石器・石核・剥片・接合資料）、包含層51点（石鏃・石錐・石錐・打斧・磨斧・台石など）	集石 放射性炭素年代測定
		古代～中近世	炭窯14基	寛永通宝1点	放射性炭素年代測定

新潟県埋蔵文化財調査報告書　第121集

北陸自動車道安田土取場関係発掘調査報告書

円山遺跡

平成15年3月28日印刷
平成15年3月31日発行

編集・発行　新潟県教育委員会
〒950-8570　新潟市新光町4番地1
電話　025（285）5511

財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団
〒956-0845　新津市大字金津93番地1
電話　0250（25）3981
FAX　0250（25）3986

印刷・製本　北越印刷株式会社
〒940-0034　新潟県長岡市福住1丁目6番27号
電話　0258（33）0306

新潟県埋蔵文化財調査報告書 第121集
北陸自動車道安田土取場関係発掘調査報告書　**円山遺跡　正誤表**

頁	行	正	誤
20	23	(23·28·29·76·85·91·92)	(23·28·29·76·91·92)
22	3	(136·138·141)	(136·138)
25	14	楔形石器 (84)	両極石器 (84)
28	第5表	集石13·17·18·21·27	集石土坑13·17·18·21·27
33	第8表	(母岩3の合計) 19 (5)	(母岩3の合計) 18 (5)
		(玉髄製剥片の点数) 4(1)	(玉髄製剥片の点数) 3(1)
		(玉髄の合計) 15(11)	(玉髄の合計) 4(11)
		(石英の合計) 1	(石英の合計) 空欄
34	下から22	(2·6～8·9·13·15～22·24～28)	(2·6～8·9·13·15～28)
34	下から6	(5·10·14·23·接合資料1c)	(5·10·14·接合資料1c)
35	14	(17G-3、16G-26、19G-68)	(17G-3、19G-26·68)
図版25	No.109	11G17	11G7